

令和 6 年度 施策・事務事業評価表

〔第七期帯広市総合計画〕

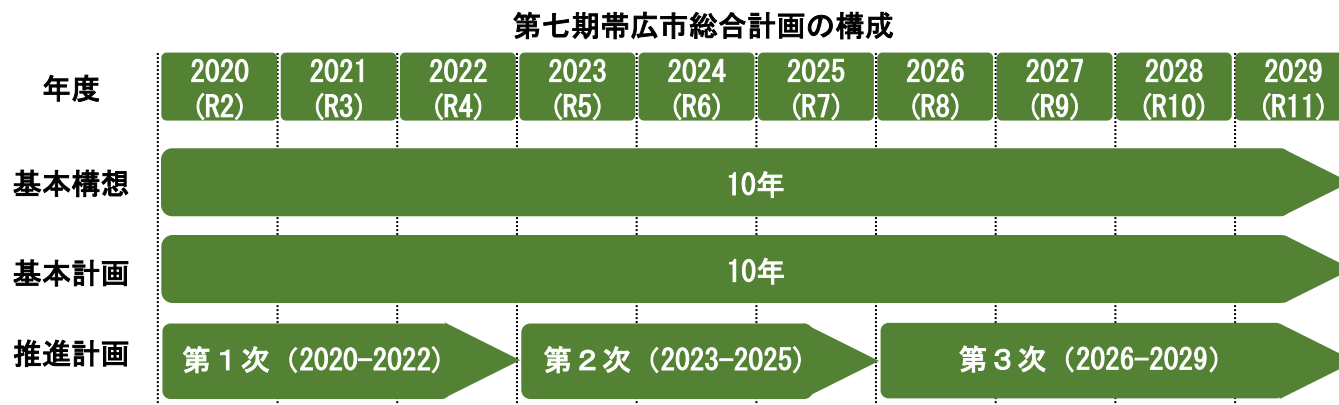
令和 7 年 8 月
帯 広 市

目 次

1. 第七期帯広市総合計画について	1	施策10 アウトドアの聖地にする	46
2. 総合計画推進の考え方について	1	施策11 つなげて広げるビジネスチャンス	50
（1）第七期総合計画のPDCAサイクル	1	施策12 未来を拓く子どもをともに育む	54
（2）施策・事務事業評価	1	施策13 いつまでも学ばって面白い	58
3. 第七期帯広市総合計画の体系図	2	施策14 潤いのある暮らしと地域をつくる	62
4. 評価年度	3	施策15 スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に	66
5. 評価表の見方	3	施策16 地球のために今、行動する	70
（1）施策評価表	3	施策17 「まさか」に備え今、行動する	74
（2）事務事業評価表	6	施策18 とかちで守るみんなの安心	78
6. 施策評価結果の概要	7	施策19 みんなでつくる笑顔と安全	82
7. 基本計画の点検結果	9	施策20 未来につなぐ、おいしい水	86
		施策21 未来につなぐ、住みよいまち	90
		施策22 認め合い、つながり、暮らす	94
		施策23 未来に夢をつなぐ	98
■ 施策評価表			
施策1 健康なからだところをつくる	10		
施策2 笑顔でつなぐ、みんなの子育て	14		
施策3 たくさんの小さなおせっかいがある暮らし	18		
施策4 ずーっと生き活きと暮らす	22		
施策5 個性はみんなのたからもの	26		
施策6 医療を身近に安心な暮らしをつくる	30		
施策7 誰もが安心できる暮らしの支えになる	34		
施策8 世界に冠たる十勝農業を創る	38		
施策9 「とかちのかち」を創り続ける	42		
■ 事務事業評価表			
施策1～施策23	102		

1. 第七期帯広市総合計画について

第七期帯広市総合計画は、市民と市が共有するビジョンとして将来のまちの姿やまちづくりの目標などを示す「基本構想」、基本構想の実現に向けた市の施策を示す「基本計画」、施策の目指す姿の実現に向け市が実施する事務事業を示す「推進計画」により構成しており、期間は「基本構想」10年、「基本計画」10年、「推進計画」3年（第3次のみ4年）としています。



2. 総合計画推進の考え方について

(1) 第七期総合計画のPDCAサイクル

第七期帯広市総合計画は、施策や事務事業の進捗状況等を評価検証し、改善等につなげていくPDCAサイクルのもと推進します。

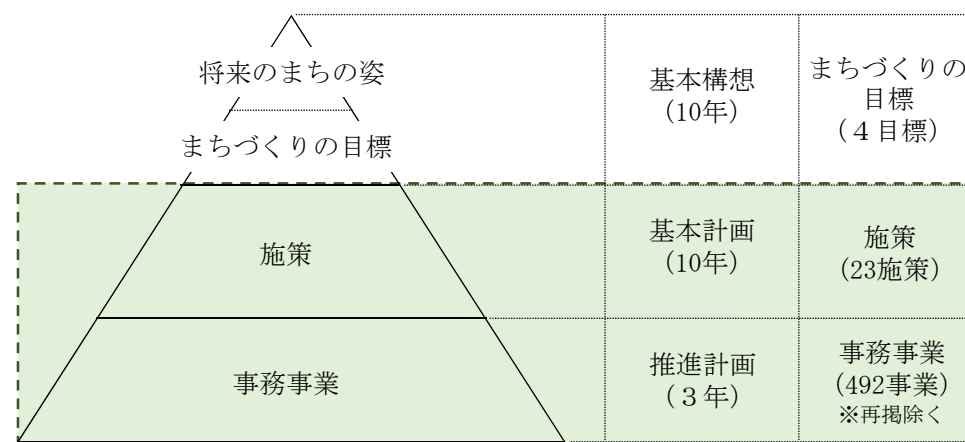
(2) 施策・事務事業評価

施策は、「事務事業の進捗状況」「市民と一緒に目指す取り組みの状況」「地域社会の状況」という3つの視点から、目指す姿の実現に向けた進捗状況の評価検証します。また、客観性を確保するため、それぞれの状況を点数化し合計点に応じて進捗状況の判定を行います。

事務事業は、事業ごとに掲げる目標の達成に向け、毎年度取り組みを評価し、内容の妥当性や未達成の要因等を検証します。

施策・事務事業の評価結果は、予算編成や推進計画の改訂・次期推進計画の策定に活用するとともに、市民等へ公表します。

総合計画と施策・事務事業評価



3. 第七期帯広市総合計画の体系図



4. 評価年度

本評価表は、令和6年度の施策・事務事業に対する評価結果を取りまとめたものです。

5. 評価表の見方

(1) 施策評価表

施策評価表には、目指す姿、市が実施した事務事業の取り組みを示す「Ⅰ事務事業の進捗状況」、市民と市と一緒に目指す目指そう指標の実績と要因分析を示す「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」、地域社会の状況を示す「Ⅲ関連データの状況」と、これらに基づく施策評価の結果を記載しています。

施策評価は、「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の進捗率等を点数化し、その合計点に応じて、「順調」「概ね順調」「さらなる進捗が必要」の3区分で判定します。

①「Ⅰ事務事業の進捗状況」

事務事業の主な取り組み内容を記載しています。

○進捗率の算出・点数化の方法

施策の事務事業数(再掲除く)に占める、目標を達成した事務事業数と予定していた事業を実施することができた事務事業数(目標設定をしていない事務事業)の割合で進捗率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

A ≥ 80%	80% > A ≥ 60%	60% > A
40点	30点	25点

例)

$$\left[\frac{4(\text{目標を達成できた事務事業数}) + 4(\text{事業を実施した事務事業数})}{10(\text{施策の全事務事業数})} \right] \times 100 = 80\% = 40\text{点}$$

施策評価表 (Ⅰ事務事業の進捗状況)


施策1 健康なからだところをつくる
—健康づくりの推進—


目指す姿

誰もが自分の健康は自分でつくると意識を持ち、健康管理に取り組み、心身ともに健やかに暮らしています。


Ⅰ事務事業の進捗状況

進捗率 80.0% :
40点
30点
25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。
- 働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」への参画企業等の登録を促進。
- 健康に関する意識を高めるため、LINEによる健康体操動画を配信。
- 生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。
- 自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。
- 感染症の発生や感染拡大の防止のため、予防接種の啓発・実施や感染症の発生状況及び予防に関する情報を発信。



糖尿病予防のためのパネル展

②「Ⅱ 目指そう指標の進捗状況」

目指そう指標の動向や結果に対する要因分析を記載しています。
 なお、進捗率の把握に用いる実績値は、評価年度において把握可能な最新年度のデータを使用します。

○進捗率の算出・点数化の方法

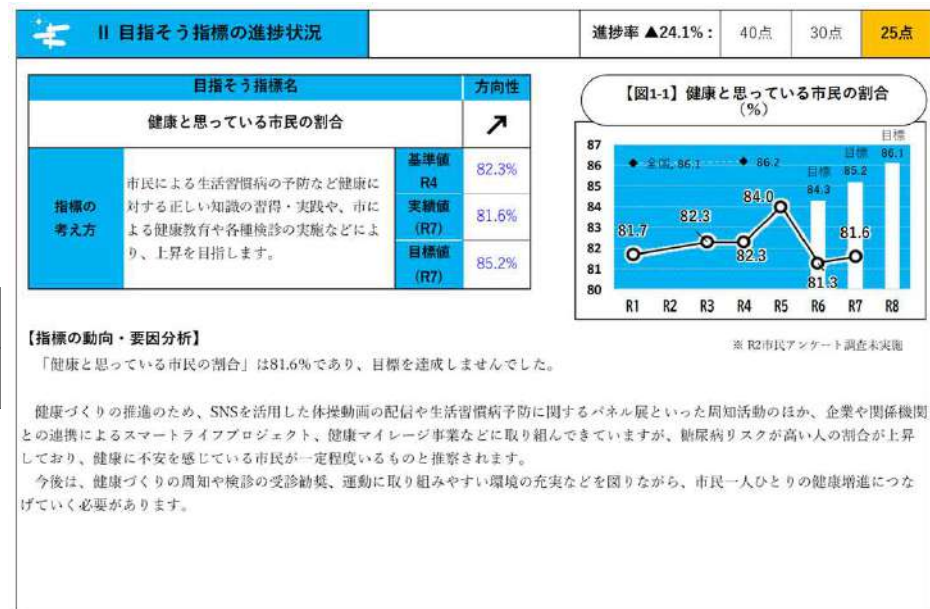
目標値に対する実績値の割合で進捗率を算出し、これに応じて評価年度毎に下表のとおり点数化を行います。

$A \geq 100\%$	$100\% > A \geq 90\%$	$90\% > A$
40点	30点	25点

例) $[81.6\% (\text{実績値}) - 82.3\% (\text{基準値})] /$

$[85.2\% (\text{目標値}) - 82.3\% (\text{基準値})] \times 100 = \blacktriangle 24.1\% = 25\text{点}$

施策評価表 （Ⅱ 目指そう指標の進捗状況）



※ 各指標で定めた基準年から4年後に到達すべき目標を設定し、評価年度の目標に対する達成状況やその要因等を記載しています。

※ 全国・全道等のデータは、要因分析を行う際の参考資料として掲載しています。なお、全国等の数値がなく比較ができない指標もあります。

③「Ⅲ関連データの状況」

施策に関する地域社会の状況を示すデータの推移を示しています。
また、下表のとおり、データ毎に推移に応じた得点を付しています。

得点	増加が望ましいデータ	基準以上が望ましいデータ
5	策定時より増加・前年より増加	—
3	策定時より増加	基準以上
2	前年より増加	基準未満だが前年より改善
0	いずれも該当なし	基準未満で前年以下

○得点率の算出・点数化の方法

全データの最高得点に占める、合計得点の割合で得点率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

$A \geq 80\%$	$80\% > A \geq 60\%$	$60\% > A$
20点	15点	10点

例) $[5(5点 \times 1つ) + (0点 \times 2つ)] / 15(データ数3つ \times 最高得点5点) \times 100 = 33.3\% = 10点$

④「Ⅳ施策評価」

①から③を踏まえ、施策の目指す姿の実現に向けて実施した主な取り組みや課題などを記載しています。

○施策評価の判定

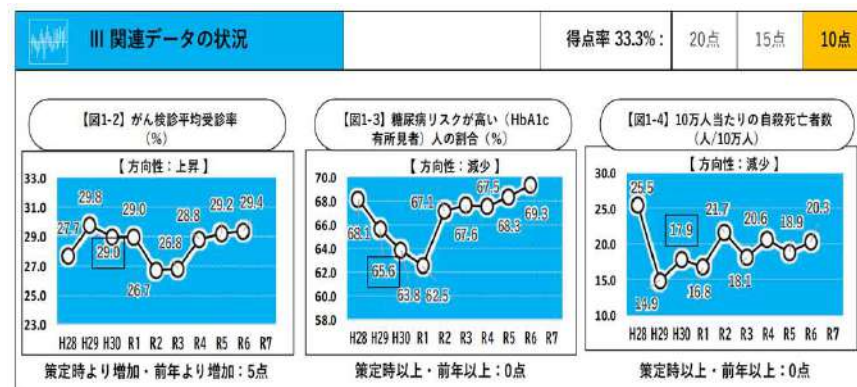
「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の点数の合計点に応じて下表のとおり判定します。

例) ①40点+②25点+③10点=75点

施策評価の判定結果は概ね順調に進んでいる

100点	95点	90点	85点	80点	75点	70点	65点	60点
順調に進んでいる			概ね順調に進んでいる			さらなる進捗が必要		

施策評価表 (Ⅲ関連データの状況)



※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。

※ 統計によって、公表時期が異なるため、基準となる策定時の年度に違いがあります。

施策評価表 (Ⅳ施策評価)

Ⅳ 施策評価	概ね順調に進んでいる (Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ = 75点 / 100点)
市民の主体的な健康づくりに向け、生活習慣病予防などに関するパネル展の開催、LINEによる健康体操動画を配信、歩数計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進、スマートライフプロジェクトへの企業・団体の登録・加入促進など様々な取り組みを進めました。健康と想っている市民の割合【図1-1】は、前年より若干上昇したものの、目標値に及びませんでした。 今後は、企業や団体との関わりを増やし、より多くの市民の目に触れるような周知啓発に取り組むほか、医療機関との連携を強化し、市民の健康づくりを進めるための環境を充実していく必要があると考えます。 健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活や運動習慣に関する周知啓発のほか、保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組んできましたが、「糖尿病リスクが高い(HbA1c 有所見者)人の割合【図1-3】」は増加しています。 今後も、有所見者の推移を注視しながら、公開講座やパネル展など幅広い市民に対する普及啓発に取り組むほか、健診結果から対象となる方への講座や個別面談、未利用の場合の再勧奨などを通し、生活習慣の改善や糖尿病の発症・重症化予防につなげていく必要があります。 また、ピンクリボン運動をはじめ、医療機関や市内のイベントにおいて、がんに対する正しい知識の周知啓発に積極的に取り組んだことで、「がん検診平均受診率【図1-2】」は上昇しています。今後も医療機関や企業との連携による周知啓発を行うほか、全国健康保険協会(協会けんぽ)との連携により、受診率向上に向けた取り組みを進めていきます。 生きることの包括的支援の推進に向けた取り組みとして、相談窓口の周知啓発のほか、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成などの取り組みを継続しましたが、「10万人当たりの自殺死亡者数【図1-4】」は毎年の増減はあるものの、計画策定時からみると増加しています。自殺は、社会・経済情勢や、生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等と連携し、自殺予防につなげていくことが必要です。今後も、自殺対策計画に基づき、幅広い分野での取り組みを実施し生きることの包括的支援として自殺対策に取り組みます。 施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。	

（２）事務事業評価表

事務事業評価表には、事務事業の名称、目的、担当課のほか、当該年度の事業実施状況や決算額などを記載しています。

市に一定の裁量がある事務事業には、推進計画策定時から３年後に到達すべき目標を設定しています。評価検証欄には、評価年度の目標に対する達成状況のほか、取り組みの妥当性や未達成の要因等を記載しています。

事務事業評価表

事務事業評価表

施策	1	取組	1	番号	1	事務事業 健康づくり推進事業														
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。						担当課		健康推進課											
目標	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について5,400人を目指します。																			
事業実施状況	・健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進（会員数 食改27人、健康30人） ・健康マイレージの推進（参加者数延5,478人） ・スマートライフプロジェクトおびひろの推進（登録企業延101社） ・おびひろ健康まつりの実施（R6来場者数1,052人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		2,404		2,445									
							特定財源		200		200									
							一般財源		2,204		2,245									
							指標名		健康マイレージ事業参加者数				単位		人					
							基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
									2,878		4,500 4,458		5,000 5,478				5,400			
評価検証	R6年度の健康マイレージ事業の参加者数は5,478人であり、目標を達成しました。 広報紙やホームページ、パネル展、イベント等で周知したことが効果的であったと考えます。今後も、関係機関と連携して、協賛企業を増やし、積極的に周知しながら事業内容を充実させていく考えです。																			

※ 「目標」は推進計画最終年度（R7年度）の目標です。

なお、法律で義務付けされている事業、国等の財源の影響を受けやすい整備事業、施設の維持管理事業、内部管理事業には、目標を設定していません。

※ 目標を設定している事務事業のうち、定量的な指標の設定が難しい事業については、事業の実施状況などに基づき定性的な評価を行っています（指標名“一”としています）。

※ 事業実施状況には主に事業量（人数・回数等）を示しています。

※ 事業費には会計年度任用職員費用を含めているため、決算書等の合計額と一致しない場合があります。

※ 当該年度の目標値を達成できた場合や予定していた事務事業を実施することができた場合は、実績値欄をあみかけしています。

6. 施策評価結果の概要

まちづくりの 目標と施策番号		Ⅰ 事務事業の進捗状況 採点結果			Ⅱ 目指そう指標の進捗状況 採点結果			Ⅲ 関連データの状況 採点結果			Ⅳ 施策評価の判定	
1 ともに支え合い、 健やかに暮らせるまち	施策 1	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策 2	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策 3	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
	施策 4	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
	施策 5	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策 6	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	100点	順調に進んでいる
	施策 7	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	施策 8	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	95点	順調に進んでいる
	施策 9	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策10	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
	施策11	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
3 ともに学び、輝く人 を育むまち	施策12	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策13	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
	施策14	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策15	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる

まちづくりの 目標と施策番号		Ⅰ 事務事業の進捗状況 採点結果			Ⅱ 目指そう指標の進捗状況 採点結果			Ⅲ 関連データの状況 採点結果			Ⅳ 施策評価の判定	
4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	施策16	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策17	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	70点	さらなる進捗が必要
	施策18	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策19	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策20	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策21	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
施策22		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
施策23		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる

施策の進捗状況

	1 ともに支え合い、 子どもも大人も 健やかに暮らせるまち	2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	3 ともに学び、 輝く人を育むまち	4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	合計
順調に進んでいる	3 施策	1 施策	2 施策	0 施策	6 施策
概ね順調に進んでいる	3 施策	1 施策	2 施策	4 施策	12 施策
さらなる進捗が必要	1 施策	2 施策	0 施策	2 施策	5 施策

※施策22及び施策23は、各まちづくりの目標に含めていないため、合計と合いません。

7. 基本計画の点検結果

市の施策を示す基本計画(目指す姿・主な取り組み・目指そう指標)については、推進計画の最終年度において、施策の推進状況などを点検した上で、必要に応じて見直しを行うこととしています。

このため施策評価の状況のほか、施策の方向性等に問題がないかを確認するため、各施策の背景の変化や施策を構成する事務事業の取組状況、指標の有効性についても併せて点検を行いました。

令和6年度の施策評価においては、「順調に進んでいる」施策が6施策、「概ね順調に進んでいる」施策が12施策、「さらなる進捗が必要」な施策が5施策となり、策定当初から比べて、「さらなる進捗が必要」な施策は減少し、「順調に進んでいる」や「おおむね順調に進んでいる」施策が増加しています。

また、「さらなる進捗が必要」な施策を含め、すべての施策の背景に大きな変化が生じていないことを確認したほか、取組状況についても、感染症拡大後の生活様式の変化や物価の高騰などによる影響をはじめ、活動に取り組む団体の担い手不足などにより、目標の未達成が続く取り組みは存在するものの、引き続き、各取り組みを進める必要があることを確認しました。

なお、指標についても、算定方法を変更する指標はありましたが、指標そのものを変える必要はありません。

以上のことから、基本計画の見直しは行わず、今後も毎年度、評価・検証を行い、推進計画を改訂しながら、取り組みを着実に進めます。

施 策 評 価 表



施策1 健康なからだところをつくる ―健康づくりの推進―



目指す姿

誰もが自分の健康は自分でつくるという意識を持ち、健康管理に取り組み、心身ともに健やかに暮らしています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 80.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。
- 働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」への参画企業等の登録を促進。
- 健康に関する意識を高めるため、LINEによる健康体操動画を配信。
- 生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。
- 自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。
- 感染症の発生や感染拡大の防止のため、予防接種の啓発・実施や感染症の発生状況及び予防に関する情報を発信。



糖尿病予防のためのパネル展



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲24.1% :

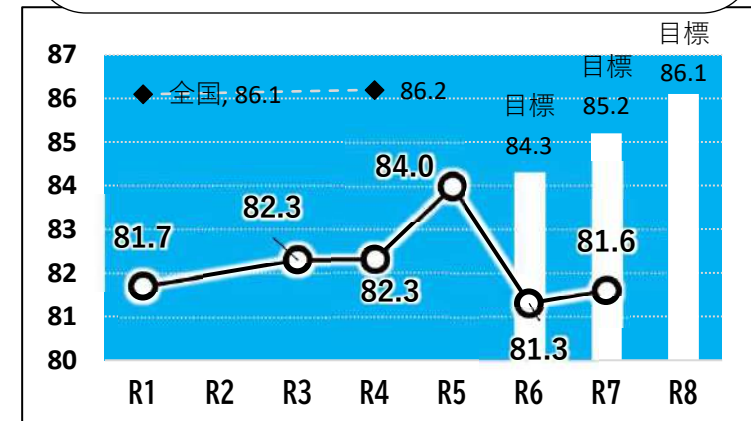
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
健康と思っている市民の割合			↗
指標の考え方	市民による生活習慣病の予防など健康に対する正しい知識の習得・実践や、市による健康教育や各種検診の実施などにより、上昇を目指します。	基準値 R4	82.3%
		実績値 (R7)	81.6%
		目標値 (R7)	85.2%

【図1-1】健康と思っている市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「健康と思っている市民の割合」は81.6%であり、目標を達成しませんでした。

健康づくりの推進のため、SNSを活用した体操動画の配信や生活習慣病予防に関するパネル展といった周知活動のほか、企業や関係機関との連携によるスマートライフプロジェクト、健康マイレージ事業などに取り組んできていますが、糖尿病リスクが高い人の割合が上昇しており、健康に不安を感じている市民が一定程度いるものと推察されます。

今後は、健康づくりの周知や検診の受診勧奨、運動に取り組みやすい環境の充実などを図りながら、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

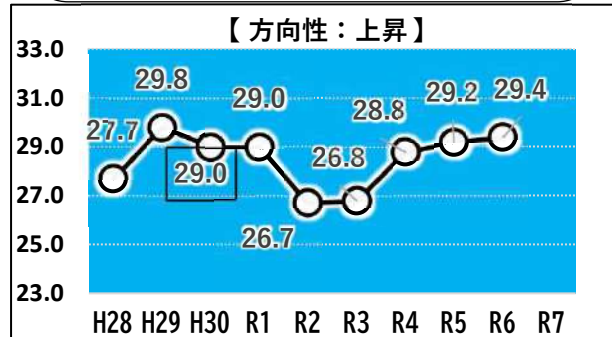
得点率 33.3% :

20点

15点

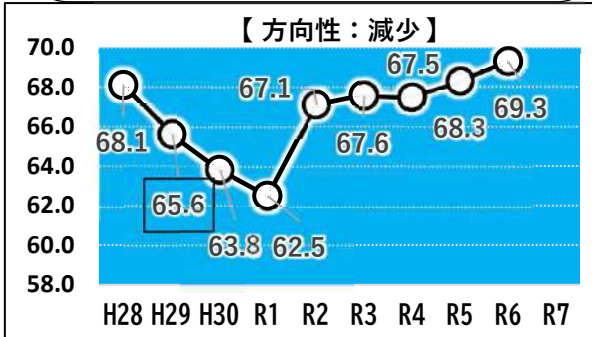
10点

【図1-2】 がん検診平均受診率
(%)



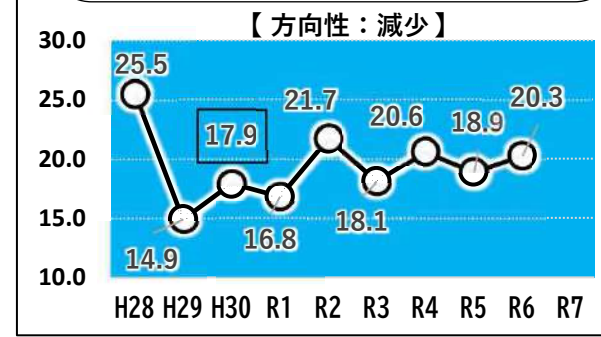
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】 糖尿病リスクが高い（HbA1c有
所見者）人の割合（%）



策定時以上・前年以上：0点

【図1-4】 10万人当たりの自殺死亡者数
(人/10万人)



策定時以上・前年以上：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

市民の主体的な健康づくりに向け、生活習慣病予防などに関するパネル展の開催、LINEによる健康体操動画を配信、歩数計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進、スマートライフプロジェクトへの企業・団体の登録・加入促進など様々な取り組みを進めましたが、「健康とと思っている市民の割合【図1-1】」は、前年より若干上昇したものの、目標値に及びませんでした。

今後は、企業や団体との関わりを増やし、より多くの市民の目に触れるような周知啓発に取り組むほか、医療機関との連携を強化し、市民の健康づくりを進めるための環境を充実していく必要があると考えます。

健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活や運動習慣に関する周知啓発のほか、保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組みましたが、「糖尿病リスクが高い（HbA1c有所見者）人の割合【図1-3】」は増加しています。

今後も、有所見者の推移を注視しながら、公開講座やパネル展など幅広い市民に対する普及啓発に取り組むほか、健診結果から対象となる方への講座や個別面接、未利用の場合の再勧奨などを通し、生活習慣の改善や糖尿病の発症・重症化予防につなげていく必要があります。

また、ピンクリボン運動をはじめ、医療機関や市内のイベントにおいて、がんに対する正しい知識の周知啓発に積極的に取り組んだことで、「がん検診平均受診率【図1-2】」は上昇しています。今後も医療機関や企業との連携による周知啓発を行うほか、全国健康保険協会（協会けんぽ）との連携により、受診率向上に向けた取り組みを進めていきます。

生きることの包括的支援の推進に向けた取り組みとして、相談窓口の周知啓発のほか、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成などの取り組みを継続しましたが、「10万人当たりの自殺死亡者数【図1-4】」は毎年の増減はあるものの、計画策定時からみると増加しています。自殺は、社会・経済情勢や、生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等と連携し、自殺予防につなげていくことが必要です。今後も、自殺対策計画に基づき、幅広い分野での取り組みを実施し生きることの包括的な支援として自殺対策に取り組めます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策2 笑顔でつなぐ、みんなの子育て ―子育て支援の充実―



目指す姿

地域全体で子育てを支え、安心して子どもを産み育て、子どもたちが健やかに成長しています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 90.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない支援のため、子育て情報のタイムリーな通知や子どもの成長記録を管理できる「子育てアプリおびモ」の運用のほか、子育て世代包括支援センターにおける相談対応や様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型の相談支援、経済的支援を一体的に実施。
- 地域で子育てを支えるため、ファミリーサポートセンター事業や地域子育て支援拠点事業、子育て応援事業所登録制度の周知などを実施。
- 妊娠や出産、育児に関する精神的・経済的不安の軽減を図るため、妊娠出産サポート事業を実施。
- 母子の健康増進と健康意識の向上を図るため、妊婦歯科健康診査を開始したほか、妊婦・乳幼児健康診査、出産・育児に関する情報提供や助言などを実施。
- 発達の遅れや障害のある児童とその家庭を支援するため、障害児通所支援の利用日数の上限を拡大したほか、発達支援センターやこども発達相談室の運営などを実施。
- 児童保育センターにおいて、保育ニーズが高まる夏季休業中の待機児童を解消するため、他校区の施設利用を許可する入所調整などを実施。
- 保護者の利便性向上と保育士の負担軽減を図るため、登降園確認や遅刻欠席の連絡をスマホで行える保育ICT「コードモン」を公立保育所全所に導入したほか、私立保育所等への同様のシステム導入に対する補助を実施（100%導入を達成）。
- 子どもたちの様々な体験活動や地域ぐるみでの子育てを推進するため、帯広市青少年育成者連絡協議会への支援を実施。
- 全ての子どもが安心して医療を受けられるよう、保護者の所得制限を撤廃し、対象者を中学生まで拡大した子ども医療費助成を実施。



幼児歯科健康診査の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲88.2% :

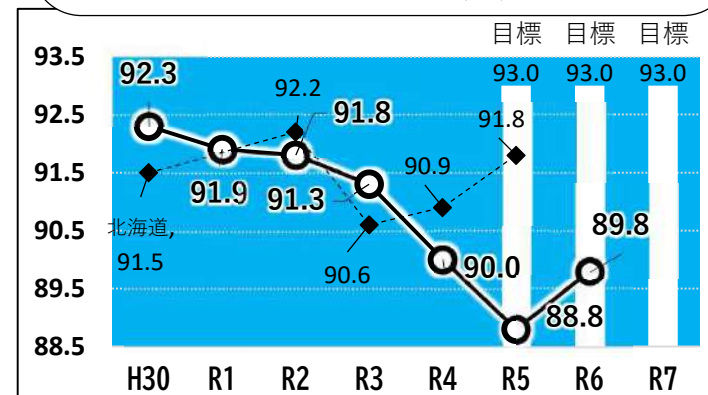
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
この地域で子育てをしたいと思う親の割合			↗
指標の考え方	市民による子育てボランティア活動や、企業等による子育てしやすい職場環境づくり、市による総合的な子育て支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	91.3%
		実績値 (R6)	89.8%
		目標値 (R6)	93.0%

【図1-1】この地域で子育てをしたいと思う親の割合（％）



【指標の動向・要因分析】

「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は89.8%であり、目標を達成しませんでした。

市では、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応を行っているほか、企業における育児休業の推進や親同士の交流を促進する地域子育て支援センター、会員相互による子育ての援助活動を行うファミリーサポートセンター事業など、地域全体で子育てを支える取り組みを進めているものの、子育てをする中で孤立や不安を感じ、悩んでいる人がいるものと捉えています。

今後は、子育て世帯をとりまく環境の変化などを踏まえながら、相談先の周知や相談体制の充実などにより、子育て世帯への切れ目のない支援を通じて、子育てしやすい環境づくりに取り組む必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

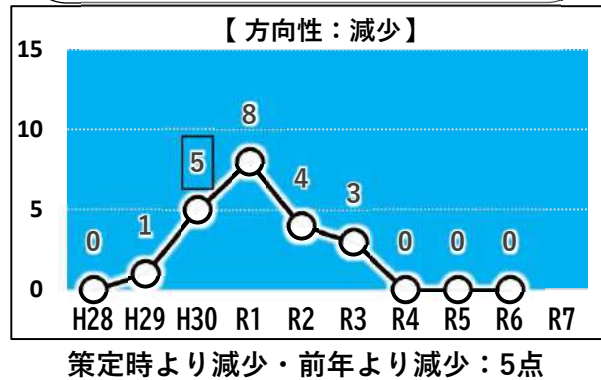
得点率 80.0% :

20点

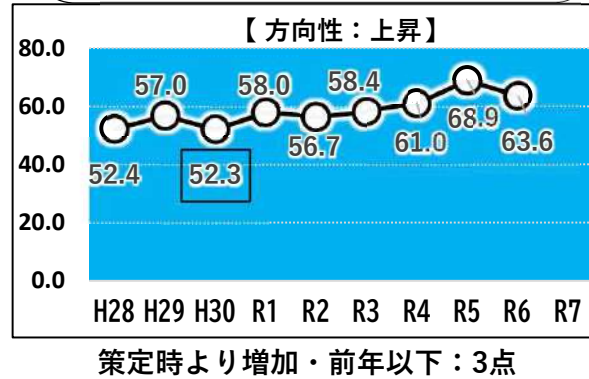
15点

10点

【図1-2】 4月1日時点の保育所等の
待機児童数（人）



【図1-3】 育児休業制を規定している事業
所の割合（%）



※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

市民や企業など地域全体で子育てを支える環境づくりに向け、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応、伴走型の支援の充実、地域の子育てに関する情報の発信、地域で子育て家庭を支えるファミリーサポートセンター事業などに取り組んでおり、同センターの会員数が増加するなど子育てを支える環境の裾野が広がっているものの、「この地域で子育てをしたいと思う親の割合【図1-1】」は目標に達していません。

今後は、妊娠期から出産・子育てに至るまでの様々な支援事業の認知度の向上や支援体制の充実を行い、地域で子育てを支える環境づくりにつなげます。

幼児教育・保育サービスの安定的な提供を図るため、入所調整や認可外保育施設を活用した待機児童対策を実施したことなどにより、「4月1日時点の保育所等の待機児童数【図1-2】」は、前年に引き続き0人を達成しました。今後も、共働き世帯の増加を背景とした保育ニーズの高い状況が続くと見込んでいることから、継続して受入体制の確保などに努めていく必要があります。

子育てをしながら働き続けることができる環境づくりを促進するため、市ホームページや事業所雇用実態調査を通じて子育て応援事業所の登録制度や促進奨励金制度の周知などに取り組んできており、「育児休業制を規定している事業所の割合【図1-3】」は前年より減少したものの、計画策定時より増加しています。依然として事業規模の小さい事業所ほど導入されていない傾向にあることから、今後も、企業などへの周知啓発を行うなど、子育てしやすい環境づくりを進めます。

青少年の健全育成を図るため、子ども会や学校などにおける地域のリーダーを養成するための研修会を実施したほか、誰もが気軽に楽しめる運動機会の提供を行いました。今後も、関係団体と協力し、引き続き魅力ある体験活動機会の提供を進めます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策3 たくさんの小さなおせっかいがある暮らし ―地域福祉の推進―



目指す姿

介護を必要とする高齢者や障害のある人など、日常生活において支援を必要とする人が、身近な人とのつながりや支え合いによって、社会から孤立せず、住み慣れた地域で安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 50.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 生活上様々な問題を抱えている地域住民への相談対応や関係機関等との連絡調整などを行うため、民生委員・児童委員の担い手の確保及び活動を支援。
- 住民相互の交流や親睦を図るため、地域交流サロンの活動を支援。
- 地域で支え合い活動等を行うボランティアの養成及び活動を支援。
- 判断能力が十分でない人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成を実施。
- 高齢者の健康保持や生活に関する相談など、日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、地域包括支援センターを運営。
- 高齢者や障害のある人などへの地域の見守り体制の強化のため、民間事業所や医療機関など多様な団体等の連携による、きづきネットワーク事業を推進。
- 複合的な困りごとや世帯全体の困りごとなど分野をまたぐ課題に対応するため、「ひきこもり支援ステーションゆっくりん」を開設するなど、地域福祉にかかる関係団体等との連携等による包括的な相談・調整を推進。



市民後見人養成研修の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲37.2% :

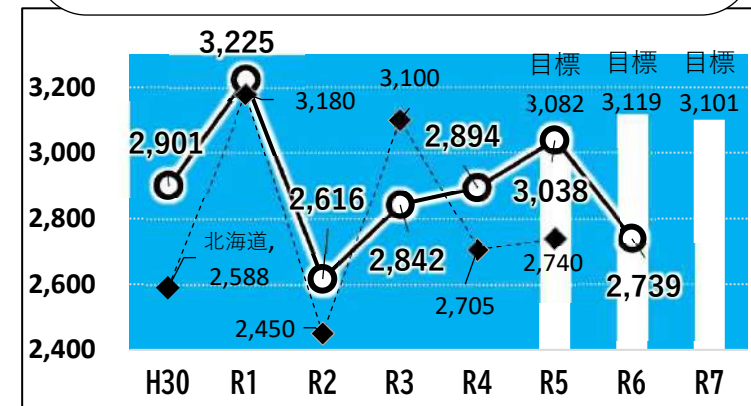
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりのボランティア登録者数			↗
指標の考え方	市民によるボランティア活動への参加や、市による福祉団体等への活動支援などにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	2,842人
		実績値 (R6)	2,739人
		目標値 (R6)	3,119人

【図1-1】10万人あたりのボランティア登録者数（人）



【指標の動向・要因分析】

地域活動等を行うボランティアとして帯広市社会福祉協議会に登録している「10万人あたりのボランティア登録者数」は2,739人であり、目標を達成しませんでした。

社会福祉協議会によるボランティアセンターの運営や人材の育成・確保に向けたボランティア養成講座などを支援してきたほか、ホームページや広報紙などで様々なボランティア活動の紹介を行っているものの、高齢化による担い手不足などにより解散したボランティア団体が複数あったことから、前年より減少しました。

今後は、ボランティア養成講座の開催方法や実施回数などの見直しを検討するとともに、ボランティア活動に係る普及啓発、参加の呼びかけ強化等を通じ、登録者数の増加を図り、地域での支え合いの仕組みづくりを促進していく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

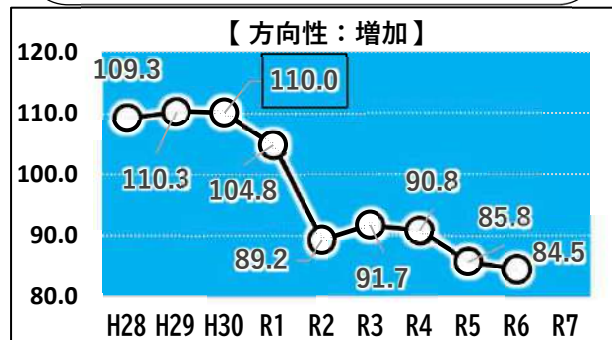
得点率 46.7% :

20点

15点

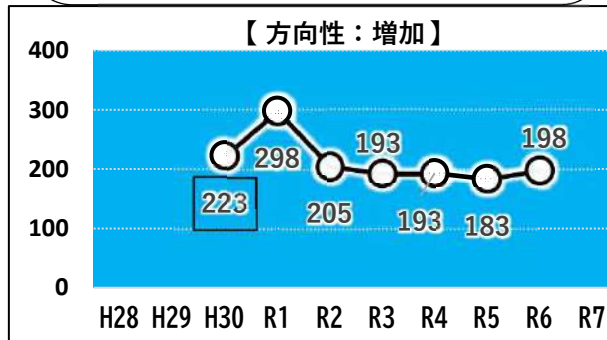
10点

【図1-2】 民生委員・児童委員 1人当たりの活動日数（日）



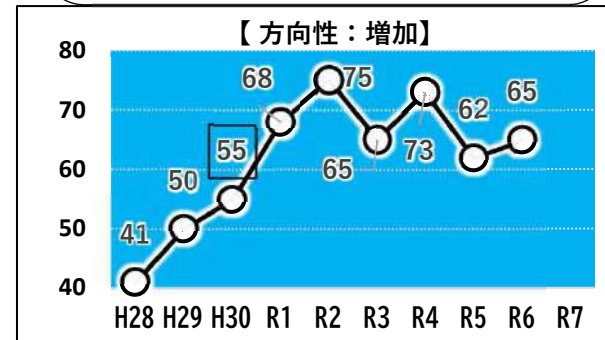
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 地域包括支援センターへの近隣住民等からの相談件数（件）



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-4】 法人後見支援員の登録者数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 60点 /100点〕

市民相互の支え合いの意識を高め、様々な問題を抱えている人への相談対応や見守り体制の強化などを行うため、民生委員・児童委員による相談支援や多様な団体と連携し「きづきネットワーク事業」を推進してきたほか、高齢者が日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援する「地域包括支援センター」の運営に取り組みました。また、令和6年度には、「ひきこもり支援ステーションゆっくりん」を開設し、相談支援や居場所づくりに取り組みました。

しかしながら、「地域包括支援センターへの近隣住民等からの相談件数【図1-3】」は近年、横ばいで推移しているほか、担い手の高齢化などを背景に「10万人あたりのボランティア登録者数【図1-1】」や「民生委員・児童委員1人当たりの活動日数【図1-2】」は、減少傾向にあります。

高齢化や核家族化の進行等を背景とした単身世帯の増加により、社会的に孤立し生活に様々な不安や悩みを抱えている人は、今後も、増加していくことが見込まれることから、引き続き、地域での見守り・支え合いの重要性の啓発や身近にある相談窓口の周知に取り組み、支援体制の強化を図る必要があります。

福祉団体などと連携した福祉活動の担い手の育成・確保のため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成などを進めたことで、「法人後見支援員の登録者数【図1-4】」は前年より増加しています。今後も、持続的な権利擁護を図っていくため、成年後見フォーラムを活用した市民周知や市民後見人養成講座の内容充実に取り組んでいきます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策4 ゴーっと生き活きと暮らす ―高齢者福祉の推進―



目指す姿

高齢者が、仕事や地域活動などを通して社会と関わりながら、必要な福祉サービスを安心して受けられ、住み慣れた地域で自分らしく生き活きと暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 71.4% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 高齢者及び介護する家族の不安解消などのため、ひとり暮らし高齢者、寝たきり・認知症高齢者登録のほか、各種サービスによる生活支援を実施。
- 高齢者の権利擁護のため、被虐待高齢者の保護と養護者に対する支援を実施。
- 高齢者が安心して生活できる環境を整備するため、グループホーム等の地域密着型サービス事業所の整備支援を実施。
- 高齢者の社会参加の促進のため、高齢者バス無料乗車証を発行。
- 高齢者の社会活動や生きがいの促進のため、老人クラブへの支援や学習機会を提供。
- 地域の見守り体制の構築のため、認知症の人を早期から支援するチームオレンジの活動の実施及び認知症高齢者等SOSネットワークの事前登録制開始に伴う行方不明高齢者捜索模擬訓練を実施。
- 高齢者の健康保持・増進や生活の安定のため、地域包括支援センターによる相談支援や権利擁護を実施。
- 生きがいや役割を持ちながら地域で元気に過ごすことができるよう、趣味活動や簡単な運動などを通じた介護予防を実施。
- 在宅医療と介護の連携を推進するため、医療機関やケアマネジャーとの体制づくりを支援。
- ひとり暮らし高齢者などの生活上のちょっとした困りごとを地域の助け合いにより支えていくため、掃除や買い物などを手助けする生活援助員や支え合いを日常生活の中で実践できる人を養成。
- 関係機関と連携し、企業とのマッチングによる就労機会を確保。



介護予防普及啓発



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 100.2% :

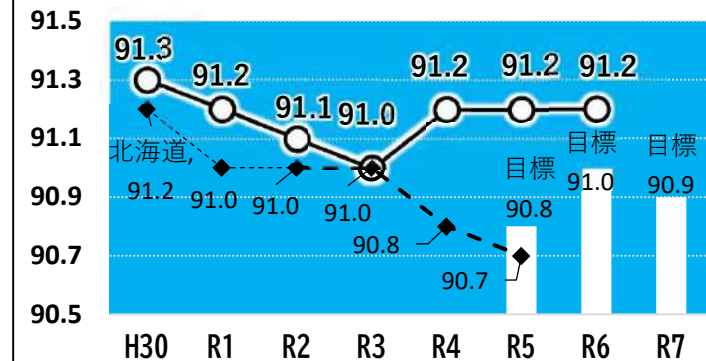
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合			→
指標の 考え方	高齢者による適度な運動やバランスのとれた食生活の実践などの健康増進の取り組みや、市による介護予防の取り組みの推進などにより、維持を目指します。	基準値 (R3)	91.0%
		実績値 (R6)	91.2%
		目標値 (R6)	91.0%

【図1-1】要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合（％）



【指標の動向・要因分析】

「要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合」は91.2%であり、目標を達成しました。

日常生活の自立に向けた介護サービスの提供や地域包括支援センター・介護事業所による介護予防の取り組みの実施により、介護予防教室への参加や自主的な軽運動の実践などが進み、介護の重度化の抑制につながっているものと考えます。

今後も、関係機関等と連携し、介護予防の普及啓発や活動支援、社会参加の促進などに取り組めます。



III 関連データの状況

得点率 80.0% :

20点

15点

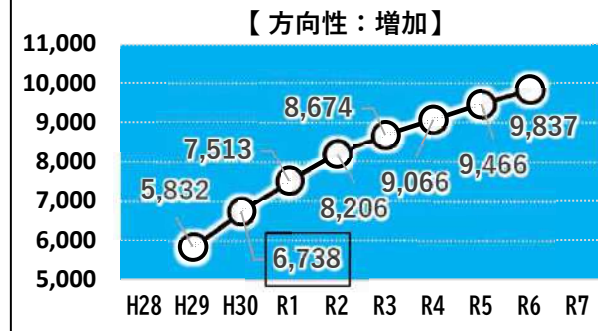
10点

【図1-2】地域の支え合いを推進する協議体の実施回数（回）



策定時より増加・前年以下：3点

【図1-3】雇用保険の高年齢被保険者の年平均数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

高齢者の生活支援に向け、ひとり暮らし高齢者などへの生活支援や地域密着型サービス事業所等の整備支援、介護予防サービスの提供のほか、地域包括支援センターでの個別ケア会議の開催などに取り組み、地域での支援ネットワークの強化や生活支援が必要な人に対する適切なサービス提供につながっています。

ちょっとした支え合いサポーターを中心に生活支援の課題を地域住民で共有し、実践につなげる「地域の支え合いを推進する協議体の実施回数【図1-2】」は、地域のニーズの変化等により、協議体としての活動が一部終了し、設置数が減少したことに伴い、前年より減少しています。

少子高齢化は今後も進んでいくことが見込まれており、高齢者等の生活支援ニーズが拡大していくことから、引き続き、日常生活上の課題を地域の支え合いで解決する仕組み作りを進めていく必要があります。

高齢者の社会参加の促進に向け、「高齢者おでかけサポートバス事業」による外出支援、老人クラブ活動等への支援、簡単な運動などを通じた介護予防事業、掃除や買い物などを手助けする生活援助員の養成などに取り組んだほか、関係機関と連携し、企業とのマッチングによる就労機会を確保することなどにより、「雇用保険の高齢者被保険者の年平均数【図1-3】」の増加につながっています。今後も、高齢者の地域活動への参加促進や就労促進に向け取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策5 個性はみんなのたからもの ―障害者福祉の推進―



目指す姿

障害に対する市民理解が深まり、障害のある人が地域社会の一員として、安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 86.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 障害や障害のある人への理解が深まるよう、市民活動プラザ六中での地域住民との交流など各種事業を通じた交流や普及啓発を促進。
- 権利擁護や虐待・差別防止のため、関係機関の連携による早期対応の取り組みと周知啓発を実施。
- 支援に携わる関係者間の情報共有や連携強化、人材の育成に係る検討を進めるため、帯広市地域自立支援協議会の開催及び研修等を実施。
- 緊急の事態等に必要なサービス提供体制の拡大など、地域生活支援拠点等の充実。
- 障害のある人やその家族が安心して暮らせるよう、相談支援や意思疎通を円滑化するためのコミュニケーション支援事業を実施。
- 地域における自立生活の促進のため、障害福祉サービスの提供や自立支援医療等を給付。
- 希望や特性に応じて働ける環境を整備し就労を促進するため、就労支援事業所への研修や企業に対する障害者雇用の啓発活動を実施。
- 障害のある人の自立や社会参加を促進するため、身体機能の回復・強化を図るトレーニングや日中活動の機会を提供する障害者生活支援センターを運営。



帯広市地域自立支援協議会の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 36.7% :

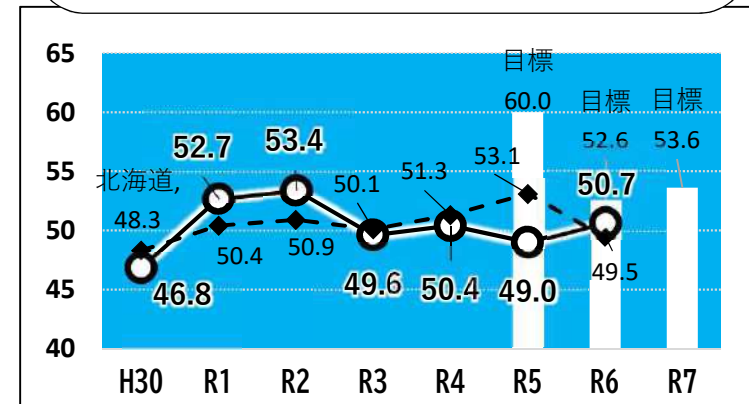
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
障害者雇用率を達成した企業の割合			↗
指標の考え方	民間企業等による障害のある人が能力を発揮しやすい雇用・職場環境づくりなどの取り組みや、市による就労支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	49.6%
		実績値 (R6)	50.7%
		目標値 (R6)	52.6%

【図1-1】 障害者雇用率を達成した企業の割合 (%)



【指標の動向・要因分析】

「障害者雇用率を達成した企業の割合」は50.7%であり、前年を上回りましたが、目標を達成しませんでした。

職場体験実習や就労移行・継続支援事業等を通じた相談対応・研修など、障害のある人の就労意欲向上や職場定着に向けた取り組みを進めてきたほか、企業における障害者雇用の理解促進に向け、企業訪問や障害者雇用の事例集の作成、関係機関との連携強化などにも取り組んでおり、法定雇用率を達成した企業数は増加しています。

しかしながら、令和6年度に民間企業における障害者の法定雇用率が2.3%から2.5%に引き上げられたことに伴い、対象企業の範囲がさらに拡大し、これまで障害者雇用の経験がない企業では雇用が進まなかったことから、達成割合は目標値まで至っていない状況です。

一般企業において、障害のある人に対する理解が十分に浸透していない状況を背景に、雇用後の職場定着に向けた支援や障害のある人を雇用する企業の拡大が進んでいないこと、就労支援事業所における一般就労への移行を見据えた支援が不足していることが要因と考えます。

今後も、関係機関と連携し、企業側の障害のある人の受入れに向けた環境づくりを促進するほか、就労支援事業所の支援員のスキル向上に向けた働きかけなどを通し、障害のある人が能力を発揮しやすい雇用・職場環境づくりにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

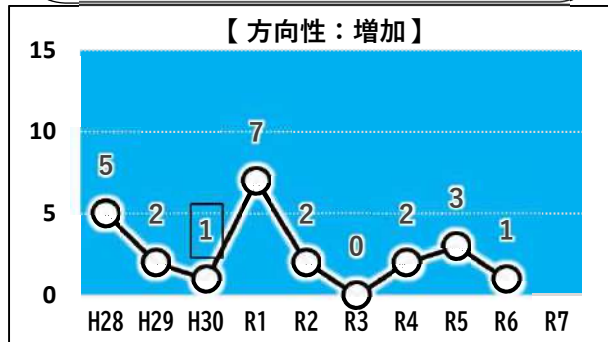
得点率 20.0% :

20点

15点

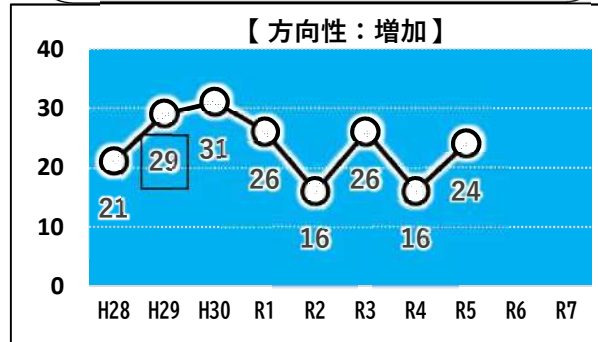
10点

【図1-2】施設入所者の地域生活
移行者数（人）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】福祉施設から一般就労への
移行者数（人）



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

障害の特性など、障害のある人の理解促進に向け、出前講座やおびひろ市民学における手話講座の開催、障害者週間記念事業の実施、ヘルプマークの配布などに取り組みました。また、改正障害者差別解消法の施行により、令和6年度からは民間企業においても障害のある人への合理的配慮が義務化されたため、SNS等を活用した効果的な情報発信や制度の周知に加え、帯広市地域自立支援協議会の権利擁護部会において、問題意識の共有や課題解決に向けた協議を行いました。今後も、障害のある人が社会参加できる機会を創出するなど、誰もが地域社会の一員として共生するまちづくりを進めていきます。

障害のある人が安心して暮らせる地域社会の構築に向け、相談支援や生活介護・短期入所など障害福祉サービスを提供するとともに、圏域相談支援事業所を活用した相談機能の充実を図りました。近年では、グループホームや短期入所、日中活動系サービスの事業所など、障害特性に応じたサービスを提供できる事業所が増えており、施設入所だけでなく地域で暮らすための選択肢が徐々に広がってきていますが、「施設入所者の地域生活移行者数【図1-2】」は前年より減少し、1人となっています。

今後は地域で暮らす障害のある人のさらなる支援体制の充実を図るほか、施設入所者数が前年に比べ微増していることを踏まえ、地域移行をより進めて行くために、支援ニーズの把握に努めていく必要があります。

障害のある人への就労支援については、企業に対する障害者雇用の啓発活動等に継続して取り組んできたことで、「福祉施設から一般就労への移行者数【図1-3】」は前年より増加しました。今後も引き続き、企業訪問やマッチングの成功事例の周知などを通じた企業における障害者雇用や定着支援への理解促進、就労支援事業所支援員のスキル向上に向けた働きかけなどを通し、一般就労につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策 6 医療を身近に安心な暮らしをつくる – 医療体制の安定的確保 –



目指す姿

十勝圏全体で連携し、安心して医療を受けることのできる医療体制が確保され、市民の健康が守られています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域医療体制の安定化を図るため、看護師等の養成機関への支援により、医療に従事する人材を確保。
- 帯広市休日夜間急病センターの運営により、夜間、休日でも受診可能な医療体制を確保。
- 二次救急や三次救急に係る体制の構築のため、医療機関や関係機関と連携するとともに、帯広厚生病院をはじめとする関係医療機関へ十勝全体で運営費を支援。



帯広市休日夜間急病センター



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 219.3% :

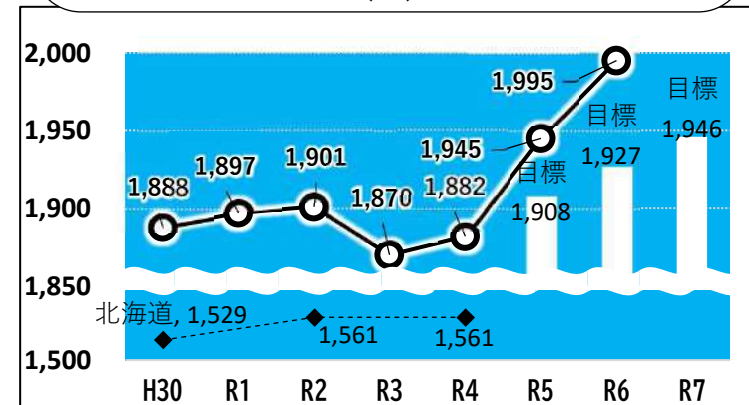
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
10万人あたりの看護師就業者数			↗
指標の考え方	医療機関等による看護師等の雇用・職場環境づくりの取り組みや、市による看護師養成機関への支援などにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	1,870人
		実績値 (R6)	1,995人
		目標値 (R6)	1,927人

【図1-1】 10万人あたりの看護師就業者数 (人)



【指標の動向・要因分析】

「10万人あたりの看護師就業者数」は1,995人であり、目標値を達成し、順調に進捗しています。

市内看護学校による看護師養成のほか、看護学生に対する地域内の就労先に関する情報提供により、看護師等の市内定着率が増加したものと考えます。

今後も、高齢化の進行に伴う医療需要の増加に伴い、看護師等の医療に従事する人材不足が見込まれることから、引き続き関係機関と連携しながら看護師の養成や管外へ進学した卒業生への働きかけなどを通し、看護師の確保に努めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

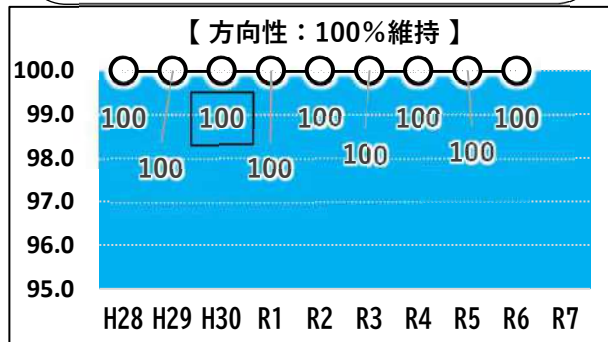
得点率 100.0% :

20点

15点

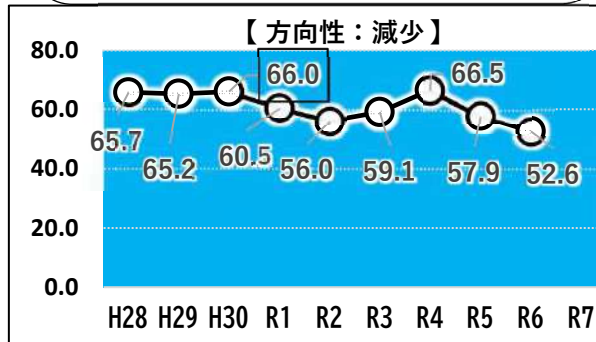
10点

【図1-2】 初期救急医療の対応可能日数の割合 (%)



基準以上：3点

【図1-3】 救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合 (%)



策定時より減少・前年より減少：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 100点 /100点〕

看護師の確保に向け、市内看護学校による看護師養成や管内就労先の情報提供などに取り組み、看護師等の市内定着率が66.7%と前年より増加したほか、「10万人あたりの看護師就業者数【図1-1】」の増加にもつながったと考えます。

帯広市医師会看護専門学校においては、地域の特色や課題に連動させた人材育成が進められており、こうした取り組みへの支援を通し、地元養成・地元就職の意識の醸成を図り、地域における看護師確保につなげていく必要があります。

十勝圏域全体の救急医療体制を確保するため、休日夜間急病センターの運営をはじめ、町村や関係機関と連携した在宅当番医制など夜間・休日の救急体制を整備し、「初期救急医療の対応可能日数の割合【図1-2】」は、100%を維持しています。また、広報紙やホームページにおける適切な救急医療の利用についての周知や、帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供などにより、救急医療の適切な利用が図られたことで、「救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合【図1-3】」は減少しました。今後も、医療機関や関係機関と連携しながら、救急医療体制を確保していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の推進状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策 7 誰もが安心できる暮らしの支えになる－社会保障制度の持続性の確保－



目指す姿

国民健康保険や介護保険、生活保護などの社会保障制度の持続性が確保され、市民が安心して暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 95.2% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 国民健康保険の医療費の適正化を図るため、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導を実施。
- 疾病の早期発見・重症化予防や生活習慣改善に関する市民の理解促進のため、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導を実施。
- 介護保険制度の安定的な運営と介護サービス利用者へのサービス向上のため、要介護認定や介護報酬請求の適正化のほか、低所得者の利用料負担を軽減。
- 保護を必要とする人の早期把握や被保護者に対する制度の適切な運用、就労支援などを通じた自立支援を実施。
- 保護に至る前の生活困窮者対策として、自立相談支援や子供の学習支援、住居確保給付金の支給など、生活全般にわたる包括的な支援を実施。



特定保健指導の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 114.3% :

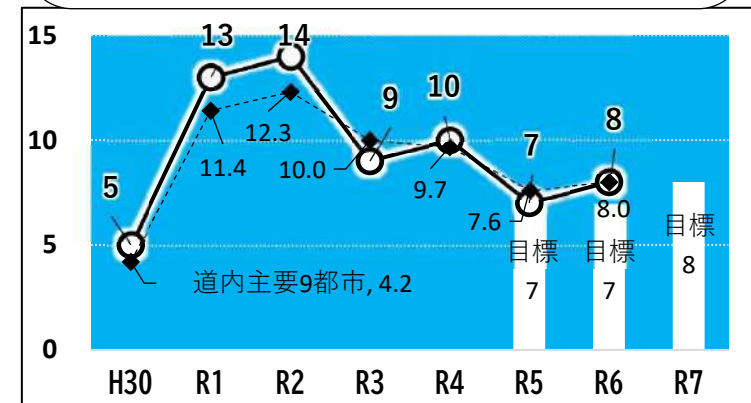
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
介護保険運営の安定化に資する取組項目数			↗
指標の考え方	市民が介護保険制度に対する理解を深め、市によるケアプランの点検や介護人材の確保に関する取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	7項目
		実績値 (R6)	8項目
		目標値 (R6)	7項目

【図1-1】 介護保険運営の安定化に資する取組項目数（項目）



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「介護保険運営の安定化に資する取組項目数」は8項目であり、目標を達成しました。

市では介護保険制度の安定的な運営につなげるため、国が示す取組項目である、ケアプランの点検やケアマネジャーの給付適正化に資する研修会の実施、介護士定着支援研修会の開催などを着実に実施してきており、目標の達成につながったものと考えます。

今後も、高齢者人口の増加が見込まれることから、引き続き、介護保険制度のより安定した運営に向け、介護給付の適正化や介護人材の確保に向けた取り組みを進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

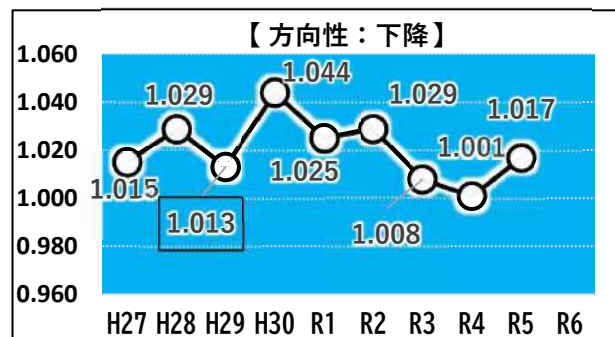
得点率 0.0% :

20点

15点

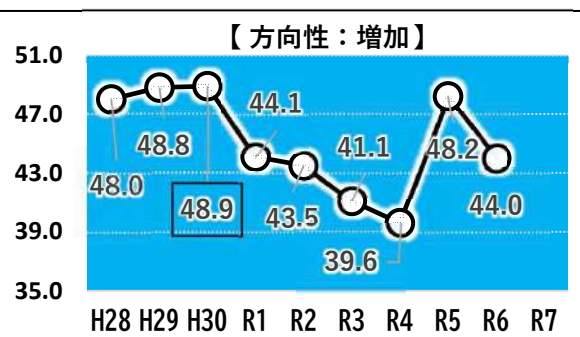
10点

【図1-2】医療費の地域差指数
(全国平均=1.000)



策定時以上・前年以上：0点

【図1-3】稼働可能な被保護者に対する就
労者の占める割合（%）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

国民健康保険制度については、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導のほか、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導などを行ってきていますが、一人当たりの医療費の全国との差を示す「医療費の地域差指数【図1-2】」は前年より増加し、計画策定時をわずかに上回る状況となりました。今後も、医療費の適正化や疾病の早期発見・重症化予防に向けた取り組みを進め、制度の健全な運営につなげていく必要があります。

介護保険制度については、給付費の適正化に向けたケアプランの点検やケアマネジャーを対象とした研修会の実施のほか、「介護士定着支援研修会」の開催などによる介護人材確保・育成に取り組んだことで、「介護保険運営の安定化に資する取組項目数【図1-1】」は目標を達成しています。引き続き、介護保険制度のより安定した運営に向け、介護給付の適正化や介護人材の確保に向けた取り組みを進めていきます。

生活保護制度については、生活保護に至る前の相談支援に加え、自立支援プログラムの実施、ハローワークや委託先事業所と連携した就労支援など被保護者の自立を助長する取り組みを進めてきましたが、「稼働可能な被保護者に対する就労者の占める割合【図1-3】」は、前年や計画策定時より下回る状況となっています。今後は関係機関等と連携を強化し、被保護者個々の置かれている状況や能力に応じた就労につながるよう、適切に支援を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策8 世界に冠たる十勝農業を創る ― 農林業の振興 ―



目指す姿

農業者や関係機関等による生産性や収益性向上に向けたチャレンジが続けられ、競争力の高い農業が展開されています。



事務事業の進捗状況

進捗率 91.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 農業経営の高度化・安定化の実現や優れた経営能力を持つ担い手の育成・確保を図るため、農業者向け研修会や農林業育成資金の貸付などを実施。
- 環境負荷を低減するため、クリーン農業技術の情報提供や環境保全に取り組む農業者への支援を実施。
- 経営規模の拡大や農業従事者の不足への対応、労働負担軽減等のため、ロボット技術や情報通信技術（ICT）などの先端的な技術の導入を支援。
- 安全・安心で良質な農畜産物の生産のため、国際水準GAPに関する資料の配布のほか、病害虫への抵抗性や環境適応の高い新品種などの導入を支援。
- 畜産経営の安定化や和牛生産の普及を図るため、とちぎ帯広和牛生産改良組合の活動を支援。
- 十勝農業の魅力向上や理解促進を図るため、ホームページでの情報発信のほか、食育推進サポーターによる食育講座や農業体験機会の提供などを実施。
- 農業生産体制の強化を図るため、かんがい排水施設の整備のほか、土層改良などの生産基盤整備や保全管理を実施。
- 農村地域の活性化を図るため、農業センターの維持管理のほか、農道や明渠の草刈り・補修等、地域における共同活動への支援を実施。
- 森林の多面的機能の維持増進を図るため、市有林の適切な維持・管理のほか、森林経営計画作成支援などによる私有林所有者の森林整備の促進や担い手の育成等を実施。
- ばんえい競馬を安定的に運営するため、生産者への奨励金の支給や競馬の公正確保、全国の公営競技ファンに向けた情報発信、勝馬投票券の発売日数や発売所の維持の取り組みのほか、ばん馬との触れ合い機会を通じたPR活動を実施。



ロボットトラクターによる
協調作業の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 101.6% :

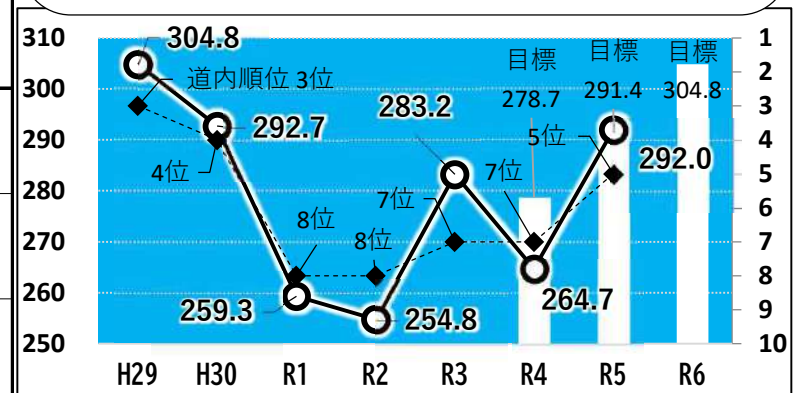
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
農業産出額（農林水産省推計値）			↑
指標の考え方	市と農業者・農業団体などが連携しながら、収益性向上や担い手育成の取り組みなどを進めることにより、増加を目指します。	基準値 (R2)	254.8億円
		実績値 (R5)	292.0億円
		目標値 (R5)	291.4億円

【図1-1】 農業産出額（農林水産省推計値）
（億円）



【指標の動向・要因分析】

「農業産出額（農林水産省推計値）」は292.0億円であり、目標値を達成し、順調に進捗しています。

市では、生産基盤整備の促進や先端的な技術及び農業機械の導入支援、環境保全型農業の推進、農業団体との連携による黒毛和牛の生産振興、農業者向け研修会の開催などに取り組んできており、目標達成につながったものと考えます。

また、市が生産者団体等から聴取した数値をもとに推計した農業算出額（R4：330億円→R5：354億円）は、過去最高となっています。

今後も、農業団体・農業者との連携のもと、先端的な技術のさらなる導入促進や長いもをはじめとした高収益作物の品質向上などを通し、効率的で収益性の高い農業振興や農業の担い手育成・確保に取り組んでいく必要があります。

※（参考）農業産出額は道内全自治体中5位、全国で38位となっているほか、部門別では長いもが全国1位、麦類、ばれいしょが全国2位、豆類、てん菜が全国3位などとなっており、上位に位置しています。



Ⅲ 関連データの状況

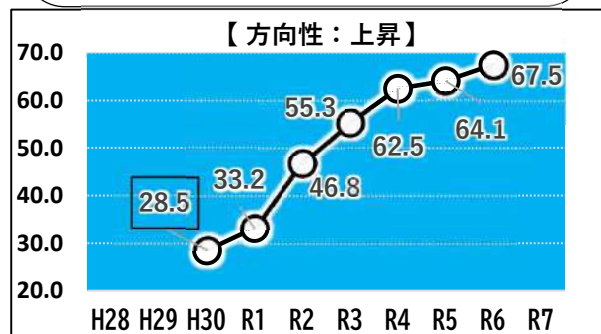
得点率 66.7% :

20点

15点

10点

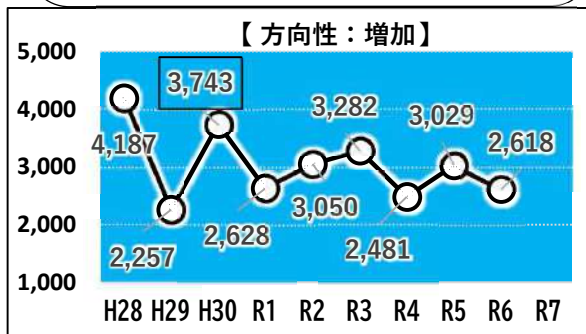
【図1-2】スマート農業普及率(※)
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

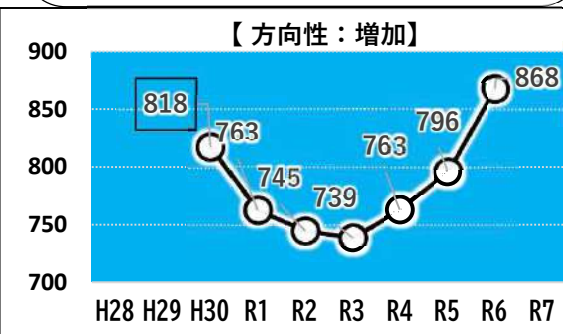
※スマート農業普及率＝
(GPS基地局利用農家数＋
搾乳ロボット等導入農家数)／全農家数

【図1-3】農畜産物輸出力
(t)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】直近5年間の森林整備面積
(ha)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 95点 /100点〕

生産性や収益性の向上に向け、農業基盤整備や担い手の育成、資金貸付等を通じた先端的な技術の導入支援などに取り組んできており、「農業産出額【図1-1】」の増加、「スマート農業普及率【図1-2】」の上昇につながったものと考えます。

一方、「農畜産物輸出量【図1-3】」は、国内の販売価格維持のため、輸出の大部分を占める長いもの国内外への出荷量を需給調整したことなどにより、輸出量が減少したため、前年を下回っています。今後も、関係団体との協力のもと、主力品である長いものの品質向上や収量増加などの生産体制の強化を図り、販売価格の安定と輸出量の増加につなげていく必要があります。

農業への理解促進に向け、市管理施設における農業体験機会の提供や学校教育と連携した食育の推進などに取り組んできたことで、多くの市民が農業体験学習に参加し、イベント開催時に実施したアンケートでは、食育に関心を持っていると答えた市民の割合は前年から増加しました。今後も、学校や関係団体等と連携し、農業技術センター食育展示圃場や帯広の森サラダ館の学童農園を利用した農業体験学習、農産物直売所の支援などに取り組み、市民の農業への関心を高めていく必要があります。

森林の適正な管理・保全に向け、森林経営計画作成支援などによる私有林の整備促進のほか、造林や間伐など、市有林の適切な維持・管理に取り組んできたことで、森林所有者の負担軽減や作業員の雇用確保のほか、森林資源の有効活用が進みました。また、北海道からの補助金配分が前年比で増加したことなどにより、「直近5年間の森林整備面積【図1-4】」も増加しました。今後も、市有林の計画的な施業や私有林所有者に対する森林環境譲与税を活用した施業支援などを進め、整備の促進につなげていく必要があります。

ばんえい競馬の安定した運営に向け、生産者への支援やばんえい競馬の魅力の発信、勝馬投票券の発売額増加に向けた取り組みなどを進めてきたことにより、インターネット投票での売上を中心に発売額の増加につながっています。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策9 「とかちのかち」を創り続ける ―地域産業の活性化―



目指す姿

地域資源や人材等を活かし、市場ニーズを捉えた商品やサービス等が創出・提供され、産業の活性化や雇用の拡大につながっています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 72.2% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地場産品の付加価値向上を図るため、包括連携企業と地元企業の協業による商品開発支援のほか、農業団体・研究機関や域外事業者へのニーズ調査など、6次産業化の推進に向けた取り組みを実施。
- 地元企業の製品開発や販路拡大を促進するため、知的財産・技術に関する相談や資金面での支援から指導・助言に至るまでの総合的なものづくり支援、展示会等への出展支援を実施。
- 地元企業の経営基盤強化のため、経営相談や制度融資を実施。
- 商店街の活性化を図るため、商店街が主体となって取り組む提案事業への支援を実施。
- 企業立地を促進するため、企業訪問活動による情報収集や立地企業が行う設備投資への支援を実施。
- 地域の経済発展に貢献する人材を育成するため、帯広畜産大学などと連携し、フードバレーとかち人材育成事業等を実施したほか、学び直しの環境づくりとして、とかち熱中小学校の取り組みへの支援を実施。
- 新事業の創発を促すため、産学官連携による人材育成や事業構想づくり、事業化までの伴走型支援等、総合的に支援を実施。
- 勤労者が安心して働ける環境づくりのため、事業所雇用実態調査や労働相談のほか、子育て応援事業所への奨励金の給付、とかち勤労者共済センターの運営支援を実施。
- 求職者の状況に応じた多様な就職機会の確保のため、域外人材と地元企業のマッチングや高齢者の就労支援、通年雇用化に向けた能力開発支援を実施。
- 輸出の促進やインバウンドを獲得するため、商談会の開催支援や空港の利用促進に向けたプロモーション活動を実施。



新たな事業構想を生み出す
「とかち・イノベーション・プログラム」



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲63.2% :

40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
北海道内主要都市※に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合			↑
指標の考え方	市や関係団体等による経営基盤の強化や、事業者等による商品・サービスの開発・提供など地域の価値を高める取り組みにより、上昇を目指します。	基準値 (R2)	4.36%
		実績値 (R5)	4.12%
		目標値 (R5)	4.74%

※2018年時点における人口10万人以上の都市

【図1-1】北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合（％）



【指標の動向・要因分析】

「北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合」は4.12％であり、目標を達成しませんでした。

前年と比べて、道内主要都市に占める帯広市の割合は、0.08ポイント低下したほか、法人市民税賦課金額自体も、物価高騰における企業経営の圧迫や保険業種における収益悪化等の影響により、減少しています。

今後も、関係機関と連携しながら、地元企業の事業継続を支援するほか、設備投資に対する助成などを通じた企業立地や域外人材との協業などを通じた顧客ニーズの高い商品の開発、販路の拡大を支援し、地元企業の経営基盤の強化につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

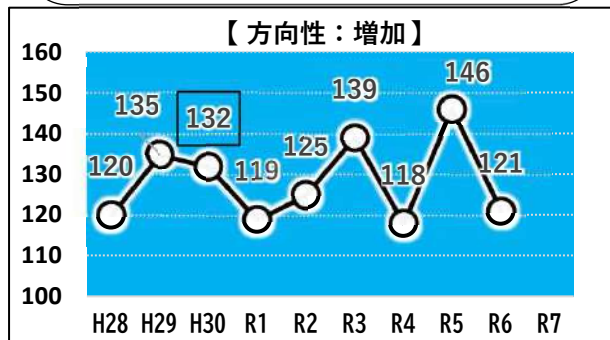
得点率 53.3% :

20点

15点

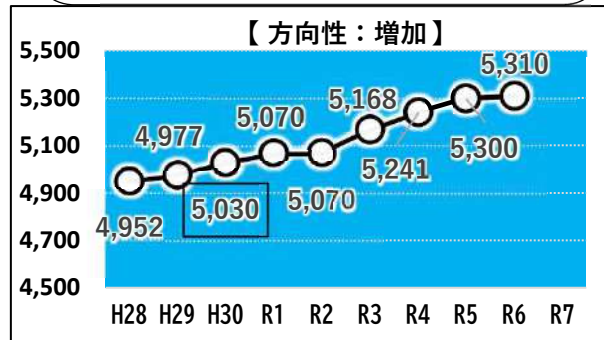
10点

【図1-2】創業・起業件数
(件)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】法人市民税賦課法人数
(件)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-4】雇用保険被保険者数
(人)



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

地域の農林水産物の付加価値向上に向け、包括連携企業と連携した商品開発支援に取り組み、複数企業における新たな乳製品の開発を後押ししたほか、十勝産品を活用したスイーツなどについて開発から首都圏やE Cサイトでの販路拡大までの一連の取り組みを支援しました。今後も、生産者や企業、試験研究機関等と連携し、農林水産物の高付加価値化に向けた取り組みを推進していく必要があります。

「創業・起業件数【図1-2】」は、前年と比べて、減少しているものの、創業・起業の促進に向け、関係機関と連携し、総合的な事業創発支援などを進めてきたことで、新たな法人の設立や事業の創出につながっています。今後も、さらなる事業創発に向け、事業の周知を強化することにより、起業候補者の裾野拡大につなげていく必要があります。

中小企業の経営基盤の強化に向け、経営に関する相談対応や制度融資などに取り組んだことにより、「法人市民税賦課法人数【図1-3】」は、平成28年度以降の年の最高値となっています。今後も、関係機関と連携しながら、きめ細かな相談対応や各種制度の周知の強化などを通し、中小企業の経営基盤強化につなげていく必要があります。

生き生きと安心して働ける雇用環境の確保に向け、多様な人材と地元企業とのマッチングや通年雇用化の促進、働きやすい職場環境づくりを進めてきたことで、移住者・高齢者の地元企業への就職が着実に進んでいます。一方、「雇用保険被保険者数【図1-4】」は、前年と比べて減少していることから、今後も、雇用確保に向けた取り組みの周知を行い、雇用の定着を図っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策10 アウトドアの聖地にする ―観光の振興―



目指す姿

食や農業、自然などの地域資源を活かした、この地域ならではのアクティビティやイベントなどを求め、国内外から多くの人が訪れ、滞在することで、にぎわいが生まれています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 50.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域資源を活かした体験・滞在型観光を推進するため、アクティビティや文化体験を組み合わせたツアーの造成、日高山脈襟裳十勝国立公園に指定されたことを契機とした新たな観光コンテンツの開発などを実施。
- にぎわい創出や交流人口の拡大を図るため、三大まつり等各種イベントの開催支援を実施。
- 市内観光入込客数の拡大を図るため、地域の魅力を活かした観光誘致活動、大会・合宿・コンベンションの誘致活動を実施。
- 外国人観光客の都市間周遊を促すため、道内他地域と連携したメディアプロモーションを実施。
- 観光客の利便性向上や受け入れ環境の充実を図るため、観光施設等の適切な管理運営や観光関連団体への支援、中心市街地へのWi-Fiスポットの維持管理の支援などを実施。
- とちち帯広空港の利用促進を図るため、関係機関と連携したプロモーション活動等を実施。＜再掲：施策11＞



訪日外国人旅行者（チャーター便）の歓迎



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 39.7% :

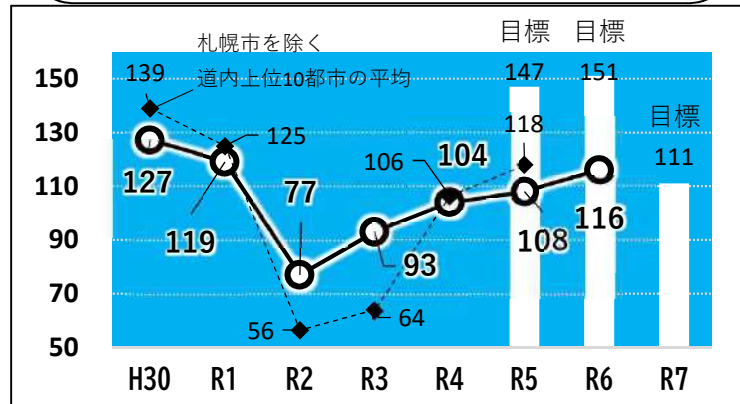
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
宿泊客延べ数			↗
指標の考え方	市や関係団体等による魅力ある観光情報の発信や、観光コンテンツの開発・提供などにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	93万人泊
		実績値 (R6)	116万人泊
		目標値 (R6)	151万人泊

【図1-1】宿泊客延べ数
(万人泊)



【指標の動向・要因分析】

「宿泊客延べ数」は116万人泊であり、目標を達成しませんでした。

自然や食など、地域の魅力を活かした観光コンテンツの開発を行ったほか、訪日外国人旅行者の誘客促進に向け、観光関係団体と連携したプロモーション活動や道内他地域と連携した広域観光に取り組んできたことで、目標値には及ばないものの、国内からの宿泊客延べ数が着実に増加しているほか、訪日外国人宿泊客延べ数も、前年から5割増加していることから、着実に効果が現れてきていると考えます。

今後は、日本国内におけるインバウンド需要の高まりを捉え、訪日外国人旅行者をさらに十勝へ誘客するため、開発した観光コンテンツの充実を図るほか、空港運営者など関係団体と連携し、国際定期便の定着化に向けた取り組みや航空会社・旅行会社へのプロモーション活動、多言語対応等の受け入れ環境の整備に取り組む必要があるものと考えます。



Ⅲ 関連データの状況

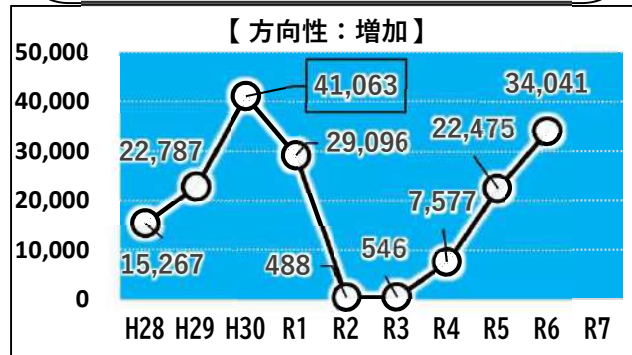
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】 訪日外国人宿泊客延べ数
(人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 60点 /100点〕

新たな観光客の誘客を図るため、アクティビティを通じて自然・文化を体験するアドベンチャートラベルの推進や日高山脈襟裳十勝国立公園に指定されたことを契機とした新たな観光コンテンツの開発などに取り組んできました。

また、十勝におけるインバウンド誘客を促進するため、事業者や関係機関等と連携しながら、とかち帯広空港における国際定期便の就航に向けたプロモーション活動に取り組んできたほか、中心市街地等のWi-Fiスポットの維持管理や観光情報発信拠点の運営、海外インフルエンサーを通じた情報発信などを進めてきました。

目標値には及ばないものの、「宿泊客延べ数【図1-1】」は、近年、増加傾向で推移しており、とりわけ「訪日外国人宿泊客延べ数【図1-2】」については、前年から5割増となっていることから、着実に効果が現れてきていると考えます。

今後は、インバウンド重要がさらに高まることが見込まれるため、関係機関と連携し、これまでに造成してきたツアーの販路拡大に向け、効果的なプロモーション活動に取り組むほか、受入環境の充実や効果的な情報発信に取り組むことで、新たな観光客の誘客につなげていく必要があると考えます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策11 つなげて広げるビジネスチャンス ― 広域交通ネットワークの充実 ―



目指す姿

広域交通ネットワークの充実が図られ、人やモノなどが活発に行き交い、にぎわいと活力にあふれています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- とちか帯広空港の利用促進を図るため、関係団体と連携したプロモーション活動等を実施。
- 空港機能の維持向上などのため、エプロン照明灯LED化工事や車両基地・電源局舎更新工事の支援を実施。
- 北海道エアポート(株)の空港運営に対するモニタリングを実施。
- 広域的な交通ネットワークの形成を図るため、高規格道路帯広・広尾自動車道早期建設促進期成会等を通じた高規格道路の整備に関する要望活動を実施。
- 鉄道輸送の利便性の向上を図るため、北海道高速鉄道開発株式会社を通じたJR石勝線・根室本線の高速化等の促進のほか、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道に対する鉄道網の維持等に関する要望活動を実施。
- 十勝港の港湾機能の整備や利活用を促進するため、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道等に対する要望活動を実施。



航空会社・空港運営者等と連携した
海外プロモーション



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 60.3% :

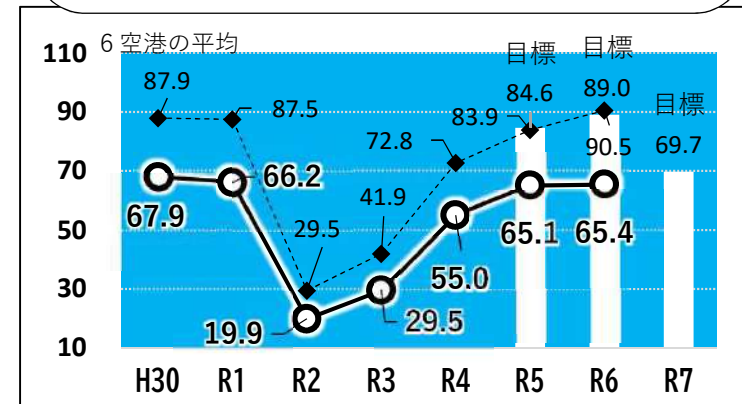
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
空港旅客数			↗
指標の考え方	市や民間事業者等による空港利用促進に向けた取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値 (R3)	29.5万人
		実績値 (R6)	65.4万人
		目標値 (R6)	89.0万人

【図1-1】 空港旅客数
(万人)



※ 6空港：稚内、釧路、函館、旭川、女満別、帯広

【指標の動向・要因分析】

「空港旅客数」は65.4万人であり、目標を達成しませんでした。

とかち帯広空港の利用促進に向け、航空会社との意見・情報交換のほか、関係団体と連携した国内外の航空会社や旅行会社へのプロモーション活動などに取り組んできたことで、前年と比べて増加したものの、航空機の小型化に伴う東京便の総座席数の減少や空港運営者による路線誘致が予定通りに進んでいないことが、空港旅客数が伸び悩んだ要因と推察されます。

今後も、空港運営者による空港運営や路線誘致などと歩調を合わせ、航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、航空需要の拡大に向けた取り組みを継続して進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

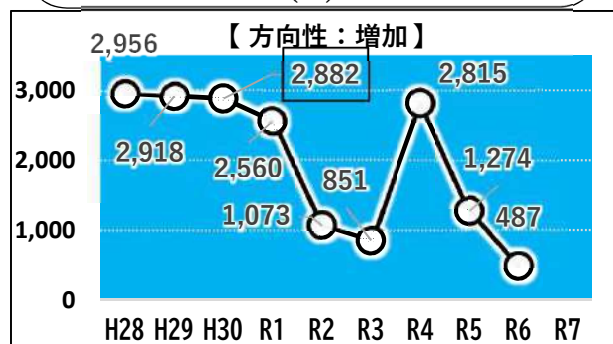
得点率 33.3% :

20点

15点

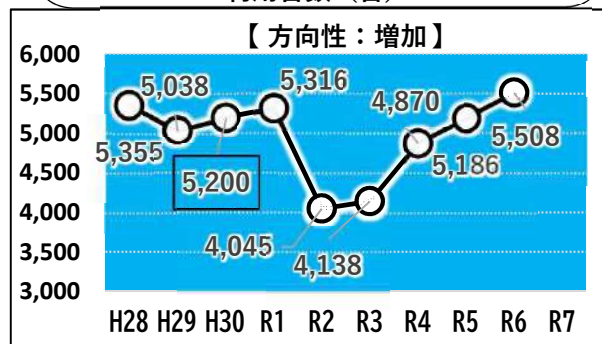
10点

【図1-2】 航空貨物取扱量
(t)



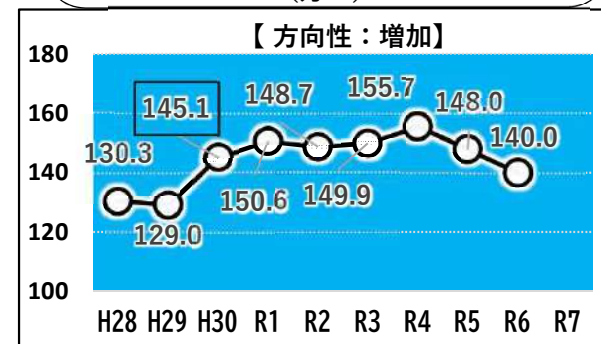
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 道東自動車道の1日あたり
利用台数 (台)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-4】 十勝港取扱貨物量
(万 t)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

十勝圏と他都市を結ぶ交通ネットワークの充実に向け、国や北海道等に対して、高規格道路の整備促進や鉄道網の維持、十勝港の港湾機能の整備・利活用促進等に関する要望活動などに継続的に取り組んできたことなどにより、高規格道路網の整備が進み、「道東自動車道の1日あたり利用台数【図1-3】」が増加しているほか、道東自動車道「追分町～夕張」の4車線化の事業許可などにもつながっています。また、十勝港では、化学肥料や水産品などの貨物量（輸入・移入）の減少に伴い、「十勝港取扱貨物量【図1-4】」は、減少していますが、新たな定期航路の運航が開始されるなど、物流拠点としての需要が高まっています。

今後も、さらなる交通網の充実や利用促進に向け、管内町村や関係機関と連携した要望活動等に取り組んでいく必要があります。

空港については、関係団体と連携したプロモーションやチャーター便の誘致活動など、空港の利用促進につながる取り組みを進めてきたことで、「空港旅客数【図1-1】」は、前年と比較して増加しています。一方、「航空貨物取扱量【図1-2】」は、航空機の小型化により搭載量が制限されたことで、前年から大きく減少しています。今後も、空港運営者・航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、とち帯広空港の利用促進に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策12 未来を拓く子どもとともに育む ―学校教育の推進―



目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇り・愛着を持ち、新たな時代を切り拓く力を身に付けた子どもたちが育っています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 91.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- ふさと教育を拡充するため、全小・中学校及び義務教育学校での「おびひろ市民学」の実施や地域の特徴・特性・歴史などをまとめた社会科副読本「おびひろ」を発刊。
- 南商業高校において、就職や進学など生徒が希望する進路の実現を支援するため、進路説明会、ビジネスマナーや各資格試験の講習、面接指導など人材育成を推進。
- 教員の指導力向上を図るため、長期休業中における「夏季・冬季教職員研修講座」やベテラン教職員のスキルアップを目的とした「エキスパート研修」、初任段階教員を対象とした研修会等を実施。
- 学校・家庭・地域が連携し、社会総がかりでの教育を実現するため、コミュニティ・スクールに関する研修会や学校支援地域本部事業、放課後子ども広場事業を実施。
- 「帯広市学校施設長寿命化計画」を推進するため、学校施設の個別改修を実施。
- プログラミング教育の推進のため、学習アプリを活用した授業を実施。
- 不登校の児童生徒に多様な学びの機会を提供するため、メタバース空間を活用したオンライン学習プラットフォームの「ひろびろチョイス」を運用。
- 生徒のメンタルヘルスの悪化や小さなSOSの早期発見と支援につなぐため、心の健康観察アプリを全中学校及び義務教育学校に導入。
- 地域との協働による社会に開かれた教育課程の実現や未来を生きる子どもの資質・能力を育成する人づくり、地域づくりを推進するため、おびひろスクールコラボを実施。
- 小・中学校9年間を見通した学びや育ちを支えるため、「エリア公開研究会」の開催や小学校への乗り入れ授業、学力や体力の向上、生徒指導上の課題などを交流する「エリア会議」等を実施。



スクールコラボの様子

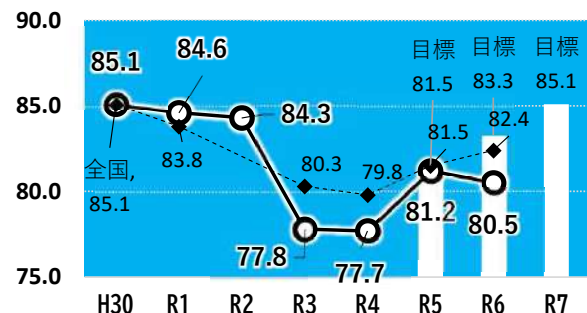


Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

小学6年	進捗率 49.1% :	20点	15点	12.5点
中学3年	進捗率 ▲88.4% :	20点	15点	12.5点

目指そう指標名			方向性	
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合			↗	
指標の考え方	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに社会の一員としての意識を醸成するとともに、主体的な学びや、自ら問題を発見し、解決できる力の育成などを進めることにより、上昇を目指します。		小学6年	中学3年
		基準値 (R3)	77.8%	70.0%
		実績値 (R6)	80.5%	66.2%
		目標値 (R6)	83.3%	74.3%

【図1-1】 将来の夢や目標を持っている児童（小学6年生）の割合（％）



【指標の動向・要因分析】

「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、小学6年生が80.5%、中学3年生は66.2%で、いずれも目標を達成しませんでした。

自然体験学習やキャリア研修、職場体験学習などを通じて、地域の自然や文化、産業への理解を深める取り組みを実施してきましたが、職業の多様化などを背景に児童生徒が具体的な将来の夢や目標を持つことが難しくなっていることが要因と考えられます。

今後は、地域住民や企業と連携した未来の子どもに求められる資質や能力を育成するための取り組みであるおびひろスクールラボを促進するなど、引き続き児童生徒の主体的な学び、行動する力の育成を進めながら、児童生徒が自分の将来について考える機会の増加につなげていく必要があります。

【図1-2】 将来の夢や目標を持っている生徒（中学3年生）の割合（％）





Ⅲ 関連データの状況

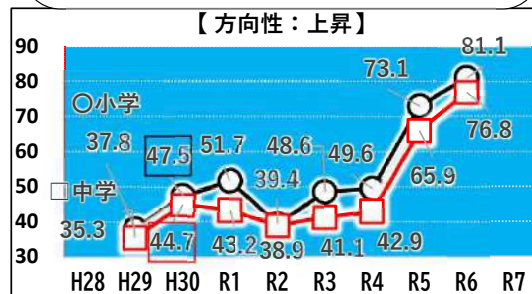
得点率 84.0% :

20点

15点

10点

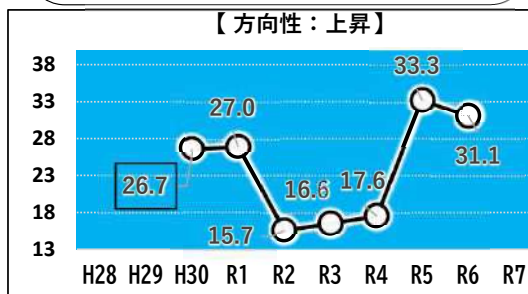
【図1-3】 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合 (%)



小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

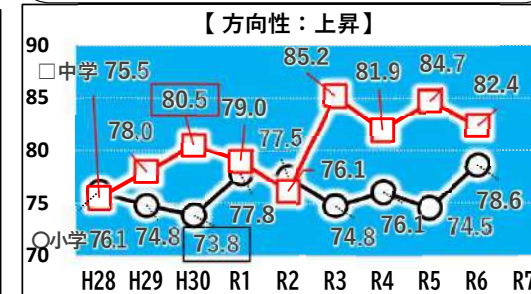
中学生(□)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

【図1-4】 地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合 (南商業高等学校) (%)



策定時より増加・前年以下：3点

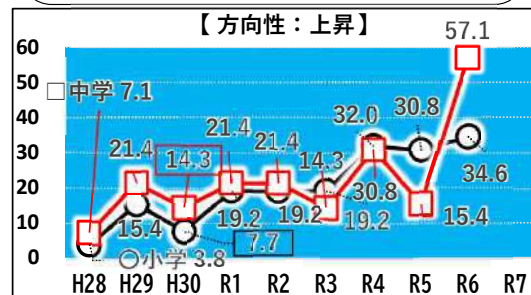
【図1-5】 授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合 (%)



小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

中学生(□)：策定時より増加・前年以下：1.5点

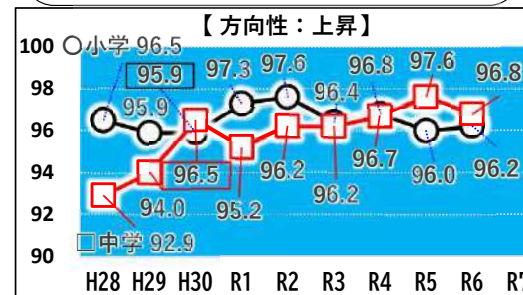
【図1-6】 小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合 (%)



小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

中学生(□)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

【図1-7】 「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合 (%)



小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

中学生(□)：策定時より増加・前年以下：1.5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

前向きに自己の将来について考える児童生徒の増加に向けて、キャリア教育や職場体験学習などの取り組みを進めてきましたが、「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合【図1-1、1-2】」は小・中学校ともに減少しました。今後は、おびひろスクールコラボの促進やキャリア教育のさらなる充実を図り、地域住民や企業との連携を通じて、児童生徒が自分の将来について考える機会を増やしていく必要があります。

地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の課題解決に主体的に取り組む人材の育成に向け、全小・中学校及び義務教育学校における「おびひろ市民学」の実施や小学校社会科副読本「おびひろ」を通じた地域への理解促進など、外部人材と連携・協働しながら、ふるさと教育の推進や問題解決力の育成に取り組んできたことで、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合【図1-3】」は、小・中学校ともに増加しています。また、児童生徒がより主体的に学習できるよう授業内容の改善に努めてきたことで、「授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合【図1-5】」は、小・中学校のいずれも計画策定時を上回っています。今後も、各学校における授業内容の改善や地域と連携した教育活動を展開し、児童生徒の主体的な学びの実現に向けた取り組みを進めていく必要があります。

南商業高等学校においては、専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材の育成に向け、外部講師を活用したビジネスマナー講座などの専門教育や地域ボランティア活動を実施してきたことで、「地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合【図1-4】」は、計画策定時を上回っており、引き続き、取り組みを進めていく必要があります。

学校・家庭・地域の連携による教育の推進に向け、中学校区を単位とするエリア・ファミリー構想のもと、幼保小中の連携やコミュニティ・スクールの運営、小学校高学年における一部教科担任制などに取り組んできたことで、「小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合【図1-6】」は、小・中学校ともに増加しており、小学校から中学校への円滑な接続に向けた取り組みが進められています。今後も、小・中学校の交流活動のさらなる充実を図り、子どもたちの9年間の学びや育ちを、地域全体で支える仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。

子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、校内教育支援センターの設置や心の健康観察アプリの導入などの組織的な支援をはじめ、児童会・生徒会によるいじめの未然防止の取り組みや相談員による指導、道徳科の授業を通じた啓発を行ったことにより、「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合【図1-7】」は、高い水準を維持しています。今後も、道徳科の授業改善のほか、個別面談を通し、児童生徒一人ひとりの心に寄り添いながらきめ細かな指導を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策13 いつまでも学んで面白い ―学習活動の推進―



目指す姿

誰もが生涯にわたり、それぞれの目的やライフステージに応じた学びを続けています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 90.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 誰もが生涯にわたり学習を続けることができるよう、市民大学講座や博物館の講座・企画展示、動物園の飼育体験など多様な学習機会を提供。
- 学習への意欲や関心を高めるため、生涯学習情報誌の発行、ホームページやSNSを活用した学習情報を発信。
- 学習を通じて得られた知識等をまちづくりに活かしてもらうため、図書館ボランティアによる子ども向けのおはなし会の実施など、各社会教育施設でのボランティア活動を支援したほか、生涯学習推進委員会などの社会教育関係団体が立案・企画する地域での講座開催を支援。
- 帯広畜産大学の整備・拡充のため、情報収集や国等への要望活動を実施。
- 若者の地元定着や地域課題の解決促進のため、帯広畜産大学と連携し、学生自らが考える地域課題の解決に向けた取り組みなどを支援。



図書館で行われた
ひなまつりスペシャルおはなし会の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 433.3% :

40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間に生涯学習を行った市民の割合			↑
指標の考え方	市民による主体的な学習活動や、市による学習機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	33.7%
		実績値 (R7)	40.2%
		目標値 (R7)	35.2%

【図1-1】直近1年間に生涯学習を行った市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に生涯学習を行った市民の割合」は40.2%であり、目標値を達成し、順調に進捗しています。

市の各社会教育施設において、講座の開催や生涯学習に関する情報提供、学生やボランティア団体主体の学習支援活動の実施など、多様な学習機会の提供に取り組んできたほか、オンラインによる講座の開催や各種講座の開催時間の見直し、電子図書館サービスの提供、移動図書館バスの巡回ステーションの見直しなど、利用環境の充実に取り組んできたことが目標達成の要因と考えます。

市民まちづくりアンケートでは、「生涯学習を行わなかった理由」として、「忙しくて時間がないから」、「きっかけがないから」との回答が多くあったことから、今後も、講座の開催内容や開催時間帯を工夫し、効果的な周知を行うなど、市民が参加しやすい学習機会の提供に取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

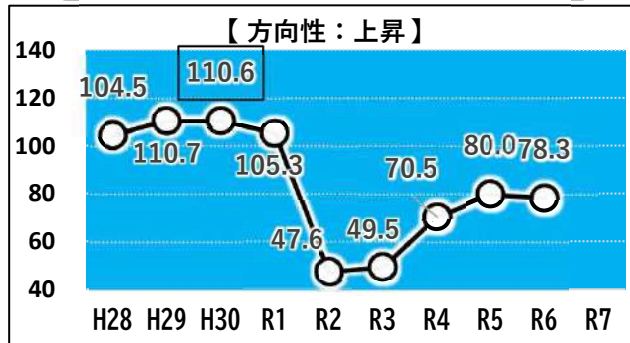
得点率 0.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】社会教育施設の利用者数
(万人)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

市民の主体的な学習活動の推進に向け、各社会教育施設において講座や企画展示、体験活動などの多様な学習機会を提供してきたことや生涯学習に関する情報発信などを通じ、学習への意欲や関心の向上を図ってきたことで、複数の施設において利用者の増加につながったものの、一部の施設においては利用者が減少しており、「社会教育施設の利用者数【図1-2】」は前年と比べて減少しました。今後も、市民ニーズを踏まえた学習機会の提供のほか、各施設の取り組みやイベント、活用方法などについて情報発信していくことが必要と考えます。

学習や仕事等を通じて得られた知識・技能をまちづくりに活かしてもらうため、生涯学習推進委員会等への活動支援や学習活動指導者の登録・紹介、ボランティアへの活動支援を行ったほか、大学と連携し、地域課題の解決に取り組む学生への活動支援を進めるなど、市民が活躍できる場の提供を行いました。今後も、市民が自主的に学ぶことができる環境づくりを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策14 潤いのある暮らしと地域をつくる ―文化芸術の振興―



目指す姿

創作活動や鑑賞の機会があり、豊かな感性や想像力が育まれ、文化芸術活動を通じた人のつながりが生まれています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 90.9% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 文化芸術活動を支える人材や団体を育成するため、文化団体や指導者についての情報発信、優秀な文化活動を行う個人・団体への顕彰を実施。
- 市民主体の文化芸術活動を促進するため、十勝・帯広在住の新進美術作家による展覧会の開催や市民参加によるオペラ公演の開催、市民文藝・とかちジュニア文芸の発刊などを通じた発表機会を提供。
- 市民の文化芸術への関心を高めるとともに子どもたちの感性や創造力を育むため、親と子のわくわく音楽会など、文化芸術にふれる機会を提供。
- ふるさとの歴史、伝統、文化に対する理解促進や誇りと愛着を育むため、市史資料の収集・調査、文化財の保護・保存、調査研究を行い、重要文化財の普及事業などを実施。
- アイヌ文化の保存、伝承、発展を図り、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進するため、調査・研究活動のほか、伝承活動への支援や普及啓発を実施。



親と子のわくわく音楽会の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 46.3% :

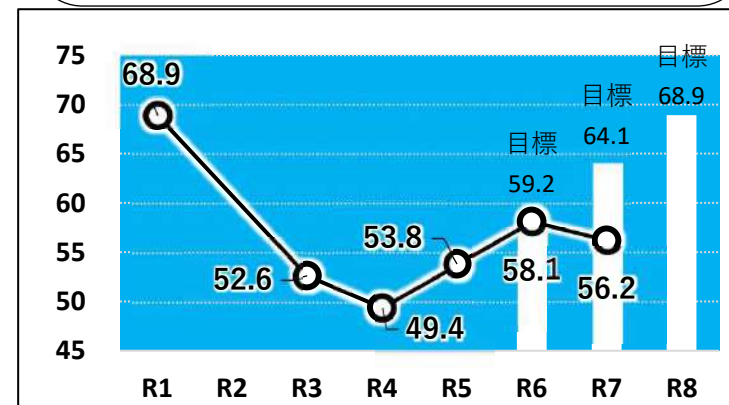
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な文化芸術活動や、市による鑑賞機会や発表の場の提供など文化に触れるきっかけづくりにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	49.4%
		実績値 (R7)	56.2%
		目標値 (R7)	64.1%

【図1-1】直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に文化芸術活動を行った（直接鑑賞を含む）市民の割合」は56.2%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

市では、市民芸術祭の実施や子ども向けの鑑賞事業などを通じ、文化芸術の鑑賞・発表の機会の提供や活動団体の支援などに取り組みましたが、市民まちづくりアンケートでは、「文化芸術を直接鑑賞しなかった理由」として、「テレビ、インターネット等により鑑賞できるから」の回答が前年と同様に多くなっており、自宅での芸術鑑賞の定着が進んでいることが推察されます。また、「関心がないから」の回答が、前年と比べて2.8ポイント上昇しており、無関心層が、文化芸術に直接触れる機会が減少していることも影響していると考えます。

今後は、文化芸術活動を行う市民の裾野の拡大に向けて、引き続き文化団体、企業など地域の多様な主体と連携しながら、直接市民が鑑賞・発表できる機会の提供を進めていくほか、社会教育施設と連携したイベントの情報発信などに取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

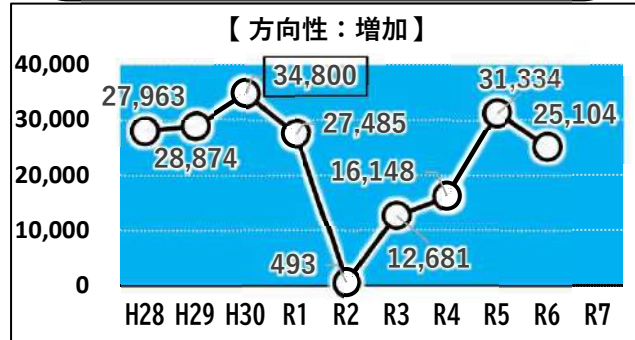
得点率 0.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】鑑賞事業の入場者数
(人)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

市民の主体的な文化芸術活動の推進に向け、鑑賞・発表機会の提供や活動団体への支援などに取り組みましたが、「鑑賞事業の入場者数【図1-2】」は減少しました。また、「直近1年間に文化芸術活動を行った（直接鑑賞を含む）市民の割合【図1-1】」は基準値を上回ったものの、前年と比べて減少しており、目標達成には至りませんでした。

いずれも、鑑賞方法が多様化していることを背景に、直接鑑賞から映像媒体での鑑賞へ手法が変化していると推察されます。また、市民文化ホールの提携駐車場の利用が浸透していないことも影響していると考えます。

今後も、個人・団体、企業など、地域の多様な主体と連携しながら、文化芸術に取り組む市民の裾野の拡大に向けて、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりや市民文化ホール提携駐車場に係る周知などを進めていく必要があります。

ふるさとの歴史、伝統、文化の理解促進に向け、重要文化財の活用やアイヌ民族文化情報センターによる普及啓発を進めてきました。アイヌ民族文化情報センターの入場者数は目標を達成しませんでした。前年と比べると増加傾向にあります。今後も、市民が主体的に学べるデジタルモバイルコンテンツを活用した学習機会の提供や講座などの普及事業の周知拡大を図っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策15 スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に — スポーツの振興 —



目指す姿

誰もが年齢や目的などに応じ、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツが市民の健康づくりや心身の育成、にぎわいづくりにつながっています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 87.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツフェスティバルの開催のほか、小中学校の体育館等の地域への開放などを実施。
- 市民の健康・体力づくり等のスポーツ機会の提供やスポーツを通じた多様な交流を促進するため、フードバレーとかちマラソン大会を開催。
- スポーツ施設利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図るため、施設の適切な管理運営や改修工事等を実施。
- 地域に根差したスポーツであるスケートの裾野拡大等を図るため、ほっとドリームプロジェクト（スケート教室、指導者講習など）を実施。
- 地域におけるスポーツ活動の活性化を図るため、スポーツ少年団や帯広市スポーツ協会の活動を支援。
- スポーツを通じたまちのにぎわいづくりを進めるため、関係団体等と連携し、全国・全道大会のほか、プロスポーツや合宿の誘致活動を実施。



ほっとドリームプロジェクトの様子
(スケートキングダム小中学生交流会)



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 121.7% :

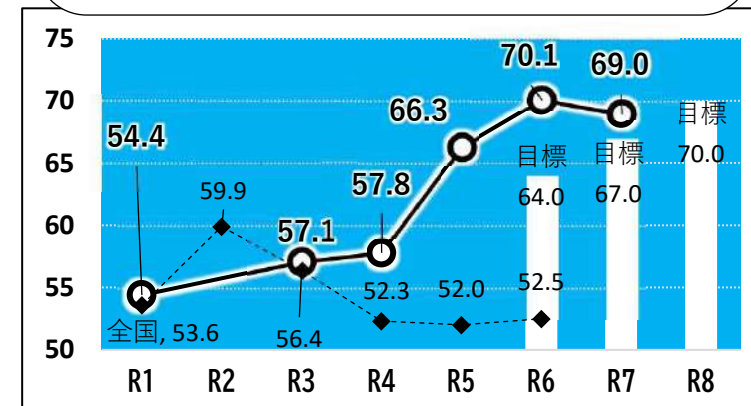
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
週1日以上運動・スポーツをする市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的な運動・スポーツの実践や、市による運動・スポーツの機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	57.8%
		実績値 (R7)	69.0%
		目標値 (R7)	67.0%

【図1-1】 週1日以上運動・スポーツをする市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合」は69.0%であり、目標値を達成し、順調に進捗しています。

市では、スポーツフェスティバル等のイベントの開催や総合型地域スポーツクラブの支援を実施しているほか、スポーツ施設の指定管理者においても健康志向のニーズを捉えたスポーツ教室の開催やウォーキングコースの環境整備など、気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めてきており、日常生活の中に運動・スポーツを取り入れた市民が一定数いたものと考えられます。

一方で、市民まちづくりアンケートでは「運動・スポーツを行わなかった理由」として、「忙しくて時間がないから」が36.6%、「面倒くさいから」が27.1%と多くの回答があったことから、スマートフォンアプリを活用した健康マイレージ事業のほか、スポーツフェスティバルの開催などを通し、より多くの市民が日常生活の中で気軽にスポーツに取り組めるきっかけづくりを進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

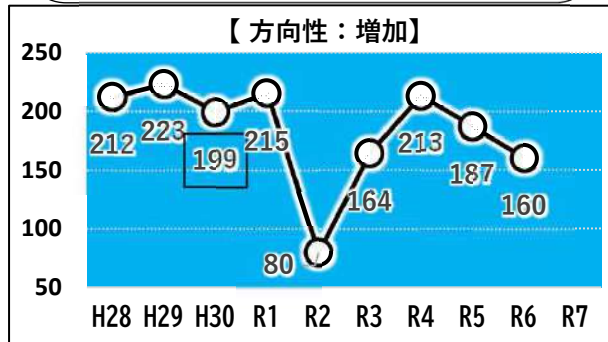
得点率 50.0% :

20点

15点

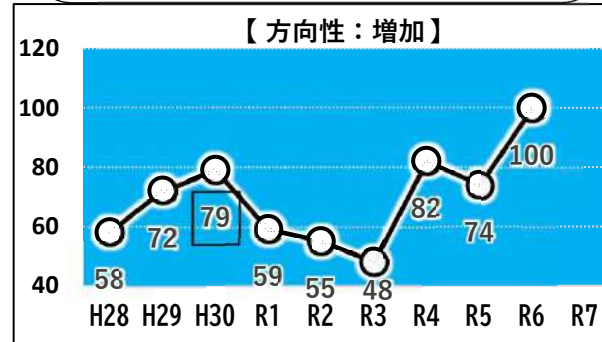
10点

【図1-2】 全国・全道大会等出場者数
(人)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 帯広市内で開催されるスポーツ
国際・全国・全道大会数 (回)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加算対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

市民がスポーツに親しむことができる環境づくりに向け、スポーツ施設による活動の場を提供してきたほか、各種スポーツ教室や大会の開催等に取り組んだことで、「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合【図1-1】」の増加傾向が続いているものと考えます。今後も、スマートフォンアプリを活用した健康マイレージ事業のほか、スポーツフェスティバルの開催などを通じ、市民が生涯にわたって運動・スポーツに親しむためのきっかけづくりを進めていく必要があります。

競技スポーツの振興に向けては、前年と比較し「全国・全道大会等出場者数【図1-2】」は減少し、「帯広市内で開催されるスポーツ国際・全国・全道大会数【図1-3】」は増加しました。今後も、選手が競技に打ち込める環境づくりを進めていくほか、大会需要の状況などを踏まえ、市のスポーツ施設の環境や大会運営能力などをPRしながら、大会等の効果的な誘致に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策16 地球のために今、行動する —環境の保全と循環型社会の形成—



目指す姿

環境保全の意識が高まり、誰もが環境に配慮した行動をし、豊かな自然環境や生活環境が守られています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 83.3% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- エネルギーの有効活用を図るため、一般住宅への再エネ・新エネ機器の導入費補助の実施や公共施設や家庭の省エネ化の促進、家庭からの廃食用油の回収とB5燃料の利用促進などを実施。
- 市民の環境保全に対する意識の向上を図るため、とかち・市民「環境交流会」の開催や環境にやさしい活動実践校への支援、出前環境教室、環境学習会、ゼロカーボン啓発チラシの全戸配布などを実施。
- 市民のごみの適正排出推進のため、広報紙やSNSの活用、啓発チラシの配布、ごみ懇談会等による周知、清掃指導員による巡回パトロール、ごみ排出が困難な世帯への戸別収集（サポート収集）などを実施。
- ごみの再資源化や減量化を図るため、資源回収団体に対する資源集団回収奨励金及び十勝資源リサイクル事業協同組合に対する資源回収事業協力金の支給、使用済小型家電の回収などを実施。
- 生活環境を保全するため、大気や河川水質、自動車騒音などの測定調査を実施したほか、公害パトロールなどを実施。
- 自然環境を保全するため、特定外来生物であるアライグマの防除対策などを実施。



「環境交流会」の開催



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 46.8% :

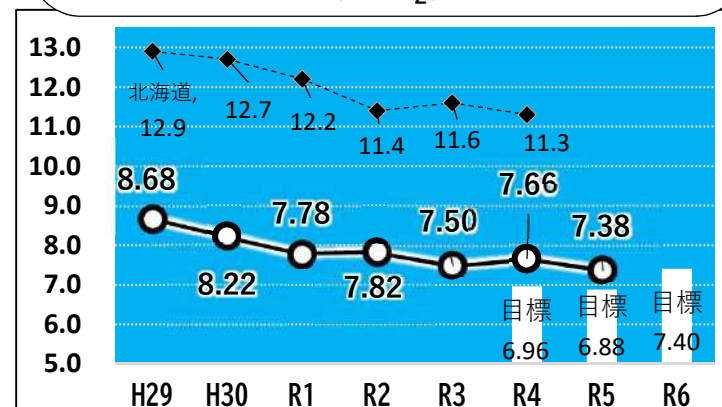
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
1人あたりの温室効果ガス排出量			↓
指標の考え方	市民、企業、市による省エネルギーの推進やエネルギー資源の利活用、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進などにより、減少を目指します。	基準値 (R2)	7.82t-CO ₂
		実績値 (R5)	7.38t-CO ₂
		目標値 (R5)	6.88t-CO ₂

【図1-1】1人あたりの温室効果ガス排出量
(t-CO₂)



【指標の動向・要因分析】

「1人あたりの温室効果ガス排出量」は7.38t-CO₂であり、基準値は下回りましたが、目標を達成しませんでした。

省エネなどに関する情報発信や再エネ・省エネ機器の導入支援などを通じた省エネ意識の醸成を図ってきたことなどにより、全体に占める割合の高い家庭部門や産業部門での排出量が減少したものの、業務その他部門（事務所やホテル等）での排出量が増加したことが要因と考えます。

今後も、温室効果ガスの排出割合が最も高い家庭部門の排出量の抑制に向け、市民の省エネ意識等の醸成を図るとともに、事業所等に対しては省エネ診断の活用の周知などに取り組み、温室効果ガス排出量の削減につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

得点率 100.0% :

20点

15点

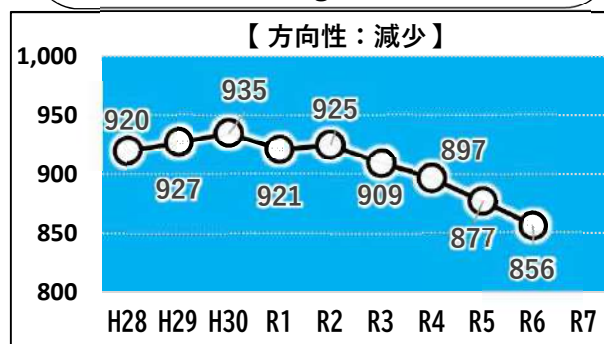
10点

【図1-2】再生可能エネルギー等の導入によるCO₂排出削減量 (t-CO₂)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】1人1日あたりのごみ排出量 (g)



策定時より減少・前年より減少：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

再エネ・新エネ機器の導入支援により一般住宅への導入が進み、「再生可能エネルギー等の導入によるCO₂排出削減量【図1-2】」の増加につながっています。また、省エネなどに関する情報発信や意識の醸成を図ってきたことなどにより、家庭部門や産業部門の排出量が減少したことに伴い、「1人あたりの温室効果ガス排出量【図1-1】」は前年に比べ減少しました。引き続き、再エネ・新エネ機器の導入支援に取り組むほか、家庭や事業所等での温室効果ガス排出量削減に向け、省エネ意識の向上などに取り組む必要があります。

「1人1日あたりのごみ排出量【図1-3】」は、前年と比べて減少しました。事業系ごみの排出量が減少傾向にあるほか、容器・包装等の軽量化や紙媒体のデジタル化などの企業側のリデュースの取り組みが進み、家庭系資源ごみの排出量が減少したことなどが主な要因と考えられます。一方で、リサイクル率は、前年の24.2%から24.0%に微減しており、3Rの推進やごみの排出抑制及び分別に対する意識の向上に向け、広報紙やごみ懇談会等を活用し、市民への啓発を継続して行っていく必要があります。

自然環境や生活環境の保全については、大気や河川水質、騒音などの測定調査や公害パトロールの実施、自然環境保全地区の監視や清掃ボランティアへの支援などを行っており、環境基準の達成状況などから良好な環境が維持されています。今後も、豊かな自然環境と良好な生活環境の維持に向け、取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策17 「まさか」に備え今、行動する ―防災・減災の推進―



目指す姿

市民一人ひとりが、高い防災意識のもと、自ら備え地域で支え合う体制が整えられ、自助・共助・公助により、災害に対する対応力が高まっています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 55.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 災害時の体制強化のため、市職員を対象とした防災訓練等を実施。
- 避難行動要支援者に対する支援体制を整備するため、「おびひろ避難支援プラン」に基づく、個別計画の策定を推進。
- 自助・共助による防災力向上のため、町内会などに対する研修会の実施や助成などによる自主防災組織の結成、育成などを支援。
- 公助としての避難体制の強化のため、備蓄基準に基づく、備蓄品の更新・整備を実施。
- 指定避難所の機能強化を図るため、非常用発電機の整備を実施。
- 建築物の耐震化を促進するため、無料耐震簡易診断や相談体制の整備などを実施。
- 洪水の被害防止や河川の適切な管理のため、河川のパトロールや河川敷地の草刈りを実施。



町内会に対する防災出前講座



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 34.9% :

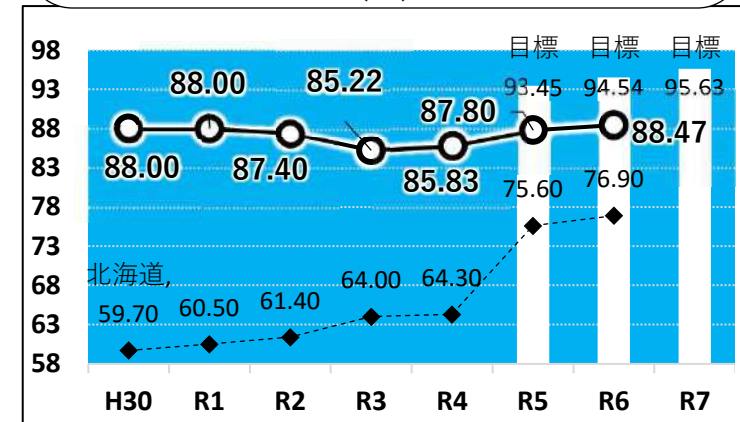
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
自主防災組織活動カバー率			↗
指標の考え方	市民が防災に対する関心や、地域で支え合う共助の意識を高め、市による防災意識の啓発や自主防災組織の設立支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	85.22%
		実績値 (R6)	88.47%
		目標値 (R6)	94.54%

【図1-1】 自主防災組織活動カバー率 (%)



【指標の動向・要因分析】

「自主防災組織活動カバー率」は88.47%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

地域住民が支え合う共助の意識向上に向け、防災出前講座やセミナーの開催、地域の防災リーダー育成などに取り組んでいますが、地域活動の主体である町内会の担い手不足などを背景に、新しい自主防災組織の設立につながっていないことが要因であると考えます。

今後は、防災対策の必要性について意識啓発を図るため、自主防災組織の未設立町内会等に対し、防災出前講座の開催を働きかけるほか、新規設立に向けた相談対応などに取り組み、共助による地域の防災力の向上につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

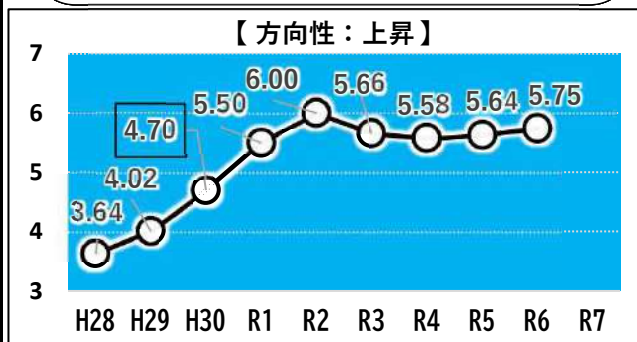
得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】 応急危険度判定士の人口1万人あたりの登録者数の割合（％）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 70点 /100点〕

市民一人ひとりの防災意識の向上を図るため、平時から災害に備える重要性などについて、出前講座や広報紙、ホームページなどで啓発を行いました。災害時は市民自ら適切に行動することが必要であり、今後も、情報発信や防災訓練等の実施はもとより、家庭での備蓄を促しながら、自助の重要性についての理解促進を図っていく必要があります。

災害時における地域での支えあいの促進に向け、避難行動要支援者の把握や避難に関する個別計画の策定、自主防災組織の育成などを進めています。地域活動の主体である町内会の担い手不足などを背景に、新しい自主防災組織の設立につながっていないことから、「自主防災組織活動カバー率【図1-1】」は横ばいで推移しています。今後は、防災対策の必要性について意識啓発を図るため、自主防災組織の未設立町内会等に対し、防災出前講座の開催を働きかけるほか、新規設立に向けた相談対応などに取り組み、共助による防災力向上につなげていく必要があります。

二次災害の防止等につながる建物の危険度を判定する「応急危険度判定士の人口1万人あたりの登録者数の割合【図1-2】」は前年と比べて増加しています。応急危険度判定士は、建築士の資格保有が前提条件であることから、今後も、建築・建設業界の協力を得ながら北海道と連携し、判定士の養成・登録を進め、地域の防災力の向上につなげていく必要があります。

また、緊急情報一斉伝達システムの運用や指定避難所への非常用発電設備の整備、備蓄資機材の適切な維持・管理により、災害時の様々な事態に迅速かつ的確に対応するための体制の充実を図りました。今後も、関係機関と連携しながら公助の強化を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策18 とかで守るみんなの安心 ― 消防・救急体制の確保 ―



目指す姿

管内町村や関係機関等との連携により、安心して暮らせる消防・救急体制が維持・確保されています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 効率的な消防体制の維持・確保を図るため、高規格救急自動車の更新のほか、緊急消防援助隊の体制強化、119番映像通報システムの整備、消防隊員の教育・育成強化などを実施(実施主体：とかし広域消防事務組合)。
- 消防水利の確保のため、消火栓の更新や修繕、老朽化した防火水槽の更新などを実施。
- 消防体制の維持のため、消防庁舎、消防団詰所の維持管理や消防団に係る消防車両・装備の維持管理を実施。
- 地域防災力の強化のため、消防団員確保に向けた普及啓発をはじめ、消防団員に対する教育訓練・研修機会の充実や消防自動車運転資格取得への支援を進めたほか、川西第2分団詰所と上帯広農業センターとの複合化による更新、大正第2分団詰所と愛国農業センターとの複合化による更新に向けた実施設計を実施。
- 消防力の充実のため、消防団車両（小型動力ポンプ付積載車、水槽付消防ポンプ自動車）の更新を実施。



水槽付消防ポンプ自動車
(川西第2分団配置車両)



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 25.6% :

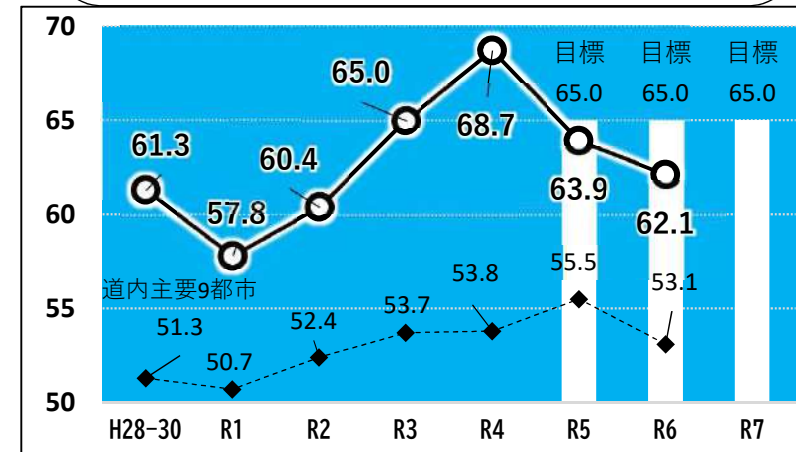
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
応急手当実施率			↗
指標の考え方	市による救命・救急講習の実施や、市民の心肺蘇生やAEDを用いた応急手当の習熟により、上昇を目指します。	基準値 (R1-3平均)	61.1%
		実績値 (R6)	62.1%
		目標値 (R6)	65.0%

【図1-1】 応急手当実施率 (%)



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「応急手当実施率」は62.1%であり、基準値を上回っていますが、目標達成に向けて進捗していません。

バイスタンダー（けが人や急病人が発生した場合、その場に居合わせた人のこと）が早急に応急手当を実施できるよう、救命・救急講習の開催やおびひろ救命アシスト事業の推進などを通し、応急手当ができる市民を継続的に養成してきたことで、応急手当実施率は道内主要9都市の平均よりも高い水準を維持していますが、帯広市の実施率は前年よりも低下しました。応急手当の実施が困難な浴室やトイレなど狭い場所での急病人の発生が増えたことが低下した要因と考えますが、バイスタンダーが動揺、緊張して応急手当の実施に至らなかった場合も一定数あったことから、今後も、救命・救急講習等を通じて市民への応急手当の必要性、知識・手技の普及を進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

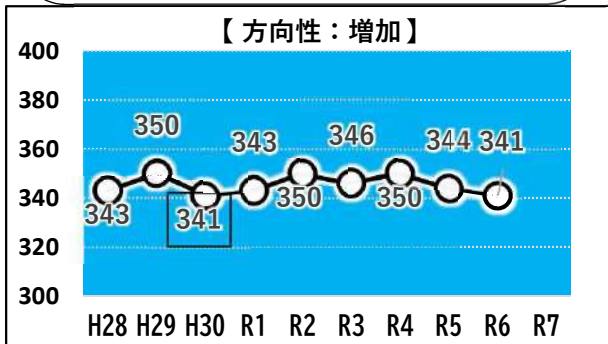
得点率 50.0% :

20点

15点

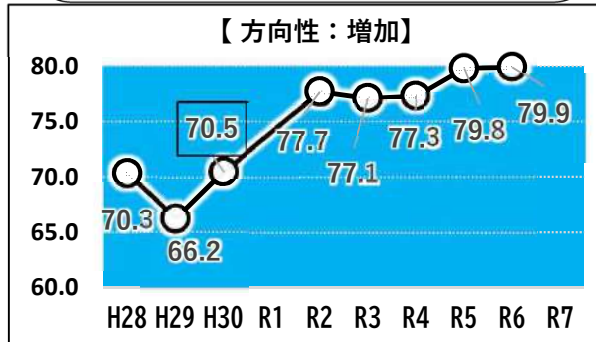
10点

【図1-2】消防団員数
(人)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】住宅用火災警報器設置率
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

※ R1は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で調査未実施

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

消防・救急体制の維持・確保に向け、高規格救急自動車の更新や緊急消防援助隊の体制強化、消防職員の教育・育成強化などを進めてきたほか、応急手当の普及啓発として、普通救命講習の定期開催をはじめ、要望に応じた出前講習の開催、救命アシスト事業の推進、リーフレットの配布や広報紙を通じた応急手当のPR活動に取り組んだことにより、応急手当ができる市民は増加しています。しかしながら、発生場所の影響のほか、動揺や緊張で応急手当を行うことができなかったことなどがあり、「応急手当実施率【図1-1】」が前年より低下しました。応急手当ができる市民を養成することは、応急手当実施率の向上につながることから、今後も、救急講習やイベントなど様々な機会を通じ、応急手当の重要性について理解促進を図っていくほか、運用が開始された119番映像通報システムを活用した口頭指導の有効性について、普及啓発を進めていく必要があります。

消防団員の確保に向け、消防職員及び団員による勧誘、ホームページや広報紙でのPR等を実施してきたほか、消防団活動に関心を示す企業に対し説明の機会を設けるなどして、消防団協力事業所表示制度の周知を図ってきたことにより、消防団協力事業所数は前年より増加し、地域防災力の向上につながっています。一方、団員の高齢化や担い手不足などにより、「消防団員数【図1-2】」は前年よりも減少し、組織体制への影響が懸念されることから、企業や大学、専門学校等と連携を図り、若年世代・学生の入団促進に向け、SNS等を活用した情報発信の強化や対面による消防団の魅力・やりがいのPRなどを通じて、消防団活動への理解促進を深めていく必要があります。

また、「住宅用火災警報器設置率【図1-3】」は増加していますが、さらなる設置率上昇を目指して、各種イベントにて街頭啓発を行うなど対面による普及啓発に取り組むほか、広報媒体を通じて火災予防意識の向上を図っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策19 みんなでつくる笑顔と安全 — 安全な生活環境の確保 —



目指す姿

交通安全や防犯、消費生活に対する意識が高まり、地域で支え合い、被害が生じにくい安全な生活環境が確保されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 72.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 交通ルールの遵守や交通マナーの向上のため、高齢者や子どもなどを対象にした各種交通安全教室等の開催や関係機関や団体との連携による地域ぐるみの交通安全運動を展開。
- 安全な交通環境を確保するため、幹線道路や生活道路における歩道の整備や区画線、視線誘導標を設置。
- 防犯意識の向上のため、市公式SNSを活用した情報提供や、回転灯を装備した公用車等による防犯パトロール等を実施。
- 消費者が自らの利益の擁護のため自主的かつ合理的に行動することができるよう、消費生活に関する正しい知識の普及のほか、消費者被害の未然防止を図るための各種講座や講演会を開催。
- 市民の安全で合理的な消費を支援するため、ホームページ等による消費生活に関する情報を提供。
- 夜間における交通安全、防犯等を図るため、町内会等の防犯灯管理への支援を実施。



交通安全教室の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲71.4% :

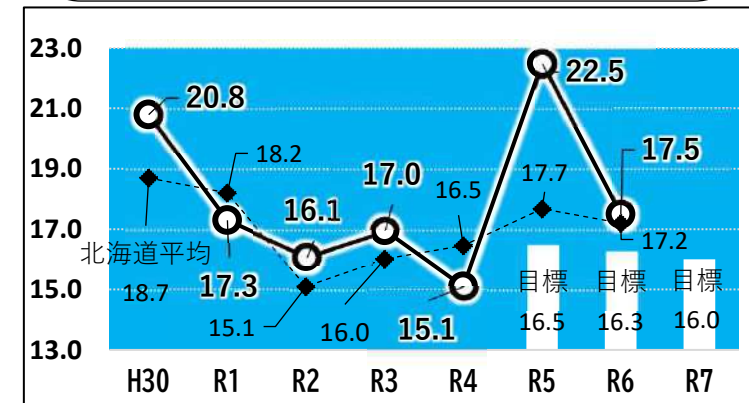
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
1万人あたりの交通事故発生件数			↓
指標の 考え方	市民による交通ルール・マナーの遵守や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値 (R3)	17.0件
		実績値 (R6)	17.5件
		目標値 (R6)	16.3件

【図1-1】1万人あたりの交通事故発生件数
(件)



【指標の動向・要因分析】

「1万人あたりの交通事故発生件数」は17.5件であり、目標を達成しませんでした。

市では、高齢者や子どもなどの交通弱者に対する交通安全教室や道路の環境整備などを行ってきており、帯広市内の交通事故の発生件数は前年比で減少するなど、一定の成果は出ていますが、目標には至りませんでした。

交通事故の第一当事者（交通事故における過失が重い者）の割合は20代、50代、70代が高くなっていることから、今後は、関係機関や団体等と連携しながら、交通弱者だけでなく、第一当事者の割合が高い層に対する交通安全啓発方法を検討していくほか、幹線道路や生活道路の整備、安全標識の設置などの取り組みなどを通し、市民の交通ルール遵守意識の向上につなげていく必要があります。



III 関連データの状況

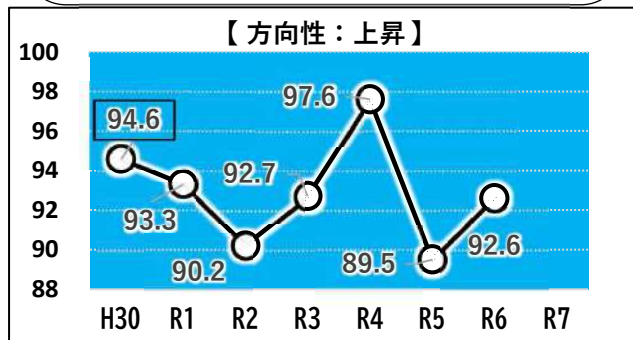
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】消費生活相談のあっせん解決率
(%)



策定時以下・前年より増加：2点

※ R5年度まで、関連データとして使用していた「消費生活相談の解決率(%)」には、助言や情報提供なども解決数に含んでいましたが、「消費生活相談の*あっせん解決率(%)」は、消費生活相談員の介在による「あっせん」を行うことで、解決に至った割合を示すものです。消費者被害の防止・救済による安全な生活環境の確保の状況をより表すデータであると考え、R6年度施策・事務事業評価以降は、当該データを用いることとします。

*あっせんとは、消費者と事業者の交渉が円滑に行われるように、消費生活相談員が介在して調整等を行うことを言い、あっせん解決率とは、あっせん件数（継続中の件数を除く）に占めるあっせん解決数の割合を示すものです。

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 65点 /100点〕

交通事故や交通違反の防止に向け、交通安全教室の開催などを通し、市民の交通安全意識の向上を図ってきたほか、注意喚起看板の設置や歩道の整備などに取り組みました。しかしながら、「1万人あたりの交通事故発生件数【図1-1】」は、前年より減少しているものの、目標を達成できませんでした。また、犯罪の発生抑制に向け、防犯パトロールや街頭啓発の実施のほか、防犯関係団体の活動や町内会による防犯灯の維持管理に係る支援を継続して行っていますが、刑法犯の認知件数は近年増加傾向にあります。今後も、交通安全・防犯意識の向上のほか、交通事故・犯罪の防止に向けた啓発や、環境づくりを進めていく必要があります。

消費生活に関するトラブル防止・救済に向け、消費生活相談員が研修受講を通じ対応力向上などに取り組んだことで、「消費生活相談のあっせん解決率【図1-2】」は前年を上回り、高い水準を維持しています。一方で、インターネット販売やSNSを通じたトラブルなど、相談内容が複雑化していることから、今後も、消費生活相談員の対応力向上を図り、質の高い相談対応に努めるほか、消費者の意識啓発に取り組み、消費生活に関するトラブルの防止・救済を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策20 未来につなぐ、おいしい水 – 上下水道の基盤強化 –



目指す姿

いつでも安全で安心して利用できる強靱な上下水道が確保されています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 水道水の安定供給を図るため、配水管整備や配水場等の機器設備更新、配水池への緊急遮断弁の設置を実施。
- 快適な生活環境づくりのため、雨水管や污水管、個別排水処理施設を整備。
- 下水道サービスの安定供給と広域化による効率的な事業運営を図るため、終末処理場設備改修や污水处理施設統合に向けた取り組みを実施。
- 災害時の体制を維持するため、災害対策備蓄資器材の整備や災害訓練を実施。
- 上下水道に関する理解促進のため、PR動画の公開や「水を見る週間」などのイベントを通したPR、マンホールカードの制作・配布を実施。
- 利用者サービス向上のため、メーター更新時に掘削を要しないメーターボックスへ更新。
- 安全な水道水供給のため、河川表流水調査や水源水質調査、水質基準検査などを実施。
- 環境負荷を軽減するため、下水汚泥の耕地還元や発生ガスの有効活用を実施。
- 下水道の利用促進のため、下水道への接続の普及啓発を実施。
- 利用者サービスの向上やコスト削減のため、各種手続き、相談をワンストップで受付ける帯広市上下水道お客様センターを開設。



R6.4.1に開設した
「上下水道お客様センター」



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 57.1% :

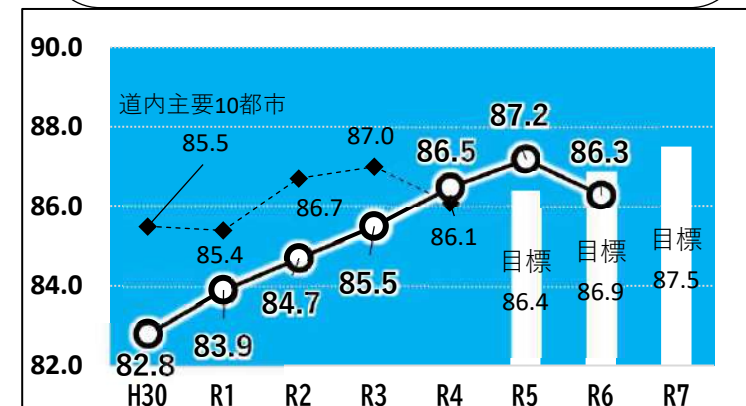
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
水道管路の耐震適合率			↗
指標の考え方	上下水道の事業内容等への市民の理解を得ながら、市による強度や耐震性に優れた水道管への更新を進めることにより、上昇を目指します。	基準値 (R3)	85.5%
		実績値 (R6)	86.3%
		目標値 (R6)	86.9%

【図1-1】水道管路の耐震適合率(%)



※道内主要10都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、室蘭市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「水道管路の耐震適合率」は86.3%であり、前年から0.9ポイント低下し、目標値を下回る結果となりました。

水道管路の耐震化を着実に進めてきたものの、令和7年1月に新たに策定した「帯広市上下水道耐震化計画」において、重要施設とすべき避難所や医療機関等を追加したことで、高い耐震基準が求められる重要給水施設管路が増加し、これまで耐震適合管となっていた管路の一部が耐震基準を満たさなくなったことが要因です。

今後も、災害に強く持続可能な上下水道施設の構築に向け、計画に基づき整備を進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

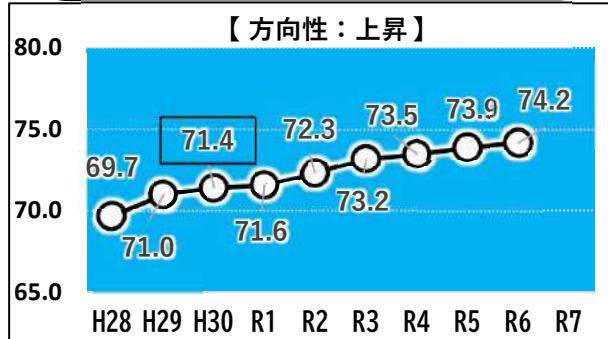
得点率 100.0% :

20点

15点

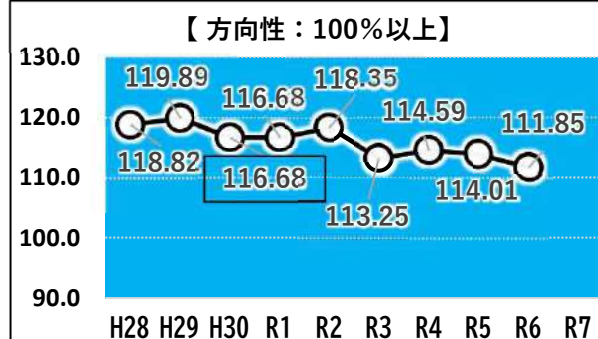
10点

【図1-2】 雨水整備率
(%)



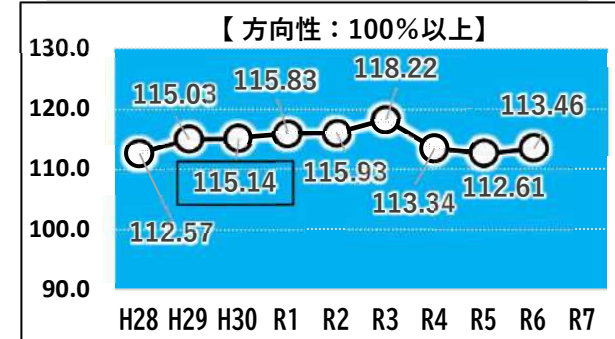
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】 経常収支比率（水道事業会計）
(%)



基準以上：3点

【図1-4】 経常収支比率（下水道事業会計）
(%)



基準以上：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

上下水道の基盤強化に向け、計画的な施設の長寿命化や耐震化を進めているほか、浸水対策などを着実に進めており、「雨水整備率【図1-2】」が上昇しています。一方、新たに策定した「帯広市上下水道耐震化計画」において、重要施設とすべき避難所や医療機関等を追加したことにより、これまで耐震適合管となっていた管路の一部が耐震基準を満たさなくなったことから、「水道管路の耐震適合率【図1-1】」は低下しています。今後も、水道水の安定供給のため、計画に基づき着実に整備を進めていく必要があります。

上下水道施設の老朽化が進む中、中長期的な視点に立った計画的・効率的な維持管理や更新事業を実施しており、水道料金・下水道使用料等によって維持管理等に必要な費用が賄われ、「経常収支比率【図1-3】【図1-4】」が100%以上となっているなど、健全な経営が維持されています。今後は、人口減少の進行に伴う収入の減少や施設の老朽化に伴うコストの増加などが見込まれていることから、上下水道の経営状況や事業内容の周知などを通じ、上下水道事業への理解を促進するとともに、中長期的な視点を持ち、より健全かつ安定的な経営を進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策21 未来につなぐ、住みよいまち ―都市基盤の整備と住環境の充実―



目指す姿

都市機能の配置やインフラ施設等の管理が適切に行われ、コンパクトで誰もが住みやすいまちが形成されています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 91.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市内の主要な交通網を形成するため、都市計画マスタープランに基づき、未整備となっている都市計画道路の整備を実施。
- 緑地の保全や緑化を推進するため、みどりの基本計画に基づき、公園緑地の整備や維持管理のほか、緑化協議、慶事記念樹の贈呈、桜並木の整備等を実施。
- 居住の安定に特に配慮が必要な高齢者及び子育て世帯に対し、良好な住環境を提供するため、地域優良賃貸住宅等への家賃補助を実施。
- 中心市街地の活性化のため、イルミネーションプロジェクトやホコテンなどのまちなか活性化に向けたイベントなどに対する支援のほか、新規事業展開の支援を実施。
- 地域公共交通の維持確保のため、公共交通の利用促進活動や小学生等への交通環境学習などを実施したほか、バス運行維持に対する支援を実施。
- 地域住民の生活環境の保全を図るため、空き家等の利活用や適正な管理に向けて、情報発信や相談対応のほか、空き家の改修や特定空家の解体に係る補助を実施。



解体につながった特定空家



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 92.0% :

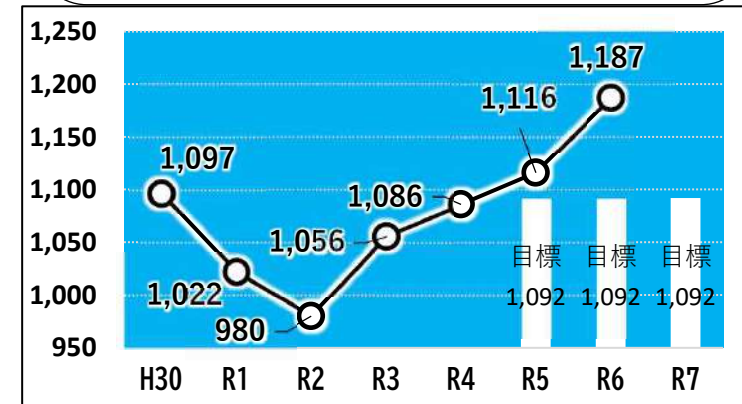
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
空き家数			↓
指標の考え方	所有者による空き家等の適切な管理・活用や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値 (R3)	1,056箇所
		実績値 (R6)	1,187箇所
		目標値 (R6)	1,092箇所

【図1-1】空き家数
(箇所)



【指標の動向・要因分析】

「空き家数」は1,187箇所であり、目標を達成しませんでした。

市では、空き家に関する情報発信や相談対応、除却・改修補助などに取り組みましたが、空き家の利活用及び除却の件数は前年に比べ減少しており、空き家数が増加しています。要因としては人件費や廃棄物処理費の高騰、アスベスト調査の義務化により、除却や改修工事に係る金銭的負担が大きくなったことが影響していると考えます。

今後も、所有者への適切な管理等を求めていくとともに、関係団体と連携し、市の補助制度など、空き家に関する情報の周知や相談対応に取り組み、空き家の除却や利活用などにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

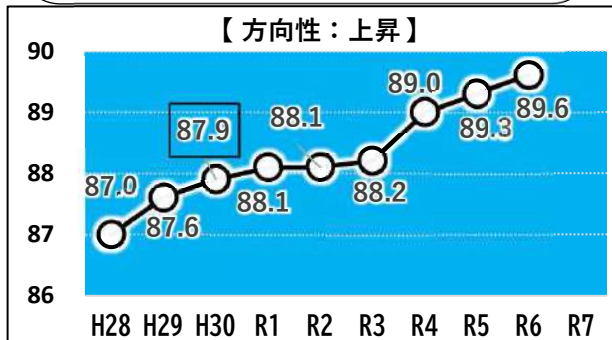
得点率 60.0% :

20点

15点

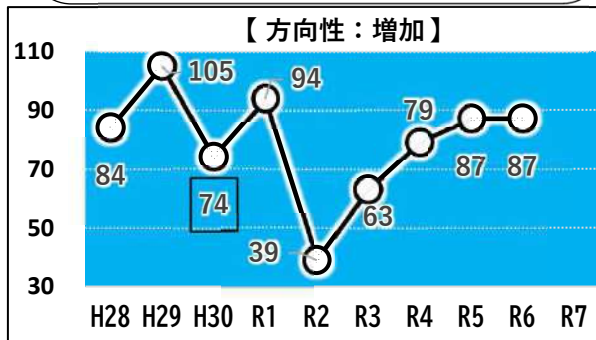
10点

【図1-2】都市計画道路の整備率
(%)



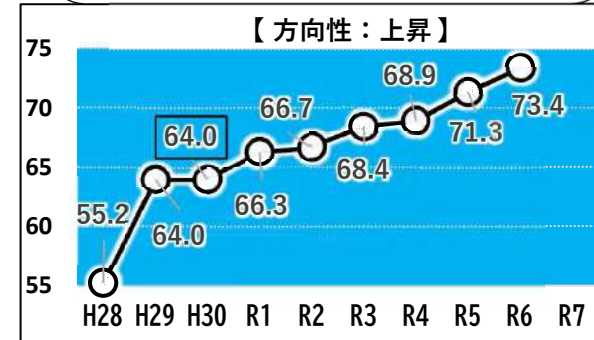
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】公園行為許可件数
(件)



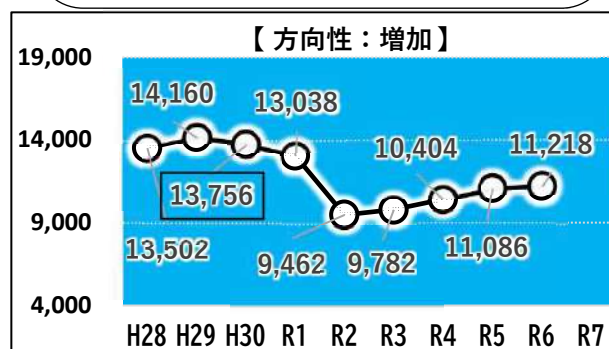
策定時より増加・前年以下：3点

【図1-4】高齢者及び身障者に対応した市
営住宅等の割合 (%)



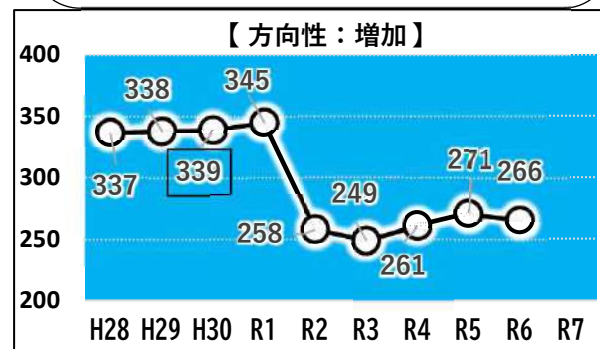
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-5】中心市街地の平日昼間9～17時
の歩行者通行量 (人)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-6】市内運行路線における路線バス
年間利用者数 (万人)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 85点 /100点〕

中心市街地の活性化に向けては、再開発事業が完了した西3・9周辺地区の商業施設や分譲マンションの整備が進んだことに伴い、「中心市街地の歩行者通行量【図1-5】」は近年、増加傾向で推移しています。今後も、関係団体や事業者等と連携し、中心市街地の魅力向上とにぎわいの創出に向けた取り組みを促進していく必要があります。

緑ヶ丘公園や帯広の森をはじめとした公園緑地の利活用方法に係る情報発信などに取り組みましたが、「公園行為許可件数【図1-3】」は前年同数となっています。今後も、公園緑地の整備や適正な維持管理に取り組むとともに、利活用しやすい申請手続きの検討を進めることで、健康や福祉、観光などの分野での、みどりの利活用を図り、公園の魅力向上につなげていく必要があります。

人口構成の変化に対応した住まいを提供するため、高齢者世帯や子育て世帯向けの公的賃貸住宅を提供したほか、ユニバーサルデザインを取り入れた市営住宅の建て替えを進めたことにより、「高齢者及び身障者に対応した市営住宅等の割合【図1-4】」は前年より増加しています。また、除却費用の上昇などにより、除却件数や利活用件数が減少しており、「空き家数【図1-1】」が増加しています。今後も、関係団体と連携し、市の補助制度など空き家に関する情報の周知や相談対応に取り組み、空き家の除却や利活用などにつなげていく必要があります。

道路の整備・維持管理については、計画的な道路整備により、「都市計画道路の整備率【図1-2】」が上昇したほか、橋梁の定期的な点検・修繕、街路樹の維持管理に取り組みました。除雪については、降雪量や時間帯などの状況を踏まえ、道路区分ごとに対応するなど、効率的・効果的な除雪を実施するとともに、除雪体制の維持や情報発信などにも取り組みました。また、予報を大幅に超えた記録的な降雪があったことから、大雪への対応に係る検証も踏まえ、関係機関や事業者と連携しながら、除排雪作業に取り組んでいく必要があります。

地域公共交通の確保に向けては、バス路線維持に対する支援や農村地区における交通手段の確保、公共交通の利用促進などの取り組みを進めていますが、「市内運行路線における路線バス年間利用者数【図1-6】」は前年より減少しています。交通事業者をはじめとする関係機関と連携し、利用者のニーズに即した公共交通サービスの利便性向上及び利用促進に向けた取り組みを進め、持続可能な公共交通サービスを確保していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が30点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策22 認め合い、つながり、暮らす — 多様な主体が活躍する地域社会の形成 —



目指す姿

誰もが互いに尊重し合い、つながりながら、住みよいまちをつくるために主体的に行動し活躍しています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 77.3% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民団体等のまちづくり活動を支援するため、市民提案型協働のまちづくり支援事業を実施したほか、町内会への支援として、交付金の交付や加入啓発、持続可能な町内会活動の推進に向けた取組方針を策定。
- 市民相互の交流促進のため、コミュニティ施設を維持管理。
- 国際姉妹・友好都市、国内姉妹都市との交流活動を支援するため、高校生をはじめとする相互交流事業を実施。
- 移住促進を図るため、移住希望者に対する相談支援やホームページ等を活用した情報提供を実施。
- 男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境づくりや女性への暴力の根絶を図るため、男女共同参画に関する講座の実施や啓発パンフレットを配布。
- アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進のため、生活文化展や講演会の開催のほか、アイヌ民族文化情報センター（リウカ）、アイヌ文化とのふれあいゾーン（緑ヶ丘公園）を活用した周知啓発を実施。
- アイヌ子弟の教育環境の充実を図るため、教育扶助を支給。
- 平和意識の啓発を図るため、平和カレンダーの作成、配布やパネル展を実施。



市民提案型協働のまちづくり支援事業
団体の活動の様子



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 555.6% :

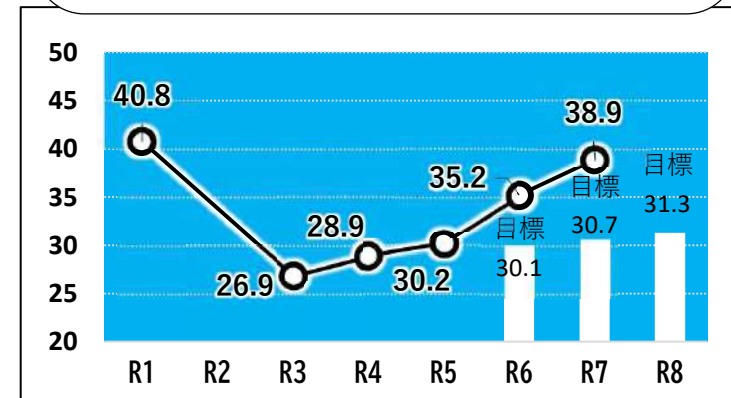
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合			↗
指標の考え方	市民による主体的なボランティア活動・地域行事等への参加や、市による多様な活動への支援などにより、上昇を目指します。	基準値(R4)	28.9%
		実績値(R7)	38.9%
		目標値(R7)	30.7%

【図1-1】直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合(%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合」は38.9%となり、目標を達成しました。

市では市民主体のまちづくり活動の紹介や相談窓口の設置などにより、地域社会活動の促進に取り組んでおり、市民団体や民間企業等において自主的な社会貢献活動が展開されるなど、まちづくりに参画する主体の広がりが見られることに加え、町内会や各団体が自粛していた活動を段階的に再開してきたことが上昇の要因と考えます。

今後も、町内会や市民団体、民間企業、NPOなど、まちづくりに参加する多様な主体への活動支援などを通し、市民の地域社会活動への主体的な参加を促進していく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

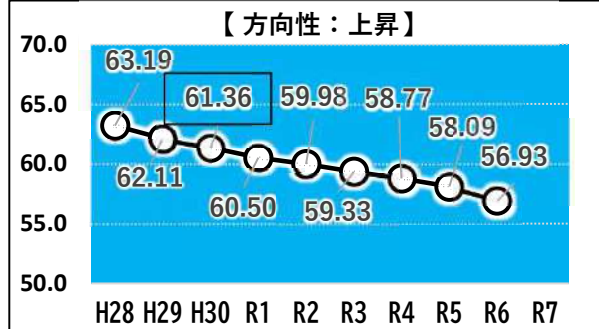
得点率 0.0% :

20点

15点

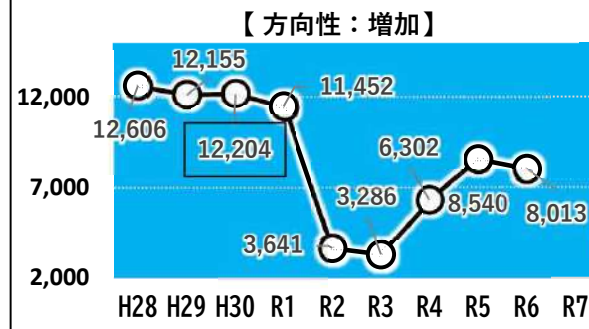
10点

【図1-2】 町内会加入率
(%)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 国際理解推進事業・国際交流事業参加者数 (人)



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



Ⅳ 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

コミュニティ活動の活性化に向け、市民提案型協働のまちづくり支援事業やこども学校応援地域交付金事業、市民団体等の活動情報の発信など市民団体やNPO等によるまちづくり活動への支援等により、新たに社会貢献活動を実施する団体・企業が見られており、まちづくりに参加する主体は広がっています。加えて、町内会や各団体が自粛していた活動を段階的に再開したことにより、「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合【図1-1】」は、目標値を8.2ポイント上回りました。今後も、市民団体やNPO等のまちづくりに参加する多様な主体の活動を支援するなど、コミュニティ活動を促進していく必要があります。また、「町内会加入率【図1-2】」は依然として減少傾向にあり、令和6年度に策定した「持続可能な町内会活動の推進に向けた取組方針」に基づき、町内会の負担軽減を図るとともに、持続可能な町内会活動を支援していく必要があります。

姉妹都市をはじめとした他地域との交流に向け、各種国際交流イベントの実施や国際交流ボランティアの育成のほか、在住外国人に向けた生活に必要な情報の提供などの取り組みを行いました。イベントでの国際交流ボランティアに関する周知や関係機関と連携したボランティア向け講座の開催などにより、国際交流ボランティア登録者は増加したものの、新規の参加者獲得に向けた周知が不足したことにより、「国際理解推進事業・国際交流事業参加者数【図1-3】」は、前年より減少しました。今後は、周知方法やイベント内容の見直しを行い、各国の多様な文化への理解促進を図りながら、市民主体の交流を促進していく必要があります。

女性活躍の促進や一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて、女性活躍などの男女共同参画講座の実施に取り組みました。対面とオンラインを併用した開催方法が定着してきたことや話題性のある講師の選定により、一定数の参加がありました。また、デートDV予防にかかる講座や女性に対する暴力の根絶などの意識向上を図る取り組みを進めていますが、障害者、高齢者、子どもなどへの虐待等も依然として存在しています。今後も、多様性を認め合いながら、誰もが活躍できる環境づくりに向けた取り組みを進めていく必要があります。

アイヌの人たちの誇りが尊重される社会の実現に向け、アイヌ民族の歴史・文化に触れることのできる生活文化展等のイベントや講演会の開催などに取り組みました。イベントへの参加者数やリウカの利用者数は増加傾向にありますが、今後も、アイヌ民族の歴史・文化へのさらなる理解促進に向けて、より多くの方へ情報発信できるよう、様々な手法を検討し、取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策23 未来に夢をつなぐ – 自治体経営の推進 –



目指す姿

市民ニーズや行政を取り巻く環境の変化を的確に捉えた、市民に信頼される持続可能な自治体経営が行われています。



Ⅰ 事務事業の進捗状況

進捗率 94.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

●市民に行政情報を分かりやすく伝えるため、各種行政サービスの利用方法や周知・啓発等にかかる動画をSNSで発信したほか、広報紙やホームページなど、様々な媒体を活用した情報発信を推進。

●効果的・効率的な行政運営を行うため、保育所の民間移管や学校における用務業務等の民間委託、RPA(※1)、AI-OCR(※2)、グループウェア(※3)等のICT(※4)を活用した事務改善、ローコード開発ツール(※5)の導入や生成AIの積極的活用に向けた環境整備など、行財政改革の取り組みを推進。

※1 RPA：定型的業務を自動化する技術 ※2 AI-OCR：AI（人工知能）を搭載した文字認識技術

※3 グループウェア：情報共有やコミュニケーションを円滑にし、業務効率化を促進するソフトウェア

※4 ICT：情報通信技術 ※5 ローコード開発ツール：高度な専門知識を必要とせずアプリや簡易的なシステムを開発するツール

●まちづくりに関する取り組みの状況を市民と共有するため、第七期総合計画の進捗状況を取りまとめて公表。

●公共施設等のマネジメントの推進に向け、長寿命化や施設総量の適正化などを図るため、農業センターと消防団詰所の複合化による整備などを実施。

●十勝圏域全体の魅力の向上や活性化を図るため、管内18町村と連携し、第4期十勝定住自立圏共生ビジョンを策定。

●自主財源の確保・拡大を図るため、ふるさと納税に係る返礼品の充実や未利用地・低利用地の売払いや貸付けのほか、「新たな自主財源確保対策検討会」を開催し、新たな取り組みの検討などを実施。

●市民の日常生活における様々な問題の解決支援のため、市民相談員による一般相談や弁護士無料相談を実施。

●職員の意欲や能力の向上を促すため、職員に対して各種研修等を実施したほか、eラーニングによる自己啓発機会を提供。

●住民票等の交付に係る市民の利便性向上を図るため、マイナンバーカードを活用したオンライン申請および電子決済システムのほか、戸籍住民課窓口にセミセルフレジを導入。



農業センターと消防団詰所の複合化



Ⅱ 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲41.3% :

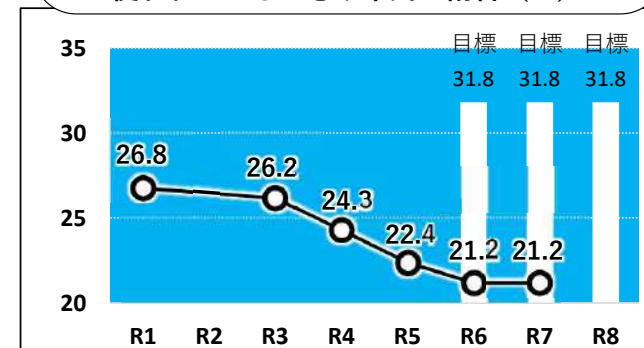
40点

30点

25点

目指そう指標名			方向性
まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合			↗
指標の考え方	わかりやすい情報発信に努めながら、効果的・効率的な自治体経営を進め、市民の理解や共感を得ることにより、上昇を目指します。	基準値 (R4)	24.3%
		実績値 (R7)	21.2%
		目標値 (R7)	31.8%

【図1-1】まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合（％）



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合」は21.2%であり、目標を達成しませんでした。

市では、市長への手紙や市民トーク、パブリックコメントなど、さまざまな機会を通じて市民の意見や要望を把握しているほか、保育所の民間移管や学校における用務業務等の民間委託、ICTやローコード開発ツール等を活用した事務改善、ふるさと納税を通じた自主財源の確保、マイナンバーカードを活用したオンライン申請および電子決済システムの導入など、事業の見直し等を図りながら、効果的・効率的な行財政運営に向けた取り組みを進めており、その状況を広報紙やSNS、市長記者会見、ふれあい市政講座の実施など、多様な手法・機会を通じて発信してきましたが、目標値との乖離が生じています。

「有効に税金が使われていない」と回答した理由として、「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択した割合は69.8%、「自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから」を選択した割合は52.5%となり、前年と同様に高い値となっています。

今後も、「有効に税金が使われていると思う市民の割合」の上昇に向けて、市民の声を踏まえながら事業の見直し等を図り、取り組み状況を多様な媒体を通じて分かりやすく発信することで、まちづくりに対する市民理解を深め、納得感を高めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

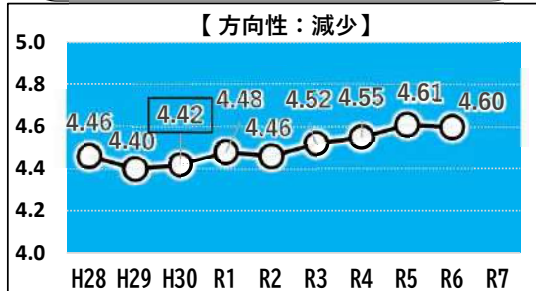
得点率 60.0% :

20点

15点

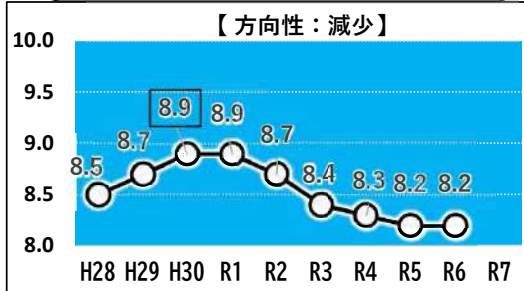
10点

【図1-2】市が管理する市民一人あたりの
施設延床面積 (㎡)



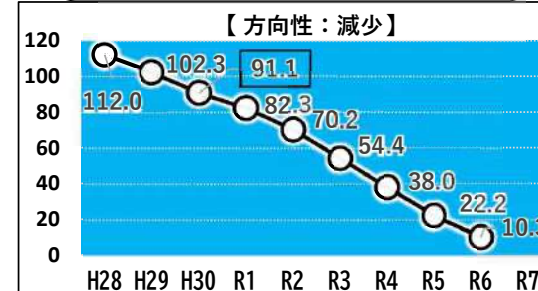
策定時以上・前年より減少：2点

【図1-3】実質公債費比率
(%)



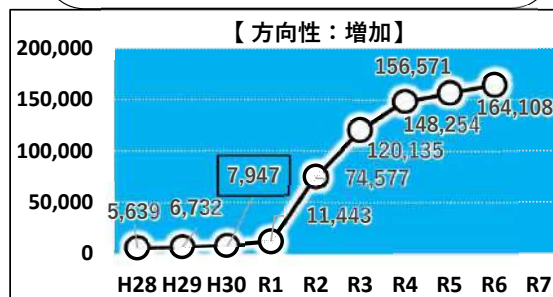
策定時より減少・前年以上：3点

【図1-4】将来負担比率
(%)



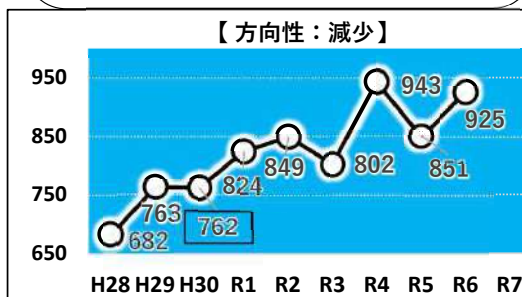
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-5】SNS等登録者数
(件)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-6】月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数 (人)



策定時以上・前年以上：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 80点 /100点〕

まちづくりの考え方や取り組みに対する市民理解の促進に向け、広報紙や市長記者会見のほか、ホームページの新着情報、動画などをSNSを通じて積極的に発信してきたことにより、「SNS等登録者数【図1-5】」は増加しています。しかし、まちづくりアンケートにおいて「まちづくりのために、有効に税金が使われていない」と回答した人の約7割が、その理由として「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択していることから、今後も、多様な媒体を通じ、市の取り組み内容や成果などを分かりやすく伝えるため、発信する内容や表現を工夫するとともに、要望や意見など市民の声を踏まえながら、事業の見直し等に努めていく必要があります。

効果的・効率的な自治体経営を進めるため、計画的な市債発行など中長期を見据えた財政運営に努めてきたことにより、「実質公債費比率【図1-3】」は維持となり、「将来負担比率【図1-4】」は減少しています。また、RPAやAI-OCR等のICTを活用して作業時間の縮減を図るなど、業務の効率化に向けた取り組みを進めてきていますが、「月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数【図1-6】」は前年と比べ74人増加していることから、今後も、組織全体で事業の見直しや、ICTやローコード開発ツールの活用促進による業務の効率化に取り組んでいく必要があります。

適正な業務執行の確保に向けては、定期監査や決算審査を実施しているほか、建設工事等の入札については、一般競争入札の対象範囲を拡大してきたことなどにより、ほぼ全ての入札において、公正性と透明性が高い一般競争入札を行っています。

公共施設マネジメントについては、計画に基づき、墓地の管理棟や動物園の旧管理事務所、大空地区の校舎等の取り壊しを行ったことで、「市民一人あたりの施設延床面積【図1-2】」は前年と比べて減少しています。今後、財政面での制約がより強まると見込まれることから、各施設の老朽化の進行状況や利用に対するニーズの変化などを捉え、市民の理解と協力を得ながら、公共施設マネジメントの更なる推進を図っていく必要があります。

職員の育成については、受講ニーズや時代の変化等をふまえた各種研修等の実施のほか、eラーニングによる自己啓発機会の提供などを行っています。他自治体との連携においては、廃棄物処理や水道、消防業務などの共同実施のほか、フードバレーとかちの推進や救急医療体制等の確保、観光客の誘致に向けたプロモーション活動の実施など、定住自立圏形成協定に基づく取り組みを推進しており、連携による事務の効率化や地域の生活機能の確保、魅力向上などが図られています。今後も、他自治体などと連携・協力し、効率的な運営や地域の活性化につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

事務事業評価表

事務事業評価表

施策 1 取組 1 番号 1 事務事業 健康づくり推進事業									
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通じ、市民の健康づくりを推進します。					担当課		健康推進課	
目標	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について5,400人を目指します。								
事業実施状況	・健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進（会員数 食改27人、健康30人） ・健康マイレージの推進（参加者数延5,478人） ・スマートライフプロジェクトおびひろの推進（登録企業延101社） ・おびひろ健康まつりの実施（R 6 来場者数1,052人）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	2,404		2,445		0		
		特定財源	200		200		0		
		一般財源	2,204		2,245		0		
		指標名	健康マイレージ事業参加者数					単位	人
		基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値	
				実績値		実績値			
				4,500		5,000			
2,878		4,458		5,478					
評価検証	R 6年度の健康マイレージ事業の参加者数は5,478人であり、目標を達成しました。 広報紙やホームページ、パネル展、イベント等で周知したことが効果的であったと考えます。今後も、関係機関と連携して、協賛企業を増やし、積極的に周知しながら事業内容を充実させていく考えです。								

施策 1 取組 1 番号 2 事務事業 保健衛生普及啓発事業											
目的	保健衛生に関する情報提供や関係団体との連携などにより、市民の健康づくりを推進します。					担当課		健康推進課			
目標	保健衛生に関する情報提供体制を維持します。										
事業実施状況	・ 献血の普及啓発 ・ 臓器等提供の普及啓発 ・ 北海道難病連十勝支部への支援 ・ 健康づくりガイドの作成 ・ 地元食材の活用促進の啓発 ・ 公衆浴場の利用促進	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		18,476		19,376		0			
		特定財源		0		0		0			
		一般財源		18,476		19,376		0			
		指標名 -						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-			-			-			-
					-			-			
評価検証	R 6 年度は、健康づくりガイドを作成・配布したほか、各事業について広報紙やホームページ等を通じた、保健衛生に関する情報提供、普及啓発を進めてきており、目標を達成しました。										

施策 1 取組 2 番号 1 事務事業 疾病対策事業															
目的	各種検診や保健指導、受診勧奨の実施により、疾病の予防や早期発見・早期治療と重症化予防を推進します。					担当課		健康推進課							
目標	大腸がんの検診における精密検査の受診率について69.3%を目指します。														
事業実施状況	・がん対策の実施（受診者延28,685人） ・市民健康診査等の実施（受診者125人） ・肝炎ウイルス検診の実施（受診者564人） ・骨粗しょう症検診の実施（受診者160人） ・結核検診の実施（受診者123人） ・各種健診の受診勧奨・事後指導 ・糖尿病対策の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額						
			事業費		145,227		144,073		0						
			特定財源		3,023		3,115		0						
			一般財源		142,204		140,958		0						
			指標名		大腸がん検診の精密検査受診率				単位		%				
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値
		66.9				69.3 68.6				69.3 72.3				69.3	
評価検証	R 6年度の大腸がん検診の精密検査受診率（R 4年度の確定値）は72.3%であり、目標を達成しました。														
	集団検診に加え施設検診の精検未受診者への再勧奨を継続して実施したことが受診率の向上に効果的であったと考えます。今後も、勧奨を継続し大腸がんの早期発見・早期治療の重要性について周知するとともに、精密検査の受診状況を確実に把握できるよう、引き続き実施医療機関と連携を図っていく必要があると考えます。														

事務事業評価表

施策 1 取組 2 番号 2 事務事業 健康教育事業										
目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。					担当課	健康推進課			
目標	健康講座の受講者数について毎年４％の増加を目指します。									
事業実施状況	・ 集団健康教育の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	3,580		4,138		0			
		特定財源	514		503		0			
		一般財源	3,066		3,635		0			
		指標名	健康講座受講者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		857		927 2,358		964 2,323		1,003		
		評価検証	R 6 年度の健康講座の受講者数は2,323人であり、目標を達成しました。 感染症の影響により活動を控えていた方の受講が増加傾向にあることや健康まつりや各種訪問などの機会に健康講座をPRしたことが増加の要因と考えます。							

施策 1 取組 2 番号 3 事務事業 健康相談・訪問支援事業														
目的	健康相談や訪問による保健指導などにより、市民の健康づくりを促進します。					担当課		健康推進課						
目標	市民の健康に関する不安に対して電話や面談により対応する健康相談・訪問の件数について884件を目指します。													
事業実施状況	・健康相談の実施 ・保健指導・受診勧奨の実施 ・保健福祉サービスに関する情報提供			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
				事業費		1,667		3,704		0				
				特定財源		386		378		0				
				一般財源		1,281		3,326		0				
				指標名		健康相談・訪問件数					単位		件	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	749				884 1,418		884 774				884			
評価検証	R 6 年度の健康相談・訪問の件数は774件であり、目標を達成しませんでした。 より多くの市民に生活習慣を振り返る機会を提供するため、大人数で実施可能な健康講座の周知を重点的に取り組んだ結果、健康講座への参加が増加した一方で、健康相談の件数が減少したことが要因と考えます。 今後も、健康講座や訪問による保健指導を行うほか、個別の相談体制を維持し、市民の健康づくりにつなげていく考えです。													

施策 1 取組 2 番号 4 事務事業 自殺対策事業										
目的	自殺対策に関わる人材の育成や地域での支え合いの強化、こころの健康づくりの普及啓発などを通し自殺予防を図ります。					担当課		健康推進課		
目標	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができるゲートキーパーの累積養成者数について1,864人を目指します。									
事業実施状況	・帯広市生きたるを支える連携会議の開催 ・ゲートキーパー養成（5回134名） ・多分野合同研修会の実施（3回106名） ・SOSの出し方教室（3回62名） ・こころの健康づくりの普及啓発（こころの体温計、パネル展等）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	513		548		0			
		特定財源	240		332		0			
		一般財源	273		216		0			
		指標名	ゲートキーパー養成講座の累積養成者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,505		1,675 1,816		1,767 1,950		1,864		
評価検証	R 6年度のゲートキーパーの累積養成者数は1,950人（R 6年度の養成者数は134人）であり、目標を達成しました。 従来の養成講座に加え、場所や日時を指定したオープン講座を開催したことが、養成者数の増加に効果的であったと考えます。									

事務事業評価表

施策 1 取組 2 番号 5 事務事業 感染症予防事業								
目的	予防接種や日常の感染予防対策の実施により、感染症の発生及びまん延を予防します。					担当課	健康推進課	
目標	子どもの麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率について95.0%を目指します。							
事業実施状況	・予防接種の周知啓発 ・定期接種（A類）の実施（接種者延26,110人） ・インフルエンザ予防接種費用助成の実施（中学3年生・高校3年生接種者延734人、高齢者接種者延22,810人） ・風しん抗体検査の実施（受検者延76人） ・新型インフルエンザ対策行動計画の推進 ・感染症発生状況の把握、情報発信 ・エキノコックス症血清検査の実施（受診者延92人） ・積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方へのHPVワクチン予防接種の実施（接種者延2,616人） ・新型コロナウイルスワクチンの接種の実施（接種者延5,485人）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
		事業費	736,373	486,390	0			
		特定財源	477,999	50,596	0			
		一般財源	258,374	435,794	0			
		指標名	麻しん・風しん混合ワクチン接種の接種率			単位	%	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		91.3		95.0 91.5		95.0 88.3		95.0
		R6年度の麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率は88.3%であり、目標を達成しませんでした。						
		対象者の保護者に対して、5月と12月に個別通知を送付したほか、就学時健診の際にチラシを配布する等の勧奨を行いました。必要性が十分に伝わらなかったことが要因であると考えます。今後は、個別通知に加えてホームページや母子手帳アプリを通じて周知を行うなど、タイミングや内容を工夫して勧奨を行い、感染症対策と予防接種の必要性について周知啓発を図っていく必要があると考えます。						

施策 1 取組 2 番号 6 事務事業 健康増進計画（けんこう帯広21）推進事業										
目的		健康増進計画を推進し、健康増進に関する施策を総合的に進めます。					担当課	健康増進課		
目標		-								
事業実施状況	・「けんこう帯広21」の推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		70		0		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		70		0		0	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-	-	-	-	-			
			-	-	-	-	-			
評価検証		-								

施策	1	取組	2	番号	7	事務事業	保健福祉センター等管理運営事業					
目的	保健福祉センター等の管理運営を通して、健康づくりや子育て支援など、各種福祉サービスを提供します。						担当課	健康推進課				
目標	-											
事業実施状況	・保健福祉センターの管理運営（利用者延28,046人） ・大正健康増進センターの管理運営（利用者延699人） ・川西健康増進センターの管理運営（利用者延2,209人）				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	46,373		88,983		0		
					特定財源	1,329		40,872		0		
					一般財源	45,044		48,111		0		
					指標名	-					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値					
	-		-		-		-					
			-		-							
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 1 取組 2 番号 8 事務事業 保健・介護一体的実施推進事業												
目的	高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施することにより、心身の多様な課題に対し、きめ細やかな支援を行うことで、健康寿命の延伸を目指します。						担当課	健康推進課				
目標	-											
事業実施状況	・企画調整担当保健師の配置 ・医療関係団体等との連絡調整 ・地域の健康課題の分析・対象者把握 ・高齢者に対する個別支援の実施（延17人） ・通いの場等への積極的な関与（15団体、213人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		421		429		0	
					特定財源		6,801		5,774		0	
					一般財源		△6,380		△5,345		0	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
				-		-						
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 7 事務事業 子ども発達支援事業									
目的	発達相談や早期療育の機会の提供により、発達の遅れや障害のある児童と家庭への支援を行います。					担当課	子育て支援課		
目標	子どもの発達に関する相談体制を維持します。								
事業実施状況	・発達支援センターの運営（延相談人数61人） ・子ども発達相談室の運営（発達相談 相談件数772件、2・3・4歳児相談 相談件数245件） ・ことばの教室の運営（延相談人数236人） ・肢体不自由児機能訓練事業の実施（参加組数 親子61組） ・こども支援部会の開催（開催回数4回） ・難聴児の補聴器購入への支援（助成件数7件） ・医療的ケア児童支援検討部会の開催（開催回数10回）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	17,123	18,412	0			
			特定財源	548	537	0			
			一般財源	16,575	17,875	0			
			指標名	発達に心配のある子や障害児に関する相談件数				単位	件
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		513	513	513	513				
			738	772					
評価検証	R6年度のこども発達相談室の相談件数は772件となり、目標を達成しました。 こどもの発達に関する相談窓口として、幼稚園や保育所、学校と連携しながら相談業務を行ってきたことで、保護者や関係機関への認知度が高まり、相談件数が増加していると考えます。 今後も、子どもの健やかな成長に向けて、発達に心配のある子や障害児についての相談体制や支援を継続していく必要があると考えます。								

施策 2 取組 1 番号 8 事務事業 母子保健サービス提供事業												
目的	妊娠・出産・育児に関する相談や支援を進め、精神的・経済的不安の軽減を図ります。					担当課	健康推進課					
目標	子育てに関する相談体制を維持します。											
事業実施状況	・母性相談の実施（相談者延1,879人） ・訪問指導の実施（実施数延2,195人） ・不妊治療費の支援（生殖補助申請数延6件、先進不妊申請数延199件） ・不育症治療費の支援（申請数延1件） ・妊娠中、産後早期の妊産婦への支援（産後ケア利用数延85件、産前産後サポート事業参加者延347人） ・利用者支援事業の実施（実施数962件） ・母子健康手帳アプリの導入（総登録数3,415件）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	16,878	18,660	0			
						特定財源	15,709	14,418	0			
						一般財源	1,169	4,242	0			
						指標名	妊娠、出産及び育児に関する相談件数			単位	件	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						1,912		1,912 1,628		1,912 1,879		1,912
評価検証	R6年度の母性相談室での相談件数は1,879件であり、目標を達成しませんでした。しかしながら、産後ケア事業や教室事業などの様々な機会を通じて相談を受ける場が増加しているなど、相談体制の維持は図られてきており、全体の相談件数も前年より増加しています。今後も、来所相談をはじめとする様々な方法で子育てに関する相談体制を維持していく必要があると考えます。											

施策 2 取組 1 番号 9 事務事業 妊婦・乳幼児健康診査等事業													
目的	妊婦・乳幼児の健康診査等を通し、異常の早期発見や出産・育児に関する情報の提供・助言などを行い、母子の健康の保持増進を図ります。					担当課	健康推進課						
目標	乳幼児健康診査の受診体制を維持します。												
事業実施状況	・妊婦健康診査の実施（受診者延10,496人） ・乳幼児健康診査の実施（受診者3,620人） ・両親教室の開催（参加者延233組） ・育児教室の開催（参加者延204組） ・すこやか親子教室の開催（参加者延486組） ・新生児聴覚検査費助成（受診者769人） ・妊婦歯科健康診査の実施（受診者409人）					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		105,691	107,680	0			
						特定財源		1,579	2,097	0			
						一般財源		104,112	105,583	0			
						指標名 -					単位		
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
									-		-		-
評価検証	R6年度は、妊婦・乳幼児健康診査等を継続し、受診体制を維持したことで、目標を達成しました。出産・育児の情報提供や母子の健康状態を把握しながら相談対応を行ったほか、新たに妊婦歯科健康診査を開始するなど、健康の保持増進を図る取り組みを進めてきたことが効果的であったと考えます。												

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 10 事務事業 児童虐待予防・防止対策推進事業										
目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	子育て支援課			
目標	児童虐待等に関する相談体制を維持します。									
事業実施状況	・家庭児童相談室の運営(相談件数238件) ・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催 ・代表者会議1回 ・実務者会議1回 ・ケース会議41回	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	6,014		7,817		0			
		特定財源	4,647		8,181		0			
		一般財源	1,367		△364		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	R 6 年度も要保護児童対策地域協議会の「個別ケース検討会議」において決定した支援方針に基づき、関係機関と連携して児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応に取り組み、相談体制を維持しており、目標を達成しました。									

施策 2 取組 1 番号 11 事務事業 児童手当支給事業										
目的		児童手当の支給により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。				担当課		こども課		
目標		-								
事業実施状況	・児童手当の支給(192,244件)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		2,022,634		2,253,176		0	
			特定財源		1,710,577		1,972,846		0	
			一般財源		312,057		280,330		0	
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証		-								

施策 2 取組 1 番号 12 事務事業 児童扶養手当支給事業												
目的	児童扶養手当の支給により、父子・母子家庭等の経済的負担の軽減を図ります。						担当課		こども課			
目標	-											
事業実施状況	・児童扶養手当の支給（1,829人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		847,523		857,034		0	
					特定財源		281,494		283,354		0	
					一般財源		566,029		573,680		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 13 事務事業 子ども医療費給付事業											
目的	子ども医療費の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。					担当課	こども課				
目標	-										
事業実施状況	・子ども医療費の給付（220,208件）				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	304,322		414,746		0	
					特定財源	110,276		101,477		0	
					一般財源	194,046		313,269		0	
	指標名				-				単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
		-	-	-	-	-	-				
評価検証	-										

施策	2	取組	1	番号	14	事務事業	ひとり親家庭等医療費給付事業										
目的	ひとり親家庭等への医療費の給付により、経済的負担の軽減を図ります。						担当課		こども課								
目標	-																
事業実施状況	・ひとり親家庭等医療費の給付（52,994件）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費		135,600		131,349		0				
							特定財源		32,483		34,356		0				
							一般財源		103,117		96,993		0				
							指標名 -						単位				
							基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
							-			-			-			-	
評価検証	-																

施策 2 取組 1 番号 15 事務事業 未熟児養育医療給付事業										
目的	入院を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療の給付を行い、乳児の健康の保持および健やかな育成を図ります。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・未熟児養育医療の給付（25人）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	11,021		8,758		0		
			特定財源	15,984		9,873		0		
			一般財源	△4,963		△1,115		0		
			指標名	-					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 16 事務事業 助産施設入所費援助事業												
目的	経済的理由により、入院助産を受けられない妊産婦への分娩費用を援助し、経済的負担の軽減を図ります。							担当課		こども課		
目標	-											
事業実施状況	・助産施設入所費の援助（11人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		7,711		5,672		0	
					特定財源		8,937		6,408		0	
					一般財源		△1,226		△736		0	
					指標名						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 2 取組 1 番号 17 事務事業 母子家庭等日常生活支援事業										
目的	一時的な生活援助や保育サービスを必要とするひとり親家庭等に家庭生活支援員を派遣し、日常生活を支援します。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・家庭生活支援員による家事、育児の支援（10件）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	358		358		0			
		特定財源	187		188		0			
		一般財源	171		170		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	-									

施策 2 取組 1 番号 18 事務事業 子育て短期支援事業													
目的	家庭における養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設において受け入れます。					担当課	子育て支援課						
目標	-												
事業実施状況	・児童養護施設における一時的養育の実施（23人164日）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費	257	897		0				
					特定財源	152	646		0				
					一般財源	105	251		0				
					指標名	-					単位		
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
					-		-		-		-		
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 2 取組 1 番号 19 事務事業 介護給付・地域生活支援事業															
目的	心身障害児ヘデイサービスの提供などにより、心身機能の維持向上や家庭の負担軽減を図ります。					担当課	子育て支援課								
目標	-														
事業実施状況	・ 自立支援給付の実施(受給児童数46人) ・ 地域生活支援事業の提供(受給児童数350人) ・ 障害児通所給付の実施(受給児童数1,413人) ・ 相談支援給付の実施(受給児童数431人)					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費	1,249,999		1,346,203		0				
						特定財源	794,736		859,921		0				
						一般財源	455,263		486,282		0				
						指標名	-					単位			
						基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
						-		-			-			-	
評価検証	-														

施策	2	取組	1	番号	20	事務事業 特別児童扶養手当事業											
目的	20歳未満の身体又は精神に障害のある児童を養育する父母又は養育者に対する特別児童扶養手当の支給に関する事務を行います。						担当課		子育て支援課								
目標	-																
事業実施状況	・特別児童扶養手当の支給事務(受給資格者数570人)						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費		132		149		0				
							特定財源		1,041		1,169		0				
							一般財源		△909		△1,020		0				
							指標名 -						単位				
							基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
							-			-			-			-	
評価検証	-																

施策 2 取組 2 番号 1 事務事業 保育士等資質向上事業										
目的	研修会の開催などにより、保育士等の資質向上を図ります。					担当課	こども課			
目標	保育士研修会や保育士向けゼミ講習会、保育実践交流会の参加者数について1,264人を目指します。									
事業実施状況	・ 保育士等研修会の開催（9回、1,079人） ・ 私立保育所で構成する研修団体への支援 ・ 保育士の研修会参加に係る支援	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		537		701		701		
		特定財源		50		50		50		
		一般財源		487		651		651		
	指標名		保育士等の資質向上にむけた研修会の参加者数						単位	人
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
	789			1,264 1,060			1,264 1,079			1,264
評価検証	R6年度の研修会の参加者数は1,079人であり、目標を達成しませんでした。 保育の質の向上に、よりつながると考えられる会員限定の小規模研修会の開催を増やしたことで、参加人数は前年より増加したものの、目標数の達成には至りませんでした。 今後も、保育の質の向上に向けて、市内の公・私含めた保育関係者の合同研修や意見交換会などの受講機会を増やしていくほか、参加しやすい方法を検討していく必要があると考えます。									

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 2 事務事業 病後児保育事業												
目的	多様な保育ニーズに対応するため、病気の回復期にある児童の受け入れを行います。						担当課	こども課				
目標	病気の回復期にある児童の受入体制を維持します。											
事業実施状況	・病後児保育の実施（延べ利用数261人）				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	12,146		11,216		0		
					特定財源	7,311		7,476		0		
					一般財源	4,835		3,740		0		
					指標名	-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
	評価検証	手足口病や季節性インフルエンザなどの感染症が流行しましたが、利用者のニーズに対応し、病後児童の受け入れを行っており、目標を達成しました。										

施策 2 取組 2 番号 3 事務事業 公立保育所管理運営事業											
目的	公立保育所の管理運営により、安定した保育サービスを提供します。					担当課	こども課				
目標	-										
事業実施状況	・公立保育所の管理運営（7所） ・乳児保育（5所）、延長保育（7所）、一時保育（2所）、休日保育（1所）、特別支援保育（7所）の実施 ・保育料、副食費の賦課・徴収 ・収納率向上対策の推進 ・保育ICTシステムの運用					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	833,015	961,264		0	
						特定財源	494,546	538,876		0	
						一般財源	338,469	422,388		0	
						指標名	-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	-										

施策 2 取組 2 番号 4 事務事業 私立保育所運営事業										
目的	社会福祉法人等に保育業務を委託し、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。					担当課	こども課			
目標	-									
事業実施状況	・私立保育所への保育業務委託（22所） ・乳児保育（21所）、延長保育（22所）、一時保育（1所）、特別支援保育（22所）の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	2,769,899	3,094,925	0	
						特定財源	2,009,021	2,290,267	0	
						一般財源	760,878	804,658	0	
	指標名					-	単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 5 事務事業 地域型保育事業運営事業												
目的	小規模保育事業などの地域型保育事業を実施することにより、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。					担当課	こども課					
目標	-											
事業実施状況	・地域型保育事業給付の実施（小規模保育事業所4所・事業所内保育所1所） ・道が実施する物価高騰対策支援事業の対象外になった保育施設への支援					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	210,626		234,653		0	
						特定財源	136,832		138,822		0	
						一般財源	73,794		95,831		0	
						指標名			-		単位	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-		-		-
評価検証	-											

施策	2	取組	2	番号	6	事務事業	認定こども園等施設給付事業				
目的	施設給付の実施により、認定こども園等が行う教育・保育サービスの提供を支援します。						担当課	こども課			
目標	-										
事業実施状況	・認定こども園や施設型給付を受ける幼稚園への施設給付の実施						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	1,296,341	1,500,993	0	
							特定財源	938,660	1,076,632	0	
							一般財源	357,681	424,361	0	
	指標名						-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	-										

施策	2	取組	2	番号	7	事務事業 児童保育センター管理運営事業											
目的	児童保育センターの管理運営により、就学児童の安心な居場所の確保や健全育成を図ります。						担当課		こども課								
目標	-																
事業実施状況	・児童保育センターの管理運営						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費		801,825		821,221		0				
							特定財源		456,980		505,107		0				
							一般財源		344,845		316,114		0				
	指標名						-						単位				
													基準値		R5	目標値 実績値	
							-		-		-		-		-		-
評価検証	-																

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 8 事務事業 幼稚園教育環境整備支援事業															
目的		幼稚園の特色ある教育等の支援を通して、児童の教育環境の整備を促進します。						担当課		こども課					
目標		-													
事業実施状況	・幼稚園の教育環境整備への支援 (教員研修、スケートリンク造成、特別支援教育ほか)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額						
			事業費		13,213		14,670		0						
			特定財源		0		0		0						
			一般財源		13,213		14,670		0						
			指標名							-		単位		-	
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
			-			-			-			-			
評価検証	-														

施策 2 取組 2 番号 9 事務事業 公立保育所整備事業														
目的		公立保育所の施設整備を実施し、保育環境を整備します。						担当課		こども課				
目標		-												
事業実施状況	・すずらん保育所屋上防水工事の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		0		27,808		0					
			特定財源		0		27,808		0					
			一般財源		0		0		0					
			指標名		-						単位			
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
			-			-			-			-		
評価検証		-												

施策 2 取組 2 番号 10 事務事業 私立保育所整備事業												
目的		私立保育所の施設整備を支援し、保育環境を整備します。						担当課		こども課		
目標		-										
事業実施状況	・私立保育所建設費、施設整備費償還への支援（7施設）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		60,332		235,995		0	
					特定財源		0		179,488		0	
					一般財源		60,332		56,507		0	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 2 取組 2 番号 11 事務事業 認定こども園整備事業									
目的	私立認定こども園の施設整備を支援し、保育環境を整備します。					担当課	こども課		
目標	-								
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		0		0		0	
		特定財源		0		0		0	
		一般財源		0		0		0	
		指標名 -						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-			-		-		-
評価検証	-								

施策 2 取組 2 番号 12 事務事業 児童保育センター整備事業												
目的	児童保育センターの施設整備を実施し、就学児童の保育環境を整備します。						担当課		こども課			
目標	-											
事業実施状況	・旧大空児童保育センター解体 ・（2月補正）児童保育センター新規開設（花園、つつじが丘）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		4,087		36,847		0	
					特定財源		0		29,572		0	
					一般財源		4,087		7,275		0	
					指標名 -						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 2 取組 2 番号 13 事務事業 子育てのための施設等利用給付事業												
目的	認可外保育施設等の利用料の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。						担当課	こども課				
目標	-											
事業実施状況	・認可外保育施設等の利用者負担の支援 (認可外保育施設、幼稚園、預かり事業ほか)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		126,969		81,181		0	
					特定財源		102,561		61,229		0	
					一般財源		24,408		19,952		0	
	指標名						-			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 2 取組 3 番号 1 事務事業 待機児童対策事業												
目的	認可保育所（地域型保育事業含む）に入所できない児童を、認可外保育施設で受け入れることにより、待機児童対策を進めます。						担当課		こども課			
目標	認可外保育施設における保育受入体制を確保します。											
事業実施状況	・待機児童対策事業の実施（利用人数20人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		4,945		4,339		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		4,945		4,339		0	
	指標名						-		単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	R 6 年度は、認可保育所に入所できない児童の受入体制確保事業において、児童20人の利用があり、認可外保育施設の協力のもと、受入体制を確保したことで、目標を達成しました。											

施策 2 取組 3 番号 2 事務事業 母子家庭等就業・自立支援事業										
目的	母子・父子自立支援員等による相談や母子家庭等就業・自立支援センター事業による就労支援を行い、ひとり親家庭等の自立を促進します。					担当課	こども課			
目標	ひとり親家庭等に対する相談体制や就業・自立支援センターによる就労支援体制を維持します。									
事業実施状況	・母子・父子自立支援員及び就業支援専門員の配置 ・母子家庭等就業・自立支援センター事業の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	7,865	7,494	0	
						特定財源	2,480	2,729	0	
						一般財源	5,385	4,765	0	
						指標名	-		単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	R6年度は、ひとり親家庭等の自立に向け、母子・父子自立支援員等による相談対応やハローワーク等との連携による就労支援などに取り組むことで、就労支援体制を維持してきており、目標を達成しました。									

施策 2 取組 3 番号 3 事務事業 母子家庭等自立支援事業																
目的	就職のための教育訓練、職業訓練への支援により、ひとり親家庭の自立を促進します。						担当課		こども課							
目標	-															
事業実施状況	・自立支援教育訓練給付金の支給(6件) ・高等職業訓練促進給付金等の支給(12件) ・高等学校卒業程度認定試験合格支援費の支給(0件)						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
							事業費		15,543		13,637		0			
							特定財源		12,686		11,791		0			
							一般財源		2,857		1,846		0			
							指標名				-		単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値			
	-				-				-				-			
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 2 取組 3 番号 再 事務事業 労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>1												
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、 勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。						担当課	商業労働課				
目標	-											
事業実施状況	・子育て応援事業所促進事業の実施（48件）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		-		-		-				
		特定財源		-		-		-				
		一般財源		-		-		-				
		指標名 -						単位				
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

施策 2 取組 3 番号 再 事務事業 女性活躍推進事業<再掲22-3-1>1									
目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。					担当課	市民活動課		
目標	-								
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進（33.7%） ・女性活躍に関する講座の開催（2回61人） ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布（2,053枚）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	-	-	-	
					特定財源	-	-	-	
					一般財源	-	-	-	
					指標名	-			単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-				
評価検証	-								

施策 2 取組 4 番号 1 事務事業 子ども・若者支援地域協議会事業												
目的	円滑な社会生活を送る上で不安や困難を抱える子ども・若者を支援します。					担当課	地域福祉課					
目標	不安や困難を抱える子どもや若者等の心の不安や悩み、困り事に関する相談体制を維持します。											
事業実施状況	・子ども・若者支援地域協議会の開催(代表者会議1回、実務者会議2回、個別ケース検討会議1回) ・ヤングテレホン相談の実施(207件)					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	3,209		3,204		0	
						特定財源	0		0		0	
						一般財源	3,209		3,204		0	
	指標名		ヤングテレホン相談件数						単位	件		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	158			158			158			158		
				324			207					
評価検証	R6年度のヤングテレホン相談件数は207件となり、目標を達成しました。 相談窓口を積極的に周知してきたことなどにより、相談者が増加していることが要因だと考えます。 今後も、不安や困難を抱える子ども、若者等の心の悩み、困り事に関する相談体制の維持に努めます。											

事務事業評価表

施策 2 取組 4 番号 2 事務事業 青少年センター事業										
目的	街頭巡回活動などを通じて、青少年非行の防止と社会環境の改善を推進します。					担当課	学校地域連携課			
目標	子どもたちが登下校時などに身に迫った危険や犯罪に巻き込まれそうになった場合に逃げ込み先となる「子ども110番の家」登録件数について1,009箇所を維持します。									
事業実施状況	・子ども110番の家の設置(969箇所) ・街頭巡回指導の実施 ・非行防止啓発事業の実施 ・社会環境改善活動の実施 ・有害情報防止対策啓発事業			単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費	11,468		14,304		0	
				特定財源	0		0		0	
				一般財源	11,468		14,304		0	
				指標名	子ども110番の家 登録件数				単位	箇所
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	1,009		1,009	1,009	1,009					
評価検証	R6年度は、帯広市PTA連合会の会議や小学校のお祭りでの「子ども110番の家」のPR活動に新たに取り組みましたが、登録件数は969箇所となり、目標を達成しませんでした。 登録者の高齢化や店舗の廃業などにより登録件数が減少していることが要因と考えます。今後も、新規登録の増加に向けて、青少年センター職員が巡回パトロール時に団体や家庭を訪問し、新規登録の働きかけを行うほか、広報おびひろや青少年センターだよりに加え、イベントでのPR活動を行うなど広く協力を呼び掛けていく必要があると考えます。									

施策 2 取組 4 番号 3 事務事業 青少年健全育成事業									
目的	家庭、地域、学校、関係機関等との連携により、青少年健全育成活動を推進します。					担当課	学校地域連携課		
目標	ジュニアリーダー養成事業や、子どもたちの豊かな人間性、社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。								
事業実施状況	・帯広市青少年問題協議会の開催 ・帯広市青少年育成者連絡協議会への支援		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	12,004		14,868		0	
			特定財源	0		0		0	
			一般財源	12,004		14,868		0	
			指標名 -						単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
			-		-				
評価検証	R6年度の体験活動の参加者数は、前年よりも増加し、目標を達成しました。 子ども会や地域のリーダーを育成するための宿泊研修会を秋と春に1コースずつの実施から、再び2コースずつの実施としたことやシン・スポーツ体験会を実施し、誰もが気軽に楽しめる運動の機会を提供したことが要因と考えます。さらに、青連協だよりの内容を見直し、幅広い年齢層が楽しめるような紙面にしたこと、事業の周知を効果的に行うことができたと考えます。								

施策 2 取組 4 番号 再 事務事業 体験活動機会提供事業（学校地域連携課）<再掲12-1-2>									
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。						担当課	学校地域連携課	
目標	-								
事業実施状況	・中学生からのメッセージ事業の実施（発表者15人、来場者146人） ・冬季活動機会提供事業の実施（雪不足のため中止） ・おびひろキッズタウンの開催（参加者267人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	-	-	-	
					特定財源	-	-	-	
					一般財源	-	-	-	
					指標名	-			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
			-		-				
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 2 取組 4 番号 再 事務事業 青少年活動支援事業（学校地域連携課）<再掲12-1-3>																
目的		青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。					担当課		学校地域連携課							
目標		-														
事業実施状況	・ジュニアリーダー“あるふあ”の会の運営（会員数21人） ・ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（参加者16人） ・地域子ども会リーダー宿泊研修会の開催（参加者162人） ・北海道地域子ども会リーダー研修会への派遣（参加者7人）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		-		-		-				
						特定財源		-		-		-				
						一般財源		-		-		-				
						指標名		-					単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
						-		-	-	-	-	-				
評価検証	-					-		-		-		-				
						-		-		-						

施策 2 取組 0 番号 1 事務事業 おびひろ子ども未来プラン推進事業												
目的	審議会等の運営を通して、おびひろ子ども未来プランを推進し、子どもに関する施策を総合的に進めます。					担当課	子ども課					
目標	-											
事業実施状況	・おびひろ子ども未来プランの推進 ・健康生活支援審議会児童育成部会の開催 ・子ども未来基金の管理					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	64,327		45,514		0	
						特定財源	63,955		45,354		0	
						一般財源	372		160		0	
	指標名					-					単位	
						基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値	
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		
-					-					-		

事務事業評価表

施策 3 取組 1 番号 1 事務事業 成年後見制度利用支援事業									
目的	本人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用支援により、高齢者等の権利擁護を図ります。					担当課	地域福祉課		
目標	成年後見支援センターにおける法人後見支援員の登録者数について81人を目指します。								
事業実施状況	・成年後見制度の利用支援（登録者65人） ・市民後見制度の啓発 ・市民後見人養成講座の開催（受講者 8人） ・成年後見支援センターの運営				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
					事業費		25,886	28,633	0
					特定財源		7,874	9,320	0
					一般財源		18,012	19,313	0
					指標名		市民後見人養成人数		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	65			70 62		75 65		81	
評価検証	R6年度の法人後見支援員の登録者は65人であり、前年より3人増加したものの目標を達成しませんでした。家庭の事情などで登録抹消者がいたことなどが要因と考えます。 今後も、法人後見支援員の登録者を増やすため、成年後見フォーラム等を通じた市民周知を行うほか、養成講座の内容を充実させていく必要があると考えます。								

施策 3 取組 1 番号 2 事務事業 地域福祉推進事業													
目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等とともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。					担当課	地域福祉課						
目標	地域において高齢者や障がいのある人等を支える環境づくりを進めるため、ボランティア養成講座の参加者数の増加を目指します。												
事業実施状況	・地域交流サロンの活動促進 ・戦没者追悼式の実施 ・福祉基金の管理 ・社会福祉法人の指導監査（3件） ・グリーンプラザの管理運営 ・帯広市社会福祉協議会への支援 ・ボランティア養成講座（1回10人） ・無料低額診療の対象者に対する院外保険薬局の調剤処方費用を支援396件） ・地域密着型サービス運営委員会の運営（3回） ・介護、障害サービス事業所等の指定・指導監査（運営指導 介護：44件 障害：16件）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
						事業費	130,717	120,651	0				
						特定財源	2,286	16,261	0				
						一般財源	128,431	104,390	0				
						指標名 -				単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
									-		-		-
評価検証	R6年度の社会福祉協議会によるボランティア養成講座の参加者数は、前年から3人減少し、目標を達成しませんでした。 講座の開催時期が2月だったため、大雪の影響で受講が難しかった方がいたことが要因であると考えます。 今後は、講座の開催方法や実施時期、回数などを検討するとともに、積極的な周知を行い、参加者の増加を図る必要があると考えます。												

施策 3 取組 2 番号 1 事務事業 民生委員・児童委員活動推進事業									
目的	民生委員・児童委員の配置や支援により、地域における相談活動を推進します。					担当課	地域福祉課		
目標	民生委員・児童委員による相談・支援体制を維持します。								
事業実施状況	・ 民生委員・児童委員の配置（相談件数7,373件） ・ 民生委員・児童委員への活動支援	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	27,424		27,738		0		
		特定財源	23,279		23,279		0		
		一般財源	4,145		4,459		0		
		指標名	民生委員・児童委員の相談・支援件数				単位	件	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		10,977		11,290 7,062		11,290 7,373		11,290	
評価検証	R6年度の民生委員・児童委員の相談・支援件数は7,373件となり、目標を達成しませんでした。 民生委員の担い手が不足している影響などにより、活動件数が減少しているものと考えます。 地域の見守りのネットワークの充実を図っていく上で、民生委員が果たす役割は大きいことから、今後も、民生委員の担い手の確保に努めるとともに、市民への広報を行い、身近な相談相手としての民生委員の認知度向上を図ります。								

事務事業評価表

施策 3 取組 2 番号 2 事務事業 地域福祉包括支援事業										
目的	地域福祉にかかる関係団体等との連携等により、複合的な課題を抱える人や世帯に対し、包括的な支援を進めます。					担当課	地域福祉課			
目標	複合的な課題を抱える人や世帯に対して包括的な支援を行う体制づくりを進めます。									
事業実施状況	・きづきネットワーク事業の推進 ・包括的支援体制づくりの推進 ・ひきこもり支援事業の実施（相談受付件数49件）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	0		8,933		0			
		特定財源	0		4,466		0			
		一般財源	0		4,467		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	R6年5月から「ひきこもり支援ステーションゆつくりん」を開設し、専門職による中長期的な伴走支援の実施体制を整えており、目標を達成しました。今後も、関係機関の連携を強化しながら、複合的な課題を抱える人や世帯への包括的な支援体制づくりを進めていきます。									

施策 3 取組 2 番号 再 事務事業 地域包括支援センター運営事業<再掲4-1-1>										
目的	高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。					担当課	地域福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・総合相談支援の実施（10,834件） ・権利擁護の支援 ・包括的・継続的ケアマネジメントの支援 ・介護予防ケアマネジメントの実施 ・地域ケア会議の開催（51回530人） ・ひとり暮らし高齢者等の支援 ・家族介護者リフレッシュ事業の実施（8回87人）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費			-		-			
		特定財源			-		-			
		一般財源			-		-			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-		-		-			
		-	-		-		-			
評価検証	-									

施策 3 取組 2 番号 再 事務事業 生活困窮者自立促進支援事業<再掲7-3-2>																			
目的	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。					担当課	生活支援第1課・第2課												
目標	-																		
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援（新規相談数290件（実人数）） ・生活困窮者の就労準備支援（6人（実人数）） ・生活困窮者の家計改善支援（7人（実人数）） ・住居確保給付金の支給（新規申請決定件数3世帯、給付額270,000円） ・生活困窮世帯（被保護世帯含む）の子どもの学習支援（小学生＜参加者13人（実人数）＞、中学生（高校生含む）＜参加者15人（実人数）＞）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
						事業費		-		-		-							
						特定財源		-		-		-							
						一般財源		-		-		-							
						指標名		-				単位							
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
						-				-		-				-			
										-		-							
評価検証	-																		

事務事業評価表

施策	3	取組	0	番号	1	事務事業	地域福祉計画推進事業									
目的	健康生活支援審議会の運営を通して、地域福祉計画に基づき、保健・福祉・医療に関する施策を総合的に推進します。						担当課	地域福祉課								
目標	-															
事業実施状況	・健康生活支援審議会の開催（４回） ・地域福祉計画の推進 ・帯広市第４期地域福祉計画の策定						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費	1,299		1,026		0				
							特定財源	0		0		0				
							一般財源	1,299		1,026		0				
							指標名	-						単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
							-	-		-		-				
							-	-		-		-				
評価検証	-															

施策	3	取組	0	番号	2	事務事業 物価高騰対策に伴う給付事業									
目的	給付金の支給により、物価高騰の影響を受けている世帯への支援を行います。						担当課		地域福祉課、こども課						
目標	-														
事業実施状況	・物価高騰子育て支援臨時給付金(対象世帯12,939世帯、対象児童21,693人) ・暖房代支援給付金（5,242世帯） ・価格高騰重点支援給付金（3,230世帯） ・定額減税補足給付金（26,641人）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
							事業費		3,172,114		2,607,948		0		
							特定財源		3,144,379		2,522,245		0		
							一般財源		27,735		85,703		0		
	指標名		-						単位						
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値					
	-			-			-			-					
				-			-								
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 4 取組 1 番号 7 事務事業 生活支援ハウス運営事業													
目的		生活支援ハウスの運営支援を通して、介護支援、居住、交流などの機能を総合的に提供し、高齢者の自立した生活を支援します。					担当課		介護高齢福祉課				
目標		-											
事業実施状況	・生活支援ハウスへの運営支援 (定員40名、月平均入居者28名)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		44,280		47,139		0				
			特定財源		8,596		8,618		0				
			一般財源		35,684		38,521		0				
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
	-				-		-				-		
評価検証		-											

施策 4 取組 1 番号 8 事務事業 地域介護・福祉空間整備事業												
目的		地域密着型の小規模介護施設の整備などを支援し、日常生活圏域内で高齢者が安心して生活できる環境整備を進めます。					担当課		介護高齢福祉課			
目標		-										
事業実施状況	介護保険施設等の非常用自家発電設備等の整備への支援 (3施設はR5年度からの繰越)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		21,730		23,880		0			
			特定財源		19,640		23,880		0			
			一般財源		2,090		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
評価検証	-											

施策 4 取組 1 番号 9 事務事業 老人福祉施設等整備補助事業												
目的	民間事業者との連携により、各種老人福祉施設の整備を促進し、在宅生活が困難な高齢者を支援します。							担当課		介護高齢福祉課		
目標	-											
事業実施状況	・特別養護老人ホーム等建設費償還への支援 (5施設へ支援)	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		45,468		42,675						
		特定財源		0		0						
		一般財源		45,468		42,675						
		指標名		-						単位		
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	4	取組	1	番号	10	事務事業	老人保護措置事業				
目的	養護老人ホームへの入所措置により、在宅での生活が困難な高齢者の生活の安定を図ります。						担当課	介護高齢福祉課			
目標	-										
事業実施状況	・養護老人ホームへの入所措置 (月平均入居者165名)				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	313,074	310,350				
					特定財源	88,178	87,131				
					一般財源	224,896	223,219				
	指標名		-					単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-		-		-		-				
評価検証	-										

施策 4	取組 2	番号 1	事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業									
目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。						担当課	介護高齢福祉課				
目標	高齢者の社会参加を促進するバス無料乗車証の交付率について63.2%を目指します。											
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付（交付率60.1%） ・高齢者の社会参加などを促進する「いきいき元気事業」の実施（「まちなか」利用者数17,773人）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費	174,577		173,112						
			特定財源	787		845						
			一般財源	173,790		172,267						
			指標名	バス無料乗車証の交付率					単位	%		
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
			62.9		63.0 59.6		63.1 60.1		63.2			
	評価検証	R6年度のバス無料乗車証の交付率は60.1%であり、目標を達成しませんでした。 R6年度おでかけサポートバス市民アンケートにおいて、無料乗車証を持っていない人の9割以上が主な外出手段としてバス以外を挙げていることから、目標に届かなかったものと考えます。一方で、今後は、無料乗車証でバスを利用したいと答えた人は約5割いることから、今後も、制度の周知啓発を行うことで、交付率の向上に努めます。										

施策	4	取組	2	番号	2	事務事業	老人クラブ等活動支援事業				
目的	老人クラブへの支援などにより、高齢者の知識・経験を活かした社会活動や生きがいづくりを促進します。						担当課	市民活動課			
目標	高齢者の生きがい創出などにつながる老人クラブの活動の継続を目指します。										
事業実施状況	・老人クラブの育成、指導 ・老人クラブ等への支援（補助103団体、3,801人、バスの利用54件、949人）						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	32,402	33,482		
							特定財源	3,975	3,989		
							一般財源	28,427	29,493		
	指標名		-				単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
-			-		-		-				
評価検証	R6年度は、老人クラブ連合会等の役員、会員が無理なく楽しく活動を続けられるよう、活動補助金の交付などの支援を行ったことで、老人クラブ活動が継続されており、目標を達成しました。										

事務事業評価表

施策 4 取組 2 番号 3 事務事業 敬老祝金支給事業												
目的		敬老祝金の贈呈を通して、高齢者の生きがいづくりや市民の敬老意識の向上につなげます。						担当課		介護高齢福祉課		
目標		-										
事業実施状況	・敬老祝金の贈呈 (88歳1,023人、100歳62人)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		31,545		31,650		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		31,545		31,650		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
	-		-		-		-		-			
評価検証		-										

施策 4 取組 2 番号 再 事務事業 雇用拡大・機会確保促進事業<再掲9-4-1>												
目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、就業機会の確保を図ります。								担当課		商業労働課	
目標	-											
事業実施状況	・季節労働者の通年雇用化促進 ・UIJ ターン、人材マッチングの促進 ・高齢者の就業機会の拡大 ・シルバー人材センターへの運営支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-		-		-		-					
	-		-		-		-					
評価検証	-											

施策 4 取組 2 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）<再掲13-1-1>1												
目的		学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。					担当課		生涯学習文化課			
目標		-										
事業実施状況	・市民大学講座の実施（49講座1,646人） ・高齢者学級の実施（1年生48人、2年生40人） ・プラザエンジョイスクールの実施（第Ⅰ期583人、第Ⅱ期551人、第Ⅲ期532人、第Ⅳ期507人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
			指標名		-				単位			
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-		-		-			
			-		-		-		-			
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 4 取組 0 番号 1 事務事業 高齢者保健福祉計画推進事業																			
目的		高齢者保健福祉計画を推進し、高齢者福祉に関する施策を総合的に進めます。					担当課		介護高齢福祉課										
目標		-																	
事業実施状況	・第九期高齢者保健福祉計画の推進 ・健康生活支援審議会高齢者支援部会の開催（10月、2月）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
						事業費		0		0		0							
						特定財源		0		0		0							
						一般財源		0		0		0							
						指標名				-				単位					
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
						-				-		-		-		-			
										-		-							
評価検証	-																		

事務事業評価表

施策 5 取組 1 番号 1 事務事業 障害者理解促進事業										
目的	障害者団体、ノーマライゼーションに関する地域住民活動への支援や地域住民の交流を通して、障害や障害のある人に対する理解を促進します。					担当課	障害福祉課			
目標	地域住民との交流を通じ、障害や障害のある人に対する理解を促進する市民活動プラザ六中の利用者の増加を目指す。									
事業実施状況	・福祉のひろばへの支援 ・帯広心身障害者（児）育成会への支援 ・ノーマライゼーション推進活動への支援（3地区への補助） ・障害者週間記念事業の実施 ・手話言語条例の施行に伴う周知・啓発等の実施 ・市民活動プラザ六中での地域支え合い体制づくり事業の実施（利用者数49,690人）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	16,770		18,552		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	16,770		18,552		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	R6年度は、六中七タや六中祭、六中ドネーションといった多くの人が参加するイベントの開催に加え、既存の地域マイスター講座やピンピン体操のほか、人気の高い運動系の講座「ストレッチ部」を新たに始め定期的に実施したことなどにより、市民活動プラザ六中の利用者数は前年より3,450名増加しており、目標を達成しました。									

施策 5 取組 1 番号 2 事務事業 障害者虐待防止事業									
目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	障害福祉課		
目標	関係機関と障害者虐待事例等の共有や虐待に関する相談体制を維持します。								
事業実施状況	・ 障害者虐待防止センターの運営（通報件数37件） ・ 虐待防止に関する啓発活動の実施 ・ 権利擁護部会（帯広市虐待防止ネットワーク会議及び帯広市地域自立支援協議会差別解消部会を統合）の開催 ・ 自立支援協議会定例会（旧 地域生活支援会議）にて虐待防止研修の実施（1回145人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	15	7	0	
					特定財源	21	30	0	
					一般財源	△6	△23	0	
					指標名	-			単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	R6年度は、障害者虐待に関する関係機関との連携や24時間体制での相談対応のほか、虐待防止の取り組みを効果的・効率的に進めるため、障害者虐待防止法に基づき実施していた帯広市虐待防止ネットワーク会議と自立支援協議会に設置されていた差別解消部会を統合し、自立支援協議会の専門部会の一つ権利擁護部会として取り組みを開始しました。また、事業所向けに虐待防止の研修も実施するなど虐待防止や虐待に関する相談や対応を進めており、目標を達成しました。								

施策 5 取組 2 番号 1 事務事業 地域生活支援拠点等整備推進事業										
目的	地域での相談体制の充実などにより、障害のある人の日常生活を支援します。				担当課		障害福祉課			
目標	障害のある人の自立した生活に向けた相談体制を維持します。									
事業実施状況	・各種相談員の配置（相談員 11人：相談対応 17,715件） ・基幹相談支援センターの運営（1か所：相談支援655件） ・一般相談支援事業（圏域相談支援含む）の実施（5か所：相談対応 8,455件） ・帯広市地域自立支援協議会の開催（地域生活支援会議 12回、各会議・専門部会 39回）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		66,793		64,912		0		
		特定財源		195,918		186,996		0		
		一般財源		△129,125		△122,084		0		
		指標名	圏域相談支援事業所における相談件数				単位	件		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		4,869		5,248 9,539		5,248 8,455		5,248		
評価検証	R6年度の一般相談支援事業所における相談件数は8,455件であり、目標を達成しました。 R4年度よりスタートした圏域相談支援体制について、パンフレットの作成・配布による周知を継続したことにより、日常生活等の相談先としての認知度が向上してきていると考えます。									

事務事業評価表

施策	5	取組	2	番号	2	事務事業	障害者コミュニケーション支援事業						
目的	手話・要約筆記通訳者や支援者などの派遣により、障害のある人の自立や日常生活を支援します。						担当課	障害福祉課、介護高齢福祉課					
目標	聴覚障害者の社会参加を後押しする手話通訳者の派遣件数について714件を目指します。												
事業実施状況	・聴覚障害者等への手話・要約筆記通訳者などの派遣（手話 637件、要約筆記 29件） ・手話・要約筆記奉仕員養成講座等の実施（受講者数 手話 62名、要約筆記 11名） ・遠隔手話通訳サービスの実施登録者 41名、遠隔手話サービス 2件、問合せ相談 229件） ・入院中の筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者への支援者の派遣						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	11,391	12,101	0			
							特定財源	805	932	0			
							一般財源	10,586	11,169	0			
							指標名	手話通訳者派遣件数				単位	件
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							568	714	714	714			
		738	637										
評価検証	R6年度は、要約筆記通訳者の派遣件数は例年通りの実績でしたが、手話通訳者の派遣件数は前年より減少しており、目標を達成しませんでした。 手話通訳の派遣内容のうち「生命・健康・医療・保健に関すること」が減少しており、ろう者の医療機関の受診などが減ったことが要因と考えます。 今後も、支援のニーズに応じた適切な支援体制の確保を継続していく必要があります。												

施策 5 取組 2 番号 3 事務事業 障害者日常生活支援事業									
目的	クリーニング・理美容サービスの各種在宅サービスの提供や日常生活用具の給付などにより、日常生活の支援や経済的負担の軽減を図ります。					担当課	障害福祉課		
目標	障害のある人の日常生活を支援する各種サービスの利用率の向上を目指します。								
事業実施状況	・日常生活用具の給付・貸付（支払件数985件） ・クリーニング・理美容等サービスの提供（理美容クリーニング対象者91人、緊急通報システム対象者20人）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		58,582	58,634	0		
			特定財源		987	1,042	0		
			一般財源		57,595	57,592	0		
	指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			- -		- -		- -	
評価検証	R6年度は、障害のある人の日常生活を支援するための様々な公的サービスを提供してきていますが、特に理美容・クリーニングサービスについては、個々でニーズにばらつきがあることから、利用率が3割程度と低水準で推移し、目標を達成しませんでした。 サービス体制を維持していく中で、利用者アンケートや委託事業者との協議等により、利用しやすい仕組みとなるよう検討を行う必要があると考えます。								

施策 5										取組 2		番号 4		事務事業 障害者施設整備補助事業									
目的		民間事業者との連携により、各種障害者施設の整備を促進し、障害者が安心して生活できる環境整備を進めます。										担当課		障害福祉課									
目標		-																					
事業実施状況	・ 障害者施設建設費償還への支援		単位：千円		R5年度決算額				R6年度決算額				R7年度決算額										
			事業費		6,216				6,152				0										
			特定財源		0				0				0										
			一般財源		6,216				6,152				0										
	指標名		-												単位								
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値										
	-				-		-		-		-												
					-		-		-		-												
評価検証	-																						

事務事業評価表

施策 5 取組 2 番号 5 事務事業 障害者自立支援給付事業												
目的		介護給付費や障害者自立支援訓練等給付費の支給などにより、障害のある人の日常生活や自立した生活を支援します。						担当課		障害福祉課		
目標		-										
事業実施状況	・ 障害者介護給付費の支給 ・ 自立支援訓練等給付費の支給				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		5,156,017		5,663,345		0	
					特定財源		3,879,997		4,245,183		0	
					一般財源		1,276,020		1,418,162		0	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
				-		-						
評価検証		-										

施策 5 取組 2 番号 6 事務事業 障害者医療給付事業															
目的		障害者医療給付費の支給により、障害の除去・軽減を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。							担当課		障害福祉課				
目標		-													
事業実施状況	・ 障害者医療給付費の支給		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額						
			事業費		674,302		677,182				()				
			特定財源		454,514		455,046				()				
			一般財源		219,788		222,136				()				
			指標名		-							単位			
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値					
			-			-		-		-					
						-		-		-					
評価検証	-														

施策 5 取組 2 番号 7 事務事業 障害者補装具給付事業												
目的	障害者補装具給付費の支給により、身体機能の補完を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。							担当課		障害福祉課		
目標	-											
事業実施状況	・ 障害者補装具給付費の支給			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		68,872		76,840		0		
				特定財源		51,449		56,200		0		
				一般財源		17,423		20,640		0		
				指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	5	取組	2	番号	8	事務事業	特別障害者手当等支給事業													
目的	特別な介護を必要とする最重度の障害者に手当を支給し、経済的負担の軽減を図ります。						担当課		障害福祉課											
目標	-																			
事業実施状況	・ 特別障害者手当等の支給						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
							事業費		43,263		44,859		0							
							特定財源		32,402		33,644		0							
							一般財源		10,861		11,215		0							
	指標名						-						単位							
													基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値	
							-						-		-		-		-	
													-						-	
-						-		-		-										
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				
-												-		-		-				
						-						-		-		-				

施策	5	取組	2	番号	9	事務事業	障害者福祉サービス管理運営事業				
目的	障害者自立支援審査会の開催などにより、障害支援区分の判定を行い、公平・公正な障害者施策の推進を図ります。						担当課	障害福祉課			
目標	-										
事業実施状況	・ 障害認定調査の実施(678回) ・ 障害者自立支援審査会の開催(35回)						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	28,229	29,208	0	
							特定財源	0	0	0	
							一般財源	28,229	29,208	0	
	指標名						-	単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
				-		-					
評価検証	-										

施策 5 取組 2 番号 10 事務事業 地域生活支援給付事業										
目的		日中一時支援などの提供により、障害のある人の地域における自立した生活を支援します。				担当課		障害福祉課		
目標		-								
事業実施状況	・地域生活支援事業（移動支援、日中一時支援、訪問入浴）の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		97,879		87,990		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		97,879		87,990		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証		-								

事務事業評価表

施策	5	取組	3	番号	1	事務事業	障害者就労促進事業				
目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。						担当課	障害福祉課			
目標	企業に一般就労している障害者数について984人を目指します。										
事業実施状況	・障害者施設からの物品優先調達 ・障害者就労・相談支援事業 ・障害者の職場体験実習の実施（15課19名） ・障害者の就労環境づくり ・障害者雇用に係る成功事例の周知や課題等の調査（10事例収集）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	5,118	5,127	0		
						特定財源	2,500	2,500	0		
						一般財源	2,618	2,627	0		
						指標名	企業に一般就労している障害者数	単位	人		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7
評価検証	R6年度の企業に一般就労している障害者数は937人であり、目標を達成しました。 就労を希望する障害者向けの研修や市役所の職場体験実習の実施などを通じ、障害者の就労意欲の喚起に努めたほか、企業への訪問や雇用事例の収集などにより企業における障害者雇用への理解促進に取り組んだことが効果的であったと考えます。					828	877	929	984		
							936	937			

施策	5	取組	3	番号	2	事務事業	障害者社会参加促進事業						
目的	地域活動支援センターの運営や障害のある人の各種活動への支援などにより、障害のある人の自立や社会参加を促進します。						担当課		障害福祉課				
目標	障害のある人の社会参加等を促進する障害者生活支援センターの利用者数について、2,596人を目標とします。												
事業実施状況	・社会活動、余暇活動への支援（ろうあ者スポーツ大会への参加支援、障害者乗馬体験会の開催など） ・地域活動支援センターへの運営支援 ・障害者生活支援センターの運営 ・重度障害者等タクシー料金、通所施設等交通費の助成 ・医療的ケア支援事業の実施 ・北海道障がい者スポーツ大会の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
						事業費	130,188	132,845	0				
						特定財源	5,142	6,455	0				
						一般財源	125,046	126,390	0				
						指標名	障害者生活支援センターの利用者数				単位	人	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
						1,686		2,596 3,201		2,596 3,107		2,596	
評価検証	R 6年度の障害者生活支援センターの利用延べ件数は3,107件であり、目標を達成しました。 これまで感染症の影響により、利用を控えていた利用登録者がR 6年度も引き続き事業へ参加したためだと考えます。 今後も、国の方針に基づき、必要に応じた感染症対策を継続するなど、利用者が安心して活動できる環境づくりを行いながら、広報紙やSNS等により事業周知を強化し、利用率の向上を図ります。												

施策	5	取組	0	番号	1	事務事業	障害者計画推進事業				
目的	障害者計画を推進し、障害者福祉に関する施策を総合的に進めます。						担当課	障害福祉課			
目標	-										
事業実施状況	・障害者計画の推進 ・帯広市障害者共生まちづくりプラン（障害者計画、障害福祉計画）の策定						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	747	516	0	
							特定財源	0	0	0	
							一般財源	747	516	0	
	指標名		-				単位				
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値			
				実績値		実績値		実績値			
-		-		-		-					
評価検証	-										

事務事業評価表

施策	6	取組	1	番号	1	事務事業	看護師等人材確保事業							
目的	看護師等の養成機関への支援等により、医療に従事する人材の確保を図ります。						担当課		健康推進課					
目標	看護師等の管内定着率について63.3%を目指します。													
事業実施状況	・看護師等養成機関等への運営支援 ・帯広高等看護学院の運営支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		77,017		72,221		0			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		77,017		72,221		0			
	指標名		看護師等の管内定着率						単位		%			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	61.4				63.3		63.3		63.3					
					65.2		72.2							
評価検証	R 6 年度の看護師等の管内定着率は72.2%と目標を達成しました。 養成機関への運営支援や情報共有が効果的であったと考えます。													

施策 6 取組 2 番号 1 事務事業 救急医療対策事業																	
目的		医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間、休日等でも安心して医療を受けられる環境づくりを進めます。					担当課		健康推進課								
目標		夜間・休日でも受診可能な医療体制を維持します。															
事業実施状況	・ 休日夜間急病センターの運営 ・ 二次救急医療体制の維持 ・ 在宅当番医制の維持 ・ 休日歯科診療体制の維持 ・ 帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供 ・ 公共施設へのAEDの設置 ・ 道東ドクターヘリ運航調整委員会との連携					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
						事業費		169,512		246,891		0					
						特定財源		2,520		33,186		0					
						一般財源		166,992		213,705		0					
						指標名		-						単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
						-			-		-						
									-		-						
評価検証	R 6 年度は、医療機関や関係機関との連携により、夜間・休日などでも受診可能な救急医療体制を維持し目標を達成しました。																

施策 6 取組 2 番号 2 事務事業 地域医療体制整備支援事業										
目的		医療機関や関係機関と連携し、地域医療体制を整備します。					担当課		健康推進課	
目標		救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持します。								
事業実施状況	・ 健康生活支援審議会地域医療推進部会の開催 ・ 地域医療の確保に関する要望活動 ・ 帯広厚生病院への運営支援 ・ 心身障害者歯科治療事業の支援 ・ 訪問看護ステーションへの運営支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		212,240		212,240		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		212,240		212,240		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-	-			
				-	-	-				
評価検証		R 6 年度は、医療機関や関係機関との連携により、地域医療体制の確保や救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持し目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策 7 取組 1 番号 1 事務事業 国民健康保険制度運営事業													
目的	北海道の運営方針を踏まえ、事務の標準化・広域化をすすめるとともに、医療費の適正化などにより、国民健康保険の安定的な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課						
目標	-												
事業実施状況	・国民健康保険運営協議会の運営 ・国民健康保険事業費納付金の支出 ・医療費通知の実施 ・ジェネリック医薬品の使用促進 ・重複・多受診者への指導 ・個別家庭訪問の実施 ・保険者努力支援制度への対応 ・国民健康保険料の独自減免 ・保険料過誤納付金の還付 ・マイナ保険証（令和6年12月～）への対応					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		4,871,088	4,918,454				
						特定財源		3,399,617	3,395,430				
						一般財源		1,471,471	1,523,024				
						指標名		-			単位		
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
評価検証	-												

施策 7 取組 1 番号 2 事務事業 国民健康保険料賦課・徴収事業														
目的	保険料の適正な賦課・徴収や収納率向上対策などにより、国民健康保険の健全な運営を図ります。						担当課	国保課、収納課						
目標	-													
事業実施状況	・ 保険料の賦課、徴収事務 ・ 収納率向上対策の推進 ・ 保険料の納付相談の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		66,589		78,619		()			
					特定財源		20,123		20,954		()			
					一般財源		46,466		57,665		()			
	指標名		-						単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-			
評価検証	-													

施策 7 取組 1 番号 3 事務事業 療養給付費等支給事業										
目的	被保険者の医療費に関する保険者負担分、出産育児一時金及び葬祭費の支給を行います。					担当課	国保課			
目標	-									
事業実施状況	・療養給付費の支給 ・療養費の支給 ・高額療養費の支給 ・出産育児一時金の支給 ・葬祭費の支給	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		10,779,435		10,199,737		()		
		特定財源		10,777,357		10,198,547		()		
		一般財源		2,078		1,190		()		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	7	取組	1	番号	4	事務事業	検診事業					
目的	被保険者を対象とした各種検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。					担当課	国保課					
目標	-											
事業実施状況	・各種がん検診の実施（受診者数 7,802人） ・人間ドックの実施（受診者数 436人） ・脳ドックの実施（受診者数 650人） ・歯科ドックの実施（受診者数 399人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	31,884	30,850	0			
						特定財源	31,884	30,850	0			
						一般財源	0	0	0			
						指標名 -				単位		
						基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値
								実績値		実績値		実績値
						-	-	-	-	-		
評価検証					-							

施策 7										取組 1		番号 5		事務事業 特定健康診査及び特定保健指導事業									
目的		被保険者を対象とした健康診査・保健指導を実施し、健康の維持・増進により、生活習慣病の予防を図ります。						担当課		健康推進課、国保課													
目標		-																					
事業実施状況		・特定健康診査の実施（受診者数 7,707人） ・特定保健指導の実施（終了者数 228人） ・国保データベースを活用した特定保健指導の推進 ・特定健康診査未受診者、特定保健指導未利用者対策事業の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額													
				事業費		93,244		94,653		0													
				特定財源		61,435		68,498		0													
				一般財源		31,809		26,155		0													
				指標名		-								単位									
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値									
						-				-				-									
				-				-				-											
評価検証		-																					

施策 7 取組 1 番号 6 事務事業 後期高齢者医療制度運営事業									
目的	後期高齢者医療制度に関する事務を適切に執行し、制度の安定的な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課		
目標	-								
事業実施状況	・後期高齢者医療制度の運営に関する市町村事務 ・保険料過誤納付金の還付			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
				事業費	7,671	13,635	0		
				特定財源	1,607	5,780	0		
				一般財源	6,064	7,855	0		
				指標名	-				
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
				-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 7 取組 1 番号 7 事務事業 後期高齢者医療保険料徴収事業												
目的		後期高齢者医療保険料の徴収や制度周知などを進め、制度の安定的な運営を図ります。						担当課		国保課、収納課		
目標		-										
事業実施状況	・ 後期高齢者医療制度の周知 ・ 後期高齢者医療保険料の徴収		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		21,985		24,408		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		21,985		24,408		0			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
評価検証	-											

施策	7	取組	1	番号	8	事務事業	後期高齢者医療広域連合市町村負担金納付事業				
目的	後期高齢者医療制度の運営主体である北海道後期高齢者医療広域連合の運営に必要な経費を負担します。						担当課	国保課、収納課			
目標	-										
事業実施状況	・市町村負担金（事務費等）の納付 ・市町村負担金（療養給付費）の納付 ・市町村負担金（保険料等）の納付						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費		4,362,333	4,807,790	
							特定財源		2,070,771	2,322,830	
							一般財源		2,291,562	2,484,960	
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
				-		-					
評価検証	-										

施策 7 取組 1 番号 9 事務事業 後期高齢者健康診査事業																
目的		被保険者を対象とした各種健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。						担当課		国保課						
目標		-														
事業実施状況	- 健康診査の実施（受診者数 5,346人） - 人間ドックの実施（受診者数 51人） - 脳ドックの実施（受診者数 195人） - 歯科ドックの実施（受診者数 324人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
			事業費		51,489		54,844									
			特定財源		51,489		11,693									
			一般財源		0		43,151									
			指標名		-						単位					
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			-				-		-				-			
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 7	取組 2	番号 1	事務事業 介護給付等費用適正化事業									
目的	要介護認定や介護報酬請求の適正化などを進め、介護保険制度の安定的な運営を図ります。						担当課		介護高齢福祉課			
目標	介護保険サービスの適切な利用につなげるため、ケアプランの点検について一定以上の点検割合を維持します。											
事業実施状況	・給付費の適正化			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		8,188		7,175		0		
				特定財源		6,611		5,794		0		
				一般財源		1,577		1,381		0		
	指標名		ケアプランの点検割合						単位		%	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	50.0			50.0 61.5			50.0 50.3			50.0		
	評価検証	R 6年度の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネージャー総数に対するケアプランの点検件数割合は50.3%であり、目標を達成しました。 職員や北海道介護支援専門員協会による日常的なケアプラン点検を実施したことが効果的であったと考えます。今後も、給付適正化研修会を開催し、介護支援専門員の資質向上に努めていきます。										

施策 7 取組 2 番号 2 事務事業 介護保険制度運営事業													
目的		介護認定審査会の運営や賦課・徴収などの事務を行い、介護保険制度の適切な運営を図ります。					担当課		介護高齢福祉課、収納課				
目標		-											
事業実施状況	・介護認定審査会の運営 ・介護保険制度の周知 ・介護保険被保険者の資格管理 ・介護人材のスキルアップ及び定着支援 ・介護保険料の賦課、徴収					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		185,335		186,813		0	
						特定財源		4,241		4,723		0	
						一般財源		181,094		182,090		0	
						指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
	-			-			-			-			
				-			-						
評価検証	-												

施策	7	取組	2	番号	3	事務事業	介護保険制度運営安定化事業											
目的	介護保険制度の財政安定化に係る貸付制度や基金の積立等を行い、制度の安定的な運営を図ります。						担当課		介護高齢福祉課、収納課									
目標	-																	
事業実施状況	・介護給付費準備基金の管理 ・保険料過誤納付金の還付						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
							事業費		528,363		456,731		0					
							特定財源		528,363		470		0					
							一般財源		0		456,261		0					
							指標名						-		単位			
							基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
										実績値			実績値			実績値		
							-		-		-		-		-		-	
評価検証	-																	

事務事業評価表

施策 7	取組 2	番号 4	事務事業 介護保険利用者負担軽減対策事業												
目的	低所得の介護保険利用者が介護サービスを利用する際の負担軽減を図ります。						担当課	介護高齢福祉課							
目標	-														
事業実施状況	・低所得者に対する介護保険利用者負担軽減			単位：千円	R5年度決算額			R6年度決算額			R7年度決算額				
				事業費	60,395			57,826			0				
				特定財源	20,626			19,118			0				
				一般財源	39,769			38,708			0				
	指標名		-									単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値					
	-			-			-			-					
				-			-								
評価検証	-														

施策 7 取組 2 番号 5 事務事業 介護保険料減免制度事業												
目的		災害などにより一時的に保険料の納付が困難となった低所得の被保険者に対し、保険料の負担軽減を図ります。					担当課		介護高齢福祉課			
目標		-										
事業実施状況	・介護保険料の法定減免（0件） ・介護保険料の独自減免（240件）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		0		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		0		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
			-		-		-					
評価検証		-										

施策 7 取組 2 番号 6 事務事業 介護保険給付事業												
目的		要介護者が利用した介護サービスに要する保険者負担分の支出を行い、制度の適正な運用を図ります。						担当課		介護高齢福祉課		
目標		-										
事業実施状況	・介護サービス給付費の支給		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		14,771,623		15,083,088		0			
			特定財源		12,678,345		12,970,813		0			
			一般財源		2,093,278		2,112,275		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
			-		-		-					
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 7 取組 2 番号 7 事務事業 介護保険事業計画推進事業												
目的		介護保険事業計画を推進し、介護保険サービスの確保と制度の持続的な運営を図ります。					担当課		介護高齢福祉課			
目標		-										
事業実施状況	・第九期介護保険事業計画の推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		2,394		0		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		2,394		0		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
				-		-						
評価検証	-											

施策 7 取組 3 番号 1 事務事業 早期把握・自立支援事業										
目的	民生委員等と連携を図り、要保護者の早期把握に努めるとともに、公共職業安定所と連携した就労支援を実施し、被保護者の自立を促進します。					担当課	生活支援第1課・第2課			
目標	自立支援プログラムを利用した被保護者の就労率について50.0%を目指します。									
事業実施状況	・要保護者・被保護者との面談相談の実施（新規相談1,064件、申請440件） ・被保護者への就労支援（就労自立促進事業＜参加者11人、就労者8人＞、被保護者就労支援事業＜参加者57人、就労者31人＞、被保護者就労準備支援事業＜参加者5人、就労者1人＞＝参加者計73名、就労者40名、就労率54.8%）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	11,684	9,970	0	
						特定財源	11,481	6,402	0	
						一般財源	203	3,568	0	
	指標名	自立支援プログラム利用者の就労率					単位	%		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
		39.6	50.0 40.9	50.0 54.8	50.0					
	評価検証	R 6年度の自立支援プログラム利用者の就労率は54.8%であり、目標を達成しました。ハローワークや委託先事業所との連携が効果的であったと考えます。今後も、関係機関と連携し、被保護者の置かれている状況や能力に応じた就労につながるよう適切な支援を実施していきます。								

施策 7 取組 3 番号 2 事務事業 生活困窮者自立促進支援事業												
目的	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。					担当課		生活支援第1課・第2課				
目標	生活困窮者の生活や就労に関する相談体制を維持します。											
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援（新規相談数290件（実人数）） ・生活困窮者の就労準備支援（6人（実人数）） ・生活困窮者の家計改善支援（7人（実人数）） ・住居確保給付金の支給（新規申請決定件数3世帯、給付額270,000円） ・生活困窮世帯（被保護世帯含む）の子どもの学習支援（小学生＜参加者13人（実人数）＞、中学生（高校生含む）＜参加者15人（実人数）＞）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
					事業費	29,308	31,376	0				
					特定財源	20,777	21,523	0				
					一般財源	8,531	9,853	0				
	指標名		人口10万人あたりの自立相談件数			単位	件					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	20			20 14		20 15		20				
評価検証	R6年度の人口10万人あたりの自立相談件数は15件/月であり、目標を達成しませんでした。 物価高騰等に影響を受けた困窮者からの相談件数は依然高水準にあるものの、感染症拡大時の特例貸付制度の終了に伴い全体の相談件数が減少していることが要因と考えます。今後は、パンフレットの配布等により自立相談支援センターの認知度向上に努めるほか、相談内容が多様化・専門化している傾向にあることから、関係機関・団体と連携を強化し、地域的生活困窮者への相談支援体制の構築を図る必要があると考えます。											

事務事業評価表

施策 7 取組 3 番号 3 事務事業 生活保護事業													
目的		被保護者の生活実態を把握し、的確な助言・指導を行います。						担当課		生活支援第1課・第2課			
目標		-											
事業実施状況	・被保護者の家庭訪問の実施(被保護者3,730世帯/月平均、ケースワーカー35名、家庭訪問11,534件) ・被保護者に対する健康管理支援(健康診査等受診勧奨 1,007名) ・基準改定に伴うシステム改修		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		79,753		79,752		0				
			特定財源		21,898		25,646		0				
			一般財源		57,855		54,106		0				
			指標名 -						単位				
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-			-			-			-	
						-			-				
評価検証		-											

施策 7 取組 3 番号 4 事務事業 生活保護等支給事業											
目的		生活に困窮する被保護者等に対し、保護費等による支援により、生活の安定を図ります。					担当課		生活支援第1課・第2課		
目標		-									
事業実施状況	・保護費の支給 ・中国残留邦人等への支援給付費等の支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		7,613,859		7,685,314		0		
			特定財源		6,043,216		6,006,900		0		
			一般財源		1,570,643		1,678,414		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
				-			-				
評価検証		-									

施策 7 取組 0 番号 1 事務事業 国民年金事業											
目的		市民が適正に年金を受給できるよう、制度周知や各種受付事務などを進めます。					担当課		戸籍住民課		
目標		-									
事業実施状況	・ 広報紙やパンフレットによる制度周知 ・ 被保険者の各種受付事務の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		9,423		12,122		0		
			特定財源		40,426		43,713		0		
			一般財源		△31,003		△31,591		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
				-			-				
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 1 事務事業 制度融資事業（農政課）												
目的		長期・低利等の資金の貸付により、農業経営の高度化・安定化を図ります。				担当課		農政課				
目標		農業者の経営の高度化・安定化を図る農林業育成資金の新規貸付件数について99件を目指します。										
事業実施状況	・農林業育成資金の貸付（新規貸付24件） ・農地保有合理化事業資金の貸付（新規貸付0件）			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
				事業費		2,265,012		2,408,318		0		
				特定財源		2,260,491		2,403,511		0		
				一般財源		4,521		4,807		0		
	指標名			制度資金利用件数					単位		件	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	80			99			99			99		
			26			24						
評価検証		R6年度の新規貸付件数は24件であり、目標を達成しませんでした。 エネルギー価格や肥料を含む生産資材価格の高騰、農業機械の値上がりなどによって、農業者が農業機械等の導入を控えたことが要因であると考えます。 今後も、農協を通じ、農業者に貸付制度を効果的に周知していくことに加え、スマート農業機械の導入事例を紹介し、収益改善や省力化の効果を可視化することで、資金活用の促進を図る必要があると考えます。										

施策	8	取組	1	番号	2	事務事業 農業経営体育成・強化事業						
目的	経営研修や新規就農者の支援などを進め、優れた経営能力と生産技術を持った担い手の育成・確保を図ります。					担当課	農政課					
目標	担い手の育成・確保を図る研修会（市主催又は共催）への参加者数について208人を目指します。											
事業実施状況	・担い手の強化、育成支援 参加者数計 149人 （十勝地域農業者合同研修会148人（第1回：会場6人、オンライン68人 第2回：会場7人、オンライン67人）、アグリカレッジ1人（新規就農者コース）） ・農業振興基金の管理					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	45,616	51,242	0			
						特定財源	44,336	49,641	0			
						一般財源	1,280	1,601	0			
						指標名	各種研修への参加者数		単位	人		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						162		176		191		208
評価検証								68		149		
	R6年度の各種研修への参加者数は149人と前年より増加したものの、目標は達成しませんでした。											
	研修テーマが農業者の関心やニーズに対し、十分に応えられていなかったため、参加者数が伸び悩んだものと考えます。 今後は、関係機関への聞き取りを通じてニーズを把握し、より関心の高い分野を題材とした研修会の開催に努めていくとともに、農業者が参加しやすい開催方法の工夫を行う必要があると考えます。											

施策 8 取組 1 番号 3 事務事業 クリーン農業推進事業									
目的	生産者・関係団体との連携によるクリーン農業技術の普及などにより、安全で良質な農産物の生産を進めます。				担当課	農政課			
目標	持続的な生産活動を推進するとともに環境負荷の低減を図る環境保全型農業の実践者数について66人を目指します。								
事業実施状況	・クリーン農業技術等の普及促進 ・環境保全型農業直接支援対策事業の実施（実践者数70人、実施面積82,826a）			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費	41,608	44,942		0	
				特定財源	30,744	33,942		0	
				一般財源	10,864	11,000		0	
	指標名		環境保全型農業実践者数				単位	人	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
60			62		64		66		
			65		70				
評価検証	R6年度の環境保全型農業実践者数は70人であり、目標を達成しました。 事業周知により、農業者の事業に対する理解が深まり、取組面積が拡大したほか、肥料価格高騰を背景とした化学肥料低減への意識の高まりなどにより、新たに本事業を活用する農業者が増加したことが要因と考えます。今後も、事業周知や有機栽培導入検討試験結果などの情報提供を継続し、環境保全型農業への理解醸成を図っていきます。								

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 4 事務事業 営農技術向上対策事業									
目的	営農技術情報の提供や試験研究などを進め、生産性の向上や環境負荷の低減を図ります。					担当課		農政課	
目標	地域農業における生産性の向上や環境負荷の低減などに関する営農技術の試験研究数について17件を目指す。								
事業実施状況	・営農技術試験、調査、情報提供（営農技術試験研究数17件、営農技術情報の提供11回） ・土壌、堆肥分析などへの支援（検査点数2,676点） ・新技術の導入や研究などへの支援（実施主体2団体） ・新規作物の栽培実証事業の実施及び普及への支援（新規作物導入検討に向けた調査視察1件） ・スマート農業の推進に必要な機械等の導入経費の一部を補助（ロボットトラクター：20台、ドローン：28台、ドローン操縦資格取得：28人） ・環境にやさしい栽培技術と省力化に資する先端技術等を取り入れたグリーンな栽培体系への転換に向けた取り組みを支援（1団体）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	37,323	182,432	0
						特定財源	21,432	84,884	0
						一般財源	15,891	97,548	0
	指標名		営農技術試験研究数			単位	件		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		14	17 20	17 17	17				
評価検証	R6年度の営農技術試験研究数は17件であり、目標を達成しました。 農業団体や農業者等とともに、試験研究課題や当地での技術普及について協議を行ったほか、栽培適地の検証、農業や肥料などの資材の効果検証を行う等、帯広市農業技術センターの機能が民間企業等に徐々に認知されるようになったことが要因であると考えます。								

施策 8 取組 1 番号 5 事務事業 多面的機能支払推進事業									
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。					担当課	農村振興課		
目標	水源の涵養や自然環境の保全など農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数について23団体を目指します。								
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動（水路の泥上げ、草刈、農道の補修など）に係る支援（15,972.52ha）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	218,952	232,277	0	
					特定財源	164,359	174,359	0	
					一般財源	54,593	57,918	0	
	指標名		農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数			単位	団体		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
			21	21	22	23			
評価検証	R 6年度の多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数は23団体であり、目標を達成しました。事業説明会などの開催を通じて、地域活動の重要性を周知してきたことなどが効果的であったと考えます。								

施策 8 取組 1 番号 6 事務事業 有害鳥獣駆除事業													
目的		有害鳥獣の駆除により、農林業被害を防止します。					担当課 農村振興課						
目標		鳥獣害による農業被害額を1,993万円にまで抑制します。											
事業実施状況	・有害鳥獣の駆除 ・帯広市鳥獣被害対策実施隊による被害対策の実施(192回)		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		6,111		6,210		0				
			特定財源		1,085		1,059		0				
			一般財源		5,026		5,151		0				
			指標名		鳥獣害による農業被害額				単位 万円				
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			3,088				1,993		1,993				1,993
						1,101		1,507					
評価検証		R6年度の鳥獣による農業被害額は1,507万円であり、目標を達成しました。 帯広市鳥獣被害対策実施隊や駆除員による被害調査を通じて捕獲活動などを効果的に行ったことが、農業被害額の減少につながった要因であると考えます。											

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 7 事務事業 家畜衛生対策事業									
目的	防疫体制の充実や予防接種など家畜衛生対策を進め、畜産経営の安定化を図ります。					担当課	農政課		
目標	予防接種の実施などにより家畜伝染病の発生防止を目指します。								
事業実施状況	・ 予防接種への支援（ワクチン接種延べ頭数12,077頭） ・ 家畜伝染病発生予防の啓発、推進 ・ 情報収集や危機管理体制の整備 ・ 防疫資材の備蓄					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	1,545	1,881	0
						特定財源	1	5	0
						一般財源	1,544	1,876	0
	指標名					-		単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	R6年度は、自衛防疫組合員に予防接種の支援を行ったほか、伝染病発生予防の啓発活動などに取り組んだことで、家畜伝染病の発生が防止されており、目標を達成しました。								

施策 8 取組 1 番号 8 事務事業 生乳生産安定対策事業												
目的		乳質改善や牛群の資質向上などを進め、酪農経営の安定化と安全・安心な生乳の生産を促進します。				担当課		農政課				
目標		生乳の安定的な出荷を維持します。										
事業実施状況	・生乳検査、乳質改善への支援（生乳検査14,064検体） ・牛群の改良、飼養管理改善への支援（乳牛検定延べ頭数44,181頭） ・酪農ヘルパー派遣事業への支援（酪農ヘルパー利用延べ回数1,581回）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		2,568		2,568		0	
					特定財源		1,000		1,000		0	
					一般財源		1,568		1,568		0	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
評価検証	R6年度は、乳質改善や牛群の資質向上などの支援を実施したことで、生乳の安定的な出荷が維持されており、目標を達成しました。											

施策 8 取組 1 番号 9 事務事業 農業技術センター管理運営事業										
目的		農業者及び農業生産活動の支援拠点である農業技術センターを管理運営し、農業振興施策を総合的に展開します。				担当課		農政課		
目標		-								
事業実施状況	・ 農業技術センターの維持管理 ・ 農業行政に関する事務 ・ 農業・農村基本計画の推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		10,460		15,787		0	
			特定財源		13		3,676		0	
			一般財源		10,447		12,111		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-	-	-	-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 10 事務事業 八千代公共育成牧場管理運営事業																
目的		八千代公共育成牧場の管理運営や利用促進を通して、畜産経営の安定化を図ります。				担当課		農政課								
目標		-														
事業実施状況	・八千代公共育成牧場の管理運営（入牧延べ頭数（牛）132,342頭、同（馬）3,978頭、舎飼延べ頭数156,668頭） ・八千代公共育成牧場の利用促進 ・自給飼料基盤強化対策の実施（牧場草地更新17.83ha、老朽・劣化草地の計画的な更新）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
			事業費		238,420		224,551		0							
			特定財源		136,802		133,678		0							
			一般財源		101,618		90,873		0							
			指標名		-				単位		-					
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			-				-				-				-	
							-				-				-	
評価検証	-															

施策 8 取組 1 番号 11 事務事業 畜産研修センター管理運営事業										
目的		畜産研修センターの管理運営により、畜産や農業に関する研修機会を提供し、農業理解の促進を図ります。				担当課		農政課		
目標		-								
事業実施状況	・畜産研修センターの管理運営（利用者数1,361人） ・研修機会の提供		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		25,236		25,222		0	
			特定財源		652		669		0	
			一般財源		24,584		24,553		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

施策 8 取組 1 番号 12 事務事業 畜産振興事業											
目的		飼養管理技術の普及や畜産関連情報の収集・提供などを通じ、畜産の振興を図ります。					担当課		農政課		
目標		-									
事業実施状況	・飼養管理技術の普及促進 ・畜産関連情報の収集、提供		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		39,359		1,126		0		
			特定財源		38,364		0		0		
			一般財源		995		1,126		0		
			指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 13 事務事業 農業生産体制強化事業														
目的	農業用機械や施設整備の支援などを進め、生産性の向上を図ります。					担当課	農政課							
目標	-													
事業実施状況	・経営改善の取組に必要な農業用機械の導入に対する支援（1経営体） ・国産需要の高い作物の生産拡大等に対する支援（ソフト事業：8生産団体、ハード事業：10生産団体、ソフト及びハード事業：1生産団体） ・安定供給体制構築のための営農技術の導入等に対する支援（ソフト事業：1生産団体） ・生産基盤の強化等のための農業機械導入に対する支援（ハード事業：4生産団体） ・農業支援サービスの提供に要するスマート農業機械の導入に対する支援（ハード事業：1団体） ・農作物の洗浄選別作業で生じる排水処理の効率化等に向けた設備の導入に対する支援（ハード事業：1団体）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
						事業費		516,723		523,808		0		
						特定財源		516,723		523,808		0		
						一般財源		0		0		0		
						指標名		-				単位		
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-				-				-	
	-				-				-				-	
評価検証	-													

施策	8	取組	1	番号	14	事務事業	農業経営基盤強化資金利子補給事業										
目的	農業者の借入資金に対する金利負担を軽減し、経営改善の促進、担い手の育成・確保を図ります。						担当課		農政課								
目標	-																
事業実施状況	・農業経営基盤強化資金利子補給（新規案件数 0 件）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費		1,497		1,168		0				
							特定財源		749		584		0				
							一般財源		748		584		0				
							指標名 -						単位				
							基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
							-			-			-			-	
評価検証	-																

施策 8 取組 1 番号 15 事務事業 農業基盤施設維持補修事業										
目的	農業用排水施設、畑地かんがい施設の適切な維持管理を促進し、生産性の維持を図ります。					担当課	農村振興課			
目標	-									
事業実施状況	・ 明渠の維持管理への支援 ・ 明渠周辺の環境保全への支援 ・ 畑地かんがい施設の維持管理への支援 ・ 明渠橋修繕工事（第3南富士橋）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		13,572	36,248		0		
			特定財源		8,540	26,108		0		
			一般財源		5,032	10,140		0		
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 16 事務事業 道営水利施設等保全高度化事業																
目的	農業用排水施設の整備や土層改良などの生産基盤整備を総合的に進め、生産性・収益性の向上を図ります。					担当課	農村振興課									
目標	-															
事業実施状況	・明渠・畑地かんがい・暗渠排水、土層改良などの整備（大正南2地区、川西中央2-1地区、川西中央2-2地区、帯広かわにし1地区、帯広かわにし2地区） ・整備費の償還					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
						事業費	260,198		236,239		0					
						特定財源	187,476		176,173		0					
						一般財源	72,722		60,066		0					
						指標名				-		単位				
						基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
						-			-			-			-	
						-		-								
評価検証	-															

施策 8 取組 1 番号 17 事務事業 国営土地改良事業											
目的	農業用水の確保など農業生産基盤の整備を促進し、生産性・収益性の向上を図ります。					担当課	農村振興課				
目標	-										
事業実施状況	・国営かんがい排水事業による農業生産基盤整備費の償還				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費	14,673		3,732		0	
					特定財源	0		0		0	
					一般財源	14,673		3,732		0	
	指標名				-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証	-										

施策 8 取組 1 番号 18 事務事業 土地改良促進事業										
目的	土地改良事業を円滑に推進するため、事業実施に伴う事務を行います。					担当課	農村振興課			
目標	-									
事業実施状況	・土地改良事業に関する事務				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	9,162	6,709	0		
					特定財源	4,383	5,484	0		
					一般財源	4,779	1,225	0		
	指標名				-			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 8 取組 1 番号 19 事務事業 農業委員会運営事業									
目的	農業生産力の向上や農業経営の合理化を図るため、農地に関する権利移動や転用、利用集積などの業務を行います。				担当課	農業委員会事務局			
目標	-								
事業実施状況	・農地法に基づく法令業務 ・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用集積等に関する業務 ・農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農地の集積・集約化等に関する業務 ・農業者年金業務 ・法人化その他の農業経営の合理化に関する業務		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	21,503	22,269	0			
			特定財源	16,412	16,341	0			
			一般財源	5,091	5,928	0			
			指標名	-				単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 8 取組 2 番号 1 事務事業 フードバレーとから食・農活性化事業									
目的	地域の農畜産物などの情報発信を通じ、十勝農業の魅力向上を図ります。					担当課		農政課	
目標	十勝の農畜産物など地域資源の情報を掲載したホームページ「十勝の食卓」のアクセス数を維持します。								
事業実施状況	・地域資源に係る情報の収集・発信 （「地域資源」の紹介ページの追加・更新80件、十勝の農業者を紹介する「とから農業ストーリー」の追加・更新20件、十勝の食卓ホームページアクセス数70,444回）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		264	264	0		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		264	264	0		
			指標名		-				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-	-	-	-	-	-	
評価検証	R6年度は、「地域の資源」の紹介ページや「とから農業ストーリー」の追加・更新をするなど、掲載内容の充実に取り組んだほか、各種イベントにおいて、「十勝の食卓」ホームページの周知を実施したことにより、アクセス数が増加し、目標を達成しました。 今後も、「十勝の食卓」ホームページの内容の充実とともに、PR活動を進めていく必要があると考えます。								

施策 8 取組 2 番号 2 事務事業 農畜産物安全安心推進事業									
目的	食の安全・安心に向けた取り組みなどにより、農業の競争力強化を促進します。					担当課	農政課		
目標	持続可能な農業生産や輸出拡大につながる取組を行う農家数の増加を目指します。								
事業実施状況	・農畜産物の安全安心に係る普及啓発（圃場立ち入り禁止チラシ等の配布10か所） ・環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシートを提出した農家数（提出農家数74人） ・国際水準GAPに関する資料配付（配付農家数74人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	433	433	0
						特定財源	289	289	0
						一般財源	144	144	0
	指標名					－		単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	－			－		－		－	
評価検証	R6年度は、クロスコンプライアンスチェックシートに基づく環境負荷低減の取り組みや国際水準GAPに関する資料配付を実施したことで、持続可能な農業生産等を目的とした取組を実施する農家数が増加しており、目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策 8 取組 2 番号 3 事務事業 黒毛和牛生産振興事業										
目的	繁殖・素牛育成技術の普及など肉用牛の生産振興により、畜産経営の安定化や地域ブランド「十勝和牛素牛」の普及を図ります。					担当課	農政課			
目標	繁殖雌牛の飼養頭数の増加を目指します。									
事業実施状況	・黒毛和牛の繁殖、育成技術の普及促進（生産技術巡回指導12回、黒毛和種繁殖雌牛飼養頭数870頭） ・黒毛和牛の受精卵移植の促進（和牛受精卵移植101頭（R7.3.31現在、八千代牧場）） ・とちか帯広和牛生産改良組合への支援 ・全国和牛能力共進会のPR	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	215		523		0			
		特定財源	0		280		0			
		一般財源	215		243		0			
		指標名 -						単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
					-		-		-	
		R6年度は、和牛素牛生産の指導巡回やとちか帯広和牛生産改良組合による研修会などを実施しましたが、経営コストの膨張や市場取引価格の低下等を背景に、黒毛和種繁殖雌牛飼養頭数が減少しており、目標を達成しませんでした。								
		今後、指導巡回や改良組合の研修会等を実施するほか、R9年の全国和牛能力共進会の開催に向けた和牛生産振興の取り組みへの支援を行う必要があると考えます。								

施策 8 取組 2 番号 4 事務事業 畜産物加工研修センター管理運営事業													
目的		畜産物加工研修センターの管理運営により、畜産物の付加価値の向上、農業理解の促進を図ります。						担当課		農政課			
目標		-											
事業実施状況	・畜産物加工研修センターの管理運営 ・加工研修機会の提供（研修参加人数（乳加工、肉加工）508人） ・畜産物の加工技術、製品の研究開発（研究開発参加人数1人）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		12,158		12,360				0		
			特定財源		389		205				0		
			一般財源		11,769		12,155				0		
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-			-			-			-	
評価検証	-												
			-		-								

施策 8 取組 2 番号 再 事務事業 フードバレーとから推進事業<再掲9-2-3>1											
目的		十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとかち」を推進します。					担当課		経済企画課		
目標		-									
事業実施状況	・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		-		-		-		
			特定財源		-		-		-		
			一般財源		-		-		-		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
	-		-		-		-		-		
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 1 事務事業 食育推進事業（農業分野）										
目的	各種イベントの開催などを通して、地産地消の促進や市民の食や健康への意識の向上を図ります。					担当課	農政課			
目標	食育に関心を持つ市民の割合の増加を目指します。									
事業実施状況	・食や農業に関するイベントの開催・支援（食育推進イベント（ブース出展）4件、食育推進サポーター活用25件） ・消費者と生産者との相互交流の促進 ・地場農畜産物の消費拡大 ・食育推進計画の推進	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	3,685		3,989		0			
		特定財源	0		3,630		0			
		一般財源	3,685		359		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	R6年度は、「食育推進サポーター」による市内小学校への食育出前授業等を実施したほか、各種イベントへの食育推進PRブースの出展などに取り組んだことで、食育に関心を持つ市民の割合が増加しており、目標を達成しました。									

施策 8 取組 3 番号 2 事務事業 帯広の森市民農園管理運営事業									
目的	帯広の森市民農園の管理運営により、農業に対する理解促進や都市と農村の交流促進を図ります。					担当課	農政課		
目標	-								
事業実施状況	・帯広の森市民農園の管理運営（都市農村交流センター利用者数16,348人） ・市民農園（141区画）、学童農園（市内24団体）の運営				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	20,488	23,524	0	
					特定財源	1,322	3,548	0	
					一般財源	19,166	19,976	0	
	指標名				-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-	-	-	-		
評価検証	-								

施策 8 取組 3 番号 3 事務事業 とかち大平原交流センター管理運営事業									
目的	とかち大平原交流センターの管理運営により、農業・農村の歴史や魅力を発信し、農業・農村の理解促進、農業・農村文化の継承を図ります。					担当課	農政課		
目標	-								
事業実施状況	・とかち大平原交流センターの管理運営 (利用者数14,185人) ・とかち農機具歴史館の管理運営		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		12,493	13,102		0	
			特定財源		0	200		0	
			一般財源		12,493	12,902		0	
	指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 4 事務事業 農村活性化促進事業									
目的	農村におけるコミュニティの維持・確保、景観形成などの取り組みを通じて、農村の活性化を図ります。					担当課	農村振興課		
目標	-								
事業実施状況	・農業センターの維持管理（12施設） ・農業センターの改築等（上帯広農業センターと川西第2分団詰所の複合化、愛国農業センターと大正第2分団詰所の複合化） ・耕地防風林の整備への支援（15戸）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		40,161	373,888		0	
			特定財源		20,139	355,166		0	
			一般財源		20,022	18,722		0	
			指標名		-				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証				-		-			
	-								

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 多面的機能支払推進事業<再掲8-1-5>												
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。						担当課		農村振興課			
目標	-											
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動（水路の泥上げ、草刈、農道の補修など）に係る支援（15,972.52ha）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 配水管整備事業<再掲20-1-1>1									
目的	配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。					担当課	水道課		
目標	-								
事業実施状況	・配水管整備事業 L=2,116.6m ・管路近代化事業 L=8,353.6m			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費	-	-		-	
				特定財源	-	-		-	
				一般財源	-	-		-	
				指標名			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-	-			-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 農村下水道施設整備事業<再掲20-1-10>												
目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。					担当課	下水道課					
目標	-											
事業実施状況	・個別排水処理施設の整備				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
				-			-					
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 量水器整備事業<再掲20-2-2>															
目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。							担当課		水道課					
目標	-														
事業実施状況	・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		-		-		-				
					特定財源		-		-		-				
					一般財源		-		-		-				
					指標名 -						単位				
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
					-			-		-			-		
評価検証	-														

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 水道施設維持管理事業<再掲20-2-7>												
目的	適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。					担当課	水道課					
目標	-											
事業実施状況	・配水管、水道施設、量水器の維持管理	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		-		-		-				
		特定財源		-		-		-				
		一般財源		-		-		-				
		指標名		-					単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 下水道施設維持管理事業<再掲20-2-8>												
目的		適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。						担当課		下水道課		
目標		-										
事業実施状況	・下水道管の維持管理 ・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 下水道普及促進事業<再掲20-2-12>												
目的		下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。						担当課		下水道課		
目標		-										
事業実施状況	・下水道への接続の普及啓発 ・排水設備改造資金の貸付		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 8 取組 3 番号 再 事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業<再掲21-6-1>													
目的		農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。					担当課		都市政策課				
目標		-											
事業実施状況		・大正地区乗合タクシーの運行 ・川西地区乗合バスの運行		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		-		-		-			
				特定財源		-		-		-			
				一般財源		-		-		-			
				指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
		-			-			-			-		
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 8 取組 4 番号 1 事務事業 森林整備促進事業											
目的	私有林等の森林整備を支援し、森林の適切な管理を促進します。					担当課	農村振興課				
目標	森林経営計画の作成面積割合について64.9%を目指します。										
事業実施状況	・私有林の現況調査、施業提案 ・私有林整備への支援 ・高性能林業機械の導入支援（市独自事業） ・林業関係人材育成・担い手確保 ・地域材を使用した木製品製作、施設への設置を通した木育活動の実施 ・帯広市森林環境振興基金の管理	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		74,974		75,575		0			
		特定財源		34,008		26,265		0			
		一般財源		40,966		49,310		0			
		指標名		森林経営計画作成面積割合					単位	%	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		64.5			64.9			64.9			64.9
					67.0			67.0			
評価検証	R6年度の森林経営計画作成面積割合は67.0%であり、目標を達成しました。 R2年度から実施している施業提案等により、計画作成面積が増加したことが要因と考えます。										

施策 8 取組 4 番号 2 事務事業 林業振興事業												
目的	民有林の造成や担い手の育成・確保等の支援を通じ、林業を振興します。					担当課	農村振興課					
目標	林業事業体が雇用している現場作業員及び作業日数（森林作業員の延べ人日）の増加を目指します。											
事業実施状況	・民有林の造林などへの支援 ・森林認証の継続 ・林地台帳の運用 ・森林作業員の就労の安定化（35人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	10,490	5,602	0			
						特定財源	6,364	1,771	0			
						一般財源	4,126	3,831	0			
						指標名	-		単位			
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-	-	-	-	-	-	
						-	-	-	-	-	-	
評価検証	R6年度は、民有林における施業への補助により、森林所有者の施業意欲の向上が図られたことや森林作業員就労条件整備事業などを実施し、事業量が増加したことで、現場作業員及び作業日数の増加につながり、目標を達成しました。											

施策 8 取組 4 番号 3 事務事業 林道等整備事業															
目的	林道・作業道を整備し、森林を適切に管理します。						担当課	農村振興課							
目標	-														
事業実施状況	・林業専用道及び森林作業道の開設				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費		550		19,789		0				
					特定財源		550		19,789		0				
					一般財源		0		0		0				
					指標名		-						単位		
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
					-			-			-			-	
								-			-				
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 8 取組 4 番号 4 事務事業 市有林造成事業									
目的	水源かん養や環境保全など、森林が持つ公益的機能を積極的に発揮させるため、造林や間伐などの森林整備を進め、市有林を適切に管理します。					担当課	農村振興課		
目標	-								
事業実施状況	・森林施業計画に基づく造成事業の実施 (新植、下刈、間伐など) ・市有林風倒木の復旧植栽		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	52,739		54,714		0	
			特定財源	49,194		51,276		0	
			一般財源	3,545		3,438		0	
			指標名 -					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

施策 8 取組 4 番号 5 事務事業 市有林収穫事業												
目的	間伐や皆伐の適切な実施により、市有林の維持・管理を進めるとともに、森林資源の活用を図ります。						担当課	農村振興課				
目標	-											
事業実施状況	・森林施業計画に基づく収穫事業の実施 (間伐材等の売り払い)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		6,902		7,900		0	
					特定財源		25,953		22,963		0	
					一般財源		△19,051		△15,063		0	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
				-			-					
評価検証	-											

施策 8 取組 4 番号 6 事務事業 市有林・林道等管理事業										
目的	林業関係情報の収集・提供や市有林・林道の適切な管理などに取り組み、森林・林業行政施策を総合的に推進します。					担当課	農村振興課			
目標	-									
事業実施状況	・市有林の適正管理 ・市有林野管理経営審議会の開催 ・林道の管理 ・林業行政に関する事務 ・森林が持つ機能等の理解の促進	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		5,020		5,085		0		
		特定財源		43		43		0		
		一般財源		4,977		5,042		0		
		指標名 -						単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
					-		-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 8 取組 5 番号 1 事務事業 ばん系馬生産振興事業												
目的	ばん馬生産者の生産意欲を高め、ばん馬の生産を振興します。						担当課	ばんえい振興課				
目標	ばん馬生産者の生産意欲を高め、ばんえい競馬の安定開催に必要なばんえい競馬2歳馬出走頭数240頭の確保を目指します。											
事業実施状況	・生産者への生産奨励金支給				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		68,632		67,799		0	
					特定財源		66,438		64,891		0	
					一般財源		2,194		2,908		0	
	指標名		ばんえい競馬2歳馬出走頭数						単位		頭	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	240			240 266			240 268			240		
評価検証	R6年度の2歳馬出走頭数は268頭であり、目標を達成しました。 安定的な競馬開催運営を行うとともに、生産奨励金の支給がばん馬生産者の意欲向上に効果的であったと考えます。											

施策	8	取組	5	番号	2	事務事業	馬文化承継事業						
目的	ばん馬とふれあう機会の提供などにより、人と馬との文化を継承します。						担当課	ばんえい振興課					
目標	馬耕技術伝承プロジェクト（開拓期における馬耕技術の実演や生産者、騎手など馬に関わる職業の紹介など）を通じて、人と馬との文化承継を目指します。												
事業実施状況	・馬とふれあう機会の提供（7件） ・馬耕技術伝承プロジェクトの実施への支援 ・草競馬等における生産者への表彰への支援						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	13,927	9,922	0			
							特定財源	13,927	4,238	0			
							一般財源	0	5,684	0			
							指標名	馬文化承継事業参加者数			単位	人	
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							77	120	120	120			
評価検証	R6年度の馬文化承継事業参加者数は128人であり、目標を達成しました。 馬搬実演の催しなど、実際に参加者に体験してもらう機会を設けたことが効果的であったと考えま す。												

施策	8	取組	5	番号	3	事務事業 競馬開催事業					
目的	世界で唯一の地域資源であるばんえい競馬を開催します。					担当課	ばんえい振興課				
目標	売上増加やコスト削減を通じ、ばんえい競馬の安定運営を目指します。										
事業実施状況	・ばんえい競馬の開催（開催日数149日、発売額578億2265万8700円） ・ばんえい競馬振興基金の管理 ・ばんえい競馬施設等整備基金の管理					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
						事業費	57,033,580	59,294,267	0		
						特定財源	56,999,336	59,294,267	0		
						一般財源	34,244	0	0		
						指標名				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	R6年度は、イベント開催の売上向上の取り組みなどにより、収支は黒字となり、ばんえい競馬の安定的な運営を図ることができたものと考えます。										

事務事業評価表

施策	9	取組	1	番号	1	事務事業	市場開拓・販路拡大事業						
目的	関係機関等と連携した地場産品の付加価値向上などの取り組みを通じ、市場開拓・販路拡大を促進します。						担当課	経済企画課					
目標	関係機関と連携した相談体制の維持やセミナー等の支援を継続します。												
事業実施状況	・国内・海外販路拡大に向けた支援 ・関係機関との連携による地域内外へのかちブランドのPR促進 ・地場産品ブランド化の総合的な支援 ・国の持続化補助金を活用した販路拡大等への支援						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費	17,929	955	0			
							特定財源	15,402	455	0			
							一般財源	2,527	500	0			
							指標名	-			単位		
							基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-		-		-
評価検証	R6年度は、関係機関との連携により、国内外への販路拡大に向けた商談会の開催支援や海外の有名ソムリエ・醸造家を招聘した道産ワインの知名度向上・販路拡大事業を実施し、目標を達成しました。												

施策	9	取組	1	番号	2	事務事業	知的財産保護・活用促進事業							
目的	特許や実用新案の登録など、地域の知的財産活動を支援し、地元企業の製品開発等を促進します。						担当課		経済企画課					
目標	地元企業の製品開発の促進や知的財産の活用に関する発明相談件数について31件を目指します。													
事業実施状況	・弁理士等による発明相談会、知的財産研修会の開催支援（相談件数 24件）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		5		28		0	
							特定財源		0		0		0	
							一般財源		5		28		0	
							指標名		発明相談件数					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	27				31 23				31 24				31	
評価検証	R 6年度の発明相談件数は24件であり、目標を達成しませんでした。 地元事業者における知的財産や特許等活用の有意性の活用に対する認識が低いことが要因と考えます。 今後は、セミナーの実施を通じて、知的財産等の活用の有意性について地元事業者へ周知していくなどにより、知的財産に対する関心を高めていく必要があると考えます。													

施策	9	取組	1	番号	3	事務事業	経営相談事業											
目的	中小企業に対する経営相談などにより、経営改善を促進し、経営基盤の強化を図ります。						担当課		商業労働課									
目標	中小企業の経営に係る相談体制を維持します。																	
事業実施状況	・経営相談の実施（1,551件） ・中小企業相談所による経営、講習会などの実施（64件） ・経済動向の把握と情報提供 ・北海道中小企業総合支援センターとの連携						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
							事業費		16,530		17,978		0					
							特定財源		0		0		0					
							一般財源		16,530		17,978		0					
							指標名				経営相談件数				単位		件	
							基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
							1,252			1,329			1,329			1,329		
										1,289			1,551					
評価検証	R6年度の経営相談件数は1,551件であり、目標を達成しました。 相談体制を維持し、中小企業の経営に係る相談等を行ったことが要因と考えます。 今後も、地元企業の経営基盤の強化を図るために、経済団体等と連携し、相談対応を進めていく必要がありますと考えます。																	

事務事業評価表

施策	9	取組	1	番号	4	事務事業	商店街活性化事業							
目的	商店街のにぎわい創出や環境整備などを支援し、商店街の活性化を図ります。						担当課		商業労働課					
目標	商店街空き店舗率について現状の水準を維持します。													
事業実施状況	・商店街が新たに取り組む事業等への支援（5件） ・演出、催事事業への支援（12件） ・商店街ロードヒーティング設備維持への支援（7件）						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		15,061		14,234		0	
							特定財源		0		0		0	
							一般財源		15,061		14,234		0	
							指標名		商店街空き店舗率					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	10.1				10.1 11.6				10.1 11.6				10.1	
評価検証	商店街活性化に向けた支援により、新たに開業した店舗等がありましたが、R6年度の商店街空き店舗率は11.6%であり、目標を達成しませんでした。 消費者の行動変容に加え、大規模商業施設の閉店に伴うにぎわいの減少等により、中心市街地では持続的な経営が難しい業態があることが要因の一つと考えます。 こうした現状にありますか、今後も、商店街の取り組みを支援することにより、商店街の活性化を促し、空き店舗の解消につなげることが重要と考えます。													

施策	9	取組	1	番号	5	事務事業	制度融資事業（商業労働課）				
目的	長期・低利な資金の貸付や信用保証料の補給により、中小企業の経営基盤の強化を図ります。						担当課	商業労働課			
目標	市内融資に占める市の制度融資の割合について現状の水準を維持します。										
事業実施状況	・制度融資のあっせん（あっせん件数142件） ・信用保証料の補給（補給件数108件）						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
							事業費		4,919,636	4,921,960	0
							特定財源		4,904,929	4,901,650	0
							一般財源		14,707	20,310	0
	指標名		制度融資実行割合				単位	%			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	15.3			25.0 10.7		25.0 12.9		25.0			
評価検証	R6年度の制度融資実行割合は12.9%であり、目標を達成しませんでした。低金利環境のなか、市内金融機関のプロパー資金と金利差がなくなっていることやコロナ後の売上回復などから、特にセーフティネット資金の利用が少ない状況にあることが要因であると考えます。全体的に資金需要が低下しているものと捉えています。今後、中小企業が資金繰りに困った際には、円滑で有利な資金調達が可能となるよう制度融資等に関する効果的な情報提供を行うことが必要であると考えます。										

施策	9	取組	1	番号	6	事務事業	人材育成事業				
目的	関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。						担当課	経済企画課			
目標	地域の経済発展に貢献する人材を育成するフードバレーとかち人材育成事業の修了者数の増加を目指します。										
事業実施状況	・フードバレーとかち人材育成事業の実施 (修了者数18名)						単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
							事業費	4,817	4,734	0	
							特定財源	0	0	0	
							一般財源	4,817	4,734	0	
	指標名						-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
評価検証	R6年度は、関係機関と連携した周知や講義内容の見直しを行いました。受講者のニーズに十分に応える講習を展開できなかったため、修了者数は減少し、目標を達成できませんでした。今後は、新たな受講者の獲得を図るため、ニーズに即した新規コースの開設に加え、より効果的な周知活動の強化をしていく必要があると考えます。										

事務事業評価表

施策 9 取組 1 番号 7 事務事業 産業支援機能提供事業										
目的	新製品の研究開発や産学官連携の支援、相談体制の充実などを通じ、地場工業の活性化を図ります。					担当課	経済企画課			
目標	新製品・新技術の開発等に向けた技術相談件数の増加を目指します。									
事業実施状況	・とちか財団への支援（とちか財団による技術指導相談件数837件） ・十勝産業振興センター建設費償還への支援（設備機器利用件数51件） ・商工観光振興基金の管理 ・製品開発、販路開拓等への支援 ・関係機関に配置されたコーディネーター等との連携による支援相談体制の充実 ・北海道中小企業総合支援センター等との連携 ・起業希望者向けのコーディネーターの配置					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	176,947	176,071	0	
						特定財源	0	255	0	
						一般財源	176,947	175,816	0	
						指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-				
	評価検証	R6年度は、関係機関とともに、企業等の技術的課題の解決や新製品開発等の相談に対応し、必要に応じて生産現場等へ赴き、指導及び助言を実施してきたことにより、相談件数は増加し、目標を達成しました。								

施策	9	取組	1	番号	8	事務事業	産業振興ビジョン推進事業							
目的	中小企業者等と連携しながら、帯広市産業振興ビジョンを推進し、中小企業の活性化を図ります。						担当課		経済企画課					
目標	-													
事業実施状況	・帯広市産業振興会議の開催 ・産業振興ビジョンの推進						単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
							事業費		38	40	0			
							特定財源		0	0	0			
							一般財源		38	40	0			
	指標名						-				単位			
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
							-		-	-	-	-	-	
評価検証	-													

施策 9 取組 1 番号 9 事務事業 企業支援事業											
目的	地元企業との意見交換や事業成果の確認・指導等を通じ、企業の経営力強化を図ります。					担当課	経済企画課				
目標	-										
事業実施状況	・ 地元企業との意見交換や事業成果の確認、指導等				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	290	294	0			
					特定財源	0	0	0			
					一般財源	290	294	0			
					指標名	-				単位	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
					-		-	-	-		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 9 取組 1 番号 10 事務事業 職業能力開発・向上推進事業												
目的		関係機関の連携により、職業能力開発を促進し、高度な技能を有する人材の育成・確保を図ります。						担当課		商業労働課		
目標		-										
事業実施状況	・職業能力開発事業への支援 ・職業能力開発センターへの運営支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		33,645		33,591		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		33,645		33,591		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 9 取組 1 番号 11 事務事業 商業活性化事業														
目的	商業・商店街の活性化のための情報収集・提供や中小企業団体の組織強化支援などを通し、商業の振興を図ります。							担当課		商業労働課				
目標	-													
事業実施状況	・商業・商店街の活性化に関する情報収集・提供 ・大規模小売店舗立地法に関する事務 ・商業行政に関する事務 ・中小企業団体の組織強化への支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		4,624		4,436		0			
					特定財源		19		41		0			
					一般財源		4,605		4,395		0			
					指標名		-						単位	
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-			
	評価検証	-												

施策 9 取組 1 番号 12 事務事業 組織設立認可等関連事業													
目的		中小企業協同組合などの設立認可等に関する事務を進めます。					担当課		商業労働課				
目標		-											
事業実施状況	・ 組合設立認可等に関する事務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		0		0		0				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		0		0		0				
			指標名 -							単位			
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-			-			-			-	
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 9 取組 2 番号 1 事務事業 十勝・イノベーション・エコシステム推進事業												
目的	産学官金が連携した支援体制により、持続的な事業創出を促進します。						担当課	経済企画課				
目標	産学官金の連携による支援を通じた事業化件数の増加を目指します。											
事業実施状況	・域内外の異分野人材との触発等による事業創発の促進（十勝ドリームマップ会議） ・起業候補者の発掘から事業構想の創発、事業計画の磨き上げ、事業化までを一貫してサポートする支援システムの構築（とちイノベーションプログラム、LANDの管理、運営等）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		33,809		34,156		0	
					特定財源		33,145		33,245		0	
					一般財源		664		911		0	
	指標名		-				単位					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-	-		-	-				
評価検証	R6年度は、とちイノベーション・プログラムにおいて、プログラム内容の動画配信や希望者への託児サービスを継続したほか、金融機関の取引先への周知や事務局のネットワークを通じた参加者募集などを行ったことにより新規参加者が全体の7割を超えるなど、参加者の裾野が着実に広がっています。											
	支援を通じた事業化件数は新たに3件（延べ27件）生まれており、目標を達成しました。											

施策 9 取組 2 番号 2 事務事業 産学官連携促進事業									
目的	産学官連携を促進し、大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出を図ります。					担当課	経済企画課		
目標	産学官連携による新商品開発件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・新商品の開発支援 ・商談会への出展支援		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		1,594	1,585		0	
			特定財源		0	0		0	
			一般財源		1,594	1,585		0	
	指標名		-					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
			-		-		-		
評価検証	R6年度は、食品技術分野における課題解決や新製品の実用化に向けた研究開発等に取り組んだことで、新商品開発につながり、目標を達成しました。								

施策 9 取組 2 番号 3 事務事業 フードバレーとから推進事業										
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとから」を推進します。					担当課	経済企画課			
目標	事業者間の連携促進等による6次産業化件数の増加を目指します。									
事業実施状況	・十勝の企業や食・農林漁業に関する情報発信、試験研究機関と生産者や企業等との連携促進 ・「フードバレーとから」の取り組みへの住民参加の促進 ・生産・加工・流通業者の連携機会の提供など、コーディネート機能の発揮 ・域内外企業等との連携促進 ・バイオマス産業都市構想の推進 ・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大 ・フードバレーを通じた交流の推進 ・十勝の食の高付加価値化の推進					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
						事業費	15,281	12,511	0	
						特定財源	7,500	9,950	0	
						一般財源	7,781	2,561	0	
						指標名	-			単位
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
		-	-	-	-	-	-			
	評価検証	R6年度は、包括連携企業のJALUXの立ち上げブランドである「トカチカラ」より新たな常温商品のスイーツが販売されたほか、総合スーパーや管内農協による新商品の開発が行われており、目標を達成しました。								
		また、明治の新規乳製品事業と連携して、明治の新商品と十勝産食材の組み合わせをPRするなど販路拡大につながる取り組みを進めました。								

事務事業評価表

施策 9 取組 3 番号 1 事務事業 企業立地促進事業									
目的	企業の設備投資に対する支援などにより、企業立地を促進します。					担当課	経済企画課		
目標	立地企業件数について5件を目指します。								
事業実施状況	・企業訪問活動による情報収集 ・立地企業の設備投資への支援 ・企業立地促進条例に基づく助成対象の拡大		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	120,871	99,711		0		
			特定財源	0	0		0		
			一般財源	120,871	99,711		0		
			指標名 立地企業件数				単位	件	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	4			5		5		5	
評価検証	R6年度の立地企業件数は5件であり、目標を達成しました。 企業の資金調達先である金融機関への訪問などを通じて、制度説明を実施したことで、制度の周知が図られ、設備投資の促進につながったものと考えます。								

施策 9 取組 4 番号 1 事務事業 雇用拡大・機会確保促進事業									
目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、就業機会の確保を図ります。					担当課	商業労働課		
目標	UIJターン情報の提供登録者について331人を目指します。								
事業実施状況	・季節労働者の通年雇用化促進 ・UIJ ターン、人材マッチングの促進 ・高齢者の就業機会の拡大 ・シルバー人材センターへの運営支援	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	34,903	27,768		0			
		特定財源	3,211	1,360		0			
		一般財源	31,692	26,408		0			
	指標名 UIJターン情報提供先の登録数					単位	人		
	基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値	331	
			実績値		実績値		実績値		
		196	241	286					
			207	208					
評価検証	R6年度のUIJターン情報の提供登録者は208人であり、目標を達成しませんでした。 ホームページやイベント、関係機関を通じた情報提供を進めてきましたが、新規登録者数が伸び悩んでおり、周知不足が要因と考えます。 今後は、関係機関との連携を密に行うなど、さらなる周知に取り組むほか、UIJターン希望者の登録につながる工夫を検討していく必要があると考えます。								

施策 9 取組 4 番号 2 事務事業 労働環境整備促進事業									
目的	労働相談の実施や子どもを生き育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。					担当課	商業労働課		
目標	とちか勤労共済センター会員数について9,000人を目指します。								
事業実施状況	・労働相談の実施（12件） ・子育て応援事業所促進事業の実施（48件） ・とちか勤労者共済センターへの運営支援（9,444人） ・事業所雇用実態調査の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	11,703		12,747		0		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	11,703		12,747		0		
		指標名	とちか勤労共済センター会員数				単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
評価検証	R6年度のとちか勤労共済センター会員数は9,444人であり、目標を達成しました。 十勝管内市町村における広報や商工会を通じたパンフレットの送付などに継続的に取り組んだことが効果的であったと考えます。	8,371	8,622	9,000		9,000			
			9,340	9,444					

事務事業評価表

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 子育て支援事業<再掲2-1-3>1										
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。					担当課	子育て支援課			
目標	-									
事業実施状況	・ファミリーサポートセンター事業の実施（829人、1,802件） ・子育て応援事業所登録事業の実施（登録事業所数294事業所） ・出産子育て応援給付金の支給（1,775人）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	-		-		-			
		特定財源	-		-		-			
		一般財源	-		-		-			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
				-		-		-		
評価検証	-									

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 障害者就労促進事業<再掲5-3-1>										
目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。						担当課	障害福祉課		
目標	-									
事業実施状況	・障害者施設からの物品優先調達 ・障害者就労・相談支援事業 ・障害者の職場体験実習の実施（15課19名） ・障害者の就労環境づくり ・障害者雇用に係る成功事例の周知や課題等の調査（10事例収集）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	-		-		-			
		特定財源	-		-		-			
		一般財源	-		-		-			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	-									

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 移住推進事業<再掲22-2-1>												
目的		移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。						担当課		観光交流課		
目標		-										
事業実施状況	・ 移住に関する情報収集、提供 ・ 移住に関する相談の実施（延べ203人） ・ ちょっと暮らしサポート事業の実施（5件108日間） ・ 移住支援金の支給		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
	-		-		-		-		-			
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 女性活躍推進事業<再掲22-3-1>2										
目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。					担当課	市民活動課			
目標	-									
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進 (33.7%) ・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布 (2,053枚)		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	-		-		-		
			特定財源	-		-		-		
			一般財源	-		-		-		
			指標名	-					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 10 取組 1 番号 1 事務事業 体験・滞在型観光推進事業									
目的	管内町村などと連携し、自然や農業、食を活かした体験・滞在型観光を進めます。				担当課	観光交流課			
目標	十勝のアウトドア観光消費額について8.1億円を目指します。								
事業実施状況	・ボロシリ自然体験観光推進事業の実施（ヤマメ放流1回） ・アウトドア観光情報の発信 ・サイクルツーリズムの推進（十勝サイクルウィーク開催支援） ・アドベンチャーツーリズムの推進（ツアー造成3商品） ・アイヌ古式舞踏の観光コンテンツ化に向けた取り組み（舞踊披露15回） ・訪日外国人旅行者の誘客推進（ツアー造成26商品） ・日高山脈の国立公園化を契機としたアウトドア観光の推進（モニターツアー1回実施、PR動画1本作成）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	12,766	90,915	0	
					特定財源	0	86,445	0	
					一般財源	12,766	4,470	0	
					指標名	十勝のアウトドア観光消費額			
	基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
			実績値		実績値		実績値		
		601	810	810	810				
		639		761					
	訪日外国人旅行者の誘客促進に向けたツアー造成やアイヌ古式舞踏の観光コンテンツ化に取り組りましたが、R6年度の十勝のアウトドア観光消費額は761百万円となり、目標を達成しませんでした。今後は、国内へのインバウンド重要がさらに高まることを見込まれるため、関係機関と連携し、これまで造成してきたツアーの販路拡大に向けたプロモーション活動等に取り組む必要があると考えます。								

施策	10	取組	1	番号	2	事務事業 三大まつり等開催事業							
目的	各種イベントにおいて十勝の魅力を発信することにより、にぎわいの創出や交流人口の拡大を図ります。					担当課	観光交流課						
目標	帯広三大まつりの来場者数の増加を目指します。												
事業実施状況	・三大まつり（平原まつり154,000人、菊まつり13,150人、氷まつり170,000人）への支援 ・地域イベントへの協力、支援					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
						事業費	56,164	54,122	0				
						特定財源	0	0	0				
						一般財源	56,164	54,122	0				
						指標名		-		単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
									-				
評価検証	R6年度は、三大まつり全てで大道芸や学生を主体としたパフォーマンスなど、親子連れや若年層を引き込むイベントを実施したことにより、来場者数は前年から増加しており、目標を達成しました。 今後も、域内外から多くの人が訪れ、楽しむことができる魅力あるイベントとなるよう、引き続き、関係機関・団体等と連携して開催運営に取り組んでいく必要があると考えます。												

施策	10	取組	1	番号	3	事務事業	地域観光圏連携推進事業									
目的	地域観光圏と連携し、広域観光ルートの形成を図ります。						担当課	観光交流課								
目標	全道外国人観光客宿泊客延べ数道東シェアの向上を目指します。															
事業実施状況	・道内他地域との連携による広域観光の推進（タイアップ記事5回、旅行商品造成3社、WEBプロモーション4か月）						単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
							事業費	1,693		1,670		0				
							特定財源	0		0		0				
							一般財源	1,693		1,670		0				
							指標名	-						単位		
							基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
							-	-		-		-		-		
評価検証	韓国からのチャーター便の就航等により、訪日外国人宿泊客延数は前年と比べて増加しているものの、道内他地域では、さらに増加したため、全道外国人観光客宿泊客延べ数道東シェアは減少しています。今後も、道東三市と連携したプロモーション活動等に取り組んでいく必要があると考えます。															

事務事業評価表

施策 10 取組 2 番号 1 事務事業 アンテナショップ運営事業											
目的	とかち物産センターの運営を支援し、地域の特産品等の宣伝、販売を促進します。					担当課	経済企画課				
目標	とかち物産センターの売上額について3,700万円を目指します。										
事業実施状況	・とかち物産センターへの運営支援			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		16,700		16,700		0	
				特定財源		0		0		0	
				一般財源		16,700		16,700		0	
	指標名		とかち物産センター売上額						単位	百万円	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	25.3			31.2 27.5			34.1 28.9			37.0	
評価検証	R6年度のとかち物産センター売上額は2,889万円であり、目標を達成しませんでした。 ギフト商品の販売強化を進めたことにより、インターネット受注高は増加傾向にあるものの、物価上昇による生活必需品全般の値上げが続いており、消費マインドが回復していないことが要因であると考えます。 今後は、帯広物産協会及び会員企業等との連携強化を図り、顧客に訴求する新商品の開発等に取り組む必要があると考えます。										

施策 10 取組 2 番号 2 事務事業 物産販路拡大推進事業									
目的	物産展への特産品出展などにより、特産品の販路拡大や地域のイメージアップを図ります。					担当課	経済企画課		
目標	物産展等の取扱額について3.0億円を目指します。								
事業実施状況	・道内外での物産展の開催			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費	3,587	3,590		0	
				特定財源	0	0		0	
				一般財源	3,587	3,590		0	
				指標名	物産展等取扱額				単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	2.5		3.0 2.8		3.0 3.0		3.0		
評価検証	R 6年度の物産展等取扱額は3.0億円であり、目標を達成しました。 帯広物産協会が、百貨店の物産展担当バイヤーへ季節限定商品や新商品等の提案を行い、新たな特集企画の開催につながったことやオンライン物産展の取り扱い商品が増加したことが要因であると考えます。								

施策 10 取組 2 番号 3 事務事業 観光プロモーション事業										
目的	国内外において、地域の魅力を活かした誘致宣伝活動を進め、観光客の誘致を図ります。					担当課	観光交流課			
目標	市内観光入込客数について293万人を目指します。									
事業実施状況	・観光ポスター、パンフレットなどによる観光情報の発信 ・地域おこし協力隊制度の活用による地域の魅力発信 ・観光客の誘致に向けたプロモーション活動の実施	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	12,369		30,834		0			
		特定財源	0		3,080		0			
		一般財源	12,369		27,754		0			
		指標名	市内観光入込客数					単位	万人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		138.2		216.0 245.0		254.0 231.0		293.0		
評価検証	食などの地域資源を活かしたプロモーション活動に取り組みましたが、R6年度は市内観光入込客数が231万人となり、目標を達成しませんでした。 今後も、観光ポスター・パンフレットによる観光情報の発信のほか、国内外の航空会社や旅行会社に各種プロモーション活動を行っていく必要があると考えます。									

事務事業評価表

施策 10 取組 2 番号 4 事務事業 コンベンション誘致推進事業										
目的		関係機関と連携した情報発信や開催支援により、コンベンションの誘致を進めます。					担当課	観光交流課		
目標		コンベンション誘致件数の増加を目指します。								
事業実施状況		・コンベンションの誘致活動（商談3回） ・コンベンションの開催支援（ラリー北海道、ソロプチミスト、国際土壌分類会議）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費	5,400		5,697		0	
				特定財源	0		0		0	
				一般財源	5,400		5,697		0	
				指標名	-					単位
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-			-		-		-	
評価検証		R6年度は、関係機関と連携した誘致活動や開催支援を継続して実施したことで、3つの国際大会等の開催につながっており、コンベンション誘致件数は前年より増加したため、目標を達成しました。								

施策	10	取組	2	番号	再	事務事業	空港利用促進事業<再掲11-2-1>							
目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とちか帯広空港の利用促進を図ります。						担当課		観光交流課					
目標	-													
事業実施状況	・航空路線の充実に向けた関係機関への要請活動の実施（チャーター便：国際線20便、国内線49便） ・利用促進に向けたプロモーション活動の実施 ・新たな路線就航のための調査・検討 ・受入体制の充実						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		-		-		-	
							特定財源		-		-		-	
							一般財源		-		-		-	
							指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値						
	-			-		-		-						
評価検証	-													

施策	10	取組	2	番号	再	事務事業	スポーツ大会・合宿等誘致事業				<再掲15-3-1>					
目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。						担当課		スポーツ課							
目標	-															
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援 (27大会への支援) ・合宿および大会の誘致（宿泊団体数444 団体、宿泊者数9,002人） ・スケート国際大会の誘致・開催 ・プロスポーツ等の誘致 ・全国高等学校総合体育大会北海道大会への 支援						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
							事業費		-		-		-			
							特定財源		-		-		-			
							一般財源		-		-		-			
							指標名		-				単位			
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
							-			-		-		-		
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 10 取組 3 番号 1 事務事業 観光インフォメーション推進事業									
目的	駅や空港等における観光や物産情報の提供などにより、観光客の利便性向上を図ります。					担当課	観光交流課		
目標	観光情報センター利用者数について60,561人を目指します。								
事業実施状況	・とちか観光情報センターの運営（利用者41,330人） ・馬の資料館を活用した情報発信（利用者39,032人）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	28,634	30,175	0			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	28,634	30,175	0			
			指標名	観光情報センター利用者数				単位	人
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
			20,780	40,000 41,872	50,000 41,330	60,561			
評価検証	ホームページやSNSを活用した情報発信を行いました。R6年度のとちか観光情報センター利用者数は41,330人であり、目標を達成しませんでした。 観光客の観光情報の取得手段がSNSや動画投稿サイトなど多様化していることが要因の一つと考えます。 こうした現状にはありますが、観光客が現地の人から直接、観光情報を取得することや外国人も含めた観光客の相談対応を行う施設があることは重要であることから、今後も、施設の認知度を高めるため、SNS等を活用した情報発信を進めていく必要があると考えます。								

施策 10 取組 3 番号 2 事務事業 観光景観等整備事業										
目的		景観等の整備を通し、観光客等に対する地域のイメージアップを図ります。				担当課		観光交流課		
目標		地域の観光景観等を維持します。								
事業実施状況	・ 中心市街地におけるWi-Fi環境の維持管理を支援（利用件数12,622回） ・ シーニックバイウェイ北海道におけるトカプチ雄大空間ルートの運営支援 ・ 観光振興に係る新たな財源の検討		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		608		742		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		608		742		0	
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-	-	-	-			
評価検証	R 6年度は、中心市街地のWi-Fi環境を維持管理することで観光客の受入環境の充実を図ったほか、美しい景観づくりなどに取り組むシーニックバイウェイ北海道の運営を支援することにより、観光景観の維持を図ってきており、目標を達成しました。									

施策 10 取組 3 番号 3 事務事業 観光推進団体支援事業									
目的	観光推進団体の育成、支援や連携を進め、観光客の受入環境の充実を図ります。					担当課	観光交流課		
目標	観光スポットやモデルルートなどの情報を提供する帯広観光コンベンション協会HPのアクセス数の増加を目指します。								
事業実施状況	・帯広観光コンベンション協会への支援（ホームページアクセス469,350回） ・十勝観光連盟など各種団体との連携					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	59,461	62,110	0
						特定財源	0	0	0
						一般財源	59,461	62,110	0
						指標名	-		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-	-	-	-	-	
評価検証	R6年度は、観光推進団体への支援や連携を通じ、魅力ある観光情報の提供を行いました。帯広観光コンベンション協会ホームページのアクセス数は前年から減少しており、目標を達成しませんでした。 観光客の観光情報の取得手段がSNSや動画投稿サイトなど多様化していることが要因の一つと考えます。 こうした現状にはありますが、地域が一体となった情報発信は重要であることから、今後も、ホームページに掲載する観光情報をより一層充実させるほか、SNS等を活用してホームページへ誘導していく必要があると考えます。								

事務事業評価表

施策 10 取組 3 番号 4 事務事業 観光施設管理運営事業												
目的	観光施設を適正に維持管理し、観光客受入環境の充実を図ります。					担当課	観光交流課					
目標	-											
事業実施状況	・ 観光施設の維持管理	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		41,015		61,633		0				
		特定財源		4,863		25,772		0				
		一般財源		36,152		35,861		0				
		指標名		-				単位				
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

施策 10 取組 3 番号 5 事務事業 北愛国交流広場管理運営事業													
目的		北愛国交流広場の適切な管理運営により、各種イベントの開催を促進します。						担当課		観光交流課			
目標		-											
事業実施状況	・北愛国交流広場の管理運営 ・北愛国交流広場の環境整備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		13,316		5,560		0				
			特定財源		6,127		0		0				
			一般財源		7,189		5,560		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-			-			-			-	
						-			-				
評価検証		-											

事務事業評価表

施策	11	取組	1	番号	1	事務事業 十勝港利活用促進事業										
目的	管内自治体と連携し十勝港の整備などを進め、十勝港の利活用を促進します。						担当課		企画課							
目標	-															
事業実施状況	・十勝港の港湾機能の整備や利活用促進に関する国や北海道等への要望活動の実施						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
							事業費		0		0		0			
							特定財源		0		0		0			
							一般財源		0		0		0			
							指標名		-						単位	
							基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
							-			-		-				
										-		-				
評価検証	-															

施策 11 取組 1 番号 2 事務事業 主要幹線・広域道路整備促進事業										
目的	主要な幹線道路や高規格道路の整備を促進し、広域的な交通ネットワークの形成を図ります。					担当課	都市政策課			
目標	-									
事業実施状況	・高規格道路の整備に関する要望活動の実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		960		955		-		
		特定財源		0		0		-		
		一般財源		960		955		-		
		指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
	-		-		-		-		-	
	-		-		-		-		-	
評価検証	-									

施策 11 取組 1 番号 3 事務事業 鉄道高速化等促進事業																
目的	石勝線・根室線の高速化等の促進のほか、維持充実に向けた要望活動などにより、鉄道輸送の利便性の向上を図ります。					担当課	都市政策課									
目標	-															
事業実施状況	・石勝線・根室線の高速化の促進や維持充実に向けた要望活動の実施 ・JR北海道の線区見直し等に係る情報収集 ・北海道新幹線の札幌延伸を見据えた圏域への波及効果などに係る情報収集					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		0		0		0				
						特定財源		0		0		0				
						一般財源		0		0		0				
						指標名		-						単位		
						基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
									実績値			実績値			実績値	
						-		-		-		-		-		
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 11 取組 1 番号 再 事務事業 地域公共交通活性化事業<再掲21-6-2>													
目的	地域公共交通計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。							担当課		都市政策課			
目標	-												
事業実施状況	・公共交通の利用促進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		-		-		-		
					特定財源		-		-		-		
					一般財源		-		-		-		
	指標名		-							単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
	-			-			-			-			
			-			-							
評価検証	-												

施策 11 取組 2 番号 1 事務事業 空港利用促進事業										
目的		関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とから帯広空港の利用促進を図ります。					担当課		観光交流課	
目標		とから帯広空港におけるチャーター便の増加を目指します。								
事業実施状況	・航空路線の充実に向けた関係機関への要請活動の実施（チャーター便：国際線20便、国内線49便） ・利用促進に向けたプロモーション活動の実施 ・新たな路線就航のための調査・検討 ・受入体制の充実					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費		6,200	6,200	0
						特定財源		0	0	0
						一般財源		6,200	6,200	0
	指標名		-			単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	R 6年度は、旅行者の需要を捉えた地域の魅力を旅行会社等へプロモーションしたことや航空会社への要請活動を実施したことにより、とから帯広空港におけるチャーター便が増加しており、目標を達成しました。今後も、とから帯広空港の利用促進のため、個人客や団体客の需要を捉えた地域の魅力発信による旅行会社等へのプロモーション活動や航空会社への要請活動に取り組んでいくことが必要があると考えます。									

施策 11 取組 2 番号 2 事務事業 空港整備事業													
目的	滑走路の改良など空港施設の整備により、空港機能の維持向上を図り、航空機の安全で安定的な運航を確保します。					担当課	観光交流課						
目標	-												
事業実施状況	・空港施設整備に関する関係機関との調整協議 ・滑走路端安全区域（RESA）整備 ・車両基地・電源局舎改修工事 ・誘導路改良工事 ・誘導路灯火改良工事 ・エプロン照明LED化工事（実施主体：北海道エアポート）					単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費		40,711	225,589	0			
						特定財源		40,711	225,589	0			
						一般財源		0	0	0			
						指標名		-			単位		
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-			-		-		-
									-		-		
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 11 取組 2 番号 3 事務事業 空港施設維持補修事業									
目的		滑走路などの空港施設を維持補修し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。				担当課		観光交流課	
目標		-							
事業実施状況	・誘導路、航空灯火等の維持補修	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		0		0		0	
		特定財源		0		0		0	
		一般財源		0		0		0	
		指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-		-		-		-	
				-		-			
評価検証	-								

施策 11 取組 2 番号 4 事務事業 空港管理運営事業														
目的		とから帯広空港を適切に管理運営し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。						担当課		観光交流課				
目標		-												
事業実施状況	・車両購入費の償還 ・北海道内7空港の一括運営委託に係る業務（モニタリングの実施） ・空港脱炭素化推進計画の策定						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		49,812		37,391		0	
							特定財源		6,473		673		0	
							一般財源		43,339		36,718		0	
							指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
	-		-		-		-		-					
			-		-									
評価検証		-												

事務事業評価表

施策 12 取組 1 番号 1 事務事業 食育推進事業（小・中学校）（給食センター）									
目的	学校給食における地元産食材の活用や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。					担当課	給食センター		
目標	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合について74.4%を目指します。								
事業実施状況	・ふるさと給食の提供、新メニューの開発 ・地場産農産物生産者等との交流 ・食育・給食のPR ・学校給食における地元産食材導入の推進 ・食育アンケートの実施	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
		事業費	5,413	6,650	0				
		特定財源	0	22	0				
		一般財源	5,413	6,628	0				
		指標名	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合				単位	%	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		72.9		73.4 76.8	73.9 77.6		74.4		
評価検証	R6年度のアンケートにおいて、学校給食が好きだと思う児童生徒の割合は77.6%であり、目標を達成しました。 学校給食を通じた食や地域産業に対する正しい理解を促進するため、ふるさと給食の提供や栄養教諭等による食育指導などを実施したほか、新たなメニューの開発等による魅力向上や広報紙とホームページを活用した情報発信を実施したことが効果的であったと考えます。								

施策 12 取組 1 番号 2 事務事業 体験活動機会提供事業（学校地域連携課）									
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。					担当課	学校地域連携課		
目標	子どもたちの豊かな人間性や社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。								
事業実施状況	・中学生からのメッセージ事業の実施（発表者15人、来場者146人） ・冬季活動機会提供事業の実施（雪不足のため中止） ・おびひろキッズタウンの開催（参加者267人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	620	619	0	
					特定財源	186	495	0	
					一般財源	434	124	0	
					指標名	-			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	R6年度は、感染症拡大前の規模でおびひろキッズタウンを実施し参加者数が増加したほか、中学生からのメッセージの来場者数も増加したものの、冬季活動機会提供事業は雪不足のため事業が中止となり、目標を達成できませんでした。今後、冬期活動機会提供事業については、天候に左右されないイベント内容や実施方法を検討していく考えです。								

施策 12 取組 1 番号 3 事務事業 青少年活動支援事業									
目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。					担当課	学校地域連携課		
目標	地域活動等に積極的に取り組むジュニアリーダーの養成事業への参加者数を維持します。								
事業実施状況	・ジュニアリーダー“あるふあ”の会の運営（会員数21人） ・ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（参加者16人） ・地域子ども会リーダー宿泊研修会の開催（参加者162人） ・北海道地域子ども会リーダー研修会への派遣（参加者7人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	235	388	0
						特定財源	0	0	0
						一般財源	235	388	0
						指標名	-		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-		-			
評価検証	R6年度は、中高校生を対象とした“あるふあ”の会の部会や小学6年生対象の「あすかの会」、北海道地域子ども会リーダー研修会の参加者が前年より増加したことで目標を達成しました。地域子ども会リーダー宿泊研修会から「あすかの会」、さらに「あすかの会」から“あるふあ”の会へと、学年が上がっても継続して参加する児童が増加したことが要因と考えます。								

事務事業評価表

施策 12 取組 1 番号 4 事務事業 おびひろ市民学推進事業																		
目的	学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇りや愛着を持つ子どもたちの育成を図ります。					担当課	学校教育指導課											
目標	おびひろ市民学を通じて地域のことが好きになったと回答した子どもの割合の増加を目指します。																	
事業実施状況	・全小中学校の児童生徒を対象とした「おびひろ市民学」の実施 ・各学校が独自に取り組む特色ある教育活動への支援 ・総合的な学習の時間の取り組み等への支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		7,886		10,746		0							
					特定財源		0		2,786		0							
					一般財源		7,886		7,960		0							
					指標名				-				単位					
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
					-				-		-		-		-		-	
評価検証	R 6年度は、市内全校において、帯広市の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、地域住民との関わりをテーマとした「おびひろ市民学」を実施したことで、全児童生徒に行った「帯広に関するアンケート」において、「地域のことが好きだ」と肯定的な回答が、小学校で95%、中学校で91%となり、特に中学校で肯定的な回答をした生徒が増加しており、目標を達成しました。																	

施策 12 取組 1 番号 5 事務事業 外国語指導講師派遣事業													
目的		外国人講師を派遣し、諸外国の言語・文化等への理解やコミュニケーション能力の育成を図ります。					担当課		学校教育指導課				
目標		英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子どもの割合の増加を目指します。											
事業実施状況		・小中学校への外国語指導講師の派遣		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		29,892		29,839		0			
				特定財源		0		0		0			
				一般財源		29,892		29,839		0			
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
		-			-		-		-				
評価検証		R 6年度は、市内全校に外国語指導講師の派遣や講師の指導力の向上に向けた研修を行い、児童生徒が主体となるような授業改善が進んだことで、学習状況調査における「英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子ども」の割合が増加し、目標を達成しました。											

施策 12 取組 1 番号 6 事務事業 動画教材作成事業										
目的	地域素材を生かした動画教材を作成し、授業で活用することにより、地域理解、学習意欲や学力の向上を図ります。					担当課	教育研究所			
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促す動画教材の利用回数の増加を目指します。									
事業実施状況	・地域素材を生かした動画教材の作成 (帯広市の歴史的建造物に係る動画教材 4 本)		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		502		468		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		502		468		0	
			指標名 -					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-		-		-		-			
	R 6 年度は、副読本「おびひろ」の映像教材として、旧三井金物店や旧双葉幼稚園など帯広市内にある歴史的建造物を紹介する動画 4 本を作成しました。児童に問題意識を持たせ考えさせる内容にしたことや副読本に動画視聴用の二次元コードを掲載したことにより、動画教材の利用回数が増加し、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 1 事務事業 地域連携推進事業									
目的	学校施設や人材の活用により、地域住民に学習機会を提供し、地域との結びつきを深めます。					担当課	南商業高校		
目標	地域と学校とのつながりを促進する学校開放事業の参加者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・学校開放講座の開催（中止）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	42	28		
					特定財源	15	0		
					一般財源	27	28		
	指標名				-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	R 6年度は「うまいもん甲子園」で優勝したクッキング部を講師とした料理教室を行う予定でしたが、2月の大雪による影響により開催が中止となり、目標は達成しませんでした。								

施策 12 取組 2 番号 2 事務事業 国際理解教育推進事業											
目的	個々の生徒の実力に応じた英語教育や外国の実社会に触れる機会の提供などにより、英語能力の向上や外国の生活文化の理解促進を図ります。					担当課	南商業高校				
目標	-										
事業実施状況	・インターネットを活用した英語学習の推進 ・マディソン市への生徒派遣（5名） ・外国語指導講師の配置（1名）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		4,555		7,218				(	
		特定財源		0		2,223				(	
		一般財源		4,555		4,995				(	
		指標名 -							単位		
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-		-		-		-			
		-		-		-		-			
評価検証	-										

施策 12 取組 2 番号 3 事務事業 キャリア教育推進事業										
目的	外部講師を活用した専門教育などにより、社会人・職業人として必要とされる能力の育成を図ります。					担当課	南商業高校			
目標	-									
事業実施状況	・ 外部講師を活用した専門教育の推進 ・ 情報機器の整備 ・ 北海道高等学校商業教育フェアへの参加	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	18,185		14,820				(	
		特定財源	0		0				(	
		一般財源	18,185		14,820				(	
		指標名	-						単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-		-		-			
		-	-		-		-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 4 事務事業 社会人教育推進事業											
目的		ボランティア活動の推進など、課外活動を充実し、生徒の社会性の育成を図ります。					担当課		南商業高校		
目標		-									
事業実施状況	・ ボランティア活動の推進 ・ 宿泊研修、見学旅行の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		1,376		1,363		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		1,376		1,363		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
			-		-						
評価検証		-									

施策 12 取組 2 番号 5 事務事業 学校運営事業										
目的	学校運営を適切に進め、良好な学習環境を提供します。						担当課	南商業高校		
目標	-									
事業実施状況	・学校保健の推進 ・学校運営に関する事務 ・スクールカウンセラーの配置（1名）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	22,790	19,622	0		
					特定財源	75,065	73,760	0		
					一般財源	△52,275	△54,138	0		
	指標名	-						単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
評価検証	-									

施策 12 取組 2 番号 6 事務事業 学校施設維持管理事業（南商）									
目的	学校施設を適切に維持管理し、良好な学習環境を提供する。					担当課	南商業高校		
目標	-								
事業実施状況	・学校施設の維持管理 ・設備の改修等 ・煙突用断熱材の除去	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	56,233		126,039		0		
		特定財源	1,931		76,816		0		
		一般財源	54,302		49,223		0		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 12 取組 2 番号 7 事務事業 学習環境整備事業（南商）										
目的	学校図書や備品の整備等により、良好な学習環境を提供する。					担当課	南商業高校			
目標	-									
事業実施状況	・学校図書の整備 ・備品等の整備		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		5,767	6,008		0		
			特定財源		0	0		0		
			一般財源		5,767	6,008		0		
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-			
評価検証	-									

施策 12	取組 3	番号 1	事務事業 教員リーダー育成事業											
目的	人間力に裏打ちされたリーダーシップのある教師を育成し、教師全体の指導力向上を図ります。							担当課	教育研究所					
目標	教員リーダー研修の参加者数について202人を目指します。													
事業実施状況	・研修会の開催(4回・165人) ・参加者同士の交流、協議				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		237		375		0			
	特定財源		0		125		0							
	一般財源		237		250		0							
	指標名		教員リーダー研修参加人数						単位		人			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
	186		202 201		202 165		202							
評価検証	R6年度の研修参加者数は165人であり、目標を達成しませんでした。 地元企業の経営者や海外で活躍する国際審判員など幅広い分野から講師を招聘し、案内ポスターの各学校への配付に加え、校長会議や学校訪問時に講座の周知なども行いましたが、講座の魅力が多くの教職員に伝わらなかったことが要因であると考えます。どの講座においても参加者の満足度は高いことから、今後は、これまでの参加者の感想を取り入れながら、講座の魅力を向上させて発信が必要であると考えます。													

施策 12 取組 3 番号 2 事務事業 教育研究事業												
目的	教育に関する調査研究の成果を各学校に提供し、教師の指導力向上を図ります。							担当課		教育研究所		
目標	教師の指導力を向上する研修講座（教育研究所主催）の参加者数について801人を目指します。											
事業実施状況	・教育研究所の運営 ・調査研究紀要の発刊 ・研修講座の開催(926人参加) ・情報教育の推進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		11,795		12,981		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		11,795		12,981		0	
					指標名		研修講座への参加人数					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	779		801 909		801 926		801					
評価検証	R6年度の研修講座の参加者数は926人であり、目標を達成しました。 R6年度より国が構築した「全国教育研修プラットフォーム（Plant）」を活用した申込みを開始し、申込みの利便性を向上させたことや帯広市教育研究会特別支援教育部会との共催による講座を開催し、多くの参加者を確保できたことが要因であると考えます。											

R 6 年度の研修講座の参加者数は926人であり、目標を達成しました。
R 6 年度より国が構築した「全国教育研修プラットフォーム（Plant）」を活用した申込みを開始し、申込みの利便性を向上させたことや帯広市教育研究会特別支援教育部会との共催による講座を開催し、多くの参加者を確保できたことが要因であると考えます。

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 3 事務事業 学校図書館運営事業																		
目的	図書資料の整備や学校図書館活性化事業の推進により、児童生徒の読書活動の充実を図ります。					担当課	学校教育課											
目標	子どもの読書機会の増加及び興味関心の向上を目指します。																	
事業実施状況	・学校図書館の運営 ・学校図書館図書資料の整備 ・学校図書館活性化事業に対する支援				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		15,372		18,365		0							
					特定財源		0		0		0							
					一般財源		15,372		18,365		0							
					指標名 -						単位							
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
					-				-				-					
							-		-									
評価検証	R 6年度は、魅力的な図書館運営につなげるため、ボランティアの交流の場の提供を通じて各校の取り組みの情報共有を図ったほか、電子図書の蔵書数を増加させました。これらの取り組みにより、電子図書の貸出し件数が増加しており、児童生徒の読書機会の拡大や興味関心の向上につながり、目標を達成しました。																	

施策 12 取組 3 番号 4 事務事業 学校保健事業										
目的	健康診断の実施や、関係団体と連携した学校保健推進体制を整備し、児童生徒の健康保持を促進します。					担当課	学校教育課			
目標	-									
事業実施状況	・健康診断の実施 ・学校内の衛生環境の確保 ・スポーツ振興センター災害共済給付 ・フッ化物洗口の推進（2校）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		63,233	64,802		0		
			特定財源		4,585	4,743		0		
			一般財源		58,648	60,059		0		
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

施策 12 取組 3 番号 5 事務事業 データベース教材作成事業										
目的	データベース教材を活用し、一人ひとりの学習達成状況に応じた指導を行い、学習意欲や学力の向上を図ります。					担当課	教育研究所			
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促すデータベース教材の利用回数の増加を目指します。									
事業実施状況	・データベース教材の作成 (ウェブサイト「帯広市教育研究所GIGAサポ」)		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		700	700		0		
			特定財源		0	0		0		
			一般財源		700	700		0		
			指標名 -				単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-		-		
評価検証	R 6年度は、端末と親和性の高いアプリへ簡単にアクセスしたり、活用事例を紹介したりするデータベース教材を作成したことで、児童生徒がデジタル教材を活用する環境が整備され、学習意欲の向上につながり、利用回数も増加したことから、目標を達成しました。									

R 6 年度は、端末と親和性の高いアプリへ簡単にアクセスしたり、活用事例を紹介したりするデータベース教材を作成したことで、児童生徒がデジタル教材を活用する環境が整備され、学習意欲の向上につながり、利用回数も増加したことから、目標を達成しました。

事務事業評価表

施策 12											取組 3	番号 6	事務事業	学校施設維持管理事業（職員室CMI）					
目的		学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。						担当課		企画総務課									
目標		-																	
事業実施状況	・職員室用パソコンの維持管理 ・校務支援システムの運用				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額								
					事業費		85,586		87,685		0								
					特定財源		0		0		0								
					一般財源		85,586		87,685		0								
	指標名		-						単位										
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値									
				実績値			実績値			実績値									
			-		-		-		-										
		-		-		-		-											
評価検証		-																	

施策 12 取組 3 番号 7 事務事業 文化系大会派遣支援事業												
目的		全国・全道大会への参加を支援し、文化系クラブの活動を促進します。					担当課		学校教育課			
目標		-										
事業実施状況	・文化系クラブの全道大会派遣への支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		1,397		1,884		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		1,397		1,884		0			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値		
					実績値		実績値		実績値			
			-			-		-		-		
評価検証		-										

施策 12 取組 3 番号 8 事務事業 体育系大会派遣支援事業										
目的	全国・全道大会への参加を支援し、体育系クラブの活動を促進します。					担当課	学校教育課			
目標	-									
事業実施状況	・体育会系クラブの全道・全国大会派遣への支援 ・全道・全国大会の開催支援		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	13,477		13,794		0		
			特定財源	0		0		0		
			一般財源	13,477		13,794		0		
			指標名	-						単位
	基準値	R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
			実績値			実績値				
			-			-			-	
		-			-					
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 9 事務事業 教職員管理事業										
目的		教職員の人事管理や福利厚生などを適切に行い、教職員が能力を十分に発揮することができる環境を整備します。					担当課	学校教育課		
目標		-								
事業実施状況	・教職員の人事、服務管理、福利厚生等 ・教職員住宅の整備（八千代中）、維持管理等 ・教職員の働き方改革の推進 ・部活動指導員の配置		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		40,402		34,792			
			特定財源		26,044		20,682			
			一般財源		14,358		14,110			
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証		-								

施策 12 取組 3 番号 10 事務事業 教育指導推進事業										
目的		教育理論等に関する調査・研究や普及を進め、教師の指導力向上を図ります。				担当課	学校教育指導課			
目標		-								
事業実施状況	・各教科、部門の研究 ・地域特性を活かした教材の研究 ・各種講座等への参加		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費	2,855	2,997					
			特定財源	0	877					
			一般財源	2,855	2,120					
			指標名	-					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
評価検証	-									

施策 12 取組 3 番号 11 事務事業 学力検査事業										
目的		児童生徒の学力を調査・分析し、学習指導に活用することにより、学習意欲や学力の向上を図ります。					担当課		教育研究所	
目標		-								
事業実施状況	・標準学力調査の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		6,645		6,420		()	
			特定財源		0		0		()	
			一般財源		6,645		6,420		()	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-	-			
			-	-	-	-				
評価検証		-								

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 12 事務事業 教育研修センター事業									
目的	十勝教育研修センターの活用により、職員研修を効果的・効率的に実施し、教師の指導力向上を図ります。					担当課	教育研究所		
目標	-								
事業実施状況	・十勝教育研修センターの運営〈実施主体：十勝圏複合事務組合〉		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	8,518		9,370		-	
			特定財源	0		0		-	
			一般財源	8,518		9,370		-	
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
			-		-		-		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 13 事務事業 学校給食事業											
目的	安全・安心な学校給食の提供により、健全な心と体の育成を図ります。					担当課	給食センター				
目標	-										
事業実施状況	・学校給食の提供 ・食物アレルギーへの対応	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		705,494		698,646		()			
		特定財源		614,928		681,544		()			
		一般財源		90,566		17,102		()			
		指標名		-					単位		
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-		-		-		-		-	
				-		-					
評価検証	-										

施策 12 取組 3 番号 14 事務事業 学校給食センター管理運営事業														
目的		学校給食センターを管理運営し、安全・安心な学校給食を提供します。				担当課		給食センター						
目標		-												
事業実施状況	・学校給食センターの管理運営 ・衛生管理・危機管理の徹底 ・施設・設備の更新		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		599,825		671,486		()					
			特定財源		6,394		6,740		()					
			一般財源		593,431		664,746		()					
			指標名		-						単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-				-					
					-				-					
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 12 取組 3 番号 15 事務事業 食育推進事業（小・中学校）（学校教育指導課）									
目的	学校給食や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。					担当課	学校教育指導課		
目標	朝食を毎日食べている子どもの割合の増加を目指します。								
事業実施状況	・栄養教諭、食育指導専門員等による食育指導 ・食育、給食のPR	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	5,864		4,051		0		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	5,864		4,051		0		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	R6年度は、市内全校で栄養教諭及び食育指導専門員による食育指導を実施し、児童生徒が食事の大切さについて理解を深めたことで、学習状況調査における「朝食を食べている子ども」で肯定的な回答をしている児童生徒が小学校で0.3ポイント、中学校で2.5ポイント増加しており、目標を達成しました。 今後も、「おびひろ市民学」における「つながる食育」の取り組みを通し、生活習慣を含めた食育指導の充実を図る必要があると考えます。								

施策 12 取組 4 番号 1 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（学校支援地域本部）									
目的	地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。					担当課	学校地域連携課		
目標	学校地域ボランティア参加者数の増加を目指します。								
事業実施状況	・学校支援地域本部の活動支援 ・学校支援ボランティアの育成(研修会参加者102名) ・帯広市学校・家庭・地域協働会議の運営 ・こども学校応援地域事業の実施 ・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
					事業費		53,818	11,088	0
					特定財源		51,337	7,432	0
					一般財源		2,481	3,656	0
	指標名		-			単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	R 6年度は、ボランティア団体同士が連携して行う活動に活用できるこども学校応援地域事業の交付金の周知啓発に取り組んだことで申請件数が増加しました。これによりボランティア参加者数が増加したため、目標を達成しました。								

施策 12 取組 4 番号 2 事務事業 学校・家庭・地域連携事業（放課後子ども広場）												
目的		放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。				担当課		学校地域連携課				
目標		放課後の居場所づくり活動に関わるボランティア登録者数を維持します。										
事業実施状況	・放課後子ども広場の開催（参加ボランティア数延べ4,557名、実施回数515回） ・放課後子ども広場に関わるボランティアの養成参加者（18名） ・放課後子ども広場運営委員会の開催（3回） ・放課後子ども広場PR活動				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		5,462		5,805		0	
					特定財源		5,462		5,805		0	
					一般財源		0		0		0	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-		-		-		-					
評価検証	R 6年度は、ボランティア登録者数が増加した団体があったものの、高齢化等の理由から辞めた方が多く、全体としては減少し、目標を達成しませんでした。 ボランティア登録者数の維持・増加に向けて、イベントを活用したPR活動を行う必要があると考えます。											

事務事業評価表

施策 12	取組 4	番号 3	事務事業 コミュニティ・スクール等推進事業						
目的	学校運営協議会の活用により、学校と家庭・地域住民との協働による特色ある学校づくりを進めます。					担当課	学校地域連携課		
目標	学校・家庭・地域が目標を共有し、連携・協働しながら子どもたちを育む体制を確保します								
事業実施状況	・コミュニティ・スクールの普及啓発 ・コミュニティ・スクールの運営(全校)		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	2,312		2,309			
			特定財源	2,312		2,287			
			一般財源	0		22			
			指標名						単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	R6年度は、研修会の開催やコミュニティ・スクール通信の発行により、各学校の活動や協議内容の情報周知に取り組みました。この結果、各コミュニティ・スクール協議会における議論の活性化につながり、目標を達成しました。								

施策 12 取組 4 番号 4 事務事業 通学路安全確保事業											
目的	通学路の点検などを行い、児童生徒の登下校における安全の確保を図ります。					担当課	学校地域連携課				
目標	-										
事業実施状況	・通学路の安全点検 ・通学路安全対策連絡協議会の運営		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費	0		0		0			
			特定財源	0		0		0			
			一般財源	0		0		0			
	指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7
	-		-		-		-		-		
			-		-		-		-		
評価検証	-										

施策 12 取組 4 番号 5 事務事業 子ども安全ネットワーク運用事業										
目的	不審者情報や災害情報の保護者への迅速な提供により、適切な対応を促し、児童生徒の安全確保を図ります。					担当課	学校教育指導課			
目標	保護者への児童生徒の安全確保に関する情報提供体制を維持します。									
事業実施状況	・情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の運用		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		1,068		1,030			
			特定財源		0		0			
			一般財源		1,068		1,030			
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
	-		-		-		-		-	
評価検証	R 6年度も、各学校が緊急連絡を行う方法として、「RAKUME（楽メ）」アプリの活用を通して、保護者への迅速な情報提供体制を維持することができ、目標を達成しました。									

事務事業評価表

施策 12	取組 4	番号 6	事務事業 幼保小中連携推進事業						
目的	幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携を推進し、教育活動の円滑な接続を図ります。					担当課	学校教育指導課		
目標	エリア・ファミリー構想をもとに、エリア内における幼保小及び小中の連携を推進し、小中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合を増加します。								
事業実施状況	・異校種連携の啓発 ・地区レベルにおける協議の場の開催 ・幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校のなめらかな接続を図るスタートカリキュラムや教育課程に位置付けた教育の推進 ・小中一貫教育の推進(全校)			単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
				事業費		750	750	0	
				特定財源		0	0	0	
				一般財源		750	750	0	
				指標名		-			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	R6年度は、市内全校で、近隣の小中学校と教育課程の接続や共通の目標を設定したことで、小中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合は維持されており、目標を達成しました。学校によっては、幼稚園や保育園の先生が授業参観にきたり、行事で連携したりするなどの積極的な交流が見られ、一歩踏み込んだ連携が見られました。								

施策 12 取組 4 番号 7 事務事業 通学区域管理事業									
目的	地域の実情等を踏まえ通学区域を設定し、適切な就学環境を整備します。					担当課	学校地域連携課		
目標	-								
事業実施状況	・通学区域の設定、見直し				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	0	0	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	0	0	0	
	指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		
評価検証	-								

施策 12	取組 5	番号 1	事務事業	就学資金貸付事業								
目的	経済的理由により、高等学校、専門学校、大学への就学が困難な人に修学資金を貸付し、進学機会の確保を図ります。				担当課		学校教育課					
目標	-											
事業実施状況	・奨学金貸付（大学生15人、専門学校生3人、高校生3人） ・入学支度金貸付（16人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		14,911		20,850		0	
					特定財源		13,094		17,800		0	
					一般財源		1,817		3,050		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値		
				実績値			実績値			実績値		
				-				-				
				-				-				
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 2 事務事業 特別支援教育推進事業										
目的		インクルーシブ教育の考え方にに基づき、多様な学びの場を整備し、児童生徒一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。				担当課	学校教育課			
目標		-								
事業実施状況	・特別支援学級の開設 ・特別支援学級の環境整備 ・通級指導教室開設に向けた検討 ・特別な配慮を要する児童生徒に対応した環境整備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		443		633		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		443		633		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 3 事務事業 特別支援教育支援員配置事業											
目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。					担当課	学校教育課				
目標	-										
事業実施状況	・ 助手、特別支援教育補助員の配置(68人) ・ 生活介助員の配置(38人)	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		154,110		241,441				0	
		特定財源		4,406		1,980				0	
		一般財源		149,704		239,461				0	
		指標名		-						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
		-		-		-				-	
				-		-					
評価検証	-										

施策 12 取組 5 番号 4 事務事業 教育支援委員会運営事業														
目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、適切な就学先を勧奨します。					担当課	学校教育課							
目標	-													
事業実施状況	・教育支援委員会による教育相談及び就学先の勧奨の実施(515人)					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
						事業費	2,148	2,331	0					
						特定財源	0	0	0					
						一般財源	2,148	2,331	0					
						指標名	-					単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
						-		-		-		-		
								-		-		-		
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 5 事務事業 小規模特認校推進事業											
目的	農村地域の小規模校の特色を活かした教育の機会を提供します。					担当課	学校教育課				
目標	-										
事業実施状況	・小規模特認校制度利用の推進		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費	0		0					
			特定財源	0		0					
			一般財源	0		0					
			指標名	-					単位		
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-	-	-	-	-						
評価検証	-										

施策 12 取組 5 番号 6 事務事業 児童生徒支援事業												
目的		相談員等を学校に配置し、児童生徒の心の問題への対応を図るほか、いじめや不登校、非行の相談・指導を行い、未然防止や早期解決を図ります。				担当課		学校教育指導課				
目標		不登校児童生徒の減少を目指します。										
事業実施状況	・こころの教室相談員の配置(7人) ・家庭訪問相談員の配置(7人) ・スクールソーシャルワーカーの配置(3人) ・教育相談員の配置(1人) ・教育支援センターひろびろの運営 ・いじめ、不登校、非行等に関する対策委員会の運営 ・不登校児童生徒に対するオンライン学習プラットフォーム「ひろびろチョイス」の運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		27,572		33,948					
			特定財源		0		4,745					
			一般財源		27,572		29,203					
			指標名		-				単位			
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
							-				-	
評価検証	R6年度は、教育相談員等の配置や教育支援センターの運営、メタバース空間での学びの支援等に取り組みましたが、全国的な傾向と同様に、不登校児童生徒の数は増加しており、目標を達成できませんでした。今後も、多様な学びの場や学習機会の確保等について、ニーズを踏まえつつ、登校できない児童生徒への環境づくりを進める必要があると考えます。											

施策 12 取組 5 番号 7 事務事業 高等学校間口対策事業											
目的		PTAや中学校などと連携した高等学校の間口確保に向けた要望活動などにより、希望する地元の高等学校などへ進学できる機会の確保を図ります。					担当課		企画総務課		
目標		-									
事業実施状況	・帯広市高等学校間口対策協議会の開催 ・北海道教育委員会への要請活動		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		0		0				
			特定財源		0		0				
			一般財源		0		0				
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 8 事務事業 学校施設地域開放推進事業											
目的	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。						担当課	企画総務課			
目標	-										
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放 ・統合プールの維持管理	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		129,296		133,589		-			
		特定財源		0		0		-			
		一般財源		129,296		133,589		-			
		指標名		-					単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-			
		-		-		-		-			
評価検証	-										

施策 12 取組 5 番号 9 事務事業 学校施設維持管理事業（小・中学校）										
目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。					担当課	企画総務課、学校地域連携課			
目標	-									
事業実施状況	・学校管理運営に関する日常経費支出 ・学校プールの維持管理 ・学習機会保障のための物品、資材等の整備 ・学校施設の保守点検 ・リンクの造成委託	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	794,401		771,702		()			
		特定財源	45,729		4,739		()			
		一般財源	748,672		766,963		()			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 10 事務事業 学習環境整備事業（小・中学校）													
目的	学校の備品等の維持・整備を進め、良好な学習環境を提供します。					担当課	企画総務課						
目標	-												
事業実施状況	・小中学校児童生徒用机、椅子の賃貸借及び維持管理 ・消耗品及び備品等による学習環境の維持、整備				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
					事業費	25,874	24,837						
					特定財源	0	0						
					一般財源	25,874	24,837						
					指標名	-					単位		
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
					-	-	-	-	-				
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 11 事務事業 義務教育施設整備事業													
目的	校舎、体育館の改築や長寿命化等を進め、安全で安心して学ぶことができる環境を整備します。					担当課	学校地域連携課						
目標	-												
事業実施状況	・防災機能強化 ・学校施設の長寿命化計画に基づく施設の維持管理（柏小、光南小、啓北小、開西小） ・旧大空小学校解体 ・南町中学校整備の実施設計 ・小学校及び義務教育学校のエアコン設置 ・体育館照明のLED化(小学校10校、中学校5校)					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		446,134		2,357,278		0	
						特定財源		360,819		1,894,137		0	
						一般財源		85,315		463,141		0	
						指標名		-				単位	
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-		-		-	
						-		-		-		-	
評価検証	-												

施策 12 取組 5 番号 12 事務事業 学校環境整備事業										
目的	学校施設の修繕、学校の備品等の整備・管理など、維持を進め、良好な学習環境を提供します。					担当課	企画総務課、学校地域連携課			
目標	-									
事業実施状況	・学校施設の修繕 ・設備・機器類の修繕 ・屋外教育環境の整備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		80,509		66,832		0	
			特定財源		0		31,036		0	
			一般財源		80,509		35,796		0	
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 13 事務事業 小・中学校適正配置推進事業											
目的		小・中学校の適正配置を進め、適正な学校規模の維持を図り、良好な教育環境を確保します。				担当課		学校地域連携課			
目標		-									
事業実施状況	・市民への説明 ・帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画の推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		200		224		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		200		224		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 14 事務事業 就学援助費等支給事業											
目的	経済的な困難を抱える世帯や、特別支援学級に通う児童生徒の保護者への支援により、誰もが等しく教育を受けることができる機会を確保します。						担当課	学校教育課			
目標	-										
事業実施状況	・ 就学援助費の支給 ・ 特別支援教育就学奨励費の支給		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		181,618		187,484		()		
			特定財源		4,833		5,097		()		
			一般財源		176,785		182,387		()		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
			-		-		-				
評価検証	-										

施策 12 取組 5 番号 15 事務事業 障害者高等学校等就学支援事業											
目的	特別支援学校高等部等に在学している生徒の保護者に対する経済的支援により、高等教育機関等への進学を促進します。						担当課	学校教育課			
目標	-										
事業実施状況	・ 障害者高等教育補助金の交付	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		2,670		2,610		-			
		特定財源		0		0		-			
		一般財源		2,670		2,610		-			
		指標名		-					単位		
		基準値	R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値				
		-		-		-		-			
評価検証	-										

施策 12 取組 5 番号 16 事務事業 私立高等学校支援事業													
目的		私立高等学校の教材教具の整備を支援し、教育環境の充実をはかります。				担当課		企画総務課					
目標		-											
事業実施状況	・私立学校教材教具整備費補助金の交付		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		23,996		3,948		()				
			特定財源		0		0		()				
			一般財源		23,996		3,948		()				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-			-			-			-	
						-			-			-	
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 12 取組 5 番号 17 事務事業 スクールバス運行事業													
目的		遠距離通学や校外活動における交通手段を確保し、安心して通学・活動できる環境を整備します。				担当課		学校教育課					
目標		-											
事業実施状況	・農村地区におけるスクールバスの運行 ・肢体不自由児学級在籍児童生徒に係るタクシーの運行 ・プール学習、校外活動等におけるバス送迎		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		182,550		221,695		0				
			特定財源		7,250		0		0				
			一般財源		175,300		221,695		0				
			指標名 -						単位				
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-			-			-			-	
評価検証	-												

施策 12 取組 5 番号 18 事務事業 教材教具整備事業												
目的		教材教具の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。					担当課		学校教育課			
目標		-										
事業実施状況	・教材用消耗品、備品の整備、維持管理 ・副読本の作成 ・ピアノ等の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		125,993		187,936		0			
			特定財源		14,465		14,140		0			
			一般財源		111,528		173,796		0			
			指標名 -							単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
				-			-					
評価検証	-											

施策 12	取組 5	番号 19	事務事業 ICT教育環境整備事業										
目的			ICT機器の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。					担当課		学校教育課			
目標			-										
事業実施状況	・ ICT教育環境の整備、維持管理			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
				事業費		117,773		141,951		0			
				特定財源		10,237		57,933		0			
				一般財源		107,536		84,018		0			
				指標名 -						単位			
				基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
				-			-	-	-	-			
				-			-	-	-	-			
評価検証	-												

事務事業評価表

施策 12 取組 0 番号 1 事務事業 教育委員会運営事業												
目的		教育委員会運営に関する事務を進め、地域の実情に応じた教育行政を推進します。					担当課		企画総務課、学校教育課、学校地域連携課			
目標		-										
事業実施状況	・教育委員会会議の開催、運営 ・小中学校記念式典等の実施 ・教育委員会事務局の運営 ・こども学校応援基金の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		55,130		471,754		0			
			特定財源		283		418,222		0			
			一般財源		54,847		53,532		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
評価検証	-											

施策 12 取組 0 番号 2 事務事業 教育基本計画推進事業													
目的		教育基本計画に基づき、教育に関する施策を総合的に推進します。					担当課		企画総務課				
目標		-											
事業実施状況	・教育に関する点検、評価報告 ・教育行政執行方針の策定 ・教育懇談会、意見交換会の開催					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費		9		8		0	
						特定財源		0		0		0	
						一般財源		9		8		0	
						指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-		-				
			-		-								
評価検証		-											

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 1 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）									
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	市民に学びの機会を提供する市民大学講座での学習の満足度について94.0%を目指します。								
事業実施状況	・市民大学講座の実施（49講座1,646人） ・生涯学習情報誌「まなびや」の発行（年4回） ・高齢者学級の実施（1年生48人、2年生40人） ・ブラザエンジョイスchoolの実施（第Ⅰ期583人、第Ⅱ期551人、第Ⅲ期532人、第Ⅳ期507人） ・放送大学北海道センター帯広学習室における学習機会の提供（学習室15人利用）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	867		936		936		0
		特定財源	8		9		9		0
		一般財源	859		927		927		0
		指標名	市民大学講座での学習の満足度					単位	%
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	94.0		94.0		94.0		94.0		
評価検証	R6年度の市民大学講座での学習の満足度（「満足」「やや満足」と答えた人の割合）は97.2%であり、目標を達成しました。								
	複数名の講師で1つの講座を構成することで、多角的な視点による学びを提供したほか、自分史講座など新しい形態・テーマの講座を開催したことが効果的であったと考えます。								

施策 13 取組 1 番号 2 事務事業 子ども向けプログラム推進事業（図書館）										
目的	おはなし会や、子ども向け図書館の紹介などにより、子どもが幼児期から読書に親しむことができる環境づくりを進めます。					担当課	図書館			
目標	子ども向けおはなし会の参加者数について1,110人を目指します。									
事業実施状況	・図書館等での子どもを対象としたおはなし会の実施（73回、1,799人） ・家庭における読書活動推進事業の実施（家読にチャレンジ！2024 参加者数60人） ・子育て応援バッグ（絵本セット）の貸出（812件） ・ブックリストの作成・配布（0～1歳児向け6,000冊作成）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	569		314		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	569		314		0			
		指標名	おはなし会（子ども向け）の参加者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,143		1,110 1,978		1,110 1,799		1,110		
評価検証	R6年度の定例のおはなし会の参加者数は1,799人となり、目標を達成しました。 R5年度に引き続き、高校の図書局員を読み手とした会を開催したことで、興味を持った保護者の参加につながったことが要因と考えます。									

施策 13 取組 1 番号 3 事務事業 図書館・学校連携事業														
目的		学校及び児童保育センターへの貸出や、図書館司書による学校図書館への支援を進め、児童生徒の読書活動を推進します。				担当課		図書館						
目標		学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数について752件を目指します。												
事業実施状況	・学校及び児童保育センターへの図書のセット貸出（1,246件） ・学校図書館クリニック（1回、19名）、リユース会（1回、24名）の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
			事業費		733		668		0					
			特定財源		0		0		0					
			一般財源		733		668		0					
			指標名		学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数				単位		件			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	752				752		752				752			
				1,025		1,246								
評価検証		R6年度の学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数は1,246件であり、目標を達成しました。 年齢に適した図書を手軽に借りられる当事業に継続して取り組んできたことで、学校の先生等に浸透し、児童生徒による活用が拡大したことが要因と考えます。												

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 4 事務事業 学習機会提供事業（図書館）									
目的	各種講座や講演会などを開催し、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる機会を提供します。					担当課	図書館		
目標	市民の読書活動の推進や図書資料等の学習活動への活用につなげる講座の参加者数について187人を目指します。								
事業実施状況	・畜大連携事業（1回、21人） ・語り手育成講習会ほか各種講座・教室の実施（9回、181人） ・社会教育施設連携講演会（2回、77人）計279人 ・大人向けおはなし会の実施（12回）		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費		33	35	0		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		33	35	0		
			指標名	市民向け講座の参加者数			単位	人	
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
			149		187 247	187 279		187	
評価検証	R6年度の市民向け講座の参加者数は279人であり、目標を達成しました。 体験型講座の開催回数を増やしたことや新たな関係団体等の協力を得て、参加者ニーズの高い講座を開催したことが要因と考えます。								

施策 13 取組 1 番号 5 事務事業 図書館地域サービス運営事業										
目的	移動図書館バスの運行やコミュニティセンター図書室等への配本により、地域における図書館サービスの提供を図ります。					担当課	図書館			
目標	移動図書館やコミュニティセンター図書室への配本など地域における図書館サービス体制を維持します。									
事業実施状況	・移動図書館バスの運行 ・コミュニティセンター図書室等への配本		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		5,907		6,499		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		5,907		6,499		0	
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	R6年度は、移動図書館ステーションの停留箇所の大幅な見直しや資料相談に対応する司書がバスに同乗し、地域への図書館サービスの提供を進めたことで、目標を達成しました。		-		-	-		-		
					-	-				

施策 13 取組 1 番号 6 事務事業 体験活動機会提供事業（児童会館）												
目的	児童会館において、科学教室など幼少期から科学や文化に親しむ機会を提供します。					担当課	児童会館					
目標	児童会館利用者の満足度について97.6%を目指します。											
事業実施状況	・常設コーナーの利用（科学展示室36,686人、プラネタリウム14,124人、遊び場170,229人など） ・科学教室・工作教室等の開催145回28,195人） ・文化関連事業の開催8,381人（人形劇、将棋、囲碁、児童劇団、リアルジオラマ展等） ・子育て支援事業の開催（もっくん教室8回148人） ・わくわくこどもまつり等の開催（5回7,506人） ・宿泊学習等の実施（71校21団体）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	3,839	4,433	0			
						特定財源	329	411	0			
						一般財源	3,510	4,022	0			
						指標名	児童会館利用者の満足度			単位	%	
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						96.2		97.6 95.7		97.6 92.4		97.6
評価検証	R6年度の児童会館利用者の満足度は92.4%であり、目標を達成しませんでした。 バルコニー遊び場の開設や開館60周年記念事業の実施、科学教室の充実などに取り組んできたことで利用者が増加しましたが、一方で遊び場等の狭隘化が生じ、利用者の満足度が低下したことが要因であると考えます。今後も、遊具の配置の工夫などにより施設環境の改善に取り組んでいく必要があります。											

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 7 事務事業 学習機会提供事業（百年記念館）									
目的	博物館活動・創造活動に関する各種の展示・講座等を開催し、市民の学習活動を支援します。					担当課	百年記念館		
目標	百年記念館における事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）について7,579人を目指します。								
事業実施状況	・博物館講座（14回、446人）、企画展等（2回、4,644人）の実施 ・美術分野（2回、2,299人）の展示の実施 ・創造活動講座の実施（32回、768人）、創造活動関連の展示（3回、682人） ・出前講座の開催				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	4,524	4,951	0	
					特定財源	712	1,008	0	
					一般財源	3,812	3,943	0	
	指標名	事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）				単位	人		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			6,038	7,579 6,787	7,579 8,804	7,579			
評価検証	R6年度の事業参加者数は8,804人で目標を達成しました。 関係団体との協力により新規の展示を実施したほか、企画展の内容や魅力の周知を十分に行ったことが効果的であったと考えます。								

施策 13 取組 1 番号 8 事務事業 学習機会提供事業（動物園）											
目的	飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。				担当課		動物園				
目標	動物園における教育講座、体験講座の参加者数について407人にします。										
事業実施状況	・体験事業（1日飼育係・裏側探検等16回、269人） ・教育事業（スポットガイド・おびZoo寺子屋等9回、167人） ・人材育成（実習受入等）（3回、6人） ・帯広畜産大学連携事業（サテライトブース設置・共同研究等）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		3,367		5,123		0			
		特定財源		0		0		0			
		一般財源		3,367		5,123		0			
		指標名		教育講座、体験講座の参加者数				単位		人	
		基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値	
		363				407 413		407 442		407	
評価検証	R6年度の教育講座・体験講座の参加者数は442名であり、目標を達成しました。講座の実施内容を見直し、裏側探検を行う体験講座の定員数を増やしたことや広報紙・ホームページ等で周知を図ったことが要因と考えます。										

施策 13 取組 1 番号 9 事務事業 図書館間ネットワーク事業									
目的	図書館間の資料の相互貸借や、十勝管内在住者への広域貸出しにより、利用者サービスの向上を図ります。					担当課	図書館		
目標	蔵書にない図書の貸出を可能にする他図書館との相互貸借体制を維持します。								
事業実施状況	・相互貸借業務の実施（貸出：867冊、借受：971冊） ・十勝管内在住者への広域貸出しの実施（18,232人、82,242冊）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	299	460	0
						特定財源	0	0	0
						一般財源	299	460	0
	指標名					-		単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	R6年度も、全国の図書館間での相互貸借や管内図書館と連携した広域貸出サービスを継続したため、目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 10 事務事業 とかちプラザ管理運営事業									
目的	とかちプラザの管理運営により、市民の生涯学習活動等の場を提供します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	-								
事業実施状況	・とかちプラザの管理運営	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	202,570		215,005				
		特定財源	2,805		2,692				
		一般財源	199,765		212,313				
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	-								
		-		-					

施策 13 取組 1 番号 11 事務事業 とかちプラザ施設整備事業											
目的		とかちプラザの適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。				担当課		生涯学習文化課			
目標		-									
事業実施状況	・とかちプラザの改修、修繕		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		65,931		105,283				
			特定財源		52,600		101,597				
			一般財源		13,331		3,686				
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
				-			-			-	
評価検証	-										

施策 13 取組 1 番号 12 事務事業 郷土資料収集・保存整備事業											
目的		帯広・十勝等に関する各種資料の収集・整理・保存を進め、郷土の歴史や文化について市民の学習・調査研究に提供します。				担当課		図書館			
目標		-									
事業実施状況	・郷土資料の収集・整理・保存 ・郷土講演会の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		45		77				
			特定財源		43		40				
			一般財源		2		37				
			指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
				-			-				
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 13 事務事業 図書資料・刊行物等整備事業												
目的		蔵書等の整備や新聞・雑誌等の収集により、社会動向等の情報を市民へ提供します。				担当課		図書館				
目標		-										
事業実施状況	・ 図書資料等の収集・整備 ・ 図書館図書整備基金の管理 ・ 図書館雑誌スポンサー制度の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		50,061		38,720		0	
					特定財源		47,556		22,976		0	
					一般財源		2,505		15,744		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7 目標値 実績値	
	-				-				-			
評価検証	-											

施策 13 取組 1 番号 14 事務事業 図書館管理運営事業												
目的	図書館の管理運営により、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる環境を提供します。					担当課	図書館					
目標	-											
事業実施状況	・ 図書館の管理運営 ・ 図書館情報システムの運用管理				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		178,319		209,995		0	
					特定財源		890		831		0	
					一般財源		177,429		209,164		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

施策 13 取組 1 番号 15 事務事業 図書館施設整備事業											
目的		図書館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。				担当課		図書館			
目標		-									
事業実施状況	・施設の改修、修繕		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		3,500		16,236		0		
			特定財源		0		12,397		0		
			一般財源		3,500		3,839		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値			実績値	
	-			-			-			-	
評価検証		-									

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 16 事務事業 児童会館施設整備事業														
目的		児童会館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課		児童会館					
目標		-												
事業実施状況	・施設の改修、修繕 ・60周年記念事業の実施（科学展示品の導入、バルコニー遊び場の整備等）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
						事業費		13,028		29,373		0		
						特定財源		4,600		20,039		0		
						一般財源		8,428		9,334		0		
	指標名		-								単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
	-			-			-			-				
				-			-							
評価検証	-													

施策 13 取組 1 番号 17 事務事業 児童会館管理運営事業											
目的		児童会館の管理運営により、幼少期から科学に親しむことのできる環境など多様な体験活動の機会を提供します。					担当課		児童会館		
目標		-									
事業実施状況	・児童会館の管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		64,738		73,823		0		
			特定財源		3,123		3,496		0		
			一般財源		61,615		70,327		0		
			指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証		-									

施策 13 取組 1 番号 18 事務事業 野草園管理運営事業												
目的		野草園の管理運営により、自然観察や環境学習など体験活動の場を提供します。					担当課		児童会館			
目標		-										
事業実施状況	・野草園の管理運営 ・園内の植物相調査の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		2,815		2,960		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		2,815		2,960		0			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 19 事務事業 農業体験実習館管理運営事業														
目的	岩内自然の村の管理運営により、自然体験活動の場を提供します。					担当課	児童会館							
目標	-													
事業実施状況	・ 廃止後の建物の解体実施設計				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費	4,586		10,998		0				
					特定財源	0		9,600		0				
					一般財源	4,586		1,398		0				
					指標名	-						単位		
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
					-	-		-		-				
評価検証	-													

施策 13 取組 1 番号 20 事務事業 百年記念館管理運営事業										
目的	百年記念館の管理運営により、市民が郷土の自然・歴史等を学び、創造活動ができる環境を提供します。					担当課	百年記念館			
目標	-									
事業実施状況	・ 百年記念館の管理運営 ・ 帯広百年記念館運営審議会の開催		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	54,763		57,979		0		
			特定財源	5,306		5,508		0		
			一般財源	49,457		52,471		0		
	指標名	-						単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
			-		-		-			
評価検証	-									

施策 13 取組 1 番号 21 事務事業 百年記念館施設整備事業										
目的		百年記念館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。				担当課	百年記念館			
目標		-								
事業実施状況	・施設の改修、修繕		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		13,980		3,876		0	
			特定財源		11,100		759		0	
			一般財源		2,880		3,117		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-		-		
評価検証		-								

事務事業評価表

施策 13 取組 1 番号 22 事務事業 動物園管理運営事業											
目的		動物園の管理運営により、市民が動物や自然等について学ぶための環境を提供します。					担当課		動物園		
目標		-									
事業実施状況	・動物園の管理運営 ・園内マップ修繕等		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		162,487		177,292		0		
			特定財源		83,803		85,103		0		
			一般財源		78,684		92,189		0		
			指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
			-		-						
評価検証	-										

施策 13 取組 1 番号 23 事務事業 動物園施設整備事業												
目 的		動物園の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。				担当課		動物園				
目 標		-										
事業実施状況	・動物園の魅力アップに向けた整備（キリン館） ・東エリアこども広場休憩施設実施設計等 ・基盤的施設の修繕（動物舎脱走防止修繕等） ・おびひろ動物園ゆめ基金の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		390,819		519,229		0			
			特定財源		386,528		519,229		0			
			一般財源		4,291		0		0			
			指標名		-				単位			
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-			-		-		-		
評価検証	-											
			-		-							

施策 13 取組 2 番号 1 事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業											
目的		社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。				担当課		生涯学習文化課			
目標		生涯学習推進委員会が企画・運営するコミュニティ講座の回数について101回を目指します。									
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援 ・社会教育関係団体等への支援 ・学生の社会参加（21名） ・指導者登録（登録者数140名） ・20歳の集いの開催	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費		11,266		7,309		0			
		特定財源		530		740		0			
		一般財源		10,736		6,569		0			
		指標名		コミュニティ講座の回数				単位		回	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		101		211		101		101			
				211		235					
評価検証		R6年度のコミュニティ講座の回数は235回となり、目標を達成しました。 生涯学習推進委員会にコミュニティ講座の実施を呼びかけたことや感染症拡大により活動が停滞していた地域の学習活動が活発化し、学校や町内会、PTA等と連携・協力した講座の回数が増加したことが要因と考えます。									

事務事業評価表

施策 13 取組 3 番号 再 事務事業 学習機会提供事業（動物園）<再掲13-1-8>												
目的		飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。						担当課		動物園		
目標		-										
事業実施状況	・人材育成（実習受入等）（3回、6人） ・帯広畜産大学連携事業（サテライトブース設置・共同研究等）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		-		-		-			
			特定財源		-		-		-			
			一般財源		-		-		-			
			指標名		-		-		単位			
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-		-		-			
			-		-		-		-			
評価検証		-										

施策 13 取組 0 番号 1 事務事業 社会教育委員会議運営事業												
目的		社会教育施策のあり方や課題などについて議論するための会議や研究大会への出席などを通し、社会教育委員活動の充実を図ります。						担当課		生涯学習文化課		
目標		-										
事業実施状況	・社会教育委員会議の開催 ・研修大会等への参加				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		418		480		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		418		480		0	
					指標名 -						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
			-		-							
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 14 取組 1 番号 1 事務事業 文化活動団体・指導者育成事業														
目的 市民の主体的な文化活動の促進や優秀な活動を表彰し、文化芸術活動を支える人材や団体を育成します。				担当課		生涯学習文化課								
目標 文化芸術活動を支える人材や団体に対する支援体制を維持します。														
事業実施状況	・文化団体等の情報提供(271団体) ・文化賞・文化奨励賞・文化活動功労賞の実施(受賞者1団体2個人) ・文化団体への活動支援(事業補助3団体、大会派遣補助11件) ・十勝馬唄全国大会への支援(1件)			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
				事業費		3,288		3,972		0				
				特定財源		200		200		0				
				一般財源		3,088		3,772		0				
	指標名		-				単位							
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-				-				-	
評価検証	R6年度は、ホームページで各文化団体の活動内容を幅広く周知したほか、優秀な活動を表彰する機会を提供するなど、文化芸術活動を支える人材や団体に対する支援体制を維持し、目標を達成しました。													

施策 14 取組 1 番号 2 事務事業 市民文化活動促進事業									
目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。					担当課	生涯学習文化課		
目標	市民芸術祭の出演者・出品者数について755人を目指します。								
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援(文化事業の後援件数141件) ・市民芸術祭の開催(ステージ出演者405人、展示出品者333人、茶会31人) ・文化芸術活動発表会の開催(1件)	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	1,460		2,460		0		
		特定財源	0		1,000		0		
		一般財源	1,460		1,460		0		
		指標名	市民芸術祭出演者・出品者数				単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		755		755 739		755 769		755	
評価検証	R6年度の市民芸術祭の出演者・出品者数は769人であり、目標を達成しました。 感染症拡大を懸念し、中止していた茶会をR6年度から再開したことが、出演者・出品者数が増加した要因と考えます。								

施策 14 取組 1 番号 3 事務事業 市民文芸誌発刊事業													
目的 文芸作品の表彰、文芸誌への掲載により、市民の主体的な文化活動を進めます。					担当課 図書館								
目標 市民文芸・とちかちジュニア文芸の応募者数について404人を目指します。													
事業実施状況	・文芸作品の募集、表彰 ・ジュニア文芸文章教室の開催（4講座、22人） ・『とちかちジュニア文芸』の発刊（応募者57人） ・『市民文芸』の発刊（応募者84人）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		2,164		2,300		0		
					特定財源		252		258		0		
					一般財源		1,912		2,042		0		
					指標名		市民文芸ととちかちジュニア文芸の応募者数						単位
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値
404				404 301		404 141				404			
評価検証 R6年度の市民文芸・とちかちジュニア文芸の応募者数は141人であり、目標を達成しませんでした。市民文芸は募集期間変更の周知が不十分だったこと、ジュニア文芸は、夏休みの延長や募集時期の変更により、学校での二学期中の取組期間が短くなったことが要因と考えます。今後は、改めて募集時期や期間について検討するとともに、学校と関わる機会を活用して、周知を行うことが必要と考えます。													

事務事業評価表

施策 14 取組 1 番号 4 事務事業 文化施設整備事業										
目的		文化施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保 や施設の機能維持を図ります。				担当課		生涯学習文化課		
目標		-								
事業 実施 状況	・ 市民文化ホールの改修、修繕		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		82,203		70,606		0	
			特定財源		57,100		55,000		0	
			一般財源		25,103		15,606		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-				
評価 検証	-									

施策 14 取組 1 番号 5 事務事業 文化施設管理運営事業													
目的		文化施設の管理運営により、市民の文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術にふれることができる機会を提供します。						担当課		生涯学習文化課、百年記念館			
目標		-											
事業実施状況	・グリーンステージの管理 ・市民文化ホールの管理運営 ・市民ギャラリーの管理				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費		190,916		196,653		0		
					特定財源		3,697		3,571		0		
					一般財源		187,219		193,082		0		
	指標名		-						単位				
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値					
	-			-		-		-					
評価検証	-												

施策 14 取組 2 番号 1 事務事業 文化芸術鑑賞事業														
目的 市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。				担当課		生涯学習文化課、百年記念館								
目標 文化芸術の鑑賞機会を提供する鑑賞事業の満足度について83.0%を目指します。														
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供(5事業、22,870人)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		1,700		1,700		0			
					特定財源		0		0		0			
					一般財源		1,700		1,700		0			
	指標名		鑑賞者の満足度						単位		%			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	83.0				83.0		83.0		83.0					
				89.1		98.5								
評価検証 R6年度の文化芸術鑑賞事業の鑑賞者の満足度は98.5%であり、目標を達成しました。 前年に実施した鑑賞者アンケート等を踏まえ、参加者の関心のあるテーマを選定したことが効果的であったと考えます。														

事務事業評価表

施策 14 取組 2 番号 2 事務事業 子ども向け鑑賞機会提供事業										
目的	子どもたちに良質な文化芸術にふれる機会を提供し、子どもたちの感性や創造力の育成を図ります。					担当課	生涯学習文化課			
目標	親子で参加できるコンサートの満足度を維持します。									
事業実施状況	・子ども向けの文化芸術鑑賞機会の提供 (4事業、2,255人)	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	5,151		5,161		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	5,151		5,161		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	R6年度の親子向けコンサートの鑑賞者満足度は前年(97.8%)から増加し、99.3%となり、目標を達成しました。 親しみやすいポップス曲のほか、オペラやクラシック曲など様々なジャンルの楽曲を採用し、コンサートの魅力向上に取り組んだことが効果的であったと考えます。									

施策 14 取組 3 番号 1 事務事業 文化財調査・保存事業										
目的	文化財等を保存・活用し、郷土の歴史や文化への理解を促進します。					担当課	百年記念館			
目標	一般公開を含めた文化財の活用件数の増加を目指します。									
事業実施状況	・文化財の保存、利活用	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	484		502		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	484		502		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-		-		-			
評価検証	R 6年度の文化財を活用した公開事業における参加者数は前年から増加し190人となり、目標を達成しました。									
	広報紙やホームページ、報道機関を通じて十勝鉄道蒸気機関車の公開時期に関する周知を継続的に 行っていることが要因と考えます。									

施策 14 取組 3 番号 2 事務事業 おびひろ・まちの歴史調査・収集普及事業										
目的	帯広の歴史に関する史料の収集・調査を実施し、体系にまとめることで今後のまちづくり、人づくりに活用します。					担当課	百年記念館			
目標	歴史に関する講座の受講者数について117人を目指します。									
事業実施状況	・史料収集調査と成果の公表（博物館講座2回、83人／連続講座4回、63名） ・帯広市史専門委員会の開催 ・普及事業を推進するネットワークづくり	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	3,470		4,417		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	3,470		4,417		0			
		指標名	歴史関係の博物館講座、連続講座の受講者数					単位	人	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		117		117 160		117 146		117		
評価検証	R6年度の歴史に関する講座の受講者数は146人で目標を達成しました。 受講者の関心やニーズのある講座を実施したことやホームページ等の周知が効果的だったと考えます。									

事務事業評価表

施策 14 取組 3 番号 3 事務事業 埋蔵文化財調査・保存・活用事業									
目的	埋蔵文化財の調査・保護・保存活用により、郷土の歴史への関心を深めます。					担当課	百年記念館		
目標	埋蔵文化財センター来館者数について184人を目指します。								
事業実施状況	・八千代A遺跡出土品の活用 ・埋蔵文化財の保護、保存 ・埋蔵文化財の調査研究、活用 ・埋蔵文化財センターの管理運営				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	3,746	7,009	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	3,746	7,009	0	
	指標名		埋蔵文化財センター来館者数			単位	人		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	184			184 287		184 323		184	
評価検証	R 6年度の埋蔵文化財センター来館者数は323人であり、目標を達成しました。 市民がより郷土の歴史への関心を深める機会を提供するため、重要文化財である出土資料を活用した教育普及事業に継続して取り組んだことが要因だと考えます。								

施策 14 取組 3 番号 再 事務事業 アイヌ民族文化調査・普及事業<再掲22-4-4>										
目的	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。					担当課	百年記念館			
目標	-									
事業実施状況	・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動 ・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	-		-		-			
		特定財源	-		-		-			
		一般財源	-		-		-			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	-									

施策 14 取組 3 番号 再 事務事業 アイヌ伝統文化保存・伝承事業<再掲22-4-5>										
目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存伝承、発展を図ります。					担当課	百年記念館			
目標	-									
事業実施状況	・帯広カムイトウウボ保存会への支援 ・アイヌ文化の保存伝承、普及啓発		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		-		-		-	
			特定財源		-		-		-	
			一般財源		-		-		-	
			指標名		-				単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
			-			-		-		-
評価検証	-									

事務事業評価表

施策	14	取組	0	番号	1	事務事業 文化振興事業									
目的	情報収集などを通して、文化芸術振興に関する施策を総合的に推進します。						担当課		生涯学習文化課						
目標	-														
事業実施状況	・文化振興に関する事務 ・文化基金の管理						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
							事業費		19,514		4,372		0		
							特定財源		19,378		4,190		0		
							一般財源		136		182		0		
	指標名		-						単位						
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値					
	-		-		-		-		-						
			-		-										
評価検証	-														

事務事業評価表

施策	15	取組	1	番号	1	事務事業	学校開放事業	
目的	小・中学校の体育館等を開放し、市民にスポーツ活動の場を提供します。						担当課	スポーツ課
目標	市民の主体的なスポーツ活動を促進する学校開放事業の利用者数について151,822人を目指します。							
事業実施状況	・小中学校の体育館等の地域への開放 (281団体、延べ178,863人利用)				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
					事業費	2,020	2,699	0
					特定財源	3,147	3,858	0
					一般財源	△1,127	△1,159	0
	指標名	学校開放事業利用者数				単位	人	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	87,860		105,432 168,326		126,518 178,863		151,822	
評価検証	R6年度の学校開放事業利用者数は178,863人であり、目標を達成しました。 SNS等での情報発信により、事業の認知度が向上し、利用希望者が増加したものと考えます。							

施策	15	取組	1	番号	2	事務事業	地域スポーツ振興事業				
目的	総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などにより、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供します。						担当課	スポーツ課			
目標	スポーツ教室開催数について37回を目指します。										
事業実施状況	・総合型地域スポーツクラブへの支援 ・地域ごとのスポーツ推進委員の配置（推進委員数51人） ・各種スポーツ教室の開催（48回、延べ1,220人参加） ・スポーツ大会の開催 ・パークゴルフ場の環境維持 ・フードパレーとかちマラソンの開催（参加人数4,962人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
					事業費	31,797	32,204	0			
					特定財源	14,400	14,400	0			
					一般財源	17,397	17,804	0			
					指標名	スポーツ教室開催数			単位	回	
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
					22		26 56		31 48		37
評価検証	R6年度のスポーツ教室開催数は48回であり、目標を達成しました。 専門性の高い外部講師の派遣のほか、スポーツ推進委員と学校・地域との連携により、ニーズに即した多種多様なスポーツ教室を開催したことが効果的であったと考えます。										

施策	15	取組	1	番号	3	事務事業	社会体育施設管理運営事業					
目的	社会体育施設の管理運営により、市民のスポーツ活動やスポーツ交流の場を提供します。						担当課	スポーツ課				
目標	-											
事業 実施 状況	・社会体育施設の管理運営				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		1,467,613		1,505,342		0	
					特定財源		35,389		35,738		0	
					一般財源		1,432,224		1,469,604		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
			-		-							
評価 検証	-											

事務事業評価表

施策	15	取組	1	番号	4	事務事業	社会体育施設整備事業								
目的	社会体育施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。						担当課		スポーツ課						
目標	-														
事業実施状況	・施設の改修、修繕					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費		287,283		79,992		0			
						特定財源		267,600		79,904		0			
						一般財源		19,683		88		0			
	指標名					-					単位				
	基準値			R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-					-				-				-	
					-				-						
評価検証	-														

施策	15	取組	1	番号	再	事務事業	健康づくり推進事業<再掲1-1-1>							
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通し、市民の健康づくりを推進します。						担当課	健康推進課						
目標	-													
事業実施状況	・健康マイレージの推進(参加者数延5,478人)					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費	-		-		-			
						特定財源	-		-		-			
						一般財源	-		-		-			
						指標名	-					単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
						-		-		-		-		
		-		-		-								
評価検証	-													

地域	15	取組	1	番号	再	事務事業	学校施設地域開放推進事業<再掲12-5-8>										
目的	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。						担当課		企画総務課								
目標	-																
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放 ・統合プールの維持管理						単位：千円		R5年度決算額			R6年度決算額			R7年度決算額		
							事業費		-			-			-		
							特定財源		-			-			-		
							一般財源		-			-			-		
	指標名						-						単位				
							基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
							-			-			-			-	
										-			-				
評価検証	-																

事務事業評価表

施策 15 取組 2 番号 1 事務事業 スケート競技振興事業										
目的	子どもたちに年齢に応じたスケートの専門的指導を行い、競技力の向上を図ります。					担当課	スポーツ課			
目標	地域に根ざしたスポーツであるスケートの子どもたちの競技力向上を図るほっとドリームプロジェクト事業の参加者数について2,130人を目指します。									
事業実施状況	・スケート競技の裾野拡大や競技力向上を図る「ほっとドリームプロジェクト」の推進 ・競技者育成事業（延べ359人） ・地域応援体制確立事業（延べ1,086人） ・裾野拡大事業（延べ838人）	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
		事業費	2,303	2,217	0					
		特定財源	505	505	0					
		一般財源	1,798	1,712	0					
		指標名	ほっとドリームプロジェクト事業参加者数			単位	人			
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		1,840		1,932 2,654		2,029 2,283		2,130		
評価検証	R6年度のほっとドリームプロジェクト事業参加者数は2,283人であり、目標を達成しました。参加者アンケートの結果等を踏まえ、多くの人が参加しやすいように、各事業の日程や参加対象、プログラム内容を見直したことが効果的であったと考えます。									

施策 15 取組 2 番号 2 事務事業 団体・人材育成事業									
目的	専門性を備えたスポーツ指導者の育成やスポーツ少年団・スポーツ団体への支援を通し、人材の育成を図ります。					担当課	スポーツ課		
目標	スポーツ少年団加入割合の上昇を目指します。								
事業実施状況	・スポーツ少年団への支援（少年団数55団体、登録者数1,117人） ・スポーツ少年団指導者育成への支援（指導者数222人） ・各種交流大会等の開催 ・スポーツ推進委員の育成 ・帯広市スポーツ協会への支援 ・全国・全道大会等への派遣支援（160件、597人）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	13,149		14,257		0		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	13,149		14,257		0		
		指標名	-				単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-	
評価検証	R6年度のスポーツ少年団の加入割合は14.2%（前年比0.9ポイント減）であり、目標を達成しませんでした。 スポーツ、習い事の多様化などが要因と考えます。 今後も、スポーツ少年団の指導者育成に向けた支援を行うほか、児童生徒や保護者に関心を持ってもらうきっかけづくりとして気軽に参加できる体験会やイベントの開催などに取り組んでいくことが必要と考えます。								

施策 15 取組 2 番号 3 事務事業 スポーツ振興推進事業										
目的	健康スポーツ都市宣言の理念に基づき、スポーツ振興に関する施策を総合的に進めます。					担当課	スポーツ課			
目標	-									
事業実施状況	・スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施（スポーツ賞 功労部門：1人、成績部門：個人3人 団体2組、スポーツ奨励賞 個人5人 団体2組） ・スポーツ振興に関する事務 ・スポーツ推進審議会の開催 ・スポーツ振興基金の管理	単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
		事業費	192,729	31,429	0					
		特定財源	185,792	23,315	0					
		一般財源	6,937	8,114	0					
		指標名	-				単位			
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 15 取組 3 番号 1 事務事業 スポーツ大会・合宿等誘致事業											
目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。					担当課	スポーツ課				
目標	スポーツに関連した大会や合宿で本市を訪れる人数について8,561人を目指します。										
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援（27大会への支援） ・合宿および大会の誘致（宿泊団体数444団体、宿泊者数9,002人） ・スケート国際大会の誘致・開催 ・プロスポーツ等の誘致 ・全国高等学校総合体育大会北海道大会への支援	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費	44,986		9,328		0				
		特定財源	0		0		0				
		一般財源	44,986		9,328		0				
		指標名	大会・合宿で訪れた人数					単位	人		
		基準値	R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値				
		4,954		5,945		7,134		8,561			
		7,657		9,002							
評価検証	R6年度の大会・合宿で訪れた人数は9,002人であり、目標を達成しました。										
	スポーツ施設の受け入れ体制が整っていることや各種大会等への開催支援などにより、大会や合宿等の開催地として選定される環境づくりが進んでいることが要因であったと考えます。										

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 8 事務事業 旧ごみ埋立処分場管理事業													
目的		旧ごみ埋立処分場を適切に維持管理し、施設周辺の環境保全を図ります。						担当課		清掃事業課			
目標		-											
事業実施状況	・旧ごみ埋立処分場の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		1,882		2,007		()				
			特定財源		0		0		()				
			一般財源		1,882		2,007		()				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
			-		-		-		-				
					-		-						
評価検証	-												

施策 16 取組 2 番号 9 事務事業 ごみ処理施設管理運営事業																		
目的		一般廃棄物の処理を行う処理施設を管理運営し、廃棄物の効率的な処理を進めます。				担当課		清掃事業課										
目標		-																
事業実施状況	・ごみ処理施設の管理運営〈実施主体：十勝圏複合事務組合〉 （くりりんセンター、一般廃棄物最終処分場、リサイクルプラザ）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		791,764		3,281,062									
					特定財源		0		2,556,210									
					一般財源		791,764		724,852									
					指標名		-						単位					
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
					-				-		-							
評価検証	-																	

施策 16 取組 2 番号 10 事務事業 し尿処理施設管理運営事業															
目的	し尿処理施設を管理運営し、し尿等の効率的な処理を進めます。							担当課	清掃事業課						
目標	-														
事業実施状況	・し尿処理施設の管理運営〈実施主体：十勝圏複合事務組合〉				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		28,156		28,647						
					特定財源		1,459		1,458						
					一般財源		26,697		27,189						
					指標名		-						単位		
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
					-		-		-		-		-		
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 11 事務事業 ごみ収集・運搬事業										
目的	ごみの収集・運搬を円滑に行い、ごみの適正処理を進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・ごみの収集、運搬業務 ・ごみの収集車両の維持管理		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費	314,893	318,500	0				
			特定財源	260,850	264,521	0				
			一般財源	54,043	53,979	0				
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-			
			-		-					
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 12 事務事業 ごみ処理手数料収納管理事業										
目的	指定ごみ袋・処理券の管理、ごみ処理手数料の収納業務を適切に進めます。					担当課	清掃事業課			
目標	-									
事業実施状況	・指定ごみ袋、ごみ処理券の作成、保管、配送、販売業務 ・ごみ処理手数料の収納管理事務				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	129,196	123,272	0		
					特定財源	104,917	92,959	0		
					一般財源	24,279	30,313	0		
	指標名				-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-				
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 13 事務事業 し尿収集・運搬事業											
目的		し尿等の収集・運搬を円滑に行い、し尿等の適正処理を進めます。				担当課		清掃事業課			
目標		-									
事業実施状況	・し尿、汚水の収集、運搬業務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		68,383		68,398		0		
			特定財源		19,570		17,195		0		
			一般財源		48,813		51,203		0		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
			-		-						
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 16 取組 2 番号 14 事務事業 し尿処理手数料収納管理事業											
目的	し尿処理券の管理、し尿処理手数料の収納業務を適切に進めます。						担当課		清掃事業課		
目標	-										
事業実施状況	・し尿処理券の作成、販売業務 ・し尿処理手数料の収納管理業務		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		1,545		1,642				
			特定財源		0		0				
			一般財源		1,545		1,642				
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-				-		
評価検証	-										

施策 16 取組 2 番号 15 事務事業 一般廃棄物処理業関連事業																
目的	一般廃棄物処理業の許可等に関する事務を進めます。							担当課	清掃事業課							
目標	-															
事業実施状況	・一般廃棄物処理業許可事務 ・浄化槽清掃業許可事務				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		488		539							
					特定財源		1,376		1,062							
					一般財源		△888		△523							
					指標名		-						単位			
					基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
					-		-		-		-					
評価検証	-															

施策 16 取組 3 番号 1 事務事業 環境監視・測定事業												
目的	環境（大気、河川、騒音、振動、悪臭）の監視・測定や対策に取り組む、生活環境の保全を図ります。					担当課	環境課					
目標	河川水質等の環境基準の達成を維持します。											
事業実施状況	・大気の測定調査の実施（各項目市内1箇所、窒素酸化物、微小粒子状物質） ・河川の水質測定調査の実施（市内8河川11地点、生活環境項目・健康項目調査） ・地下水の水位観測の実施（市内4箇所） ・航空機騒音の測定調査の実施（固定局2箇所、移動局4箇所） ・道路交通騒音常時監視測定（8路線 12区間） ・悪臭の測定調査（市内3事業所） ・公害苦情対応（31件） ・PCB廃棄物の処分の実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	18,277	16,530				
						特定財源	45	45				
						一般財源	18,232	16,485				
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-		-	-	-	-	
評価検証	R 6年度は、環境基準類型指定河川の測定6地点のうち1地点において、4回測定中1回環境基準を超過する項目（90%値）がありましたが、その他の項目は環境基準を達成しており、良好な状態を維持していることから、目標を達成しました。											

事務事業評価表

施策 16 取組 3 番号 2 事務事業 自然環境保全対策事業												
目的	自然環境保全地区の監視などにより、自然林や生物生息環境など自然環境の保全を図ります。					担当課	環境課					
目標	自然環境保全地区をはじめとした市内森林面積の減少を抑制します。											
事業実施状況	・自然環境保全地区の監視（監視員3名、月2回） ・移入動物問題等に関する情報提供（ホームページ、広報おびひろ、ラジオ等による情報提供） ・公共工事環境配慮ガイドラインに基づく取り組みの推進 ・日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けた取り組みの推進（国立公園指定記念イベント共催、PR資材の作成・配布） ・アライグマ防除対策の実施（捕獲頭数：75頭）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		2,762		3,310		0	
					特定財源		329		2,049		0	
					一般財源		2,433		1,261		0	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-		-		-		-					
			-		-							
評価検証	R 6年度は、森林面積の減少がなく、自然環境保全地区等の自然環境は保全されており、目標を達成しました。											

施策 16 取組 3 番号 3 事務事業 環境保全連携促進事業														
目的	市民・事業者・行政の連携により、環境負荷低減の取り組みを進めます。					担当課	環境課							
目標	個人で清掃活動を行うエコフレンズの登録者数の増加を目指します。													
事業実施状況	・帯広市町内会連合会と連携したまち美化の推進（広報活動1回、花苗共同購入事業実施1回：23連合町内会の参加） ・清掃ボランティア「エコフレンズ」の推進（登録者数4,117人） ・清掃ボランティア「グリーン・キャンパス・21」への協力、支援 ・空き地の草刈り指導（苦情受付件数85件）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
						事業費	210	224	0					
						特定財源	0	0	0					
						一般財源	210	224	0					
						指標名	-					単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
						-	-	-	-	-				
評価検証	R6年度は、ホームページ等で取り組みを周知したことにより、エコフレンズの登録者数が増加し、目標を達成しました。													

施策 16 取組 3 番号 4 事務事業 犬等管理事業												
目的	犬等の適正な管理や飼育指導により、狂犬病の発生防止と生活環境の保全を図ります。					担当課	環境課					
目標	-											
事業実施状況	・ 畜犬の登録及び狂犬病予防注射の接種促進（新規登録：635頭、注射接種：4,871頭） ・ 犬等の適正飼育の啓発、指導（飼い主へのチラシの送付、町内会回覧による啓発、苦情等による指導件数：24件） ・ 野犬の掃とう（浮浪犬捕獲頭数：8頭）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	7,900	9,077	0			
						特定財源	4,915	4,584	0			
						一般財源	2,985	4,493	0			
						指標名	-			単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						-	-	-	-			
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	16	取組	0	番号	1	事務事業 環境関連計画推進事業										
目的	環境基本計画などの環境関連計画に基づき、環境保全に関する施策を総合的に推進します。					担当課		環境課								
目標	-															
事業実施状況	・帯広市環境基本計画の推進 ・帯広市環境審議会の開催（2回） ・エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づく事務 ・帯広市環境基金の管理 ・帯広市エコオフィスプランの見直し ・帯広市ゼロカーボン推進計画の推進					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費		34,053		23,312		0				
						特定財源		27,142		15,095		0				
						一般財源		6,911		8,217		0				
						指標名		-					単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
						-			-		-		-			
									-		-					
評価検証	-															

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 4 事務事業 国民保護計画推進事業									
目的	国及び道の計画を踏まえ、市の国民保護に関する計画に基づき、関係機関と連携協力し実施する国民保護措置を総合的に推進します。					担当課	危機対策課		
目標	-								
事業実施状況	・ 国民保護協議会の開催（1回） ・ 帯広市国民保護計画の推進 ・ 国民保護共同訓練を実施					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	0	0	0
						特定財源	0	0	0
						一般財源	0	0	0
	指標名 -						単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

施策 17 取組 3 番号 5 事務事業 河川管理事業																		
目的	河川を適切に管理し、洪水などの被害を防止します。					担当課	管理課、道路維持課											
目標	河川敷地の管理や支障木処理、河川パトロールなどを通じ河川を適切に管理します。																	
事業実施状況	・ 樋門樋管の点検管理（36箇所） ・ 河川敷地の管理 ・ 河川敷地の支障木処理 ・ 河川のパトロール				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
					事業費		13,816		16,454		0							
					特定財源		2,786		2,873		0							
					一般財源		11,030		13,581		0							
					指標名 -						単位							
					基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
					-				-				-				-	
評価検証	R 6 年度は、洪水時の被害防止のため、樋門樋管の点検管理や河川敷地の草刈りを行ったほか、河川敷地の支障木の伐採を実施するなど、河川の適正管理に取り組んでおり、目標を達成しました。																	

施策 17 取組 3 番号 6 事務事業 治水対策事業												
目的	国や道に対する十勝川流域水系の整備や適正な管理の要望などを 通し、治水対策を促進します。						担当課	管理課				
目標	-											
事業 実施 状況	・十勝川治水促進期会を通じた要望活 動の実施（要望活動2回、意見交換会2 回）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		140		140		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		140		140		0	
					指標名 -						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 配水管整備事業<再掲20-1-1>2											
目的	配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。						担当課	水道課			
目標	-										
事業実施状況	・配水管整備事業 L=2,116.6m ・管路近代化事業 L=8,353.6m		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		-		-		-		
			特定財源		-		-		-		
			一般財源		-		-		-		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証	-										

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 浄水場等耐震化事業<再掲20-1-2>														
目的	浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。							担当課	水道課					
目標	-													
事業実施状況	・ 稲田浄水場等の地震対策				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
					事業費	-		-		-				
					特定財源	-		-		-				
					一般財源	-		-		-				
					指標名	-						単位		
					基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-							
評価検証	-													

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 浸水対策下水道事業<再掲20-1-3>												
目的	雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。							担当課		下水道課		
目標	-											
事業実施状況	・ 公共下水道雨水管の整備				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	17	取組	3	番号	再	事務事業 災害時体制強化事業<再掲20-1-4>											
目的	自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であつても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。					担当課		水道総務課ほか									
目標	-																
事業実施状況	・災害対策備蓄資器材等の充実 ・応急給水体制などの維持					単位：千円		R5年度決算額			R6年度決算額			R7年度決算額			
						事業費		-			-			-			
						特定財源		-			-			-			
						一般財源		-			-			-			
						指標名						-		単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値				
	-				-		-		-		-						
	-				-		-		-		-						
評価検証	-																

事務事業評価表

施策 18 取組 1 番号 1 事務事業 広域消防管理運営事業														
目的	管内自治体と連携し、消防に関する事務の共同処理を進め、効率的な消防体制の充実を図ります。					担当課		消防課						
目標	管内町村との連携により、市町村の枠を越えた消防・救急体制の確保を目指します。													
事業実施状況	・とちか広域消防事務組合を通した消防に関する事務の共同処理の推進〈実施主体：とちか広域消防事務組合〉 ・高規格救急自動車の更新（1台）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		1,944,066		1,924,282		0			
					特定財源		1,552		11,724		0			
					一般財源		1,942,514		1,912,558		0			
	指標名		-						単位					
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-				-				-	
評価検証	R6年度は、管内19市町村で構成するとちか広域消防事務組合が主体となり、車両整備や緊急消防援助隊の体制強化、119番映像通報システムの整備、消防職員の教育・育成強化などの消防に関する事務の共同処理を進めており、目標を達成しました。													

施策 18 取組 1 番号 2 事務事業 消防水利整備事業										
目的	消火栓、防火水槽の新設、維持管理を行い、消防水利を充実します。					担当課	消防課			
目標	-									
事業実施状況	・消火栓の更新（17基）、修繕（16基） ・防火水槽の更新（1基、帯広第七中学校）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	40,158		61,412				(	
		特定財源	31,300		54,000				(	
		一般財源	8,858		7,412				(	
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-		-		-			
評価検証	-									

施策 18 取組 1 番号 3 事務事業 消防行政事業										
目的	消防庁舎の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。					担当課	消防課			
目標	-									
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		2,344		0		0		
		特定財源		2,344		0		0		
		一般財源		0		0		0		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 18 取組 2 番号 1 事務事業 消防団活動促進事業														
目的	消防団員の確保、教育訓練などにより、地域防災力の強化を図ります。					担当課		消防課						
目標	消防団協力事業所の累計数について18事業所を目指します。													
事業実施状況	・消防団員確保に向けた普及啓発の実施（消防団員341人、消防団協力事業所新規認定1事業所） ・教育訓練、研修会の充実（教育訓練9回、研修会5回 計697人） ・消防自動車運転転資格取得への支援（6人）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
						事業費		54,333		50,870		0		
						特定財源		6,215		5,893		0		
						一般財源		48,118		44,977		0		
	指標名		消防団協力事業所累計数						単位		事業所			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	15				16 16		17 17				18			
評価検証	R6年度の消防団協力事業所累計数は17事業所であり、目標を達成しました。 消防団制度への理解を深めるため、ホームページや広報おびひろでのPRを実施したほか、興味を示す企業への説明の機会を設けるなど、協力事業所拡充の取り組みを推進しました。 また、イベント時に市公式YouTubeチャンネルにおいて配信中の消防団PR動画をはじめ、消防庁が作成したPR動画を放映するなど情報発信の強化を図ってきたことが効果的であったと考えます。													

施策 18 取組 2 番号 2 事務事業 消防団詰所管理事業										
目的		消防団詰所の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。				担当課		消防課		
目標		-								
事業実施状況	・消防団詰所の維持管理 ・旧川西第2分団詰所の解体実施設計		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		1,583		6,277		0	
			特定財源		0		3,600		0	
			一般財源		1,583		2,677		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-			
			-		-					
評価検証		-								

施策 18 取組 2 番号 3 事務事業 消防団詰所整備事業												
目的		消防団詰所の整備を進め、災害に強い消防体制を整備します。					担当課		消防課			
目標		-										
事業実施状況	・消防団詰所の改築等（上帯広農業センターと川西第2分団詰所の複合化、愛国農業センターと大正第2分団詰所の複合化）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		0		818		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		0		818		0			
			指標名		-				単位			
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-			-		-		-		
評価検証		-										

事務事業評価表

施策 18 取組 2 番号 4 事務事業 消防団車両整備事業																
目的	消防団車両を更新し、消防力を充実します。							担当課		消防課						
目標	-															
事業実施状況	・消防団車両の更新（小型動力ポンプ付積載車 1 台、水槽付消防ポンプ自動車 1 台）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
					事業費		45,451		49,320		0					
					特定財源		42,000		46,000		0					
					一般財源		3,451		3,320		0					
					指標名		-						単位			
					基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
					-			-			-			-		
								-			-					
評価検証	-															

施策 18 取組 2 番号 5 事務事業 消防機器更新事業													
目的	消防機器を更新し、消防力を充実します。							担当課	消防課				
目標	-												
事業実施状況	-	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額					
		事業費		0		0		0					
		特定財源		0		0		0					
		一般財源		0		0		0					
		指標名		-						単位			
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		-			
				-		-							
評価検証	-												

施策 18 取組 2 番号 6 事務事業 消防団車両・装備管理事業												
目的	消防団車両や装備を適切に管理し、消防体制を維持します。						担当課	消防課				
目標	-											
事業実施状況	・消防団に係る消防車両・装備の維持管理	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		2,940		1,865		0				
		特定財源		0		0		0				
		一般財源		2,940		1,865		0				
		指標名		-						単位		
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		-		
				-		-						
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 19 取組 1 番号 1 事務事業 交通安全教育推進事業									
目的	児童や高齢者等への交通安全教育を進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。					担当課	危機対策課		
目標	交通安全教室の参加者数について38,081人を目指します。								
事業実施状況	・交通安全教室の実施（270回、23,646人） ・交通安全誘導の実施（1,222回）		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		16,291	20,371	0		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		16,291	20,371	0		
			指標名		交通安全教室の参加者数				単位
	基準値		R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値	
				実績値		実績値		実績値	
		30,360		38,081	38,081	38,081			
				22,916	23,646				
評価検証	R6年度の交通安全教室の参加者数は23,646人であり、前年より730人増加したものの、目標を達成しませんでした。								
	児童数の減により、小中学校や保育所を中心に開催している交通安全教室の参加者数が減少したことや感染拡大時に交通安全教室の実施回数が減少し、現在においても、数値が回復していないことが要因と考えます。 今後も、多くの市民の参加によって交通安全意識の向上を図るため、交通安全教室の周知方法や開催手法の工夫を継続していく必要があると考えます。								

施策 19 取組 1 番号 2 事務事業 交通安全運動推進事業										
目的	関係機関・団体と連携し、交通事故防止の啓発活動などを進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。					担当課	危機対策課			
目標	高齢者向けドライビング体験会、交通安全研修会の参加者数について254人を目指します。									
事業実施状況	・交通安全街頭啓発の実施 ・交通安全研修会の開催（1回） ・交通安全体験会の開催（3回） ・交通安全市民会議の開催（2回） ・交通安全に関する広報活動の実施 ・交通安全関係団体の活動への支援	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	7,914		5,236		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	7,914		5,236		0			
		指標名	高齢者向け体験会の参加者数					単位	人	
	基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	152		254			254			254	
評価検証	R6年度の高齢者向けドライビング体験会、高齢者交通安全研修会の参加者数は114人であり、目標を達成しませんでした。会場提供者の感染症対策により定員が抑えられたことや老人クラブ安全推進員研修会が中止となったことが要因と考えます。今後は、高齢ドライバの運転技術及び適性のチェックによる交通事故の未然防止を図るため、関係機関と連携し、体験会などの周知や開催手法を工夫していく必要があります。									

施策 19 取組 1 番号 3 事務事業 防犯意識啓発事業																
目的	防犯に関する情報提供や街頭啓発、自主的な学習活動の促進により、市民の防犯意識の向上を図ります。				担当課		危機対策課									
目標	防犯・不審者情報にかかるLINE情報の登録者数について16,702件を目指します。															
事業実施状況	・防犯グッズ展の開催(1回) ・防犯パトロールの実施(1,858回) ・防犯関係団体の活動への支援		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
			事業費		7,632		8,276		0							
			特定財源		0		0		0							
			一般財源		7,632		8,276		0							
			指標名		防犯・不審者にかかる市公式LINE登録者数				単位		件					
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			11,480				14,862				15,782				16,702	
						14,492				15,938						
評価検証	R6年度は、窓口でLINE登録を案内するなどの周知を実施したことにより、登録者数は15,938件となり、目標を達成しました。 今後も、防犯に関わる講座や街頭啓発などを利用した周知を強化するとともに、市民の防犯意識の動向を把握しながら、防犯意識の一層の向上に向けて広報活動を行っていきます。															

事務事業評価表

施策 19 取組 1 番号 4 事務事業 交通安全施設整備事業（危機対策課）									
目的	学校周辺や危険箇所における、交通安全に関する標識の設置や歩道の整備により、安全な交通環境の整備を進めます。					担当課	危機対策課		
目標	-								
事業実施状況	・信号機設置等の要望活動の実施 ・交通安全注意喚起看板の設置		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		951	987	0		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		951	987	0		
	指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
評価検証	-								

施策 19 取組 1 番号 5 事務事業 交通安全施設整備事業（土木課）										
目的	学校周辺や危険箇所における歩道の整備を進め、安全な交通環境を確保します。					担当課	土木課			
目標	-									
事業実施状況	・幹線道路や生活道路における歩道の整備 ・通学路などの歩道の再整備（南21丁目西甲線）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	11,374		16,720		0			
		特定財源	10,200		15,000		0			
		一般財源	1,174		1,720		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	-									

施策 19 取組 1 番号 6 事務事業 交通安全対策特別交付金対象事業									
目的	視線誘導標や区画線など、交付金を活用した交通安全施設の設置により、安全な交通環境を確保します。					担当課	道路維持課		
目標	-								
事業実施状況	・ 視線誘導標の設置（11基設置、10基撤去） ・ 区画線の設置（延長L=36.2km）	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	24,565		20,306		0		
		特定財源	0		0		0		
		一般財源	24,565		20,306		0		
	指標名	-					単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 19 取組 1 番号 7 事務事業 防犯灯整備支援事業									
目的	防犯灯の新設や更新、維持管理を支援し、安全な生活環境の整備を促進します。					担当課	市民活動課		
目標	-								
事業実施状況	・町内会の防犯灯新設、更新の支援（18灯） ・町内会の防犯灯維持費用の支援（16,320灯）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	69,643	35,681	0	
					特定財源	5,229	0	0	
					一般財源	64,414	35,681	0	
	指標名		-					単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-			-		-		-	
				-		-			
評価検証	-								

施策 19 取組 2 番号 1 事務事業 消費者活動促進事業									
目的	消費生活に関する講座や講演会の開催などにより、消費者被害の未然防止や合理的な消費生活を促進します。					担当課	商業労働課		
目標	消費生活に関する講座等の参加者数について2,181人を目指します。								
事業実施状況	・消費生活に関する講座、講演会の開催 (1,635人) ・消費生活展の開催 (1,140人) ・消費生活審議会の開催 (3回) ・消費者団体の活動支援 (290人)		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
			事業費		1,431	1,476	0		
			特定財源		0	0	0		
			一般財源		1,431	1,476	0		
			指標名		消費生活に関する講座等の参加者数				単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	1,081			1,449	1,815	2,181			
				3,069	3,065				
評価検証	R 6年度の消費生活に関する講座等の参加者数は3,065人であり、目標を達成しました。 高校生や高齢者など、対象者に合わせたテーマによる消費者講座の開催やイベント開催方法の見直しを行ったことが効果的であったと考えます。								

施策 19 取組 2 番号 2 事務事業 消費者情報提供活動事業														
目的	消費生活に関する情報の収集・提供などにより、市民の安全で合理的な消費生活を支援します。					担当課	商業労働課							
目標	食料品・雑貨・燃料の小売価格を掲載したホームページの閲覧数について3,360件を目指します。													
事業実施状況	・消費生活に関する情報提供 ・小売価格調査の実施 (毎月10日、生活関連商品等32品目、36点の価格を調査)					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
						事業費		5,605		6,806		0		
						特定財源		0		0		0		
						一般財源		5,605		6,806		0		
						指標名		小売価格調査HP閲覧数						単位
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	3,360				3,360		3,360		3,360					
					2,892		2,668							
評価検証	R 6年度の小売価格調査ホームページ閲覧数は2,668件であり、目標を達成しませんでした。 SNSを通じて小売価格調査に関する周知に取り組みましたが、認知度や小売価格への関心が低いことが要因と考えられます。 今後は、各種イベントや講座などにおける効果的な周知に取り組む必要があると考えます。													

事務事業評価表

施策 19 取組 2 番号 3 事務事業 消費生活相談支援事業									
目的	消費生活相談や消費者講座の実施などにより、消費者被害の未然防止や消費生活の向上を図ります。				担当課	商業労働課			
目標	消費生活に関する相談機能を維持します。								
事業実施状況	・消費生活アドバイスセンターの運営 ・地域消費者講座の開催 ・消費生活相談員の資質向上 ・専門家による相談の実施 ・消費者被害防止啓発資料の作成・配布 (委託料21,705千円、相談実績：1,260件)	単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		24,001	23,904		0		
		特定財源		5,690	5,435		0		
		一般財源		18,311	18,469		0		
		指標名 -					単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-			-		-		-
					-		-		
評価検証	R 6年度は、消費生活アドバイスセンターの運営や相談員の研修派遣等を通じた消費生活相談を実施したことにより、消費生活に関する相談機能が維持されており、目標を達成しました。								

施策 19 取組 2 番号 4 事務事業 計量適正化推進事業												
目的		計量器や商品表示などの検査・指導により、適正な取引を促進します。				担当課	商業労働課					
目標		-										
事業実施状況	・検査、指導の実施（計量器定期検査：148戸361台、量目立入検査：11戸1,853個）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
		事業費		4,106		5,172		0				
		特定財源		1,323		700		0				
		一般財源		2,783		4,472		0				
		指標名 -						単位				
		基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
		-			-			-			-	
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 1 事務事業 配水管整備事業											
目的	配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。					担当課	水道課				
目標	-										
事業実施状況	・配水管整備事業 L=2,116.6m ・管路近代化事業 L=8,353.6m		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費		977,163	812,658	0				
			特定財源		977,163	812,658	0				
			一般財源		0	0	0				
	指標名		-					単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-			-		-		-			
				-		-		-			
評価検証	-										

施策 20 取組 1 番号 2 事務事業 浄水場等耐震化事業												
目的		浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。					担当課		水道課			
目標		-										
事業実施状況	・ 稲田浄水場等の地震対策		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		10,230		152,713		()			
			特定財源		10,230		95,446		()			
			一般財源		0		57,267		()			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-	-	-	-	-			
					-		-					
評価検証	-											

施策 20 取組 1 番号 3 事務事業 浸水対策下水道事業											
目的		雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。				担当課		下水道課			
目標		-									
事業実施状況	・公共下水道雨水管の整備		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		464,173		298,809		()		
			特定財源		464,058		298,718		()		
			一般財源		115		91		()		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
			-				-				
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 4 事務事業 災害時体制強化事業										
目的	自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。					担当課	水道総務課ほか			
目標	-									
事業実施状況	・ 災害対策備蓄資器材等の整備 ・ 応急給水体制などの維持				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	17,399	7,678	0		
					特定財源	17,399	7,678	0		
					一般財源	0	0	0		
	指標名				-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-				
評価検証	-									

施策 20 取組 1 番号 5 事務事業 浄水場等施設整備事業											
目的	浄水場等の計画的かつ効率的な更新などにより、水道機能を保全し、水道水の安定供給を図ります。					担当課	水道課				
目標	-										
事業実施状況	・稲田浄水場等の改修・設備更新 ・川西地区受水切替事業 L=2,307.1m				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額		
					事業費	452,927	536,800		0		
					特定財源	452,927	536,800		0		
					一般財源	0	0		0		
					指標名 -				単位		
					基準値	R5	目標値	R6	目標値	R7	目標値
							実績値		実績値		実績値
					-		-				-
				-		-					
評価検証	-										

施策 20 取組 1 番号 6 事務事業 未普及解消下水道事業											
目的	汚水管の整備により、未整備地区の解消を図り、快適な生活環境づくりを進めます。					担当課	下水道課				
目標	-										
事業実施状況	・公共下水道汚水管の整備			単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		15,420		39,111		0	
				特定財源		15,420		39,111		0	
				一般財源		0		0		0	
				指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-				
			-		-						
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 7 事務事業 管渠長寿命化更新事業												
目的		下水道管の長寿命化を進め、下水道機能を適切に維持します。						担当課		下水道課		
目標		-										
事業実施状況	・管渠の長寿命化・更新		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		170,775		82,951		-			
			特定財源		170,743		82,919		-			
			一般財源		32		32		-			
			指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
			-		-		-					
評価検証	-											

施策 20 取組 1 番号 8 事務事業 流域下水道事業												
目的	北海道が所管する十勝川流域下水道浄化センターの改修や耐震化等により、施設の機能維持と災害に強い施設づくりを進めます。						担当課	下水道課				
目標	-											
事業実施状況	・十勝川流域下水道浄化センターの施設整備 〈実施主体：北海道〉				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		70,744		64,686		-	
					特定財源		67,327		57,562		-	
					一般財源		3,417		7,124		-	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
	-		-		-		-		-			
評価検証	-											

施策 20 取組 1 番号 9 事務事業 汚水処理施設統合事業											
目的		汚水の一括処理などを進め、適正な施設規模による下水道サービスの安定供給を図ります。					担当課		下水道課		
目標		-									
事業実施状況	・ 終末処理場などの改修、設備更新 ・ 圧送管の新設 L=257.96m		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		543,728		255,060		()		
			特定財源		543,651		254,963		()		
			一般財源		77		97		()		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
				-			-				
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 20 取組 1 番号 10 事務事業 農村下水道施設整備事業										
目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。					担当課	下水道課			
目標	-									
事業実施状況	・ 個別排水処理施設の整備		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
			事業費	65,208	35,530	0				
			特定財源	65,208	35,530	0				
			一般財源	0	0	0				
			指標名	-					単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
		-	-	-	-					
		-	-	-						
評価検証	-									

施策 20 取組 2 番号 1 事務事業 情報提供事業									
目的	イベントなどを通したPRや積極的な情報発信により、上下水道に関する理解を促進し、市民との協働により事業を進めます。					担当課	水道総務課、下水道課		
目標	各種事業の情報を掲載している上下水道部ホームページのアクセス数について、54,568件を目指します。								
事業実施状況	・イベントによるPRや学習機会の提供 ・広報紙やホームページなどによる情報提供 ・マンホールカードの制作					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額
						事業費	2,120	695	0
						特定財源	2,120	695	0
						一般財源	0	0	0
	指標名		上下水道部ホームページアクセス数（セッション数）				単位	件	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	39,031			43,644 92,717		48,801 97,767		54,568	
	評価検証	R 6年度のホームページのアクセス数は97,767件となり、目標を達成しました。 R 6年4月に上下水道お客様センターを開設したことやQRコードを掲載したチラシを作成し、イベント等で周知したことが効果的であったと考えます。							

施策 20 取組 2 番号 2 事務事業 量水器整備事業										
目的		水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。				担当課		水道課		
目標		-								
事業実施状況	・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		409,874		399,495		0	
			特定財源		409,874		399,495		0	
			一般財源		0		0		0	
			指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
			-		-					
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 3 事務事業 利用者サービス推進事業									
目的	上下水道に関する利用者の負担軽減や利便性向上などにより、利用者サービスの向上を図ります。					担当課	水道総務課、水道課		
目標	水道料金・下水道使用料の納付の利便性を高める手法の導入を目指します。								
事業実施状況	・水道凍結注意チラシの作成・配布 ・上下水道料金収納業務等包括委託の実施		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費	606		642			
			特定財源	606		642			
			一般財源	0		0			
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
評価検証	R 6 年 4 月に上下水道お客様センターを開設したことに伴い、上下水道部各課の窓口集約化や窓口開設時間の延長等が図られたことで、利用者の利便性向上につながったと考えます。								

施策 20 取組 2 番号 4 事務事業 組織力向上対策事業									
目的	上下水道の知識や技術の継承などを進め、質の高い上下水道サービスの提供を図ります。					担当課	水道総務課ほか		
目標	質の高い上下水道サービスの提供につながる先進地等研修の参加数について各年度10人を目指します。								
事業実施状況	・研修会、講習会などへの参加				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	2,059	2,033		
					特定財源	2,059	2,033		
					一般財源	0	0		
	指標名 先進地等研修参加数					単位		人	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	8			10		10		10	
評価検証	R 6 年度の先進地域等研修会及び講習会への参加者数は12人であり、目標を達成しました。今後も、質の高い上下水道のサービスの提供に向けて、職員の専門的な知識や技術の習得を進めます。								

施策 20 取組 2 番号 5 事務事業 水道料金・下水道使用料収納事業												
目的	料金・使用料の適正な調定・収納や収入の確保に向けた取り組みを進め、上下水道事業を健全に経営します。					担当課	水道総務課					
目標	-											
事業実施状況	・水道メーターの検針 ・水道料金、下水道使用料の調定、収納事務 ・収納率向上対策の推進 ・基本料金免除に係るシステムの設定変更及び市民周知				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		280,274		389,790		0	
					特定財源		273,846		389,790		0	
					一般財源		6,428		0		0	
					指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
	-		-		-		-		-			
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 6 事務事業 財政基盤強化対策事業									
目的	業務の効率化などにより、持続可能な財政基盤を確保し、上下水道事業を健全に経営します。					担当課	水道総務課ほか		
目標	上下水道事業の健全で安定的な経営を維持します。								
事業実施状況	・GISや各種業務システムの活用 ・上下水道料金収納業務等包括委託の実施		単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費	226,732	48,001	0			
			特定財源	226,732	48,001	0			
			一般財源	0	0	0			
			指標名	-					単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-				
評価検証	R6年度は、電気代等の高騰に伴うコスト増加の影響などにより、下水道及び農村下水道事業の純損益で上下水道ビジョンの収支見通しを下回ったものの、施設の適切な維持管理や業務効率化の推進などにより、両会計の累積資金残高は、ビジョンの収支見通し以上の額を確保できており、安定的な経営を維持できています。								

施策 20 取組 2 番号 7 事務事業 水道施設維持管理事業											
目的		適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。					担当課		水道課		
目標		-									
事業実施状況	・配水管、水道施設、量水器の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		442,474		487,768		0		
			特定財源		442,474		487,768		0		
			一般財源		0		0		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値		R6	目標値		R7	目標値	
				実績値			実績値			実績値	
			-		-		-		-		
		-		-		-		-			
評価検証		-									

施策 20 取組 2 番号 8 事務事業 下水道施設維持管理事業										
目的	適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。					担当課	下水道課			
目標	-									
事業実施状況	・下水道管の維持管理 ・終末処理場の維持管理 ・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	735,326	938,432	0		
					特定財源	735,326	938,432	0		
					一般財源	0	0	0		
					指標名	-			単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-				
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 9 事務事業 水道事業経営管理事業											
目的		水道事業の適切な管理運営により、水道水の安定供給を図ります。						担当課		水道総務課	
目標		-									
事業実施状況	・上下水道ビジョンの推進 ・帯広市公営企業経営審議会の開催 ・企業債の償還及び資金運用 ・資産の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		3,892,581		3,925,087		()		
			特定財源		3,218,542		3,889,045		()		
			一般財源		674,039		36,042		()		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
			-		-		-				
評価検証	-										

施策 20 取組 2 番号 10 事務事業 下水道事業経営管理事業											
目的		下水道事業の適切な管理運営により、生活環境の保全や公衆衛生の向上を図ります。				担当課		水道総務課			
目標		-									
事業実施状況	・上下水道ビジョンの推進 ・帯広市公営企業経営審議会の開催 ・企業債の償還及び資金運用 ・資産の管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		5,199,541		4,979,929		()		
			特定財源		3,838,607		3,606,569		()		
			一般財源		1,360,934		1,373,360		()		
			指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
			-		-						
評価検証	-										

施策 20 取組 2 番号 11 事務事業 上下水道資源有効利用事業											
目的		浄水・下水処理の過程で発生する資源の有効利用により、環境負荷の軽減を図ります。				担当課		下水道課			
目標		-									
事業実施状況	・十勝川流域下水道浄化センターとの共同乾燥処理 ・下水汚泥の耕地への還元 ・発生ガスの有効活用		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		32,469		34,434		()		
			特定財源		32,469		34,434		()		
			一般財源		0		0		()		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
				-			-				
評価検証	-										

事務事業評価表

施策 20 取組 2 番号 12 事務事業 下水道普及促進事業													
目的		下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。				担当課		下水道課					
目標		下水道未接続家屋の減少を目指します。											
事業実施状況	・下水道への接続の普及啓発 ・排水設備改造資金の貸付		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		7,158		13,111		0				
			特定財源		7,158		13,111		0				
			一般財源		0		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
			-		-		-		-				
		-		-									
評価検証		R 6年度は、文書指導や排水設備改造資金貸付制度の周知などにより、下水道未接続家屋は減少しており、目標を達成しました。											

施策 20 取組 2 番号 13 事務事業 水道水源水質保全事業												
目的		札内川の水質調査などにより、水源の水質を保全し、安全な水道水の供給を図ります。				担当課		水道課				
目標		-										
事業実施状況	・ 札内川上流域等の河川表流水調査 ・ 札内川上流域等の水源水質調査 ・ 水道法に基づく水質基準検査		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		46,405		45,870		0			
			特定財源		46,405		45,870		0			
			一般財源		0		0		0			
			指標名 -							単位		
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-		-		-			
					-		-					
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 21 取組 1 番号 1 事務事業 にぎわいづくり支援事業									
目的	歩行者天国などの取り組みを支援し、中心市街地のにぎわいを創出します。					担当課	商業労働課		
目標	中心市街地におけるイベント実施時の歩行者通行量（6地点）について14,121人を目指します。								
事業実施状況	・歩行者天国、イルミネーションなどの取り組みへの支援 （歩行者通行量（6地点）4,740人）	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		2,550		2,550		0	
		特定財源		500		500		0	
		一般財源		2,050		2,050		0	
		指標名		イベント実施時の歩行者通行量（6地点）				単位	人
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		3,464		7,016 5,109		10,568 4,740		14,121	
評価検証	中心市街地のにぎわい創出に向けた支援を行いました。R6年度のイベント実施時の歩行者通行量（6地点）は4,740人であり、目標を達成しませんでした。 大規模商業施設の閉店等に伴うにぎわいの減少が要因の一つと考えます。 こうした現状にありますが、今後も、歩行者天国等への支援のほか、民間事業者による様々なイベント開催を促進することで、中心市街地におけるにぎわいを創出していく必要があると考えます。								

施策 21 取組 1 番号 2 事務事業 市民活動交流センター管理運営事業										
目的	市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。						担当課	商業労働課		
目標	-									
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営			単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費		23,131		25,892		0
				特定財源		71		59		0
				一般財源		23,060		25,833		0
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-			
			-		-					
評価検証	-									

施策 21 取組 1 番号 3 事務事業 駅北多目的広場管理事業									
目的	駅北多目的広場の管理により、イベントなどへの活用の促進を通した中心市街地のにぎわいの創出を図ります。						担当課	商業労働課	
目標	-								
事業実施状況	・ 駅北多目的広場の管理、整備			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
				事業費	1,508	1,667	0		
				特定財源	610	493	0		
				一般財源	898	1,174	0		
	指標名		-				単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		
			-		-				
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 21 取組 1 番号 4 事務事業 市営駐車場管理運営事業											
目的		市営駐車場の管理運営により、中心市街地を訪れる人の利便性の確保を図ります。					担当課		商業労働課		
目標		-									
事業実施状況	・市営駐車場の管理運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		23,099		26,286		0		
			特定財源		23,099		26,286		0		
			一般財源		0		0		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証		-									

施策	21	取組	1	番号	5	事務事業	中心市街地整備事業					
目的	市街地再開発事業などにより、街なか居住の促進や交流人口の拡大を図ります。						担当課	商業労働課				
目標	-											
事業実施状況	・事業者への情報収集					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
						事業費	0		0		0	
						特定財源	0		0		0	
						一般財源	0		0		0	
	指標名	-								単位		
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値					
	-	-		-		-						
評価検証	-											

施策 21 取組 1 番号 6 事務事業 中心市街地活性化基本計画推進事業																
目的		関係機関と連携しながら中心市街地活性化基本計画を推進し、にぎわいのある中心市街地の形成を図ります。						担当課		商業労働課						
目標		-														
事業実施状況	・中心市街地活性化基本計画の進捗管理 ・中心市街地活性化協議会への運営支援 ・中心市街地活性化事業の推進 ・まちなか居住及び開業の相談対応、情報提供 ・中心市街地活性化に向けた人材の発掘、育成 ・次期中心市街地活性化基本計画の策定		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
			事業費		12,718		12,389		0							
			特定財源		0		0		0							
			一般財源		12,718		12,389		0							
			指標名		-						単位					
			基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
			-				-		-		-		-			
評価検証		-														

事務事業評価表

施策 21 取組 4 番号 1 事務事業 地域優良賃貸住宅整備事業													
目的		民間事業者等による公的賃貸住宅の供給により、子育て世帯等への良好な居住環境の提供を図ります。						担当課		住宅営繕課			
目標		-											
事業実施状況	・ 地域優良賃貸住宅の供給		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		0		0		0				
			特定財源		0		0		0				
			一般財源		0		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-		-		-		-				
評価検証	-												

施策 21 取組 4 番号 2 事務事業 ストック総合改善事業												
目的	公営住宅の個別改善を進め、良好な居住環境を提供します。							担当課	住宅営繕課			
目標	-											
事業実施状況	・福祉対応や長寿命化等の個別改善（北郊団地、若葉団地、新緑団地）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額				
					事業費	43,975	105,475	0				
					特定財源	41,401	103,722	0				
					一般財源	2,574	1,753	0				
					指標名	-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-		-		-		-					
			-		-							
評価検証	-											

施策 21 取組 4 番号 3 事務事業 公営住宅整備事業										
目的	老朽化した公営住宅を建替し、良好な居住環境を提供します。						担当課	住宅営繕課		
目標	-									
事業実施状況	・ 公営住宅の建替（大空団地4街区）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	906,084	423,806	0		
					特定財源	902,487	421,973	0		
					一般財源	3,597	1,833	0		
	指標名				-			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-			
			-		-					
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 21 取組 4 番号 4 事務事業 公営住宅維持修繕事業										
目的	公営住宅等の維持修繕を行い、住宅の機能維持を図ります。						担当課	住宅営繕課		
目標	-									
事業実施状況	・公営住宅の設備、駐車場等の維持修繕				単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費		176,083	182,176		
					特定財源		612,681	622,860		
					一般財源		△436,598	△440,684		
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-				
評価検証	-									

施策 21 取組 4 番号 5 事務事業 公営住宅管理運営事業										
目的	公営住宅を適切に管理し、良好な居住環境を提供します。						担当課	住宅営繕課		
目標	-									
事業実施状況	・公営住宅の管理 ・借上公営住宅の管理 ・入居事務 ・公営住宅審議会の開催 ・公営住宅使用料の賦課、徴収事務 ・公営住宅使用料の収納率向上対策の推進				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	173,120	172,450			
					特定財源	95,720	94,403			
					一般財源	77,400	78,047			
					指標名	-				
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-	-	-	-				
			-	-	-					
評価検証	-									

施策	21	取組	4	番号	6	事務事業	高齢者向け等優良賃貸住宅供給促進事業							
目的	地域優良賃貸住宅等への家賃補助を行い、高齢者、子育て世帯への居住の安定確保を進めます。						担当課	住宅営繕課						
目標	-													
事業実施状況	・高齢者向け等優良賃貸住宅の家賃支援						単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
							事業費		60,311		56,791			
							特定財源		25,977		24,202			
							一般財源		34,334		32,589			
	指標名		-								単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値						
	-			-		-		-						
				-		-								
評価検証	-													

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 7 事務事業 道路ストック修繕事業														
目的	道路施設の点検や修繕により、道路網の安全性向上を図ります。						担当課	土木課、道路維持課						
目標	-													
事業実施状況	・道路舗装（西5条南線）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		61,204		30,723		0			
					特定財源		53,522		29,468		0			
					一般財源		7,682		1,255		0			
	指標名				-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
	-		-		-		-		-					
	-		-		-		-		-					
評価検証	-													

施策 21 取組 5 番号 8 事務事業 道路案内標識整備事業											
目的		道路案内標識の設置等により、運転者の円滑な通行と交通の安全の確保を図ります。						担当課		管理課	
目標		-									
事業実施状況	・道路案内標識の修正 ・信号機地点名標示板の設置（2枚取替）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		231		251		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		231		251		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
			-		-		-		-		
評価検証		-									

施策 21 取組 5 番号 9 事務事業 市道管理事業									
目的	市道を適切に管理し、安全で快適な道路環境を確保します。						担当課	管理課	
目標	-								
事業実施状況	・不法占用物件の撤去、道路美化 ・市道認定 ・法定外公共物等管理システムの運用 ・駅南北広場等の管理 ・長期放置自転車の処理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	36,118		6,574		0		
		特定財源	56,226		62,679		0		
		一般財源	△20,108		△56,105		0		
		指標名 -						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-			-		-		-
					-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 10 事務事業 道路台帳整備事業											
目的		道路法に基づき道路台帳を整備し、適切に市道を管理します。					担当課	管理課			
目標		-									
事業実施状況	・道路台帳の補正 ・道路台帳図の作成		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		4,119		4,284		()		
			特定財源		0		0		()		
			一般財源		4,119		4,284		()		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
評価検証	-										

施策 21 取組 5 番号 11 事務事業 特殊舗装整備事業																			
目的		特殊舗装により整備された道路を改良し、道路機能の維持・向上を図ります。					担当課		道路維持課										
目標		-																	
事業実施状況	・特殊舗装道路の改良（西17北1・24号線外14路線）					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額							
						事業費		199,078		244,354		()							
						特定財源		179,100		219,900		()							
						一般財源		19,978		24,454		()							
						指標名		-						単位					
						基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
						-				-		-				-			
										-		-							
評価検証		-																	

施策 21 取組 5 番号 12 事務事業 街路樹維持管理事業										
目的	街路樹の剪定や更新などにより、道路の安全な利用環境や良好なみどりの環境を維持します。					担当課	道路維持課			
目標	-									
事業実施状況	・ 街路樹の維持管理 ・ 植樹帯の草刈 ・ とてっぽ通公衆トイレ解体	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		131,852		143,871		()		
		特定財源		0		2,200		()		
		一般財源		131,852		141,671		()		
		指標名		-					単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		
				-		-				
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 21 取組 5 番号 19 事務事業 市道維持補修事業										
目的	パトロールによる道路の補修、路面清掃や草刈りを行い、安全で快適な道路環境を保ちます。						担当課	道路維持課		
目標	-									
事業実施状況	・道路パトロールの実施 ・道路の維持補修 ・道路維持車両の管理 ・ロードヒーティング、凍結防止設備の管理 ・白樺通転落防止柵整備	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	209,937		240,245		0			
		特定財源	31		13,162		0			
		一般財源	209,906		227,083		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-	-			
評価検証	-									

施策 21 取組 6 番号 1 事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業										
目的	農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。					担当課	都市政策課			
目標	あいのりタクシー及びあいのりバスの利用者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・大正地区乗合タクシーの運行 ・川西地区乗合バスの運行				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	29,993	31,464	0		
					特定財源	3,825	4,125	0		
					一般財源	26,168	27,339	0		
					指標名				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
				-		-		-		
評価検証	R6年度は、前年と比較し、あいのりタクシーの利用者数は微増となったものの、あいのりバスの利用者が減少したことから、目標を達成しませんでした。 概ね例年通りの利用者数で推移してきましたが、2月4日の大雪の影響により、あいのりバスが運休したことて2月の利用者数が大幅に減少したことが要因であると考えます。 今後も、利用者の多くを占める高齢者を中心に意見聴取等を行うとともに、交通事業者等と連携しながら、地域の住民が利用しやすい運行形態を検討していくなど、利便性向上に向けた取り組みを進めていく必要があると考えます。									

施策 21 取組 6 番号 2 事務事業 地域公共交通活性化事業										
目 的	地域公共交通計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。					担当課	都市政策課			
目 標	市内運行路線における路線バス年間利用者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・公共交通の利用促進（小学生等への交通環境学習の実施、バス停留所除雪対策の実施など） ・バス運行維持に対する支援 ・地域公共交通計画の推進	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	182,304		168,595		0			
		特定財源	2,178		1,848		0			
		一般財源	180,126		166,747		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-		-		-		-		
評価検証	R6年度は、バス事業者と連携しながら、交通環境学習やバス利用啓発小冊子の配布などの利用促進に向けた取り組みを実施したことにより、前年より路線バス利用者が増加し、目標を達成しました。 一方で、新型コロナウイルス感染症流行以前との比較では、路線バス利用者は大幅に減少していることから、今後は、事業者等と連携し、公共交通サービスの利便性向上や利用促進などの取り組みを進めていく必要があると考えます。									

事務事業評価表

施策 21 取組 6 番号 再 事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業<再掲4-2-1>										
目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。					担当課	介護高齢福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付（交付率60.1%）		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	-		-		-		
			特定財源	-		-		-		
			一般財源	-		-		-		
	指標名		-					単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-			
評価検証	-									

施策 21 取組 0 番号 1 事務事業 中島霊園管理運営事業										
目的	中島霊園を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。					担当課	戸籍住民課			
目標	-									
事業実施状況	・中島霊園の維持管理 ・墓地区画貸出業務（合同納骨塚399件、墓地19件） ・累計貸出区画数（合同納骨塚2,407件、墓地2,031件） ・合同納骨塚の利用者増対応に向けた調査・設計	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費		45,112		49,245		0		
		特定財源		5,413		9,672		0		
		一般財源		39,699		39,573		0		
		指標名		-				単位		
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-		-		-		-		
評価検証	-									

施策	21	取組	0	番号	2	事務事業 既存墓地管理運営事業									
目的	既存墓地を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。						担当課		戸籍住民課						
目標	-														
事業実施状況	・ 既存墓地の維持管理 ・ 墓地区画貸出業務（7件）					単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
						事業費	13,885		19,358		0				
						特定財源	443		2,753		0				
						一般財源	13,442		16,605		0				
	指標名		-						単位						
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値							
	-		-		-		-								
			-		-										
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 3 事務事業 火葬場管理運営事業										
目的		火葬場を適切に管理運営します。					担当課		戸籍住民課	
目標		-								
事業実施状況	・火葬場の維持管理 ・火葬業務（2,361件） ・施設の長寿命化		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		83,170		101,233		0	
			特定財源		37,782		57,478		0	
			一般財源		45,388		43,755		0	
	指標名		-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値
	-		-		-		-		-	
評価検証	-									

施策 21 取組 0 番号 4 事務事業 鉄道高架レリーフ維持管理事業													
目的		鉄道により分断された市街地南北の一体的・効率的な土地利用を促進し、魅力ある都市空間を形成します。				担当課		商業労働課					
目標		-											
事業実施状況	・ 鉄道高架レリーフの維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		3,212		0		0				
			特定財源		3,212		0		0				
			一般財源		0		0		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
			-		-		-		-		-		
評価検証	-												

施策 21 取組 0 番号 5 事務事業 都市景観形成促進事業												
目的	地区計画制度の推進や景観形成に資する建築物の表彰などを通じ、良好な居住環境や景観の形成を促進します。					担当課	都市政策課					
目標	まちづくりに貢献している建築物を表彰する帯広市まちづくりデザイン賞の応募件数について6件を目指します。											
事業実施状況	・まちづくりデザイン賞の実施 ・帯広市都市環境デザイン委員会の開催 ・帯広市都市景観形成主要建築物等担当者会議の開催					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
						事業費	325	389	0			
						特定財源	325	389	0			
						一般財源	0	0	0			
						指標名	帯広市まちづくりデザイン賞の応募申込数				単位	件
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
						4		6 3	6 3	-		
評価検証	R6年度のまちづくりデザイン賞の応募件数は3件であり、目標を達成しませんでした。ホームページ等による周知や業界団体等への案内のほか、申し込み方法のオンライン化など見直しを進めました。表彰制度による景観の啓発の趣旨の理解に至らず応募につながらなかったことが要因であると考えます。今後は、表彰制度による景観の啓発の取り組みを終了し、新たな啓発方法を検討していくものとします。											

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 6 事務事業 都市計画制度推進事業										
目的	都市計画に関する調査等に基づき、都市計画制度を適切に運用します。					担当課	都市政策課			
目標	-									
事業実施状況	・都市計画に関する調査、情報収集等 ・帯広圏広域都市計画協議会の運営 ・帯広市都市計画審議会の開催 ・第2次帯広市都市計画マスタープランの推進 ・都市開発基金の管理 ・帯広圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の推進 ・緑ヶ丘公園エリアビジョンの作成	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	32,707		14,887		0			
		特定財源	426		182		0			
		一般財源	32,281		14,705		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-	-	-	-				
評価検証	-									

施策 21 取組 0 番号 7 事務事業 開発行為等審査・指導事業												
目的		民間事業者による開発行為等を審査・指導し、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。				担当課		建築開発課				
目標		-										
事業実施状況	・開発行為等許可申請審査、指導				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		140		159		0	
					特定財源		472		909		0	
					一般財源		△332		△750		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-		-		-		-					
評価検証	-											

施策 21 取組 0 番号 8 事務事業 民間土地区画整理指導事業										
目的	民間の土地区画整理事業に対する指導により、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。					担当課	建築開発課			
目標	-									
事業実施状況	・民間土地区画整理事業への指導		単位：千円		R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額			
			事業費		467	442	0			
			特定財源		0	0	0			
			一般財源		467	442	0			
			指標名		-				単位	
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 21 取組 0 番号 9 事務事業 土地取引届出事業													
目的		国土利用計画法等に基づき、土地取引に関する事務を進めます。						担当課		建築開発課			
目標		-											
事業実施状況	・土地取引届出に対する審査等		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費		66		62		0				
			特定財源		58		52		0				
			一般財源		8		10		0				
			指標名		-						単位		
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
			-			-		-		-			
評価検証	-												

施策 21 取組 0 番号 10 事務事業 建築物確認事業													
目的	建築基準法に基づき、建築物の確認事務などを進めます。							担当課	建築開発課				
目標	-												
事業実施状況	・ 建築物の確認、検査、許可等 ・ 既存建築物の適正な維持、保全に係る指導等 ・ 建築相談の実施 ・ 建築行政に関する事務				単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費	11,777		10,461		0			
					特定財源	14,832		13,424		0			
					一般財源	△3,055		△2,963		0			
					指標名	-						単位	
	基準値	R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値				
	-	-		-		-							
	評価検証	-											

施策 21 取組 0 番号 11 事務事業 住宅改修等貸付金事業									
目的	過去に貸し付けた住宅建設資金・UD住宅新築等貸付金を管理します。					担当課	建築開発課		
目標	-								
事業実施状況	・ 貸付金の管理	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	154,816		127,314		0		
		特定財源	153,058		125,888		0		
		一般財源	1,758		1,426		0		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-		-		-		
		-	-		-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 1 事務事業 市民提案型協働のまちづくり支援事業											
目的		市民グループやNPO、ボランティア団体等が提案するまちづくり活動を支援し、市民の主体的なまちづくり活動を促進します。				担当課		市民活動課			
目標		市民提案型協働のまちづくり支援事業の応募団体数について14団体を目指します。									
事業実施状況	・市民からの提案事業への支援（応募13件、採択11件）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		1,998		1,813		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		1,998		1,813		0		
	指標名		支援事業の応募団体数					単位	団体		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	12			14 14			14 13			14	
評価検証	R6年度の応募団体数は13団体で、例年と比較すると若い世代を含めた幅広い世代から応募がありましたが、目標を達成しませんでした。 複数の団体から事前相談は受けたものの、補助対象事業と団体の活動内容が合致せず応募につながらなかったことなどから、事業内容についての周知不足が要因と考えられます。 今後は、チラシやポスターの掲示と併せてSNSなどを活用し、事業内容についての周知活動にも努め、市民協働のまちづくりにつながる活動を進めていく必要があります。										

施策 22 取組 1 番号 2 事務事業 町内会活動等支援事業										
目的	町内会等の活動を支援し、地域コミュニティの形成を促進します。					担当課		市民活動課		
目標	身近な地域における絆づくりや課題解決などに向けた町内会の自主的な活動の継続を目指します。									
事業実施状況	・町内会活動の周知、加入促進 ・帯広市町内会連合会への支援 ・町内会自治活動への支援（単位町内会753件、地区連合町内会47件）		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
			事業費		34,808		35,335		0	
			特定財源		0		0		0	
			一般財源		34,808		35,335		0	
			指標名		-					単位
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-	-	-		
評価検証	R6年度は町内会の負担を軽減するため、町内会アンケート実施し、その結果を元に「持続可能な町内会活動の推進に向けた取組方針」を策定しており、目標を達成しました。 今後は、町内会活動の継続に向け、取組方針に基づく支援を進めていく必要があると考えます。									

施策 22 取組 1 番号 3 事務事業 市民協働推進事業									
目的	活動相談や情報提供などにより、NP0、ボランティア団体等の活動を支援し、市民参加の取り組みを促進します。					担当課	市民活動課		
目標	若者、女性、企業など、多様な主体がまちづくりに参加しやすい環境づくりを目指します。								
事業実施状況	・市民活動ポータルサイトの運用 ・市民活動交流センター市民活動情報室の運営（利用者数185人）				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額	
					事業費	4,505	5,288	0	
					特定財源	0	0	0	
					一般財源	4,505	5,288	0	
	指標名					-		単位	
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-	-	-	-			
評価検証	SNSを活用しイベント等を周知したことで、多くの人がまちづくりに参加しやすい環境づくりにつながっています。 また、市民活動交流センターで、利用者に対しての主体的な活動に対する助言を継続的に実施しており、目標を達成しました。								

事務事業評価表

施策 22 取組 1 番号 4 事務事業 コミュニティ施設維持管理事業												
目的	市民相互が交流・連携する場を提供します。							担当課	市民活動課			
目標	-											
事業実施状況	・コミュニティ施設の整備、維持管理 (利用者数424,168人)				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		170,843		225,335		0	
					特定財源		1,009		2,358		0	
					一般財源		169,834		222,977		0	
	指標名		-							単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
				-			-					
評価検証	-											

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 健康教育事業<再掲1-2-2>												
目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。						担当課		健康推進課			
目標	-											
事業実施状況	・ 集団健康教育の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
	-			-		-						
評価検証	-											

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 地域福祉推進事業<再掲3-1-2>												
目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等とともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。						担当課		地域福祉課			
目標	-											
事業実施状況	・地域交流サロンの活動促進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		-		-		-	
					特定財源		-		-		-	
					一般財源		-		-		-	
					指標名		-					
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
				-			-					
評価検証	-											

事務事業評価表

施策	22	取組	5	番号	再	事務事業 女性に対する暴力根絶推進事業<再掲22-3-2>									
目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。					担当課	市民活動課								
目標	-														
事業実施状況	・男女共同参画講座の開催（1回26人） ・デートDV防止啓発パンフレットの作成・配布 ・デートDV予防講座の開催（6回1,313人） ・女性相談支援員の配置 ・女性のための人権なんでも相談所の開催（4回） ・民間シェルターへの支援					単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
						事業費		-		-		-			
						特定財源		-		-		-			
						一般財源		-		-		-			
						指標名		-				単位			
						基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
						-			-		-		-		
評価検証	-														

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 9 事務事業 市債等管理事業												
目的	市債の発行・償還や資金運用を適切に進め、計画的な財政運営を図ります。						担当課		財政課			
目標	-											
事業実施状況	・市債の発行、償還（普通会計） ・資金運用				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		8,062,599		7,827,913		0	
					特定財源		256,278		263,552		0	
					一般財源		7,806,321		7,564,361		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
		-		-		-						
評価検証	-											

施策 23 取組 2 番号 10 事務事業 一般行政事業										
目的	総合案内や儀式、表彰など、一般行政事務を推進します。						担当課	総務部総務課、商業労働課		
目標	-									
事業実施状況	・ 総合案内、電話交換業務 ・ 新年交礼会、褒章・表彰業務		単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費	49,685		48,693		0		
			特定財源	3,436		3,967		0		
			一般財源	46,249		44,726		0		
			指標名	-						単位
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
	-		-		-		-			
評価検証	-									

施策 23 取組 2 番号 11 事務事業 戸籍・住民基本台帳関連事業										
目的	戸籍・住民基本台帳関連事務を適切に管理するとともに、各種証明書等の発行や申請の受付を迅速かつ正確に行います。					担当課	戸籍住民課			
目標	-									
事業実施状況	・ 戸籍・住民基本台帳に関する事務 (198,174件) ・ パスポートの申請交付に関する事務 (2,435件) ・ マイナンバーカードの交付に関する事務 (14,156件) ・ 諸証明のコンビニ交付サービスの実施 (32,735件) ・ 窓口サービスのスマート化 ・ 振り仮名対応に伴うシステム改修				単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額		
					事業費	214,460	99,101	0		
					特定財源	235,407	133,401	0		
					一般財源	△20,947	△34,300	0		
	指標名				-			単位		
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-			-		-		-		
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 23	取組 2	番号 12	事務事業	川西支所管理運営事業					
目的	川西支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。					担当課	川西支所		
目標	-								
事業実施状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・川西支所の維持管理			単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額		R7年度決算額	
				事業費	1,773	1,875		0	
				特定財源	0	0		0	
				一般財源	1,773	1,875		0	
				指標名	-				
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		
			-		-				
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 13 事務事業 大正支所管理運営事業												
目的		大正支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。					担当課		大正支所			
目標		-										
事業実施状況	・各種窓口業務 ・各種団体の運営に関する支援事務 ・大正支所の維持管理		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		590		943		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		590		943		0			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-		-		-			
評価検証	-											

施策 23	取組 2	番号 14	事務事業 効率的行政運営推進事業									
目的	継続的な行財政改革への取り組みや行政サービス改善など、市民の満足度の高い効率的な行政運営を進めます。						担当課		人事課、契約管財課			
目標	-											
事業実施状況	・行財政改革の推進（上下水道料金収納業務の包括委託を開始、プラスチックごみ収集業務の民間委託の拡充、豊成保育所の移管先法人の決定、RPAの活用拡大 等） ・民間委託等幅広い手法の検討・推進（他自治体の事例収集や民間企業からの情報収集等） ・事務権限の移譲への対応（関連情報の収集・庁内共有） ・指定管理者制度の運用（281施設）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		85		187		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		85		187		0	
					指標名				-			
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-			-			-			-		
				-			-					
評価検証	-											

事務事業評価表

施策 23 取組 2 番号 15 事務事業 行政情報基盤運営事業											
目的		行政情報ネットワークを管理運営し、効率的で安全性の高い行政サービスを提供します。						担当課		ICT推進課	
目標		-									
事業実施状況	・ 行政情報ネットワークの維持管理 ・ 情報セキュリティ対策の推進		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		83,146		84,271		0		
			特定財源		1,647		985		0		
			一般財源		81,499		83,286		0		
			指標名		-						単位
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-		-		-		-		-		
			-		-		-				
評価検証		-									

施策 23 取組 3 番号 1 事務事業 物品購入・工事契約事業												
目的	地域の経済や雇用環境などに配慮しながら、品質の優れた調達を行います。						担当課		契約管財課			
目標	入札・契約事務の改善を進めます。											
事業実施状況	・工事の契約事務（140件のうち入札137件）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		288		306		0	
					特定財源		0		0		0	
					一般財源		288		306		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
				-		-						
評価検証	R6年度は、建設業の働き方改革を考慮した制度上の整理を行うなど、公正性等の確保、雇用環境へ配慮した契約事務の改善を進めており、目標を達成しました。											

施策 23 取組 3 番号 2 事務事業 税収入払戻事業									
目的	市税の過誤納付金の還付を行い、公正かつ公平な収納事務を行います。						担当課	収納課	
目標	-								
事業実施状況	・ 市税過誤納付金の還付	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		103,344		60,535		0	
		特定財源		0		0		0	
		一般財源		103,344		60,535		0	
		指標名 -						単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-			-		-		
					-		-		
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 23 取組 3 番号 3 事務事業 収納率向上対策事業														
目的		市税等の収納率向上対策などを進め、自主財源の確保を図りま す。				担当課		収納課						
目標		-												
事業 実施 状況	・ 収納率向上対策の推進 ・ 広域連携による市税等の滞納整理（実施主 体：十勝圏複合事務組合） ・ 納税啓発の推進 ・ 納付環境の整備（地方税共通納税システムの 運用） ・ 納税相談の実施（夜間窓口の開設、納税推進 強調月間の実施） ・ 収納管理業務 ・ 滞納処分の実施				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
					事業費		53,203		69,909		0			
					特定財源		301,094		293,785		0			
					一般財源		△247,891		△223,876		0			
					指標名		-				単位			
	基準値		R5		目標値 実績値		R6		目標値 実績値		R7		目標値 実績値	
	-				-		-		-		-			
				-		-								
評価 検証		-												

施策 23 取組 3 番号 4 事務事業 諸税賦課事業										
目的	市たばこ税など、諸税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。					担当課	市民税課			
目標	-									
事業実施状況	・ 諸税の賦課	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	9,208		10,544		0			
		特定財源	12		15		0			
		一般財源	9,196		10,529		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-		-		-			
			-		-					
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 5 事務事業 市民税賦課事業									
目的	市民税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。					担当課	市民税課		
目標	-								
事業実施状況	・ 市民税の賦課 ・ 電子申告システムの運用	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
		事業費	41,797		46,064		0		
		特定財源	11		15		0		
		一般財源	41,786		46,049		0		
		指標名	-					単位	
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	
		-	-	-	-	-			
		-	-	-	-	-			
評価検証	-								

事務事業評価表

施策 23 取組 6 番号 2 事務事業 都市間連携推進事業									
目的	北海道内の広域的な行政課題の解決に向け、各都市と連携した取り組みを進めます。					担当課		企画課	
目標	-								
事業実施状況	・北海道市長会等を通じた情報収集や要請活動などの実施 ・北海道基地協議会等を通じた情報収集や要請活動などの実施 ・道東六都市等による情報交換などの実施	単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
		事業費		4,126		4,141		0	
		特定財源		0		0		0	
		一般財源		4,126		4,141		0	
		指標名		-				単位	
		基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値
		-		-		-		-	
評価検証	-								

施策 23 取組 6 番号 3 事務事業 定住自立圏構想推進事業												
目的	帯広市と十勝管内18町村が連携・協力し、必要な生活機能を確保するとともに、圏域全体の魅力の向上や活性化を図ります。						担当課		企画課			
目標	-											
事業実施状況	定	・十勝定住自立圏共生ビジョン等に基づく各種取り組みの実施 ・第4期十勝定住自立圏共生ビジョンの策定	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額				
			事業費	85		299		0				
			特定財源	0		0		0				
			一般財源	85		299		0				
			指標名	-						単位		
			基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
			-		-		-		-			
評価検証	-											

施策 23 取組 6 番号 4 事務事業 東京事務所運営事業												
目的		東京事務所を管理運営し、産業・経済、行政、観光・移住などの情報収集・提供などを進めます。				担当課		東京事務所				
目標		-										
事業実施状況	・東京事務所の運営		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
			事業費		10,140		10,681		0			
			特定財源		0		0		0			
			一般財源		10,140		10,681		0			
			指標名		-						単位	
			基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
			-		-		-		-			
評価検証	-		-		-		-		-			
			-		-		-					

事務事業評価表

施策 23 取組 0 番号 1 事務事業 市民相談室運営事業											
目的	市民の日常生活に関する一般相談や法律相談を実施し、問題解決に向けた支援を行います。					担当課	地域福祉課				
目標	市民の日常生活における様々な問題に対応する市民相談員による相談体制を維持します。										
事業実施状況	・市民相談の実施（相談件数1,450件） ・弁護士無料法律相談の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		6,173		7,721		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		6,173		7,721		0		
			指標名 相談件数					単位		件	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	1,275			1,371 1,263			1,371 1,450			1,371	
評価検証	R6年度の市民相談件数は1,450件となり、目標を達成しました。 相続・贈与に関する相談が最も多く、法律相談を含む幅広い内容の相談場所として市民に認知されてきたことが要因であると考えます。 今後も、市民周知を積極的に行うほか、身近な相談窓口として、市民の問題解決に向けた支援を進めていく必要があると考えます。										

施策 23 取組 0 番号 2 事務事業 政策推進事業											
目的		幅広く情報収集などを進めるとともに、重要施策の総合的な企画調整を行います。				担当課		企画課			
目標		-									
事業実施状況	・政策推進に関する情報収集等 ・重要施策の企画調整 ・国・道などへの要請活動の実施		単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額		
			事業費		5,696		5,636		0		
			特定財源		0		0		0		
			一般財源		5,696		5,636		0		
	指標名		-						単位		
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値	
	-			-			-			-	
評価検証		-									

施策 23 取組 0 番号 3 事務事業 秘書事業										
目的	市長・副市長の公務に関する秘書業務を行います。					担当課	秘書課			
目標	-									
事業実施状況	・ 秘書業務	単位：千円	R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額			
		事業費	11,910		12,505		0			
		特定財源	0		0		0			
		一般財源	11,910		12,505		0			
		指標名	-					単位		
		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
		-	-		-		-			
評価検証	-									

事務事業評価表

施策 23 取組 0 番号 4 事務事業 市役所庁舎管理事業												
目的		計画的な管理や有効活用を進めるなど、市役所庁舎を適切に維持管理します。						担当課		総務部総務課		
目標		-										
事業実施状況	・市役所庁舎の設備等の維持管理 ・光熱水費削減の取り組み（経済的な電力確保の継続等） ・広告事業の推進				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		195,573		225,633		0	
					特定財源		26,234		26,234		0	
					一般財源		169,339		199,399		0	
	指標名		-						単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値				
	-			-		-		-				
				-		-		-				
評価検証	-											

施策 23 取組 0 番号 5 事務事業 公用車管理事業												
目的	公用車を効率的に管理・運行します。							担当課		総務部総務課		
目標	-											
事業実施状況	・ 公用車の管理（共用車稼働率90.7％）				単位：千円		R5年度決算額		R6年度決算額		R7年度決算額	
					事業費		19,762		20,223		0	
					特定財源		0		36		0	
					一般財源		19,762		20,187		0	
	指標名				-						単位	
	基準値		R5	目標値 実績値		R6	目標値 実績値		R7	目標値 実績値		
	-		-		-		-		-			
			-		-							
評価検証	-											

施策 23 取組 0 番号 6 事務事業 職員任用管理事業														
目的	人材の確保と職員の適正配置により、施策を効果的に推進する組織体制づくりを進めます。					担当課	人事課							
目標	-													
事業実施状況	・職員定数の管理（R6.4.1時点職員数1,305人） ・職員採用に関する事務（〔正職員〕試験回数2回、受験者数348人、合格者数81人〔任期付〕試験回数16回、受験者数36人、合格者数24人）					単位：千円	R5年度決算額	R6年度決算額	R7年度決算額					
						事業費	2,659	1,867	0					
						特定財源	0	0	0					
						一般財源	2,659	1,867	0					
						指標名	-					単位		
						基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
						-	-	-	-	-	-			
評価検証	-													

令和6年度 施策・事務事業評価表

編集 帯広市政策推進部企画室企画課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

TEL : 0155-65-4105 FAX : 0155-23-0151

E-mail : plan@city.obihiro.hokkaido.jp